

基本計画書

基本計画		
事項	記入欄	備考
計画の区分	学部の学科の設置	
フリガナ設置者	がっくおびん きょりんがくえん 学校法人 杏林学園	
フリガナ大学の名称	きょりんがく 杏林大学 (Kyorin University)	
大学本部の位置	東京都三鷹市新川六丁目20番2号	
大学の目的	<p>本学は、教育基本法及び学校教育法に則り、かつ建学の精神に基づいて、崇高な人類愛と高度の科学精神を基盤とするすぐれた人材の育成を目的とし、もって広く人類の福祉に貢献することを使命とする。</p>	
新設学部等の目的	<p>臨床心理学は主として心の健康・不健康を取り扱い、様々な心の状態を持った人を対象としているため、精神医療との関わりが極めて強く、取り扱う題材として精神医学、精神病理学、心身医学、精神薬理学などは必須で、また、それらの基礎知識がないと成り立たない医科学的傾向の強い分野である。</p> <p>医療職と心理職の協働が期待されている疾病の例として、最近増加傾向のある「薬では治らないうつ病」が上げられる。うつ病に関しては、精神科領域の治療原則は、十分な休養と必要な薬の服用であるが、これでは対処できないうつ病が増加している。これらの患者には心理職との協働した治療法が必要であるなど、心理職は多職種連携および多職種協働の要としての役割も要視されている。</p> <p>したがって、現状を鑑みるに保健医療分野においては、自然科学保健医療分野をベースにした心理職の養成が望まれていると結論することができる。</p> <p>一方、チーム医療を担う医療従事者の活動は、高い倫理性と安全性が求められ、医療法や医師法などの下に規定されているため、法律による規定がなく質の担保もされていない心理職がチーム医療に参画する場面はそれほど多くはなかった。そのような中で平成27年9月9日、心理専門職の国家資格「公認心理師」を定める法律が可決成立した。社会における心の支援の必要性が訴えられて成立したもので、さまざまな領域の心理的支援を網羅する資格となっているが、保健医療領域に関しては、心理職の専門家としてチーム医療への参画が容易になり、さらに質の高い医療の提供につながるものと期待される。</p> <p>以上のことより、杏林大学保健学部においては保健医療分野をベースにした臨床で活躍できる公認心理師を養成すべく、本学保健学部に臨床心理学を設置する。</p>	

新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
		年	人	年次人	人		年 月 第 年次	
	保健学部 [Faculty of Health Sciences] 臨床心理学科 [Department of Clinical Psychology] 計	4	80	-	320	学士 (臨床心理学)	平成30年 4月 第1年次	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号
	同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)	<p>平成29年3月 収容定員の変更に係る学則変更認可申請中 総合政策学部 総合政策学科 [定員増] (150) (3年次編入学定員) (3) 企業経営学科 [定員増] (80) (3年次編入学定員) (3)</p> <p>平成29年6月 収容定員関係学則変更認可申請中・学部等の設置届出中 保健学部 (平成29年6月 届出中) 臨床心理学科 [定員増] (80)</p>						
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数		
		講義	演習	実験・実習	計			
	臨床心理学科	68 科目	9 科目	9 科目	86 科目	124 単位		

教	学部等の名称		専任教員等					兼	任
			教授	准教授	講師	助教	計		
新設分	保健学部 臨床心理学科		6 (6)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	11 (11)
	計		6 (6)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	— (—)
既設分	医学部 医学科		76 (76)	42 (42)	52 (52)	148 (148)	318 (318)	0 (0)	152 (152)
	保健学部 臨床検査技術学科		13 (13)	4 (4)	12 (12)	6 (6)	35 (35)	0 (0)	47 (47)
	健康福祉学科		5 (5)	4 (4)	2 (2)	4 (4)	15 (15)	0 (0)	72 (72)
	看護学科 看護学専攻		8 (8)	8 (8)	11 (11)	14 (14)	41 (41)	0 (0)	79 (79)
	看護学科 看護養護教育学専攻		5 (5)	5 (5)	4 (4)	8 (8)	22 (22)	0 (0)	56 (56)
	臨床工学科		4 (4)	3 (3)	4 (4)	4 (4)	15 (15)	0 (0)	62 (62)
	救急救命学科		4 (4)	2 (2)	3 (3)	5 (5)	14 (14)	0 (0)	64 (64)
	理学療法学科		4 (4)	3 (3)	3 (3)	5 (5)	15 (15)	0 (0)	72 (72)
	作業療法学科		5 (5)	0 (0)	3 (3)	6 (6)	14 (14)	0 (0)	69 (69)
	診療放射線技術学科		7 (7)	1 (1)	3 (3)	6 (6)	17 (17)	0 (0)	43 (43)
	総合政策学部 総合政策学科		15 (15)	7 (7)	4 (4)	0 (0)	26 (26)	0 (0)	64 (64)
	企業経営学科		7 (7)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	76 (76)
	外国語学部 英語学科		8 (8)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	26 (26)
	観光交流文化学科		6 (6)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	12 (12)
	中国語学科		5 (5)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	13 (13)
	計		172 (172)	93 (93)	108 (108)	206 (206)	579 (579)	0 (0)	— (—)
	合計		178 (178)	93 (93)	113 (113)	206 (206)	590 (590)	0 (0)	— (—)
教員以外の職員の概要	職種		専任		兼任		計		
	事務職員		243人 (243)		423人 (423)		666人 (666)		
	技術職員		350 (350)		14 (14)		364 (364)		
	図書館専門職員		12 (12)		0 (0)		12 (12)		
	その他の職員		1,466 (1,466)		120 (120)		1,586 (1,586)		
計		2,071 (2,071)		557 (557)		2,628 (2,628)			
校地等	区分		専用	共用	共用する他の学校等の専用		計		
	校舎敷地		206,245.91㎡	0.00㎡	0.00㎡		206,245.91㎡		
	運動場用地		14,570.00㎡	0.00㎡	0.00㎡		14,570.00㎡		
	小計		220,815.91㎡	0.00㎡	0.00㎡		220,815.91㎡		
	その他		2,275.17㎡	0.00㎡	0.00㎡		2,275.17㎡		
合計		223,091.08㎡	0.00㎡	0.00㎡		223,091.08㎡			
校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用		計			
		117,073.11㎡ (117,073.11㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)	0.00㎡ (0.00㎡)		117,073.11㎡ (117,073.11㎡)			
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	82室	82室	62室	6室 (補助職員0人)	3室 (補助職員0人)				
専任教員研究室		新設学部等の名称		室数					
		保健学部 臨床心理学科		9室					

図書・設備	新設学部等の名称	図書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標本	大学全体での共用分を含む	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					
		冊	種	[うち外国書]					
	臨床心理学科	416,000 [160,000] (406,263 [157,436])	1,481 [157] (1,481 [157])	8,624 [7,491] (8,624 [7,491])	11,000 (10,639)	35,449 (35,449)	560 (560)		
	計	416,000 [160,000] (406,263 [157,436])	1,481 [157] (1,481 [157])	8,624 [7,491] (8,624 [7,491])	11000 (10,639)	35449 (35,449)	560 (560)		
図書館		面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体	
		6,730.53㎡		807		463,056			
体育館		面積		テニスコート		トレニングルーム		大学全体	
		5,148.20㎡							
経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	届出学科全体 図書費には、電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。
		教員1人当り研究費等	724	724	724	724	724	724	
	共同研究費等	53,350	53,350	53,350	53,350	53,350	53,350	53,350	
	図書購入費	203,674	219,763	242,210	262,067	283,910	307,936	334,366	
	設備購入費	300,000	300,000	800,000	300,000	300,000	300,000	300,000	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1650千円	1400千円	1400千円	1400千円	—千円	—千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金収入、手数料収入等を充当する。						
既設大学等の状況	大学の名称	杏林大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
	医学部						1.00		東京都三鷹市新川6丁目20番2号
	医学科	6	117	—	702	学士(医学)	1.00	S45年度	
	保健学部						1.13		
	臨床検査技術学科	4	120	—	480	学士(保健衛生学)	1.14	S54年度	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号
	健康福祉学科	4	50	—	200	学士(保健衛生学)	1.17	S54年度	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号
	看護学科	4	150	—	600	学士(看護学)	1.11	H6年度	
	看護学専攻	4	100	—	400	学士(看護学)	1.10	H6年度	東京都三鷹市新川6丁目20番2号 東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号
	看護養護教育学専攻	4	50	—	200	学士(看護学)	1.13	H24年度	東京都三鷹市新川6丁目20番2号 東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号
	臨床工学科	4	60	—	240	学士(臨床工学)	1.12	H18年度	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号
	救急救命学科	4	50	—	200	学士(救急救命学)	1.15	H19年度	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号
	理学療法学科	4	56	—	224	学士(理学療法学)	1.11	H21年度	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号
	作業療法学科	4	54	—	216	学士(作業療法学)	1.18	H23年度	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号
	診療放射線技術学科	4	66	—	264	学士(診療放射線学)	1.15	H25年度	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号
	総合政策学部						1.05		
	総合政策学科	4	130	3年次3	526	学士(総合政策学)	1.05	S59年度	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号
	企業経営学科	4	70	3年次3	286	学士(企業経営学)	1.05	H18年度	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号
	外国語学部						1.09		
英語学科	4	130	3年次4	528	学士(文学)	1.10	H18年度	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号	
中国語学科	4	30	3年次5	130	学士(中国語コミュニケーション学)	0.93	H23年度	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号	
観光交流文化学科	4	90	3年次3	366	学士(観光交流文化学)	1.13	H22年度	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号	

既設大学等の状況	杏林大学大学院											
	医学研究科 (博士課程)	4	34	—	136	博士 (医学)	0.36	昭和51年度	東京都三鷹市新川6丁目20番2号			
	保健学研究科						博士前期 0.67 博士後期 0.49					
	保健学専攻 (博士前期課程)	2	7	—	14	修士(保健学)	1.06	昭和59年度	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号			
	看護学専攻 (博士前期課程)	2	7	—	14	修士(看護学)	0.29	平成20年度	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号			
	保健学専攻 (博士後期課程)	3	4	—	12	博士(保健学)	0.58	昭和61年度	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号			
	看護学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(看護学)	0.33	平成22年度	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号			
	国際協力研究科						博士前期 0.47 博士後期 0.26					
	国際開発専攻 (博士前期課程)	2	10	—	20	修士(開発学)	0.50	平成5年度	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号			
	国際文化交流専攻 (博士前期課程)	2	10	—	20	修士(学術)	0.70	平成5年度	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号			
	国際医療協力専攻 (博士前期課程)	2	6	—	12	修士 (国際医療協力)	0.50	平成16年度	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号			
	国際言語コミュニケーション専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(言語コミュニケーション学)	0.28	平成21年度	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号			
	開発問題専攻 (博士後期課程)	3	10	—	30	博士(学術)	0.26	平成7年度	東京都三鷹市下連雀5丁目4番1号			
附属施設の概要	<p>名称：杏林大学医学部附属病院 目的：診療、教育、研究 所在地：東京都三鷹市新川六丁目20番2号 設置年月：昭和45年8月 規模等：土地27,857.65㎡，建物117,651.16㎡，病床数1,153床</p>											

教 育 課 程 等 の 概 要

(保健学部臨床心理学科)

区分	授業科目名	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
人文・社会学系	哲学	1後		2		○									兼1	
	生命倫理学	1後		2		○									兼1	
	日本国憲法	1後		2		○									兼1	
	法学	1前		2		○									兼1	
	社会学	1前・後		2		○									兼1	
	芸術	1前・後		2		○									兼1	
	職業適性論	2後		2		○									兼10	オムニバス
	日本語学概論	1前		2		○									兼1	
	ことばと社会	2前		2		○									兼1	
	地域と大学	1前	2				○				1				兼9	
小計(10科目)	-	2	18					0	0	1	0	0		兼24		
自然科学系	情報処理論	2前	2				○								兼1	
	基礎生物	1前		1		○									兼1	
	基礎化学	1前		1		○									兼1	
	基礎数学	1前		1		○									兼1	
	小計(4科目)	-	2	3				0	0	0	0	0		兼4		
言語系	日本語表現法	1後	2			○									兼1	
	英語 I	1前	2			○									兼1	
	英語 II	1後	2			○									兼1	
	英語 III	2前	2			○									兼1	
	英語 IV	2後		2		○									兼1	
	医学英語	2前		2		○									兼1	
	英会話	2前・後		2		○									兼1	
	小計(7科目)	-	8	6				0	0	0	0	0		兼4		
基礎医学系	公衆衛生学	1前	1			○									兼1	
	医学概論	1前	1			○									兼1	
	人体の構造	1前	2			○			1							
	人体の機能	1後	2			○			1							
	病態病理学	1後		1		○			1							
	疾病学	1後	2			○			1							
	精神医学概論	2前	2			○			1							
	精神医学各論	2後	2			○			1							
	緩和医療学(演習を含む)	3前	2			○			1							
	救急医療	2前		1		○									兼1	
	救命救助法	1前	1				○								兼1	
小計(11科目)	-	15	2					2	0	0	0	0		兼4		
看護学系	看護学	1後		2		○					1					
	精神看護学(精神科リハビリテーション学を含む)	2前	2			○					1				兼1	
	精神看護学演習(精神科リハビリテーション学を含む)	2後	2				○				1				兼1	
	小計(3科目)	-	4	2					0	0	1	0	0		兼1	

区分	授業科目名	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
心理学基礎分野	心理学概論	1前	2			○			1							
	心理学研究法	1前	2			○			1							
	心理学統計法	1後	2			○					1					
	心理学基礎実験Ⅰ	2前	2					○	4		4					
	心理学基礎実験Ⅱ	2後	2					○	4		4					
	心理検査演習	3前	2				○		3		3					
	心理面接演習	3前	2				○		3		3					
	小計(7科目)		14	0					4	0	4	0	0			
心理学発展分野	基礎心理学関連 神経心理学	2後	2			○					1					
	認知心理学	1後	2			○			1							
	知覚心理学	1前	2			○					1					
	発達心理学	2前	2			○					1					
	発達心理学 発達・教育心理学関連	1後	2			○			1							
	教育心理学	1前		2		○			1							
	乳幼児心理学	2前		2		○			1							
	学校心理学	3後		2		○					1					
	社会心理学	2前		2		○			1							
	集団心理学	3後		2		○					1					
	青年心理学	3前		2		○					1					
	家族心理学	3前		2		○			1							
	臨床心理学関連	臨床心理学概論	1前	2			○					1				
		発達臨床心理学	2後	2			○			1						
		カウンセリング	2前	2			○					1				
		心理療法	2後	2			○			1						
		人格心理学	3前		2		○					1				
		心理検査法	2後		2		○			1						
認知行動療法		3前		2		○			1							
医療心理学		1後		2		○			1							
障害者心理学		3後		2		○					1					
隣接領域	社会福祉学	2前	2			○			1							
	学校教育学	1後		2		○								兼1		
	児童福祉学	2後		2		○								兼1		
	高齢者福祉学	2後		2		○			1							
	高齢保健学	2後		2		○								兼1		
	医療福祉学	2前		2		○								兼1		
	公的扶助学	3前		2		○								兼1		
	障害者福祉学	3前		2		○								兼1		
	社会福祉政策学	3前		2		○								兼1		
小計(30科目)	-	20	40					4	0	4	0	0	兼7			

区分	授業科目名	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
心理実践実習分野	心理実践職能学	3前	2			○					1					
	心理実践基礎実習Ⅰ	1後	1					○	4		4				兼1	
	心理実践基礎実習Ⅱ	2後	1					○	4		4				兼1	
	心理実践実習Ⅰ	3後	3					○	4		4				兼1	
	心理実践実習Ⅱ	4後		2				○	4		4				兼1	
	小計(5科目)	-	7	2					4	0	4	0	0		兼1	
総合領域	臨床心理学総合講義	4前	2			○			1							
	臨床心理学特別講義Ⅰ	1前		2		○			1							
	臨床心理学特別講義Ⅱ	1後		2		○									兼1	
	特別演習Ⅰ	1前		1			○				3				兼1	
	特別演習Ⅱ	1後		1			○		1		3					
	インターンシップ	4通		2			○				1					
	ボランティア活動	4通		2			○				1					
	基礎ゼミ	3後	2				○		5		5					
	卒業研究	4通	4				○		5		5					
小計(9科目)	-	8	10					6	0	5	0	0				
合計(86科目)		-	80	83	0				6	0	5	0	0	兼41	124単位以上	
学位又は称号			学士(臨床心理学)				学位又は学科の分野					文学関係・保健衛生関係				
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
必修科目80単位、人文・社会学系の選択科目から8単位以上、言語系の選択科目から4単位以上、心理学発展分野発達・教育心理学関連の選択科目から4単位以上、社会・青年心理学関連の選択科目から6単位以上、臨床心理学関連の選択科目から8単位以上、隣接領域の選択科目から12単位以上、心理実践実習Ⅱ、インターンシップ、ボランティア活動の中から2単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限：49単位(年間))								1学年の学期区分				2学期				
								1学期の授業期間				15週				
								1時限の授業時間				90分				

授 業 科 目 の 概 要			
(保健学部臨床心理学科)			
科目	授業科目の名称	講義等の内容	備考
人文・社会学系	哲 学	現代に生きる私たちは私たちの時代の「人間」を求める必要があるだろう。そうした観点から、いくつかのトピックに焦点を絞って、考えてみることにする。	
	生 命 倫 理 学	「生とは何か？、生きるとは何か？、死とは何か？」 人の健康と福祉を支援する医療・教育・福祉従事者を目指す学生として、避けては通れない命題である。本講義は人のライフステージ毎に、基本的な人生に対する信念の課題を事例を基に学際的に討論を交えながら展開する。	
	日 本 国 憲 法	初等中等教育で国民教養として提供された憲法学習とは異なる、法制度の根幹としての国家のかたちと、政治的意思決定のシステムとしての国家のかたちの双方向から正確に理解することが重要で、特に民主主義と自由主義の調整として憲法の役割にも触れる。	
	法 学	私達の生活・人生は、常に法との関わりがあるものの、多くの学生は、そのような認識を持つことのないまま日々の生活を送っている。この講義では、具体的事例をあげながら、私達の生活・人生と法をつなぐ知識を提供することを目的とする。法律が身近に感じられるようになり、新聞やニュースの内容がより深く理解できるようになる。	
	社 会 学	社会学とは、人間と社会の理解を深めるための学問である。社会学には、人間と社会の本質をどのように捉えるかによって、様々な視点があり、社会現象や人間の行為の解釈が行われてきた。身近な社会現象を取り上げながら、社会学の基本的な考え方やアプローチについて解説する。社会学の様々な視点を学ぶ。	
	芸 術	オーケストラで使われる管楽器を中心に、楽器の特性や発展、現代の楽器との相違点、楽器が作曲家に与えた影響に注目していく。そして、当時の時代様相も考慮に入れつつ、楽器の選択方法や表現方法も含めて、音楽をより深く知る手掛かりを示していく。	

人文・社会学系	職業適性論	<p>仕事に対する考え方、感じ方は人生観と同様、個々人で違いがある。労働による心身への負荷とその影響もまた、その職種、勤務・作業形態、個々人の体力、適性などによって大きく異なってくる。これは職場におけるリスクマネジメントの基本的要素のひとつである。本講では専門を異にする多数の教員から各分野の現状認識がもたらされ、広い視野から自分自身の価値観・職業適性などについての内省が促されるとともに、個人特性、多様性を生かした職場運営についての考察が深められる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職業観と資格・技能?自立するために〔講義・質疑応答〕 職業人として自立するためには何が必要なのかを学ぶ。(石井) 2. キャリア形成?働くことの意味、生き甲斐・働き甲斐〔講義・質疑応答〕 将来就職したのちに心豊かで充実した職業人になるために、働く意味について認識を深める。(宮崎) 3. リハビリテーションにおける職業適性〔講義・質疑応答〕 患者に対する障害受容の支援と残存機能を最大限発揮できるような技能と指導力について理解して適性を考える。(八並) 4. 将来設計を行う過程における学習の意味と意義〔講義・質疑応答〕 学ぶことが人生にどのような意味と意義を与えるのかを考察することにより、職業選択と自己実現との調和を目標とした適性を考える。(四倉) 5. 放射線を利用する産業とその動向〔講義・質疑応答〕 放射線を利用する産業は多方面に亘っており発展や代替技術の進歩も著しい。各分野の事情やその動向を学ぶ。(石井) 6. 職場における感染症の予防法〔講義・質疑応答〕 医療機関、学校、社会福祉施設等における施設内感染・職業感染の現状と感染制御の方法を概説する。(森田) 7. 就職活動における職業適性〔講義・質疑応答〕 就業時(雇入時)・配置換え時の不適切配置が管理上どのような問題となるかを学ぶ。(関) 8-9. 職業性疾病とその予防〔講義・質疑応答〕 職業性疾病の概要を把握し、主要な疾病を理解し、その対策を学ぶ。(岡本) 10. リスクのアセスメント、マネジメント〔講義・質疑応答〕 労働衛生管理を実施する上で、職場でのリスクを特定・分析・評価・管理する事の重要性を学ぶ。(関) 11. 医療産業の現状と今後〔講義・質疑応答〕 将来働く病院、消防局、介護施設等の基本データと医療の根幹である診療報酬、それに介護保険について学ぶ。(宮崎) 12. 労働負荷と心身の変化(労働による人体の機能の変化を含む)〔講義・質疑応答〕 労働負荷の概要を把握し、それらによる心身への生理学的影響を学ぶ。(岡本) 13. 放射線の利用と安全性〔講義・質疑応答〕 放射線利用によるリスクだけでなく得られる恩恵にも焦点を当て、安全な放射線利用に必要なことや人体への影響などを学ぶ。(石井) 14. 作業療法士の職業適性〔講義・質疑応答〕 作業療法士やリハビリテーション職種の職業適性および感情労働について学習する。(下田) 15. 教育分野における職業適性〔講義・質疑応答〕 教育の現在と予測される未来の問題を踏まえた上で、求められる教員像を描く。(大嶺) 	
	日本語学概論	<p>言葉の形の面を中心に、日本語が諸言語と比べてどのような特性を持っているのかを論じる。 言葉としての日本語を考えると、言葉とは何かを明らかにしなければなりません。そこから始まって、言葉の音がどのような仕組みを持ち、どのような構成で出来上がっているか。日本語の文字はどのように考えたらよいのか。音の組み合わせで出来上がる語彙が、どのようなものであるか。その分類と構成、造語法などに触れ、最後に文法的な見方から、日本語の文の構造を明らかにしたいと思います。言語学的方法論を主要な武器として進んでいく。</p>	

人文・社会学系	ことばと社会	この授業では、社会言語学の立場から、「社会と言語の関係」について学ぶ。 わたしたちは、正しい日本語、というものがひとつあると考えているのだが、実は、日本語は様々な日本語のバリエーションの束のようなものなのだ。それらコードの違う、言葉遣いの異なる日本語を、どのように適切に使うかが、私たちに求められている。 時代的に、また空間的に、さらには位相的に、異なる種々の日本語について明らかにしていくとともに、それらを選択する条件について紹介していく。	
	地域と大学	地域と大学の連携の中で大学が地域に貢献し、その活動が教育、研究の発展に寄与していることを学ぶ。 保健学部で培う医療人としての専門スキルを、大学を取り巻く地域社会、家庭、学校、職場というコミュニティにどのように活用していくかについて学ぶ。また保健学部のそれぞれの専門分野が「地域住民の健康で幸福な日常生活の営みに寄与すること」への理解を深める。	
自然科学系	情報処理論	情報処理は「データの収集」、「データの処理・解析」そして「情報の発信」まで一連の流れで行われ、特にこの科目では「データの処理・解析」をメインとする。現在社会ではコンピュータやインターネット環境の利用は様々な場面で必須となっており、卒業後はもちろんのこと、在学中でも情報の収集、データの処理や解析、プレゼンテーションなどでPCやIT環境を利用する機会が多い。 本科目は、実際にPCを使った演習形式が中心となり、今後PCを使っていくに当たって必要な知識や技術を身につけられるように進めていく予定。	
	基礎生物学	大学で生命科学を学ぶ者にとって生物学は重要な基礎科目の一つである。保健学部各学科で専門科目を理解するために必要なヒトの生物学の基礎を中心に進める。	
	基礎化学	化学が得意でなかったり、または化学を入試科目として選択しなかったために、大学の化学系専門科目の講義についていけるかどうか不安に思っている学生を対象とし、化学の基礎を中心として進める。	
	基礎数学	生体を対象とした計測や制御、情報処理技術を学ぶためには解析学および線形代数は不可欠である。 本講では解析学および線形代数を学ぶための基礎知識を修得する。	
言語系	日本語表現法	「話しことば」としての日本語表現を実践的に学べるよう解説する。また、ことばのしくみや日本語の理解を深めるために、音声学や言語学等の基礎的知識を解説する。	
	英語 I	健康・医療をテーマとした教材を使用し、文法の整理や語彙の増強をし、扱ったテーマに関する活発な議論を奨励しながら進めてゆく。	
	英語 II	将来co-medicalとして活躍が期待される学生が修得すべき英語に的を絞り、読解とダイアログ、英作文をバランスよく扱いながら進めてゆく。	
	英語 III	映画を通して日常会話に使える語彙や表現を学んでいく。ドラマで実際に使われているセリフから文法事項も学習していく。現代のアメリカ社会を象徴する家族構成であるので文化的背景もみていく。	
	英語 IV	医学健康をテーマに取り上げた英語のビデオ教材を用いて、医療や健康問題に関する情報を正確に収集し、理解する能力を養う。	
	医学英語	情報入手のための医学・医療専門用語を理解するとともに、英語により医学・医療における情報を入手し自身の専門性を高めるスキルを身につけることを目的とする。	
	英会話	学生が積極的になり、英会話の技術を高めると共に、英会話に自信を持てるようにすることを目的とする。会話とリスニングスキルに重点を置き、学生は各トピックについて、2人一組で会話練習を行う。この授業の目標は、相手の話を聞き、質問をし、英語での対話の機会を増やすことである。出席はもちろん、積極的な参加を重視する。	

基礎医学系	医学概論	医学の歴史、医療の進歩に伴う諸問題、専門分化した現代の医療および医療制度について概観する。	
	公衆衛生学	公衆衛生学とは「社会における組織的な働きかけにより、疾病を予防し、寿命を延ばし、身体的・精神的機能を増進させる科学であり技術である」と、定義されている。公衆衛生学の領域は多岐にわたっているが、本講では保健学の出発点ともいえる公衆衛生学の基本的技術論、方法論を中心として解説し、年齢階層や、社会的機能集団の各次元で、それぞれの特質に合わせた取り組みについて、実践的な視点からの解説も行う。	
	人体の構造	正常な体の形態や構造を学び、理解することは、将来遭遇する医療や研究などの現場において、体の機能やその異常を見極めることや適切にヒトの体を扱うための基礎を私たちに提供してくれる。本講義では、系統解剖学の体系に沿って、主として肉眼解剖学レベルの知見を中心に体の各器官系を構成する器官の形態や位置、その機能的意義などについて解説する。	
	人体の機能	ヒトをはじめとする多くの生物は、特定の機能を担う器官で構成されている。しかし、これら器官は独立して機能するのではなく一つのシステムとして調和のとれた活動を行うことで個体の生命活動を行っている。生理学は、この生命活動を個々の構成要素が、いつ、どこでどのように働くかを研究し、調和のとれた生命活動を知る学問である。そこで本授業を通じ、ヒトの個体を構成する個々の器官の構造と機能を解説し、生理学の基本知識および生理学的な現象のとらえ方を概説する。	
	病態病理学	病理学とは、生体に起こる病的な状態、すなわち疾病の原因・本態とその成り立ちを解明するもので、医学系の基本的な学問である。疾病はその成り立ちから、先天異常、代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍の五つの病変カテゴリーに分類されるが、それらの病変カテゴリーを学び、疾病を起こす原因とそれぞれの疾病で生じてくる変化やその経過、疾病がたどる転機を総合的にとらえるようにする。	
	疾病学	内科系疾患（消化器、呼吸器、内分泌代謝、腎・泌尿器・アレルギー等の代表的な疾患）の概要について概説する。	
	精神医学概論	精神疾患の症状や状態像を示す用語、画像検査を含む検査法、向精神薬の種類と作用機序、従来診断、DSMによる診断および精神保健福祉法について理解を深める。	
	精神医学各論	精神医学領域における精神疾患（統合失調症、内因性うつ病、双極性障害、パーソナリティ障害、気分性障害、不安障害など）について症状、診断、治療を理解する。	
	緩和医療学	根治不能な進行がんや再発・転移がんでさまざまな苦痛を惹起する。その苦痛には身体的苦痛、心理・精神的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルな苦痛に分類される。この講義ではそれらの苦痛に対して適切なアセスメントと知識の習得を目指し、がん患者にたずさわる医療者が修得すべき緩和医療を学ぶ。	
	救急医療	臨床救急医学の重要性を認識し、医療機関で必要とされる救急医療システムや救急疾患、救急処置、救急症候などを教授する。	
救命救助法	大規模災害時や海、山での事故に備え、救命救助法を身につけておくことは、保健学部に通学する者の責務である。本実習では東京消防庁の救助隊の活動を実際に見てこれらの活動の実際と救急救助体制などについて学ぶとともに、救命救助法の技能を修得する。最終試験に合格した者には、東京消防庁より「上級救命技能認定証」が交付される。		

看護学・精神科リハビリテーション学系	看護学	援助を必要とする対象とその家族への看護を学習する。看護の必要とする対象の理解、看護の定義や理念、チーム医療における看護の役割を学ぶ。	
	精神看護学（精神科リハビリテーション学を含む）	精神の危機状況と回復過程への看護およびリハビリテーションを学ぶ。精神疾患を抱える人とその家族への看護過程やリハビリテーション過程の基礎知識を修得するとともに、当事者の送る地域生活や取り囲む環境への理解も深める。様々な自己理解の技術を学び、実際の技法の活用方法を修得する。	
	精神看護学演習（精神科リハビリテーション学を含む）	精神疾患を抱える当事者の事例を用いて、精神科看護や精神科リハビリテーションに必要なアセスメントやプラン等の実際を学ぶ。さらに精神科の看護やリハビリテーションで行われる技術を、演習し習得する。これらを精神看護学（精神科リハビリテーション学を含む）の講義と連動させて個人およびグループによる演習を行う。	
心理学基礎分野	心理学概論	人の心を理解するための学問である心理学とはどのような学問なのか、心理学の全体像を理解することを目的とする。本講義では以降の基礎分野・発展分野の講義を学ぶ上で前提となる基本的知識を学び、主に基礎心理学領域（知覚・認知・学習・記憶・発達・社会等）を扱う。	
	心理学研究法	人の心という形のないものをどのように研究すればよいのかについて、心理学の代表的な研究方法に触れながら学ぶ。本講義では、科学的研究の基本的な方法論に基づき心を研究対象とすることの難しさにふれつつ、実験法、質問紙法、面接法、観察法、検査法といった心と行動を明らかにする方法について理解する。	
	心理学統計法	心理学をはじめ人間科学・医療分野の実証的研究を行う上で必要とされる基本的な統計的知識、データ整理法、統計的分析法を学ぶ。本講義では統計学一般の考え方について触れた後、記述統計、推測統計といった集団データを扱う手法を統計ソフトを用いながら学んでいく。	
	心理学基礎実験Ⅰ	心理学では、目に見えない心を捉え、測定するために様々な実証的手法が用いられている。本講義では、実験法や質問紙法といった、主に基礎心理学で用いられることの多い研究方法・技術について、初歩的な実験などの体験を通じて習得することを目指す。さらに、実験結果を科学的形式に従ったレポートにまとめる知識・技術も学ぶ。	
	心理学基礎実験Ⅱ	本講義では、心理学で用いられる研究法のうち「心理学基礎実験実習Ⅰ」で学んだものからより発展的・応用的な方法を習得することを目指す。心理学実験における統制や測定についての理解を深め、具体的なデータを用いてデータの整理や記述の仕方を整理する。また、観察法や調査法といった技法も実習を通じて理解を深めていく。	
	心理検査演習	「心理学研究法」で学んだ代表的方法のうち、臨床的技法である心理検査法について体験的に学ぶ。臨床現場で実際に用いられる心理検査は信頼性や妥当性といった科学的検討を経て作成されており、その実施には習熟と高度の倫理的配慮が求められる。本講義では、実際に実施できるようになる前の下地として、知能検査や投影法などの代表的な心理検査に実際に触れながら、検査の種類や目的、実施方法、解釈方法、実施倫理などを広く学ぶことを目的とする。	
	心理面接演習	「心理学研究法」で学んだ代表的方法のうち、発展的・臨床的技法である面接法について体験的に習得することを目指す。基本的面接技術のワークやロールプレイといった臨床的面接の体験的学習を行ってだけでなく、調査的面接の考え方や実施方法についても学ぶ。	

心理学発展分野	基礎心理学関連	神経心理学	神経心理学という名称は生理心理学とよく似ている名称だが、近年認知神経科学とも呼ばれる領域で、健常者や脳損傷者を対象とした研究などに基づき、人の高次機能を支える神経機構を明らかにしようとするものである。本講義では、情報の認知から行動に至る人の高次機能を神経心理学的観点から理解するのに必要な基本的知識や考え方を学ぶことを目的とする。	
		認知心理学	20世紀中頃から発展してきた認知心理学は、現在基礎心理学の中核を担い、その研究領域も幅広いものになってきている。本講義では、記憶、学習、思考、言語といった比較的高次の過程に焦点を当てつつ認知心理学の重要テーマについて学んでいく。	
		知覚心理学	心の入口である感覚・知覚系を通して我々は周囲の世界の状態を知ることができる。本講義では心の働きのうち比較的低次のプロセスを扱い、日ごろ何気なく行っている感覚・知覚の働きが複雑な作業であることを、研究によって明らかになった知見などを通じて学んでいく。	
		生理心理学	生理心理学は精神機能や行動の生物学的基礎を研究する学問領域である。生理心理学では動物とヒトを研究対象とし、近年は生理学にとどまらず薬理学、遺伝子工学的な研究手法も用いられている。本講義では脳と心の関係を実験的に研究する生理心理学の基本的知識を学ぶ。	
	発達・教育心理学関連	発達心理学	人は生涯を通して変化・成長を続けるという「生涯発達」という視点をもつことが必要である。人間の生物学的な成長の過程と年齢的な時期に応じて、社会・文化からの要求が異なる。適応の過程を踏まえ、生涯の過程に即して、乳幼児期・児童期・青年期から成人期、老年期に至るまでの各発達段階の心的、社会的、身体的な発達について学ぶ。	
		教育心理学	学校や家庭での教育・訓育活動、児童生徒の学習や活動及びその相互作用の結果として生じる子どもの精神発達、人格形成などに、心理学の方法で接近し、研究する上での基礎的知識を学ぶ。	
		乳幼児心理学	主に出生から青年期前期までの子どもの心理、およびそれに関連する生理・身体機能の研究に関する基礎的知見を学ぶ。また基本的信頼感や、愛着、情動調律など乳幼児期の重要な発達課題とそれらに関わる養育環境に着目し、乳幼児期から青年期前期までに生じやすい心の問題についても学ぶ。	
		学校心理学	学校教育現場において心理教育的援助サービスの充実を図るための学問である学校心理学の理論と実践を学ぶ。アセスメント、カウンセリング、コンサルテーション、コーディネーションなどの援助方法に関する基礎的概念を習得すると共に、援助サービスとしての学校教育組織づくりや連携などを踏まえてスクールカウンセラーや学校心理士などの活動につながる視点を学ぶ。	
	社会・青年心理学関連	社会心理学	社会環境に置かれた個人の経験や行動を、その環境条件や諸特性との関連に基づき理解し説明しようとする社会科学の理論と手法について学ぶ。その対象は個人レベルから大集団レベルまでさまざまであり、質問紙法、観察法、フィールド調査、事例研究などの手法が用いられる。また対人認知や同調行動、社会的整合性理論他、などの基礎的理論を理解する。	
		集団心理学	心理学において二人以上の人々によって構成される集合体を集団という。集団表象や集団心など「集団にも心がある」と考えられ、集団はさまざまな視点から分析研究されている。(家族や友人集団のような一次集団、コミュニティや社会のような二次集団、フォーマル、インフォーマル集団など) 集団についての知見を踏まえた上で、応用として集団療法(グループアプローチ)などの心理療法にも言及する。	
		青年心理学	青年期は生物—心理—社会的に子どもから大人に移行する時期であり、大学生はその只中にある。①青年期の心理的特徴、②青年期の人格形成過程、③移行期ゆえに生じる様々な問題、について、自らと向き合いながらその意義を理解することを目的とする。更に、自らのキャリア発達について考える機会を提供し、社会人として働くことを巡る心理学的トピックについても取り扱っていく。	
		家族心理学	家族関係を研究対象とする心理学である。家族を理解するための理論や家族ライフサイクルについて学ぶ。さらに家族の機能不全により問題状況に対して援助する手法として家族療法をふまえ、システムズアプローチの考え方を身につける。	

心理学発展分野	臨床心理学関連	臨床心理学概論	臨床心理学は、心理的問題の解決や改善を支援する実践活動と、その活動を保証するための理論と研究によって構成されている学問である。病理の治療を目的とするだけでなく、心理的問題の解決や改善を援助する独自の援助専門職である。その成り立ちを踏まえると共に、生物-心理-社会モデルに基づいた援助実践に対する基礎的理念を概観する。	
		発達臨床心理学	臨床実践において、対象がどのライフサイクルに位置づけられるかという発達の視点とともに、どのような臨床実践の場で臨床活動を行っているかという視点は、見立てにおいて重要である。実践活動のコミュニティの特徴を理解すると共にそのフィールド特有のメリット、デメリットを考える。また将来臨床実践を行うためのキャリアパスを考えるために必要な知識を習得する。	
		カウンセリング	専門的相談援助行為の手法であるカウンセリングについてその理論と技法を学ぶ。ロジャースの来談者中心療法等の手法により、クライアントが実生活の問題や悩みに主体的に取り組んでいけるよう導く。更にクライアントが自らに向き合うことにより、新しい理解や洞察に自発的にたどりつける為にカウンセラーがどのように関わるのかを理解し習得する。	
		認知行動療法	行動科学的原理の応用により、生活の困難につながる振る舞いや受けとめ方、感情や衝動のコントロールに一貫した変容をもたらすことを目指す精神療法である。現在帰属療法、マインドフルネス、弁証法的行動療法、EMDRなどの広がりを見せている。認知行動療法の基本的理論を概観すると共に適応症例を含む臨床的実践について学ぶ。	
		人格心理学	人格の構造、機能、特性、評価などに関する理論や研究について学ぶ。パーソナリティがどのように発達し、文化・環境的要因によりどのような影響をうけるかなど、パーソナリティについて様々な角度から考えていく。	
	臨床心理学関連	心理検査法	人間の心の科学的考察において、知能や心理特性や発達などを科学的客観的に測定する心理査定について学ぶ。知能検査（田中・ビネー式、WAIS他）、人格検査（質問紙法、Y-G、MMPIなど）、投映法（ロールシャッハ法、SCT、TAT）などの主要な心理検査について学ぶ。またテストバッテリーにおけるテストの選択や、テストの利用の留意点なども合わせて理解する。	
		心理療法	心理療法では、精神医学領域の知識を踏まえ、クライアントが抱える様々な精神疾患や心身症、精神心理的問題、不適応行動などに適応的な変容を図ることを目的とする応用、発展としての理論や技法を身につける。（力動的精神療法、行動療法他）	
		医療心理学	医療の領域において、臨床心理学では臨床心理査定業務、臨床心理面接、臨床心理的地域援助を行ってきた。医療の場として、精神・神経科領域、心療内科領域、リハビリテーション領域、小児科領域などの多くの医療機関でどのように協働し、どのような専門性を提供できるかを考える。	
		障害者心理学	障害の種別（感覚障害、身体障害、知的障害、行動障害など）を理解すると共に、心理学的特性、発達上の特性、医学、教育の支援と配慮について学ぶ。さらに医学、生理学、心理学、教育学の立場から、学習障害、注意欠陥・多動性障害、自閉症スペクトラム障害などの発達障害などへの理解を深めることを目的とする。	

心理学発展分野	隣接領域	社会福祉学	一人の人間を総合的に支える、保健、医療、福祉の「連携」をひとつのキーワードにしながら、社会保障や社会福祉の制度に関する知識や素養を身につけていく。	
		学校教育学	子どもの現代的な健康課題を知り、学校教育活動としての学校保健の概念・意義を理解し、その枠組みである保健管理、保健教育、および円滑に推進する組織活動、そこに関わる人や組織が担う役割について学ぶ。	
		児童福祉学	社会の子育て家庭へのさまざまな支援が児童家庭福祉の重要な課題となっている。児童家庭福祉の理念や意義、子どもの成長・発達や子どもを取り巻く社会的背景や課題、児童家庭福祉サービスのあり方、法体系や実施体制など、子ども家庭を援助するための基本的な知識を習得する。	
		高齢者福祉学	現代の高齢者福祉は、法・制度を抜きにはできない。まず生活環境問題について触れ、これらを踏まえ、複雑かつ、めまぐるしく変化してきた法律・制度の創設背景と法改正趣旨をわかりやすく説明し、現行制度の位置づけが理解できるよう展開する。また、援助の具体的な理解が深まるよう資料映像や事例などを用いて高齢者の生活と制度を関連付けられるよう進める。	
		高齢保健学	わが国は人類未達の超高齢社会に向かって進んでいる。高齢期にいかにか活力を維持するかについて個人、国レベルを問わず重大な課題である。本授業では高齢者の多様な心身の問題について取り上げ、予防や対応について学習する。	
		医療福祉学	保健医療サービスをソーシャルワークの視点から学ぶ。人生の質を高められるようなサービスの活用を理解し、保健医療サービスを支える制度について医療法を基本として理解していく。また、医療機関のなかでの協働や地域での連携のあり方、ソーシャルワーカーの役割、ソーシャルワーカー自身の根拠に基づいた専門性を身につけるための方法も学ぶ。	
		公的扶助学	「子どもの貧困」「女性の貧困」「ワーキングプア」など現代的課題として、貧困問題がある。現代の貧困問題について、社会的状況を踏まえながら説明し、「貧困」や「低所得」と呼ばれる問題について理解を深める。	
		障害者福祉学	現代の社会福祉において障害は身体障害、知的障害、精神障害、発達障害の四つに分類される。これら四つの障害を理解するには、それぞれの根拠法を正確に理解することが重要である、本講義で基本的な関係法規を理解するとともに、障害者一人ひとりがいかなるニーズをもって生活しているのかを学習する。	
社会福祉政策学	社会福祉政策を社会における福祉資源分配の基本方針として考え、人間が福祉を達成するために必要な福祉資源の開発および分配形態の種類やその特徴について理解を深める。			

心理実践実習分野	心理実践職能学	臨床心理専門職の職務、責任、倫理、関連行政といった実践に必須のテーマについての基本的理解を得る。	
	心理実践基礎実習Ⅰ	1年生を対象として、精神病院、精神科などの医療スタッフと共に、こころの病を抱えた人たちを理解し、病院や施設での生活を体験する。	
	心理実践基実習Ⅱ	2年生を対象として、1年生の実習を踏まえて更に深いかかわりを持つ形で、精神病院、精神科などの病棟や施設における精神疾患の患者について、病気の理解、治療法の理解を深める。	
	心理実践実習Ⅰ	3年生において、医療、福祉、教育、司法、矯正、産業等の領域における見学・体験実習を行う。	
	心理実践実習Ⅱ	4年生において、精神科外来において精神科医の指示の基に陪席、予診等を行い、精神科医の診断・治療について理解を深める。	
総合領域	臨床心理学総合講義	これまでの臨床分野の知識や、人間関係についての視点の集大成として位置づける。社会人として活躍するにあたり、医療・福祉・産業・教育分野における固有の留意点や問題点を含めた心得を学ぶ。更に人間関係を築く上で、全分野に通底するコミュニケーション能力や人間力の向上を目的として、臨床心理学的視点を通して総括的に習得することを目的とする。	
	臨床心理学特別講義Ⅰ	本講義の枠を使って適宜必要かつ重要なテーマについて取り上げる。	
	臨床心理学特別講義Ⅱ	本講義の枠を使って現代臨床心理学において話題性の高いテーマについて適宜取り上げる。	
	特別演習Ⅰ	本講義の枠を使って適宜必要かつ重要なテーマについて演習を行う。	
	特別演習Ⅱ	本講義の枠を使って現代臨床心理学において話題性の高いテーマについて適宜取り上げる。	
	インターンシップ	産業、福祉領域における就業体験を行う。将来のキャリアを考える機会の一つと位置づけ、自分自身の適正を知ると共に、社会・企業に対する理解の向上、職業観、就労意識の醸成を通じて問題意識を持ち、人間的成長を得ることを目的とする。	
	ボランティア活動	ボランティア活動には（１）自主・自発、（２）公益・公共、（３）無償・無給、（４）創造・開拓などの基本的な原則がある。これらの原則に則ったボランティア活動を通して、社会の多様性や社会性を学び自己成長につなげる。また、異なった多様な視点から物事を捉え、考えることができるよう視野を広げる。	
	基礎ゼミ	卒業研究に取り組む前に、どのようなことに興味があり、どのように学んでいくかという研究のより基本的なことを学ぶことを目的とする。	
卒業研究	各担当教員の専門領域についてより深く学ぶためにコースに分かれて探究する。卒業論文を書くために問題意識をもち、先行研究を学び、論文としてまとめるまでを目的とする。		

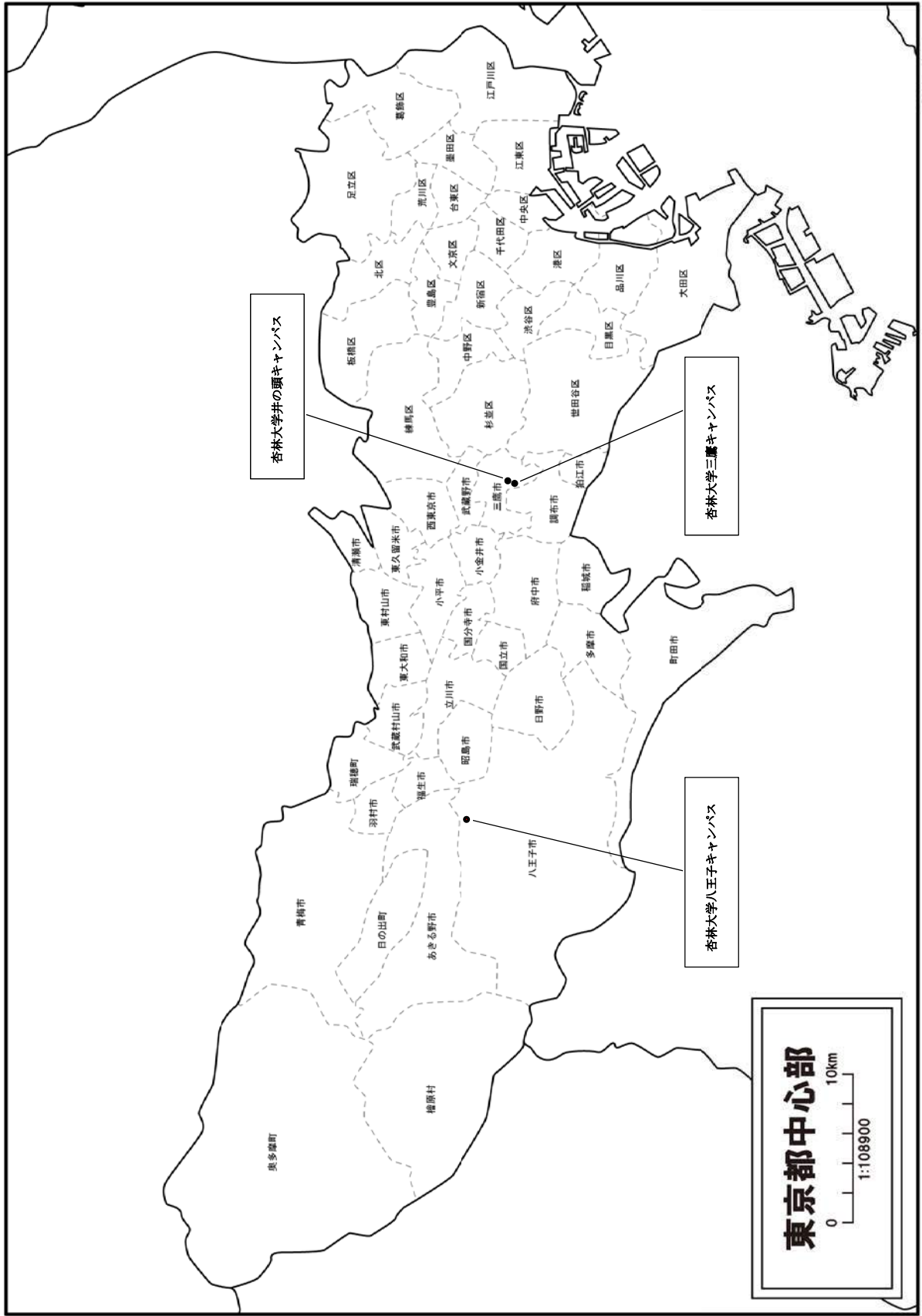
(注)

- 1 開設する授業科目の数に応じ、適宜枠の数を増やして記入すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。

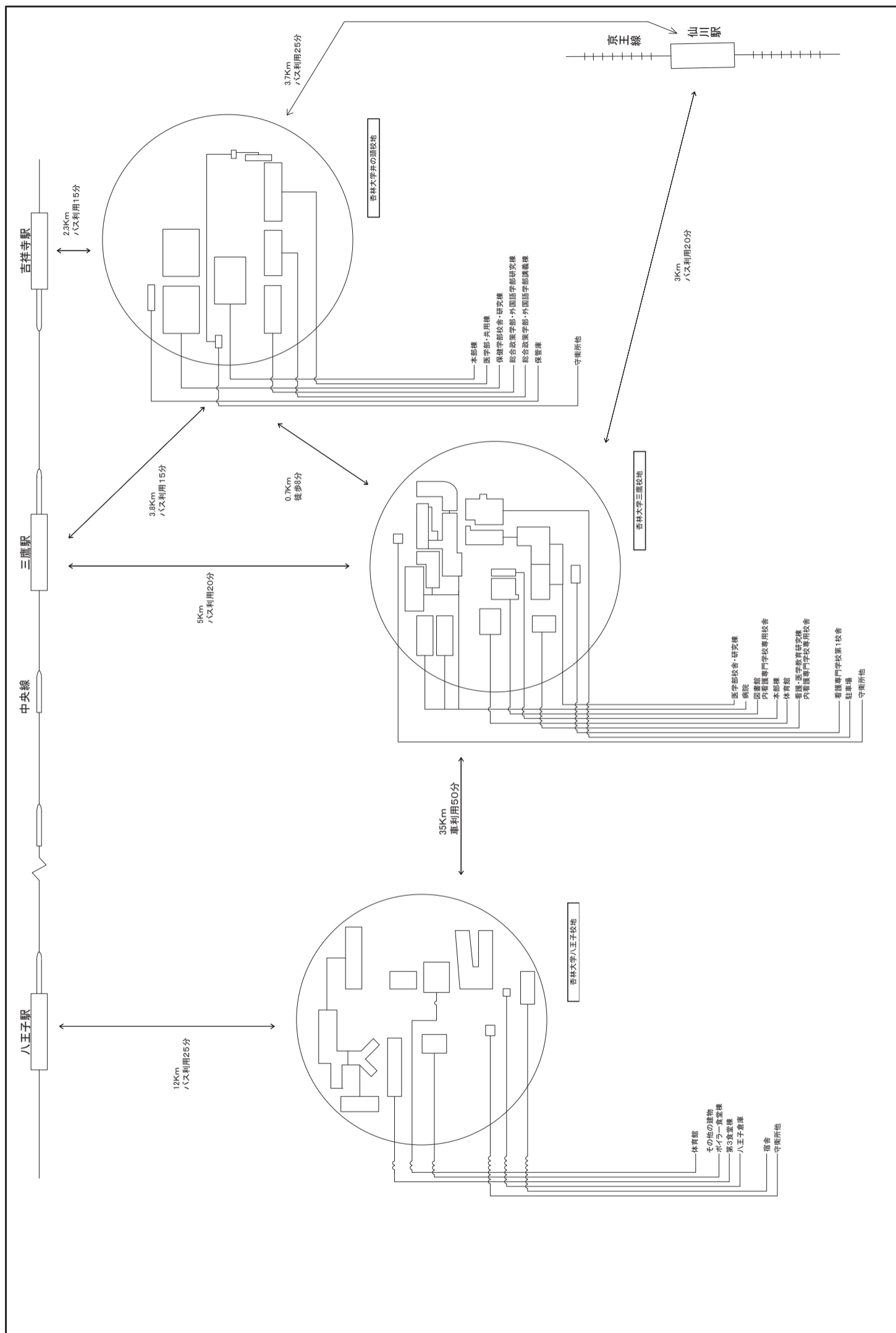
学校法人杏林学園 届出設置に関わる組織の移行表

平成29年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	→	平成30年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更事由	
杏林大学					杏林大学					
医学部					医学部					
医学科	117	-	702		医学科	117	-	702		
保健学部					保健学部					
臨床検査技術学科	120	-	480		臨床検査技術学科	120	-	480		
健康福祉学科	50	-	200		健康福祉学科	50	-	200		
看護学科	150	-	600		看護学科	150	-	600		
看護学専攻	100	-	400		看護学専攻	100	-	400		
看護養護教育学専攻	50	-	200		看護養護教育学専攻	50	-	200		
臨床工学科	60	-	240		臨床工学科	60	-	240		
救急救命学科	50	-	200		救急救命学科	50	-	200		
理学療法学科	56	-	224		理学療法学科	56	-	224		
作業療法学科	54	-	216		作業療法学科	54	-	216		
診療放射線技術学科	66	-	264		診療放射線技術学科	66	-	264		
					臨床心理学科	80	-	320	学科の設置 収容定員増(H29.6 認可申請中)	
外国語学部					外国語学部					
英語学科	130	3年次 4	528		英語学科	130	3年次 4	528		
中国語学科	30	3年次 5	130		中国語学科	30	3年次 5	130		
観光交流文化学科	90	3年次 3	366		観光交流文化学科	90	3年次 3	366		
総合政策学部					総合政策学部					
総合政策学科	130	3年次 3	526		総合政策学科	150	3年次 3	606	定員変更(H29.3 認可申請中)	
企業経営学科	70	3年次 3	286		企業経営学科	80	3年次 3	326	定員変更(H29.3 認可申請中)	
計	1323	3年次 18	5562		計	1433	3年次 18	6002		
杏林大学大学院					杏林大学大学院					
医学研究科					医学研究科					
(博士課程)	34	-	136		(博士課程)	34	-	136		
保健学研究科					保健学研究科					
保健学専攻					保健学専攻					
(博士前期課程)	7	-	14		(博士前期課程)	7	-	14		
看護学専攻					看護学専攻					
(博士前期課程)	7	-	14		(博士前期課程)	7	-	14		
保健学専攻					保健学専攻					
(博士後期課程)	4	-	12		(博士後期課程)	4	-	12		
看護学専攻					看護学専攻					
(博士後期課程)	2	-	6		(博士後期課程)	2	-	6		
国際協力研究科					国際協力研究科					
国際開発専攻					国際開発専攻					
(博士前期課程)	10	-	20		(博士前期課程)	10	-	20		
国際文化交流専攻					国際文化交流専攻					
(博士前期課程)	10	-	20		(博士前期課程)	10	-	20		
国際医療協力専攻					国際医療協力専攻					
(博士前期課程)	6	-	12		(博士前期課程)	6	-	12		
国際言語コミュニケーション専攻					国際言語コミュニケーション専攻					
(博士前期課程)	14	-	28		(博士前期課程)	14	-	28		
開発問題専攻					開発問題専攻					
(博士後期課程)	10	-	30		(博士後期課程)	10	-	30		
計	104		292		計	104		292		

都道府県内における位置関係を示す図面

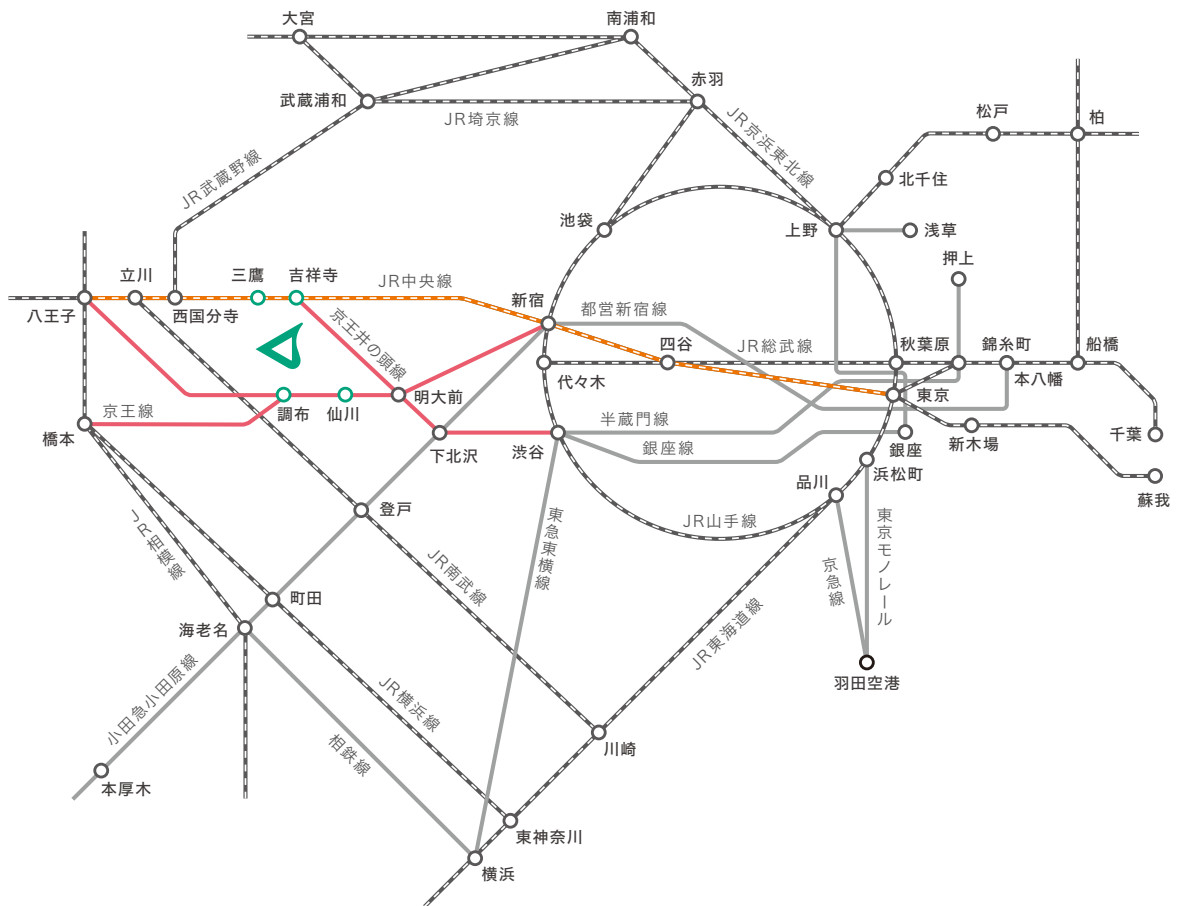


校地間の距離、移動時間、交通手段



BY TRAIN

最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面

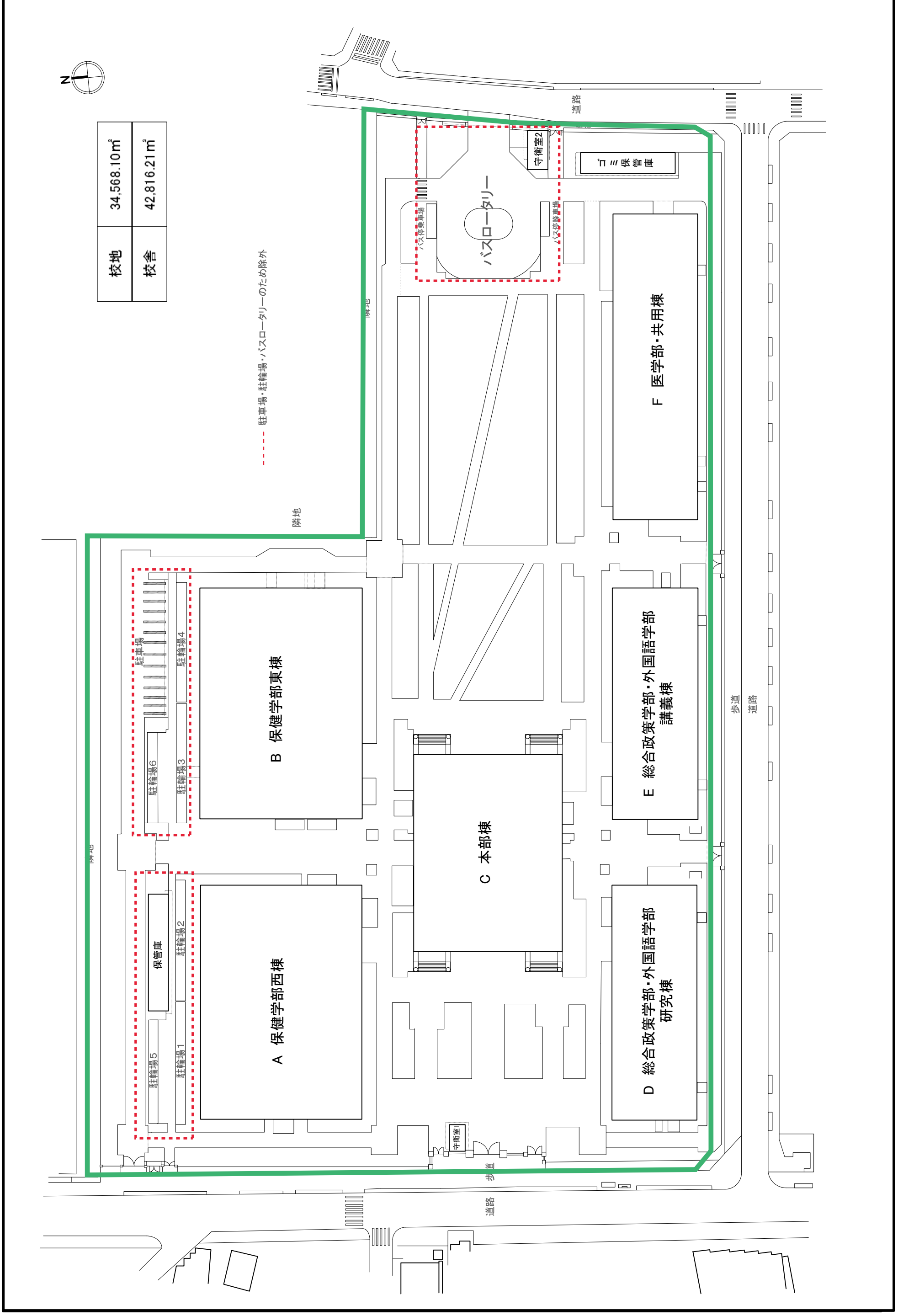


 <http://www.kyorin-u.ac.jp>

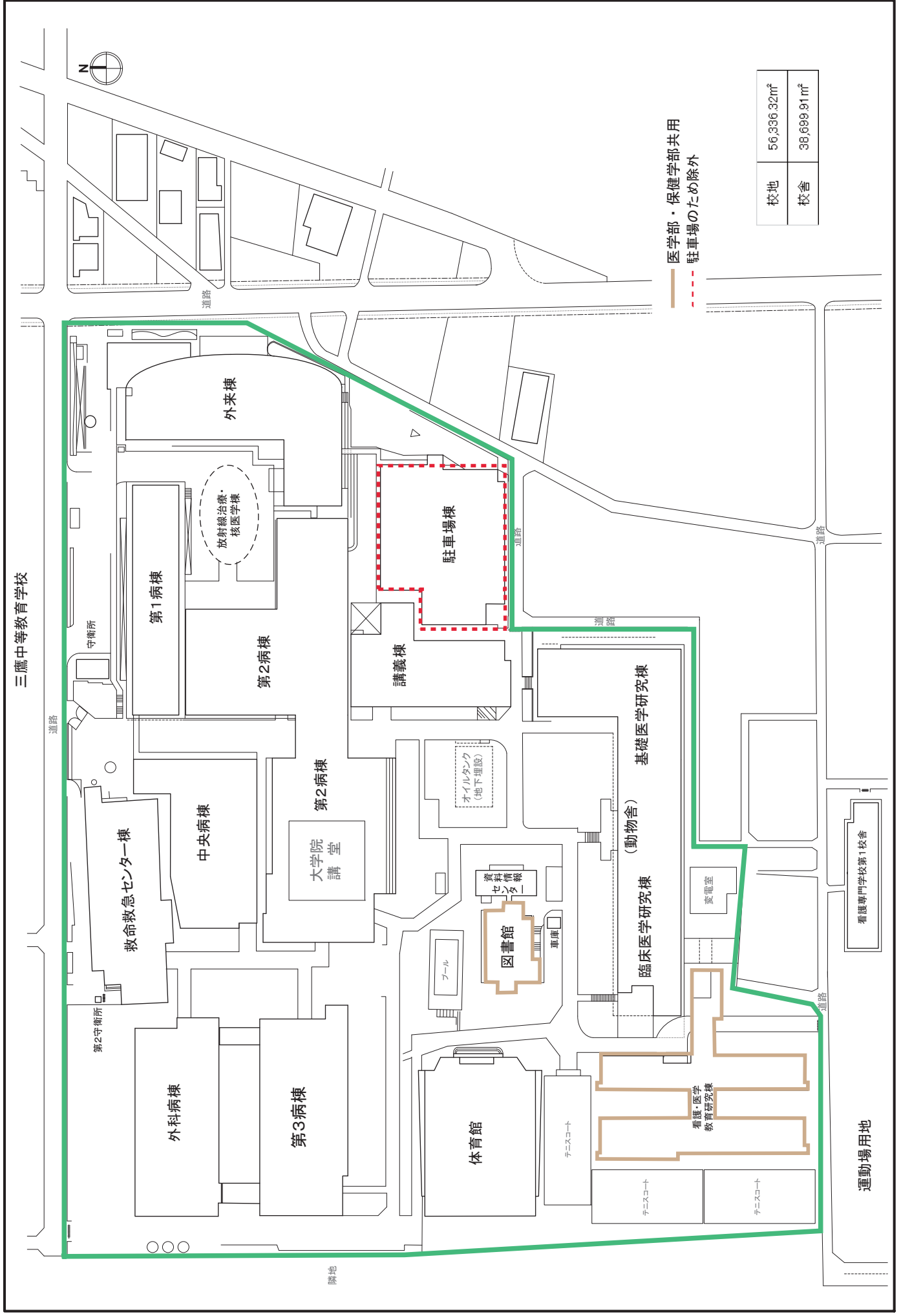
 杏林大学 Kyorin University

 @kyorin_univ

井の頭キャンパス 校舎及び運動場等の配置図



三鷹キャンパス 校舎及び運動場等の配置図



○杏林大学学則（案）

制定	昭和45年	3月17日		
改正	昭和49年	4月23日	昭和50年	8月11日
	昭和52年	11月17日	昭和53年	12月25日
	昭和54年	10月25日	昭和57年	4月1日
	昭和59年	4月1日	昭和60年	1月9日
	昭和61年	4月1日	昭和63年	4月1日
	平成2年	12月21日	平成3年	9月25日
	平成4年	9月21日	平成6年	1月24日
	平成7年	7月3日	平成8年	10月23日
	平成9年	3月28日	平成9年	5月30日
	平成10年	3月27日	平成10年	12月11日
	平成11年	2月15日	平成11年	6月21日
	平成11年	9月20日	平成11年	12月10日
	平成12年	6月19日	平成12年	9月18日
	平成13年	5月30日	平成14年	2月26日
	平成14年	7月15日	平成14年	9月13日
	平成14年	12月6日	平成15年	2月17日
	平成15年	9月8日	平成15年	12月5日
	平成16年	5月28日	平成17年	5月27日
	平成17年	7月25日	平成17年	10月26日
	平成18年	3月29日	平成18年	12月8日
	平成19年	3月29日	平成19年	12月7日
	平成20年	5月29日	平成20年	9月8日
	平成20年	10月20日	平成21年	3月26日
	平成21年	5月29日	平成21年	10月26日
	平成21年	12月3日	平成22年	5月28日
	平成22年	10月27日	平成22年	12月3日
	平成23年	5月27日	平成23年	9月12日
	平成23年	12月2日	平成24年	3月30日
	平成24年	5月25日	平成24年	12月7日
	平成25年	5月24日	平成26年	2月17日
	平成26年	7月28日	平成26年	9月8日
	平成27年	3月27日	平成27年	5月29日
	平成27年	10月19日	平成28年	3月25日
	平成28年	5月27日	平成29年	3月24日
	平成29年	5月26日		

第1章 目的、使命及び自己評価等

（目的）

第1条 本学は、教育基本法及び学校教育法に則り、かつ建学の精神に基づいて、崇高な人類愛と高度の科学精神を基盤とするすぐれた人材の育成を目的とし、もって広く人類の福祉に貢献することを使命とする。

（自己評価等）

第1条の2 本学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項の点検及び評価の項目並びにその実施体制については、別に定める。

第3類（杏林大学学則）

- 3 本学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、その職員に必要な知識及び技能を修得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修の機会を設けることその他必要な取組を行うものとする。

第2章 学部、大学院等

（学部、学科）

第2条 本学に次の学部及び学科を置く。

医 学 部 医学科

保 健 学 部 臨床検査技術学科、健康福祉学科、看護学科（看護学専攻、看護養護教育学専攻）、臨床工学科、救急救命学科、理学療法学科、作業療法学科及び診療放射線技術学科

総合政策学部 総合政策学科及び企業経営学科

外 国 語 学 部 英語学科、中国語学科及び観光交流文化学科

（学部又は学科の目的）

第2条の2 学部又は学科ごとの人材の養成その他の教育研究上の目的については、次のとおりとする。

- 2 医学部は、豊かな人間性の涵養と、医学の発展に対応しうる基礎的及び専門的知識の修得と臨床的技能の修練を通じて、良き医師を養成することを目的とする。
- 3 保健学部
- (1) 臨床検査技術学科は、保健及び医療に携わる者として高い倫理観と、強い使命感を持ち、臨床検査に対する卓越した専門知識と技術、総合的な判断力を持つ人材を養成することを目的とする。
- (2) 健康福祉学科は、保健、医療、福祉、養護及び保育の専門知識と技術をもち、高い倫理観と情熱をもって人の健康と生活の支援を実践する人材を養成することを目的とする。
- (3) 看護学科看護学専攻は、看護を必要とする様々な人々に対して対処できるよう、的確な問題解決能力と技術をもち、人への思いやりを有し、高い倫理観を持ち、かつリーダーシップを発揮できる人材を養成することを目的とし、看護養護教育学専攻は、健康増進の実現に寄与しうる創造力と実践力を有し、特に国の将来を担う子どもたちの成長過程において、指導力を発揮できる人材を養成することを目的とする。
- (4) 臨床工学科は、生命維持管理装置の操作運用に関する医用生体工学の分野で、その専門的知識と技術を活かし、高い倫理観と使命感を持った実践的な臨床工学技士を養成することを目的とする。
- (5) 救急救命学科は、高い倫理観を持ち、救急救命の最前線で求められる迅速かつ的確な状況判断能力と傷病者の状況観察に基づく適切な処置技術を有する人材を養成することを目的とする。
- (6) 理学療法学科は、医療人としての倫理観に裏付けされた豊かな人間性と理学療法に関する高度な知識、技術を備え、障害の機能回復だけでなく、地域医療や福祉の場における健康の維持増進など幅広い領域において貢献できる人材を養成す

第3類（杏林大学学則）

ることを目的とする。

- (7) 作業療法学科は、豊かな人間性と倫理観を備え、心身に障害をもつ人々の QOL（生活の質）の維持・向上を支援するために必要な、科学的根拠に基づいた作業療法に関する幅広い専門知識と技術を身につけた人材を育成することを目的とする。
- (8) 診療放射線技術学科では、診療放射線技術分野における高い専門性と確かな技術力を身につけ、豊かな人間性と高い倫理観を併せ持つ、将来にわたって医療に貢献できる人材を養成することを目的とする。

4 総合政策学部

- (1) 総合政策学科は、社会をマクロの視点から捉え、政治、経済、法律、国際関係、福祉の各専門分野を総合的かつ学際的に学ぶことにより、グローバル社会における様々な問題を多面的に把握分析し、実践的に解決するための知識と能力を備えた人材を養成することを目的とする。
- (2) 企業経営学科は、企業活動というミクロの視点に立ち、経営及び会計の各専門分野における知識の修得はもとより他の関連分野にも通曉し、グローバル社会において企業が求める幅広い知識と実務遂行のための能力、技能を備えた人材を養成することを目的とする。

5 外国語学部

- (1) 英語学科は、異文化の垣根を越えて相互に理解し共存できる人間性そのものを陶冶し、実践的な英語運用能力の開発を通じて、実社会の中で必要な専門的知識を備えた国際的な職業人を養成することを目的とする。
- (2) 中国語学科は、社会のニーズに対応できる実践的な中国語運用能力を開発し、高度な知見と技能の修得により、日中間の交流を担う、中国語の高度なコミュニケーション能力を具備した人材を養成することを目的とする。
- (3) 観光交流文化学科は、観光産業の現場における有益な人材を輩出するため、充分な外国語運用能力に基づいたコミュニケーション力を修得した上で、正しい異文化理解、さらには産業の現状把握を通じて「ホスピタリティ」を学習し、実践的に応用できる人材を養成することを目的とする。

（学生定員）

第3条 学生定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	3年次編 入学定員	収容定員
医 学 部	医 学 科	117 名	—	702 名
保 健 学 部	臨 床 検 査 技 術 学 科	120 名	—	480 名
	健 康 福 祉 学 科	50 名	—	200 名
	看 護 学 科	150 名	—	600 名

第3類（杏林大学学則）

	(看護学専攻)	(100名)	(-)	(400名)
	(看護養護教育学専攻)	(50名)	(-)	(200名)
	臨床工学科	60名	-	240名
	救急救命学科	50名	-	200名
	理学療法学科	56名	-	224名
	作業療法学科	54名	-	216名
	診療放射線技術学科	66名	-	264名
総合政策学部	総合政策学科	130名	3名	526名
	企業経営学科	70名	3名	286名
外国語学部	英語学科	130名	4名	528名
	中国語学科	30名	5名	130名
	観光交流文化学科	90名	3名	366名

(大学院)

第4条 本学に大学院を置く。

2 大学院学則は別に定める。

(付属施設)

第5条 本学に付属図書館、付属図書館分館、医学部付属病院、医学部付属看護専門学校、入学センター、キャリアサポートセンター、国際交流センター、学生支援センター、三鷹保健センター、井の頭保健センター、研究推進センター、地域交流推進室及び高大接続推進室を置く。これらに関する規程は別に定める。

第3章 教職員組織

(教員組織)

第6条 本学に学園長、学長、副学長、付属病院長、付属図書館長、付属図書分館長、医学部付属看護専門学校長、入学センター長、キャリアサポートセンター長、国際交流センター長、学生支援センター長、三鷹保健センター長、井の頭保健センター長、研究推進センター長、地域交流推進室長及び高大接続推進室長を置く。

2 各学部に学部長、教務部長及び学生部長を置く。

3 事務組織については、別に定める。

第7条 本学に教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技術職員その他の職員を置く。

2 本学に客員教員又は特任教員を置くことができる。

3 教職員は専任、兼任及び兼任に区分する。

4 教職員の定員、資格、任免、勤務等に関しては、別に定める。

第3類（杏林大学学則）

（学園長の任務）

第8条 学園長は、学園が設置する教育機関の教学に関する事項を総理し、教学面の諸式を司る。

（学長の任務）

第9条 学長は、本学並びに本学付属教育機関の教育及び研究に関する事項を統括する。

（副学長の任務）

第10条 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

2 副学長は、学長に事故があり学園長の指名を受けたときは、学長の任務を代行する。

（学部長の任務）

第11条 学部長は、当該学部の校務を掌理し、所属教職員を指揮監督して、教育及び研究の責に任ずる。

第4章 教授会

（教授会）

第12条 各学部に教授会を置く。

2 各学部の教授会（以下「各教授会」という。）は、それぞれの学部長が招集しその議長となる。

3 各教授会は、それぞれの学部の専任教授をもって組織する。

4 各教授会は、必要に応じ准教授その他の教職員の意見を聴くことができる。

5 各教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

（1）学生の入学、卒業及び課程の修了

（2）学位の授与

（3）第1号及び第2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

6 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる次の事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

（1）教育に関する事項

（2）教員人事に関する事項

（3）学生に関する事項

（4）研究に関する事項

（5）その他各号に関連し、学長等が必要と認めた事項

7 前項第2号の事項中教授の選考に関する事項の審議については、別に定める教授選考委員会において予め審議するものとする。

8 学園長、学長、副学長は各教授会に出席し意見を述べることができる。

9 教授会運営に関する細則は、別に定める。

（大学評議会）

第3類（杏林大学学則）

第12条の2 本学に杏林大学評議会（以下「評議会」という。）を置く。

- 2 評議会は、学長が招集しその議長となる。
- 3 評議会は、次に掲げる評議会委員（以下「委員」という。）をもって組織する。
 - (1) 学園長
 - (2) 学長
 - (3) 副学長
 - (4) 学部長
 - (5) 附属図書館長
 - (6) 各教授会構成員の中から教授会により選任された者、各2名
- 4 前項6号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の途中で委員の交替のあったときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 評議会は、必要に応じ委員以外の者を会議に出席させ、その意見を聴くことができる。
- 6 評議会においては、次の事項を審議し議決する。
 - (1) 学則及びこれに基づく諸規程の制定、改廃並びにこれらの解釈に関する事項
 - (2) 大学の自己評価に関する事項
 - (3) その他大学全般の教学に関し、学長が必要と認める事項
- 7 評議会運営に関する規程は別に定める。

第5章 学年、学期及び休業日

(学年)

第13条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。ただし、秋入学者は9月15日に始まり、翌年9月14日に終る。

(学期)

第14条 学年を分けて前期又は春学期、後期又は秋学期の2学期とする。

- 2 前項の学期の呼称及び期間は、各学部において定める。

(休業日)

第15条 休業日は次のとおりとする。ただし、第4号から第6号の休業期間の始期及び終期は、年度ごとに学長が定める。

- (1) 日曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日
 - (3) 杏林学園創立記念日 11月11日
 - (4) 春季休業
 - (5) 夏季休業
 - (6) 冬季休業
- 2 学長は、必要により臨時に休業日を設け、又は休業日を授業日に変更することができる。

第6章 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第16条 修業年限は次のとおりとする。

第3類（杏林大学学則）

医学部	6年
保健学部	4年
総合政策学部	4年
外国語学部	4年

2 3年次に総合政策学部及び外国語学部に編入学した者は、2年とする。

（在学年限）

第17条 卒業までの在学年限は、原則として各学部とも前条の修業年限の2倍を超えることができない。ただし、医学部においては、同一学年の在学年限を2年以内とする。

第7章 入学

（入学の時期）

第18条 入学の時期は、学年の始めとする。

（入学資格）

第19条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- （1）高等学校を卒業した者若しくは中等教育学校を卒業した者
- （2）通常の課程における12年の学校教育を修了した者
- （3）外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- （4）専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- （5）文部科学大臣の指定した者
- （6）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- （7）高等学校卒業程度認定試験規則により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験（旧大学入学資格検定）に合格した者
- （8）本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

（入学志願）

第20条 入学を志願する者は、所定の入学願書に別に定める入学検定料を添えて、提出しなければならない。

（入学手続）

第21条 入学選考試験に合格した者は、所定の期日までに所定の入学料その他の学納金を添えて、誓約書を提出しなければならない。

2 入学選考試験合格の通知を受け、前項の手続を完了した者は、入学を許可する。

（転入学）

第22条 次の各号の一に該当する者で、本学への転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、選考の上、相当年次に転入学を許可することがある。

- （1）大学を卒業した者又は退学した者

第3類（杏林大学学則）

（2）他の大学に在学している者

（編入学）

第22条の2 短期大学、高等専門学校を卒業した者及び第19条の各号の一に該当しその後専修学校の専門課程を卒業し文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者又はその他法令で定めるところにより資格があるとされている者は、選考の上、相当年次に編入学を許可する。

（転入学、編入学の入学志願等）

第22条の3 転入学、編入学の志願及び入学手続きについては、第20条及び第21条の規定を準用する。

（単位の認定等）

第22条の4 転入学、編入学又は再入学を許可された者の修得した単位の認定及び修業年限について、当該学部教授会にて審議する。

第8章 教育課程、履修方法、授業期間、授業の方法、単位の計算方法等

（教育課程の編成及び履修方法）

第23条 教育課程は各授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目に分け、これを各年次に配当して編成する。ただし、履修方法の細部については、各学部において定める。

（教育課程）

第23条の2 授業科目の種類並びにその単位数は、次に定めるとおりとする。

医 学 部 別表1

保 健 学 部 別表2

総合政策学部 別表3

外国語学部 別表4

（1年間の授業期間）

第24条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

（各授業科目の授業期間）

第24条の2 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合は、この限りではない。

（授業の方法）

第25条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 本学は、文部科学大臣が別に定めるところ（平成13年文部科学省告示第51号）により、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 本学は、第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても同様とする。

第3類（杏林大学学則）

4 本学は、文部科学大臣が別に定めるところ（平成15年文部科学省告示第43号）により、第1項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

（単位の計算方法）

第26条 授業科目の単位の計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、毎週1時間から2時間15週の授業をもって1単位とする。
 - (2) 実験、実習及び実技については、毎週2時間から3時間15週の授業をもって1単位とする。
 - (3) 授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合の単位数を計算するに当たっては、その組み合わせに応じ、前各号に規定する基準を考慮して各学部が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

（単位の授与）

第26条の2 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。ただし、第26条第2項の授業科目については、論文審査等の適切な方法により学修の成果を評価して所定の単位を与える。

（試験及び進級の認定）

第27条 試験は各授業科目ごとに行う。

- 2 試験は、口頭又は筆記により行う。ただし、科目の性質によりあらかじめ定めたものについては、他の方法によることができる。
- 3 試験の成績は、S（90点以上～100点）、A（80点以上～90点未満）、B（70点以上～80点未満）、C（60点以上～70点未満）、D（60点未満）の5種とし、SABCを合格、Dを不合格とする。合格した授業科目については所定の単位を与える。
- 4 進級の認定については、各学部の学修規程又は履修規程に定める。

（他の大学又は短期大学における授業科目の履修等）

第27条の2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、学生が、外国の大学又は短期大学に留学する場合、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するもの（平成16年文部科学省告示第176号）の当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

第3類（杏林大学学則）

（大学以外の教育施設等における学修）

第27条の3 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修、その他文部科学大臣が定める学修（平成3年文部省告示第68号）を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は、第27条の2第1項及び第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

（入学前の既修得単位等の認定）

第27条の4 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学入学前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本学入学後に本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学入学前に行った第27条の3第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、本学の定めるところにより単位を与えることができる。
- 3 前項及び前々項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第27条の2第1項（同条第2項において準用する場合を含む。）及び第27条の3第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

（成績評価基準等の明示等）

第27条の5 本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

- 2 本学は、学生に対して、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

（教育内容等の改善のための組織的研修等）

第27条の6 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

（単位互換）

第28条 単位の互換に関する規程は別に定める。

第29条 削除

第9章 休学、転学、留学、退学等

（休学）

第30条 疾病その他やむを得ない事由のため、3か月以上修学できないときは、学長に願い出て休学することができる。この場合その事由が病気であるときは、医師の診断書を添付しなければならない。

- 2 休学の期間は、1年を超えることはできない。ただし、特にやむを得ない事情が

第3類（杏林大学学則）

あると認められるときは、さらに1年を限り延長することがある。

第31条 疾病のため修学することが適当でないと認められる者に対しては、学長は当該学部長の申請により休学を命ずることができる。

（復学）

第32条 休学の期間中であっても、その事由が消滅したときは、当該学部長を経て、学長に願い出て復学することができる。この場合、休学の事由が病気である場合には、本学付属病院の医師の診断書を添付しなければならない。

第33条 休学の期間は、第16条の修業年限及び第17条の在学年限に算入しない。

2 休学の期間は、通算して3年を超えることはできない。

（転学・転学部等）

第34条 本学から他の大学に転学しようとする者は、理由書を添えて、当該学部長を経て学長に願い出て、許可を得なければならない。

2 本学内で他学部の学科又は同一学部内の他学科へ転学部又は転学科を志願した者は選考の上、これを許可することがある。転学部又は転学科した者の在学年数には、元の学部学科の在学年数の全部又は一部を通算することができる。

（留学）

第35条 本学は在学中に外国の大学等に留学することを認める。

2 留学に関する事項については、杏林大学学生国際交流規程に定める。

（退学）

第36条 疾病その他の事由により、退学しようとする者は、理由書を添え、保証人連署のうえ当該学部長を経て学長に願い出て、許可を受けなければならない。この場合、退学の事由が疾病によるときは、医師の診断書を添付しなければならない。ただし、死亡の場合は、死亡診断書等の確認により、死亡した日をもって退学とする。

（再入学）

第37条 前条により退学した者で、2年以内に退学の事由が消滅し、再び入学を願う者があるときは、学長は当該学部長の申請により、相当年次に再入学を認めることができる。

（除籍）

第38条 次の各号の一に該当する者は、当該教授会の議を経て学長がこれを除籍する。

- (1) 故なくして、3ヵ月以上授業料その他の学納金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (2) 第30条第2項に定める休学期間を超えて、なお修学できない者
- (3) 第17条に定める在学年限を超える者
- (4) 行方不明で失踪の届出があった者

第10章 卒業

（卒業の要件）

第39条 医学部においては、別表1-1の適用を受ける者は、6年以上在学し255

第3類（杏林大学学則）

単位を修得しなければならない。別表1-2の適用を受ける者は、6年以上在学し252単位を修得しなければならない。別表1-3の適用を受ける者は、6年以上在学し252単位を修得しなければならない。別表1-4の適用を受ける者は、6年以上在学し249単位を修得しなければならない。別表1-5の適用を受ける者は、6年以上在学し205単位を修得しなければならない。

- 2 保健学部臨床検査技術学科、健康福祉学科、臨床工学科及び救急救命学科においては4年以上在学し124単位以上を、看護学科及び診療放射線技術学科においては4年以上在学し133単位以上を、理学療法学科及び作業療法学科においては4年以上在学し125単位以上を修得しなければならない。
- 3 総合政策学部においては、4年以上在学し124単位以上を修得しなければならない。
- 4 外国語学部においては、4年以上在学し124単位以上を修得しなければならない。
- 5 各学部とも自由科目については、その履修により修得した単位は卒業の単位に算入しない。
- 6 本学の学生が、その所属する学科以外の学科（一学部に二学科以上の場合）、又は本学他学部の設置する授業科目のうち、在学する学部・学科に設置されていない授業科目については、関係学部長の許可を受けて履修することができる。
- 7 前項により修得した単位は、卒業に必要な単位として認定することができる。

（卒業の認定）

第40条 前条に定める卒業の要件をみたした者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

（学位）

第41条 卒業の認定をうけた者に次に定める学士の学位を授与する。

医学部	学士（医学）
保健学部	
臨床検査技術学科	学士（保健衛生学）
健康福祉学科	学士（保健衛生学）
看護学科	学士（看護学）
臨床工学科	学士（臨床工学）
救急救命学科	学士（救急救命学）
理学療法学科	学士（理学療法学）
作業療法学科	学士（作業療法学）
診療放射線技術学科	学士（診療放射線学）
総合政策学部	
総合政策学科	学士（総合政策学）
企業経営学科	学士（企業経営学）
外国語学部	
英語学科	学士（文学）

第3類（杏林大学学則）

中国語学科 学士（中国語コミュニケーション学）

観光交流文化学科 学士（観光交流文化学）

（教育職員免許状）

第41条の2 本学に教職課程を置く。

2 教職に関する専門科目の種類及び単位数は、別表5-1のとおりとする。

（教育職員免許取得に必要な科目及び単位数）

第41条の3 教育職員免許を得ようとする者は、別に定める本学教職課程履修に関する規程及び教育職員免許法並びに同法施行規則の定めるところに従い、それぞれ所定の科目及び単位を修得しなければならない。

（免許状の種類及び履修学部・学科）

第41条の4 前条に規定する単位を修得することによって得られる免許状の種類並びに履修する学部・学科は次のとおりとする。

履修する学部・学科	免許状の種類	
保健学部健康福祉学科	養護教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	養護 保健 保健
保健学部看護学科	養護教諭一種免許状	養護
総合政策学部総合政策学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民
総合政策学部企業経営学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民 商業
外国語学部英語学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英語 英語

第11章 賞罰

（表彰）

第42条 学業その他が特にすぐれ、他の学生の範となる者があるときは、学長は教授会の議を経て、適当な方法でこれを表彰することができる。

（懲戒）

第43条 本学の建学精神、教育方針に違背し、又は学生としての本分に反した行為をした者は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

2 前項の懲戒は、その軽重に応じ、譴責、停学及び退学とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

- (1) 性行不良で、改善の見込みのないと認められる者
- (2) 学力劣等で、成業の見込みがないと認められた者
- (3) 正当の理由がなくて、出席常でない者

第3類（杏林大学学則）

（4）本学の定める諸規程に反し、又は学内の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第12章 委託学生、聴講生、科目等履修生及び外国人留学生

（委託学生）

第44条 公共又は民間の諸機関等から、委託学生の受入れについて申し入れがあったときは、欠員があり、教育上支障のない限り教授会の議を経て受入れることができる。

2 委託学生には本学則を準用する。ただし、委託学生として在学した期間及びその修得単位は、第39条に定める在学期間及び単位として換算することはできない。

（聴講生）

第45条 本学学生にあらざる者で、本学の授業科目の一部を聴講することを希望する者があるときは、教育研究上支障のない限り、聴講生としてこれを許すことができる。

2 聴講生となることが出来る者は、聴講する科目を理解するに足る学力があると教授会が認めた者に限るものとする。

3 聴講生には本学則を準用する。ただし、聴講生として在学した期間は、第39条に定める在学期間に通算しない。また、単位は授与しない。

（科目等履修生）

第46条 本学学生にあらざる者で本学の授業科目の一部を履修することを希望する者がいるときは、教育研究上支障のない限り、科目等履修生としてこれを許可することができる。

2 科目等履修生となることが出来る者は、履修する科目を理解するに足る学力があると教授会が認めた者に限るものとする。

3 科目等履修生には本学則を準用する。

4 本学科目等履修生として単位を修得した後に本学に入学した場合、当該単位の修得により当該学部の教育課程の一部を履修したと当該学部が認めたときは、その単位数等に応じて、相当期間を当該学部の修業年限の2分の1を超えない範囲で第39条に定める在学期間として通算することができる。

5 科目等履修生には第26条の2の定めにより履修した科目の単位を授与する。

（外国人留学生）

第47条 外国人であって、本学学生としての教育を受けることを希望する者があるときは、外国人留学生として入学させることができる。

2 外国人留学生の入学者選抜に関しては、必要ある場合は日本語の能力に関する試験を加える。

第13章 学納金

（入学検定料、入学料等の納入）

第48条 本学に入学を志願する者は、別に定める入学検定料を納入しなければならない。

2 入学選考試験に合格した者は、別表6-1及び別表6-2に定める入学料、授業

第3類（杏林大学学則）

料その他の学納金を納入しなければならない。

- 3 前項の納入金の納入時期、納入方法等必要な事項は、別に定める。

（授業料等の納入）

第49条 本学学生は別表6-1及び別表6-2に定める授業料等その他の学納金を納入しなければならない。

- 2 前項の納入金の納入時期、納入方法等必要な事項は、別に定める。
- 3 休学又は停学中であっても、授業料等は徴収する。ただし、休学の期間が6か月以上にわたる者の授業料その他の学納金については別に定めるところにより、減免することがある。
- 4 海外留学する場合、本学に納入すべき費用については別に定める。
- 5 除籍の場合における授業料は、その納期に属する分はこれを徴収する。
- 6 授業料、実験実習費・施設設備費等を所定の期日までに納入しない者には、授業への出席、図書閲覧、その他施設の利用を認めない。

第50条 入学料、授業料その他既納の学納金は、如何なる理由があってもこれを還付しない。

第14章 名誉学長・名誉教授

（名誉学長）

第51条 本学は、名誉学長の称号を与えることができる。

- 2 名誉学長の詳細については、別に定める。

（名誉教授）

第52条 本学は、名誉教授の称号を与えることができる。

- 2 名誉教授の詳細については、別に定める。

第15章 雑則

（改正）

第53条 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、改正事項が単一の学部に係る場合は当該学部の教授会に、2つ以上の学部に関連する場合は、関連する学部の教授会に諮り、教授会構成員の3分の2以上が出席し出席者の3分の2以上の賛成を得たうえ、評議会及び理事会の承認を得なければならない。

附 則

- 1 本学則は、昭和45年 4月 1日から施行する。
- 2 この学則を改正しようとするときは、教授の3分の2以上が出席した医学部教授会において、出席者の3分の2以上の賛成を得なければならない。
- 3 前項の学則の改正については、理事会の承認を要するものとする。

附 則

本学則は、昭和49年 4月26日から施行する。

附 則

第3類（杏林大学学則）

本学則は、昭和51年 4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和53年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、昭和54年 4月 1日から施行する。
- 2 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、両学部に関連する事項については、各学部の教授会に、医学部に関連する事項については、医学部教授会に、保健学部に関連する事項については、保健学部教授会に諮り、それぞれの賛成を得なければならない。各学部教授会は、所定の構成員たる教授の3分の2以上が出席し、出席者の3分の2以上の賛成をもって議決する。

附 則

- 1 本学則は、昭和55年 4月1日から施行する。
- 2 第3条の規定に拘らず保健学部の総定員は、次のとおりとする。

学科	年度	54年度	55年度	56年度	57年度以降
	臨床検査技術学科		50名	100名	150名
保健学科		50名	100名	150名	200名

附 則

本学則は、昭和57年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、昭和59年 4月 1日から施行する。
- 2 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、改正事項が単一の学部に係る場合は当該学部の教授会に、2つ以上の学部に関連する場合は関連する学部の教授会に諮り、教授会構成員の3分の2以上が出席し、出席者の3分の2以上の賛成をもって議決するものとする。

附 則

本学則は、昭和60年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和61年 4月 1日から施行する。ただし、第3条の規定にかかわらず、昭和61年度から昭和74年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員
医 学 部	医 学 科	100名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	50名
	保 健 学 科	50名
社会科学部	社 会 学 科	300名

附 則

- 1 本学則は、昭和63年 4月 1日から施行する。ただし、別表2-2（第24条関連）の適用については次の各号による。

第3類（杏林大学学則）

- (1) 昭和60年度入学生については適用しない。
- (2) 昭和61年度入学生については、臨床検査技師、衛生検査技師に関する法律施行令第12条第3号の規定に基づく指定科目に限りこの表の該当科目を適用する。
- (3) 昭和62年度入学生については、この表を適用する。

附 則

本学則は、平成3年4月1日から施行する。ただし、第3条の規定にかかわらず、平成3年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員
医 学 部	医 学 科	90名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	65名
	保 健 学 科	65名
社 会 科 学 部	社 会 科 学 科	330名
外 国 語 学 部	英 米 語 学 科	160名
	中 国 語 学 科	70名
	日 本 語 学 科	70名

附 則

- 1 本学則は、平成3年10月1日から施行する。
- 2 学則第24条別表3は、平成4年4月1日在籍の学生から適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成5年4月1日から施行する。
- 2 別表1-2は平成5年度入学生から適用する。
- 3 平成4年度以前の入学生は別表1-1を適用する。ただし、平成5年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成4年度以前の入学生は別表1-2を適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成6年4月1日から施行する。
- 2 別表1-2は平成6年度入学生から適用する。
- 3 平成5年度の別表1-2の適用者は、平成6年度の別表1-2に読みかえる。
- 4 別表1-1の時間数は、別表1-2の同名科目単位数を時間数に換算して読みかえる。
- 5 別表1-1を適用する学生に別表1-2で開講する科目を受講させることができるものとする。ただし、その履修により修得した単位は、卒業の単位に算入しない。
- 6 保健学部臨床検査技術学科及び保健学科において、平成6年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成5年度以前の入学生は、保健学部履修規程に定める授業科目対応表により、別表2-2の授業科目を受講するものとする。ただし、単位認定については、別表2-1A及び2-1Bの授業科目で行う。
- 7 この学則を改正しようとするときは、杏林学園運営審議会の議を経たうえ、改正事項が単一の学部に係る場合は当該学部の教授会に、2つ以上の学部に関連する場合は、関連する学部の教授会に諮り、教授会構成員の3分の2以上が出席し出席者

第3類（杏林大学学則）

の3分の2以上の賛成を得たうえ、評議会の承認を得なければならない。

附 則

- 1 本学則は、平成 8年 4月 1日から施行する。
- 2 別表2-3及び別表6-2は平成8年度入学生から適用する。
- 3 保健学部臨床検査技術学科、保健学科及び看護学科において、平成8年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成6年度及び平成7年度の入学生は保健学部履修規程に定める授業科目対応表により、別表2-3の授業科目を受講するものとする。ただし、単位認定については、別表2-2の授業科目で行う。

附 則

本学則は、平成 9年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成10年 4月 1日から施行する。ただし、第3条の規定にかかわらず、平成10年度から平成11年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員
医 学 部	医 学 科	90名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	65名
	保 健 学 科	65名
	看 護 学 科	80名
社会科学部	社 会 学 科	330名
外国語学部	英 米 語 学 科	160名
	中 国 語 学 科	70名
	日 本 語 学 科	100名

附 則

- 1 本学則は、平成11年 4月 1日から施行する。
- 2 別表2-3は平成11年度入学生から適用する。
- 3 保健学部臨床検査技術学科、保健学科及び看護学科において、平成11年度以降の入学生の学年進行に組み入れる平成6年度から平成10年度までの入学生は保健学部履修規程に定める授業科目対応表により別表2-3の授業科目を受講するものとする。ただし、単位認定については、平成6年度及び平成7年度入学生は、別表2-1の授業科目で行い、平成8年度から平成10年度までの入学生は別表2-2の授業科目で行う。

附 則

- 1 本学則は、平成11年 7月 1日から施行する。
- 2 第48条第1項は、平成12年度入学志願者から適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成12年 4月 1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの間の入学定員

第3類（杏林大学学則）

は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員				
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
医 学 部	医 学 科	90名	90名	90名	90名	90名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	55名	55名	55名	55名	55名
	保 健 学 科	55名	55名	55名	55名	55名
	看 護 学 科	80名	80名	80名	80名	80名
社会科学部	社 会 学 科	330名	330名	330名	310名	290名
外国語学部	英 米 語 学 科	160名	160名	160名	160名	160名
	中 国 語 学 科	70名	50名	50名	50名	50名
	日 本 語 学 科	100名	100名	80名	80名	80名

3 別表1-1は、削除する。

4 別表1-4は、平成12年度入学生から適用する。

5 平成8年度以前の入学生は、別表1-2、及び平成11年度以前の入学生は、別表1-3を適用する。ただし平成12年度以降の学年進行に組み入れる平成11年度以前の入学生は、別表1-4を適用する。

附 則

1 本学則は、平成13年 4月 1日から施行する。ただし、第6条の規定は、平成12年 7月 1日から施行する。

2 第2条の規定にかかわらず、平成13年 3月31日までに外国語学部英米語学科、中国語学科及び日本語学科に在籍する学生は、改正前の学則を適用するものとする。

3 第3条の規定にかかわらず、平成13年度から平成16年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員			
		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
医 学 部	医 学 科	90名	90名	90名	90名
保 健 学 部	臨床検査技術学科	55名	55名	55名	55名
	保 健 学 科	55名	55名	55名	55名
	看 護 学 科	80名	80名	80名	80名
社会科学部	社 会 学 科	330名	330名	310名	290名
外国語学部	外 国 語 学 科	310名	290名	290名	290名

附 則

第3類（杏林大学学則）

本学則は、平成13年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成14年 4月 1日から施行する。
- 2 第2条の規定にかかわらず、平成14年 3月31日までに社会科学部社会科学科に在籍する学生は、平成14年 4月 1日以降、社会科学部社会科学科に在籍する学生の当該学年に、編入若しくは転学部等によって入学する学生についても、改正前の学則を適用するものとする。
- 3 第3条の規定にかかわらず、平成14年度から平成16年度までの間の入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員		
		平成14年度	平成15年度	平成16年度
医 学 部	医 学 科	90名	90名	90名
保 健 学 部	臨 床 検 査 技 術 学 科	55名	55名	55名
	保 健 学 科	55名	55名	55名
	看 護 学 科	80名	80名	80名
総合政策学部	総 合 政 策 学 科	330名	310名	290名
外国語学部	外 国 語 学 科	290名	290名	290名

附 則

本学則は、平成14年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成15年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成14年10月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成16年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成15年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成16年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成16年 4月 1日から施行する。
- 2 第19条第1項第7号の規定は、平成16年度入学生から適用する。
- 3 別表1-3は、平成16年度入学生から適用する。

附 則

本学則は、平成17年 4月 1日から施行する。

附 則

第3類（杏林大学学則）

（施行期日）

- 1 本学則は、平成18年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第2条、第3条、第41条、第41条の3及び第41条の4は、平成18年4月1日以降の入学生に適用し、平成17年10月1日以前の入学生及び平成19年10月1日以前編入学生については、改正前の学則を適用する。なお、第3条に定める総合政策学部企業経営学科及び外国語学部の編入学定員は、平成20年4月1日以降の編入学生から適用する。また、学校図書館司書教諭講習修了証書の取得に関する専門科目の種類及び単位数は、別表5-2のとおりとする。ただし、別表5-2は、平成17年10月1日以前の入学生に適用する。
- 3 この学則による別表2-1保健学科の項中「社会福祉援助技術論Ⅰ」「社会福祉援助技術論Ⅱ」「社会福祉援助技術演習Ⅰ」「社会福祉援助技術演習Ⅱ」「社会福祉援助技術演習Ⅲ」「社会福祉援助技術演習Ⅳ」「社会福祉援助技術演習Ⅴ」「社会福祉援助技術実習」「社会福祉援助技術現場実習指導」については、平成18年4月1日以降の履修者に適用し、平成17年4月1日以前の「社会福祉援助技術Ⅰ」「社会福祉援助技術Ⅱ」「社会福祉援助技術演習」「社会福祉援助技術実習Ⅰ」「社会福祉援助技術実習Ⅱ」の履修者については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成17年 8月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成18年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成18年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成19年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この学則による改正後の第2条、第3条、第39条第2項、第41条、第41条の4及び別表2-2の規定は、平成19年4月1日以降の入学生に適用し、平成18年10月1日以前の入学生並びに平成19年10月1日以前の2年次編入学生及び平成20年10月1日以前の3年次編入学生については、改正前の学則を適用する。なお、第3条に定める編入学定員は、平成20年4月1日以降の2年次編入学生並びに平成21年4月1日以降の3年次編入学生から適用する。
- 3 前項の規定にかかわらず、保健学部臨床工学科については、別表2-1を適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成19年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

第3類（杏林大学学則）

- 2 この学則による改正後の別表4-2の規定は、平成18年4月1日以降の入学生に適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成20年 4月 1日から施行する。
（経過措置）
- 2 この学則による改正後の第2条、第3条及び第41条の規定は、平成20年4月1日以降の入学生に適用し、平成19年10月1日以前の入学生並びに平成21年10月1日以前の編入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成20年 4月 1日から施行する。
（経過措置）
- 2 別表3-2、別表3-3の改正は当該別表に定める入学生より適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成21年 4月 1日から施行する。
（経過措置）
- 2 この学則による改正後の第39条、第41条の4及び別表2-3の規定は、平成21年4月1日以降の入学生に適用し、平成20年10月1日以前の入学生及び平成21年10月1日以前の2年次編入学生並びに平成22年10月1日以前の3年次編入学生については、改正前の学則を適用する。
- 3 前項の規定にかかわらず、保健学部臨床工学科については別表2-1を、救急救命学科については別表2-2を適用する。
- 4 別表3-1、別表5-1-1及び別表6-1は、適用学生が平成20年3月31日付けで卒業したことに伴い、それぞれ削除することとし、以降順次繰り上げ、改正後の別表3-1、別表3-2、別表5-1-1、別表5-1-2、別表5-1-3、別表6-1、別表6-2、別表6-3及び別表6-4は、平成20年4月1日から適用する。

附 則

本学則は、平成21年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成21年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成22年 4月 1日から施行する。
（経過措置）
- 2 この学則による改正後の第2条、第2条の2、第3条及び第41条の規定は、平成22年4月1日以降の入学生に適用し、平成21年10月1日以前の入学生並びに平成23年10月1日以前の編入学生については、改正前の学則を適用する。

第3類（杏林大学学則）

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成22年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 この学則による改正後の別表3-3及び別表5-1-4は、平成22年4月1日以降の入学生に適用し、平成21年10月1日以前の入学生及び平成22年10月1日以前の2年次編入学生並びに平成23年10月1日以前の3年次編入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成22年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成22年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 この学則改正による改正後の別表2-4は、平成22年4月1日以降の入学生から適用し、平成21年4月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成23年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 この学則による改正後の第2条、第2条の2、第3条、第41条、別表2-5及び別表4-5の規定は、平成23年4月1日以降の入学生に適用し、平成22年10月1日以前の入学生並びに平成24年10月1日以前の編入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成23年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成23年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 この学則による改正後の第2条、第2条の2、第3条、第39条、第41条、別表2-5及び別表4-5の規定は、平成23年4月1日以降の入学生に適用し、平成22年10月1日以前の入学生並びに平成24年10月1日以前の編入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成24年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 この学則による改正後の第39条及び別表2-6、別表5-1-5は、平成24

第3類（杏林大学学則）

年4月1日以降の入学生に適用し、平成23年10月1日以前の入学生及び平成24年10月1日以前の2年次編入学生並びに平成25年10月1日以前の3年次編入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成23年10月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成24年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 この学則による改正後の別表1－5は、平成24年4月1日以降の入学生から適用し、平成23年4月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成24年 4月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成25年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成25年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 この学則による改正後の別表1－6は、平成25年4月1日以降の入学生から適用し、平成24年4月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成26年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

1 本学則は、平成26年 4月 1日から施行する。

（経過措置）

2 この学則による改正後の別表1－7は、平成26年4月1日以降の入学生から適用し、平成25年4月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

3 この学則による改正後の別表3－3は、平成26年4月1日以降の入学生に適用し、別表3－2は、平成22年4月1日より平成25年9月15日までの入学生並びに平成24年4月1日より平成27年9月15日以前の編入学生に適用し、別表3－1は、平成18年4月1日より平成21年10月1日以前の入学生並びに平成20年4月1日より平成23年10月1日以前の編入学生に適用する。

4 この学則による改正後の別表4－4は、平成26年4月1日以降の入学生に適用し、平成25年9月15日以前の入学生並びに平成27年9月15日以前の編入学生については、改正前の学則（改正前の別表4－3、4－4、4－5）を適用する。

附 則

（施行期日）

第3類（杏林大学学則）

- 1 本学則は、平成27年 4月 1日から施行する。
（経過措置）
- 2 この学則による改正後の第48条、第49条、別表2-8及び別表6-5は、平成27年4月1日以降の入学生に適用し、平成26年4月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成26年11月 1日から施行する。

附 則

本学則は、平成27年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成28年 4月 1日から施行する。
（経過措置）
- 2 この学則による改正後の第39条及び別表2-8は、平成28年4月1日以降の入学生に適用し、平成27年4月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成28年 4月 1日から施行する。
（経過措置）
- 2 この学則による改正後の別表1-8及び別表2-9は、平成28年4月1日以降の入学生に適用し、平成27年4月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。別表3-4及び別表4-5は、平成28年4月1日以降の入学生に適用し、平成27年9月15日以前の入学生並びに平成29年9月15日以前の編入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

本学則は、平成28年 4月 1日から施行する。

附 則

（施行期日）

- 1 本学則は、平成29年 4月 1日から施行する。
（経過措置）
- 2 この学則による改正後の第2条の2及び別表2-10は、平成29年4月1日以降の入学生から適用し、平成28年4月1日以前の入学生については、改正前の学則を適用する。

附 則

- 1 本学則は、平成29年 4月 1日より施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、平成30年 4月 1日からの入学者は、次のとおりとする。

第3類（杏林大学学則）

学 部	学 科	入学定員	3年次編 入学定員	収容定員
医 学 部	医 学 科	117名	—	702名
保 健 学 部	臨 床 検 査 技 術 学 科	120名	—	480名
	健 康 福 祉 学 科	50名	—	200名
	看 護 学 科	150名	—	600名
	(看護学専攻)	(100名)	(—)	(400名)
	(看護養護教育学専攻)	(50名)	(—)	(200名)
	臨 床 工 学 科	60名	—	240名
	救 急 救 命 学 科	50名	—	200名
	理 学 療 法 学 科	56名	—	224名
	作 業 療 法 学 科	54名	—	216名
診 療 放 射 線 技 術 学 科	66名	—	264名	
総 合 政 策 学 部	総 合 政 策 学 科	150名	3名	606名
	企 業 経 営 学 科	80名	3名	326名
外 国 語 学 部	英 語 学 科	130名	4名	528名
	中 国 語 学 科	30名	5名	130名
	観 光 交 流 文 化 学 科	90名	3名	366名

附 則

(施行期日)

- 1 第2条の規定にかかわらず、平成30年 4月 1日から学部、学科は、次のとおりとする。

(学部、学科)

第2条 本学に次の学部及び学科を置く。

医 学 部 医学科

保 健 学 部 臨床検査技術学科、健康福祉学科、看護学科（看護学専攻、看護養護教育学専攻）、臨床工学科、救急救命学科、理学療法学科、作業療法学科、診療放射線技術学科及び臨床心理学科

総 合 政 策 学 部 総合政策学科及び企業経営学科

外 国 語 学 部 英語学科、中国語学科及び観光交流文化学科

- 2 第2条の2の規定にかかわらず、平成30年 4月 1日から学部又は学科の目的は、次のとおりとする。

(学部又は学科の目的)

第2条の2 学部又は学科ごとの人材の養成その他の教育研究上の目的については、次のとおりとする。

- 2 医学部は、豊かな人間性の涵養と、医学の発展に対応しうる基礎的及び専門的知識の修得と臨床的技能の修練を通じて、良き医師を養成することを目的とする。

- 3 保健学部

- (1) 臨床検査技術学科は、保健及び医療に携わる者として高い倫理観と、強い使命感を持ち、臨床検査に対する卓越した専門知識と技術、総合的な判断力

第3類（杏林大学学則）

を持つ人材を養成することを目的とする。

- (2) 健康福祉学科は、保健、医療、福祉、養護及び保育の専門知識と技術を持ち、高い倫理観と情熱をもって人の健康と生活の支援を実践する人材を養成することを目的とする。
- (3) 看護学科看護学専攻は、看護を必要とする様々な人々に対して対処できるよう、的確な問題解決能力と技術を持ち、人への思いやりを有し、高い倫理観を持ち、かつリーダーシップを発揮できる人材を養成することを目的とし、看護養護教育学専攻は、健康増進の実現に寄与しうる創造力と実践力を有し、特に国の将来を担う子どもたちの成長過程において、指導力を発揮できる人材を養成することを目的とする。
- (4) 臨床工学科は、生命維持管理装置の操作運用に関する医用生体工学の分野で、その専門的知識と技術を活かし、高い倫理観と使命感を持った実践的な臨床工学技士を養成することを目的とする。
- (5) 救急救命学科は、高い倫理観を持ち、救急救命の最前線で求められる迅速かつ的確な状況判断能力と傷病者の状況観察に基づく適切な処置技術を有する人材を養成することを目的とする。
- (6) 理学療法学科は、医療人としての倫理観に裏付けされた豊かな人間性と理学療法に関する高度な知識、技術を備え、障害の機能回復だけでなく、地域医療や福祉の場における健康の維持増進など幅広い領域において貢献できる人材を養成することを目的とする。
- (7) 作業療法学科は、豊かな人間性と倫理観を備え、心身に障害をもつ人々のQOL（生活の質）の維持・向上を支援するために必要な、科学的根拠に基づいた作業療法に関する幅広い専門知識と技術を身につけた人材を育成することを目的とする。
- (8) 診療放射線技術学科では、診療放射線技術分野における高い専門性と確かな技術力を身につけ、豊かな人間性と高い倫理観を併せ持つ、将来にわたって医療に貢献できる人材を養成することを目的とする。
- (9) 臨床心理学科は、豊かな人間性と倫理観を備え、質の高いコミュニケーションを通じて心理的な援助を必要とする人々のQOL(生活の質)の維持・向上を支援するために必要な、科学的根拠に基づいた臨床心理学を基軸とする幅広い心理学の専門知識と技術を身につけた人材を養成することを目的とする。

4 総合政策学部

- (1) 総合政策学科は、社会をマクロの視点から捉え、政治、経済、法律、国際関係、福祉の各専門分野を総合的かつ学際的に学ぶことにより、グローバル社会における様々な問題を多面的に把握分析し、実践的に解決するための知識と能力を備えた人材を養成することを目的とする。
- (2) 企業経営学科は、企業活動というミクロの視点に立ち、経営及び会計の各専門分野における知識の修得はもとより他の関連分野にも通曉し、グローバル社会において企業が求める幅広い知識と実務遂行のための能力、技能を備

第3類（杏林大学学則）

えた人材を養成することを目的とする。

5 外国語学部

- (1) 英語学科は、異文化の垣根を越えて相互に理解し共存できる人間性そのものを陶冶し、実践的な英語運用能力の開発を通じて、実社会の中で必要な専門的知識を備えた国際的な職業人を養成することを目的とする。
- (2) 中国語学科は、社会のニーズに対応できる実践的な中国語運用能力を開発し、高度な知見と技能の修得により、日中間の交流を担う、中国語の高度なコミュニケーション能力を具備した人材を養成することを目的とする。
- (3) 観光交流文化学科は、観光産業の現場における有益な人材を輩出するため、十分な外国語運用能力に基づいたコミュニケーション力を修得した上で、正しい異文化理解、さらには産業の現状把握を通じて「ホスピタリティ」を学習し、実践的に応用できる人材を養成することを目的とする。

3 第3条の規定及び上記附則2の入学定員にかかわらず、平成30年 4月 1日からの入学定員は、下記のとおりとする。

（学生定員）

第3条 学生定員は次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	3年次編 入学定員	収容定員
医 学 部	医 学 科	117名	—	702名
保 健 学 部	臨 床 検 査 技 術 学 科	120名	—	480名
	健 康 福 祉 学 科	50名	—	200名
	看 護 学 科	150名	—	600名
	(看護学専攻)	(100名)	(—)	(400名)
	(看護養護教育学専攻)	(50名)	(—)	(200名)
	臨 床 工 学 科	60名	—	240名
	救 急 救 命 学 科	50名	—	200名
	理 学 療 法 学 科	56名	—	224名
	作 業 療 法 学 科	54名	—	216名
	診 療 放 射 線 技 術 学 科	66名	—	264名
臨 床 心 理 学 科	80名	—	320名	
総 合 政 策 学 部	総 合 政 策 学 科	150名	3名	606名
	企 業 経 営 学 科	80名	3名	326名
外 国 語 学 部	英 語 学 科	130名	4名	528名
	中 国 語 学 科	30名	5名	130名
	観 光 交 流 文 化 学 科	90名	3名	366名

4 第39条の規定にかかわらず、平成30年 4月 1日から卒業の要件は、次のとおりとする。

（卒業の要件）

第39条 医学部においては、別表1-1の適用を受ける者は、6年以上在学し25.5単位を修得しなければならない。別表1-2の適用を受ける者は、6年以上在学し25.2単位を修得しなければならない。別表1-3の適用を受ける者は、

第3類（杏林大学学則）

- 6年以上在学し252単位を修得しなければならない。別表1-4の適用を受ける者は、6年以上在学し249単位を修得しなければならない。別表1-5の適用を受ける者は、6年以上在学し205単位を修得しなければならない。
- 2 保健学部臨床検査技術学科、健康福祉学科、臨床工学科、救急救命学科及び臨床心理学科においては4年以上在学し124単位以上を、看護学科及び診療放射線技術学科においては4年以上在学し133単位以上を、理学療法学科及び作業療法学科においては4年以上在学し125単位以上を修得しなければならない。
 - 3 総合政策学部においては、4年以上在学し124単位以上を修得しなければならない。
 - 4 外国語学部においては、4年以上在学し124単位以上を修得しなければならない。
 - 5 各学部とも自由科目については、その履修により修得した単位は卒業の単位に算入しない。
 - 6 本学の学生が、その所属する学科以外の学科（一学部に二学科以上の場合）、又は本学他学部の設置する授業科目のうち、在学する学部・学科に設置されていない授業科目については、関係学部長の許可を受けて履修することができる。
 - 7 前項により修得した単位は、卒業に必要な単位として認定することができる。
- 5 第41条の規定にかかわらず、平成30年4月1日から学位は、次のとおりとする。

（学位）

第41条 卒業の認定をうけた者に次に定める学士の学位を授与する。

医学部	学士（医学）
保健学部	
臨床検査技術学科	学士（保健衛生学）
健康福祉学科	学士（保健衛生学）
看護学科	学士（看護学）
臨床工学科	学士（臨床工学）
救急救命学科	学士（救急救命学）
理学療法学科	学士（理学療法学）
作業療法学科	学士（作業療法学）
診療放射線技術学科	学士（診療放射線学）
臨床心理学科	学士（臨床心理学）
総合政策学部	
総合政策学科	学士（総合政策学）
企業経営学科	学士（企業経営学）
外国語学部	
英語学科	学士（文学）
中国語学科	学士（中国語コミュニケーション学）
観光交流文化学科	学士（観光交流文化学）

第3類（杏林大学学則）

6 平成30年 4月 1日から別表2-11を追加する。

第3類（杏林大学学則）

別表1-1

医学部授業科目及び単位数

〈平成20年度入学生から適用〉

分野	分科	授 業 科 目	単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
医療と教養	科学と医療	医療科学A	8			
		医療科学B	4			
		医療科学C	3			
		生物学	6			
		生体化学	8			
		医学物理学	8			
		医学統計学	2			
		プレチュートリアル	2			
	外国語	英語A	5			
		英語B	5			
		医学英語A	2			
		医学英語B	1			
		ドイツ語A			5	
		ドイツ語B			5	
		フランス語A			5	
		フランス語B			5	
		中国語A			5	
		中国語B			5	
医学の基礎	人体の構造	肉眼解剖学	8			
		組織解剖学	5			
	人体の機能	分子生物学	6			
		細胞生物学	3			
		代謝生化学A	6			
		代謝生化学B	2			
		生体統御生理学	4			
		細胞生理学	4			
	生と制御	薬理学総論	4			
		病理学総論	3			
		感染と防御	6			

第3類（杏林大学学則）

		熱帯病・寄生虫学	2			
		法医学	2			
		衛生学	4			
		公衆衛生学	5			
臨床統合講義	器官の構造・機能とその異常	臨床医学総論	3			
		神経	5			
		呼吸器	4			
		循環器	4			
		消化器	6			
		腎・尿路	4			
		内分泌・代謝	3			
		血液	3			
		精神	2			
		感覚器	3			
		運動器	2			
		皮膚・形成	2			
		女性医学	2			
		老化	誕生・成長・	妊娠・分娩	2	
発育・小児	2					
老化と老年病	1					
生活習慣病	1					
系統的異常	感染症		2			
	免疫・アレルギー		2			
	腫瘍		1			
	救命と救急医療		2			
		麻酔・全身管理	1			
臨床実習	グループ実習	臨床診断総論	8			
		内科学Ⅰ実習	6			
		内科学Ⅱ実習	4			
		内科学Ⅲ実習	4			
		高齢医学実習	2			
		精神神経科学実習	2			
		小児科学実習	4			
		外科学実習	4			
		小児外科学実習	1			

第3類（杏林大学学則）

	救急医学実習	2			
	脳神経外科学実習	2			
	心臓血管外科学実習	2			
	整形外科実習	2			
	皮膚科学実習	2			
	形成外科学実習	1			
	泌尿器科学実習	2			
	眼科学実習	1			
	耳鼻咽喉科学実習	1			
	産科婦人科学実習	2			
	放射線医学実習	1			
	麻酔科学実習	1			
	臨床検査医学実習	1			
	病理学実習	1			
応用 実習	チュートリアル	2			
	臨床応用実習	6			
	臨床総合演習	16			
計					255単位

第3類（杏林大学学則）

別表1-2

医学部授業科目及び単位数

〈平成24年度入学生から適用〉

分野	分科	授 業 科 目	単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
医療と教養	科学と医療	医療科学A	8			
		医療科学B	3			
		総合医療・地域医療学	1			
		和漢医学概論	1			
		生物学	6			
		生体化学	8			
		医学物理学	8			
		医学統計学	2			
		プレチュートリアル	2			
	外国語	英語A	5			
		英語B	5			
		医学英語A	2			
		医学英語B	1			
		ドイツ語A			5	
		ドイツ語B			5	
		フランス語A			5	
		フランス語B			5	
		中国語A			5	
	中国語B			5		
医学の基礎	人体の構造	肉眼解剖学	8			
		組織解剖学	5			
	人体の機能	分子生物学	6			
		細胞生物学	3			
		代謝生化学A	6			
		代謝生化学B	2			
		生体統御生理学	4			
細胞生理学	4					

第3類（杏林大学学則）

	異常の発生と制御	薬理学	4			
		病理学総論	3			
		感染と防御	6			
		熱帯病・寄生虫学	2			
		法医学	2			
		衛生学	4			
		公衆衛生学	4			
臨床医学講義	臨床医学	臨床医学総論	1			
		呼吸器内科学	2			
		腎臓内科学	2			
		リウマチ膠原病学	1			
		神経内科学	2			
		循環器病学A	3			
		循環器病学B	4			
		血液内科学	2			
		内分泌・代謝内科学	2			
		消化器内科学	3			
		高齢医学	1			
		精神神経科学	2			
		小児科学A	1			
		小児科学B	2			
		外科学総論	1			
		消化器外科学	1			
		呼吸器・甲状腺・乳腺外科学	1			
		小児外科学	1			
		救急医学	2			
		脳神経外科学	1			
		整形外科・リハビリテーション医学	2			
		皮膚科・形成外科学	2			
		泌尿器科学	2			
眼科学	2					
耳鼻咽喉科学	2					
産科婦人科学A	1					
産科婦人科学B	1					
放射線医学	2					

第3類（杏林大学学則）

		麻酔科学	1			
		臨床検査医学・輸血学	1			
		病理学各論A	3			
		病理学各論B	2			
		腫瘍学	1			
		感染症学	2			
		生活習慣病学	1			
臨床実習	グループ実習	臨床診断学	6			
		内科学Ⅰ実習	6			
		内科学Ⅱ実習	4			
		内科学Ⅲ実習	4			
		高齢医学実習	2			
		精神神経科学実習	2			
		小児科学実習	4			
		外科学実習	4			
		小児外科学実習	1			
		救急医学実習	2			
		脳神経外科学実習	2			
		心臓血管外科学実習	2			
		整形外科実習	2			
		皮膚科学実習	2			
		形成外科学実習	1			
		泌尿器科学実習	2			
		眼科学実習	1			
		耳鼻咽喉科学実習	1			
		産科婦人科学実習	2			
		放射線医学実習	1			
	麻酔科学実習	1				
	臨床検査医学実習	1				
	病理学実習	1				
応用実習		チュートリアル	1			
		臨床応用実習	6			
		臨床総合演習	16			
計						252単位

第3類（杏林大学学則）

別表1-3

医学部授業科目及び単位数

〈平成25年度入学生から適用〉

分野	分科	授 業 科 目	単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
医療と教養	科学と医療	医療科学A 医療科学B 総合医療・地域医療学 和漢医学概論 生物学 生体化学 医学物理学 医学統計学 プレチュートリアル	8 3 1 1 6 8 8 2 2			
	外国語	英語A 英語B 医学英語A 医学英語B ドイツ語A ドイツ語B フランス語A フランス語B 中国語A 中国語B	5 5 2 1		5 5 5 5 5 5	
医学の基礎	人体の構造	肉眼解剖学 組織解剖学	8 5			
	人体の機能	分子生物学 細胞生物学 代謝生化学A 代謝生化学B 生体統御生理学 細胞生理学	6 3 6 2 4 4			
	異常の発生と制御	薬理学 病理学総論 感染と防御 熱帯病・寄生虫学 法医学 衛生学 公衆衛生学	4 3 6 2 2 4 4			

第3類（杏林大学学則）

臨床医学講義	臨床医学	臨床医学総論	1		
		呼吸器内科学	2		
		腎臓内科学	2		
		リウマチ膠原病学	1		
		神経内科学	2		
		循環器病学A	3		
		循環器病学B	4		
		血液内科学	2		
		内分泌・代謝内科学	2		
		消化器内科学	3		
		高齢医学	1		
		精神神経科学	2		
		小児科学A	1		
		小児科学B	2		
		外科学総論	1		
		消化器外科学	1		
		呼吸器・甲状腺・乳腺外科学	1		
		小児外科学	1		
		救急医学	2		
		脳神経外科学	1		
		整形外科・リハビリテーション医学	2		
		皮膚科・形成外科学	2		
		泌尿器科学	2		
		眼科学	2		
		耳鼻咽喉科学	2		
		産科婦人科学A	1		
		産科婦人科学B	1		
		放射線医学	2		
		麻酔科学	1		
		臨床検査医学・輸血学	1		
		病理学各論A	3		
病理学各論B	2				
腫瘍学	1				
感染症学	2				
生活習慣病学	1				

第3類（杏林大学学則）

臨床実習	グループ実習	臨床診断学	6			
		呼吸器内科学実習	2			
		腎臓内科・リウマチ膠原病学実習	2			
		神経内科学実習	2			
		循環器病学実習	2			
		血液内科学実習	2			
		内分泌・代謝内科学実習	2			
		消化器内科学実習	2			
		高齢医学実習	2			
		精神神経科学実習	2			
		小児科学実習	4			
		消化器外科学実習	2			
		呼吸器・甲状腺外科学実習	1			
		乳腺外科学実習	1			
		小児外科学実習	1			
		救急医学実習	2			
		脳神経外科学実習	2			
		心臓血管外科学実習	2			
		整形外科実習	2			
		皮膚科学実習	2			
		形成外科学実習	1			
		泌尿器科学実習	2			
		眼科学実習	1			
		耳鼻咽喉科学実習	1			
		産科婦人科学実習	2			
		放射線医学実習	1			
		麻酔科学実習	1			
臨床検査医学実習	1					
病理学実習	1					
応用実習	チュートリアル	1				
	臨床応用実習	6				
	臨床総合演習	16				
計						252単位

第3類（杏林大学学則）

別表1-4

医学部授業科目及び単位数

〈平成26年度入学生から適用〉

分野	分科	授 業 科 目	単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
医療と教養	科学と医療	医療科学A	8			
		医療科学B	3			
		総合医療・地域医療学	1			
		和漢医学概論	1			
		生物学	6			
		生体化学	8			
		医学物理学	8			
		医学統計学	2			
		プレチュートリアル	2			
		外国語	英語・医学英語Ⅰ	5		
	英語・医学英語Ⅱ		2			
	英語・医学英語Ⅲ		2			
	英語・医学英語Ⅳ		1			
	英語・医学英語Ⅴ				1	
	ドイツ語Ⅰ				5	
	ドイツ語Ⅱ				5	
	フランス語Ⅰ				5	
	フランス語Ⅱ				5	
	中国語Ⅰ				5	
	中国語Ⅱ			5		
医学の基礎	人体の構造	肉眼解剖学	8			
		組織解剖学	5			
	人体の機能	分子生物学	6			
		細胞生物学	3			
		代謝生化学A	6			
		代謝生化学B	2			
		生体統御生理学	4			
	細胞生理学	4				
	異常の発生と制御	薬理学	4			
		病理学総論	3			
		感染と防御	6			
		熱帯病・寄生虫学	2			
		法医学	2			
		衛生学	4			
		公衆衛生学	4			

第3類（杏林大学学則）

臨床医学講義	臨床医学	臨床医学総論	1		
		呼吸器内科学	2		
		腎臓内科学	2		
		リウマチ膠原病学	1		
		神経内科学	2		
		循環器病学A	3		
		循環器病学B	4		
		血液内科学	2		
		内分泌・代謝内科学	2		
		消化器内科学	3		
		高齢医学	1		
		精神神経科学	2		
		小児科学A	1		
		小児科学B	2		
		外科学総論	1		
		消化器外科学	1		
		呼吸器・甲状腺・乳腺外科学	1		
		小児外科学	1		
		救急医学	2		
		脳神経外科学	1		
		整形外科・リハビリテーション医学	2		
		皮膚科・形成外科学	2		
		泌尿器科学	2		
		眼科学	2		
		耳鼻咽喉科学	2		
		産科婦人科学A	1		
		産科婦人科学B	1		
		放射線医学	2		
		麻酔科学	1		
		臨床検査医学・輸血学	1		
		病理学各論A	3		
		病理学各論B	2		
腫瘍学	1				
感染症学	2				
生活習慣病学	1				

第3類（杏林大学学則）

臨床実習	グループ実習	臨床診断学	6			
		呼吸器内科学実習	2			
		腎臓内科・リウマチ膠原病学実習	2			
		神経内科学実習	2			
		循環器病学実習	2			
		血液内科学実習	2			
		内分泌・代謝内科学実習	2			
		消化器内科学実習	2			
		高齢医学実習	2			
		精神神経科学実習	2			
		小児科学実習	4			
		消化器外科学実習	2			
		呼吸器・甲状腺外科学実習	1			
		乳腺外科学実習	1			
		小児外科学実習	1			
		救急医学実習	2			
		脳神経外科学実習	2			
		心臓血管外科学実習	2			
		整形外科実習	2			
		皮膚科学実習	2			
		形成外科学実習	1			
		泌尿器科学実習	2			
		眼科学実習	1			
		耳鼻咽喉科学実習	1			
		産科婦人科学実習	2			
		放射線医学実習	1			
		麻酔科学実習	1			
臨床検査医学実習	1					
病理学実習	1					
応用実習	チュートリアル	1				
	臨床応用実習	6				
	臨床総合演習	16				
計					249 単位	

第3類（杏林大学学則）

別表1-5

医学部授業科目及び単位数

〈平成28年度入学生から適用〉

分野	分科	授 業 科 目	単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
医療と 教養	科 学 と 医 療	医療科学A	4			
		医療科学B	2			
		地域と大学	2			
		和漢医学概論	1			
		生物学	4			
		生体化学	4			
		医学物理学	4			
		医学統計学	1			
		プレチュートリアル	2			
	外 国 語	英語・医学英語Ⅰ	2			
		英語・医学英語Ⅱ	2			
		英語・医学英語Ⅲ	2			
		英語・医学英語Ⅳ	1			
		英語・医学英語Ⅴ			1	
		ドイツ語Ⅰ			2	
		ドイツ語Ⅱ			2	
		フランス語Ⅰ			2	
		フランス語Ⅱ			2	
		中国語Ⅰ			2	
中国語Ⅱ			2			
医学の 基礎	構人 造体 の	肉眼解剖学Ⅰ	3			
		肉眼解剖学Ⅱ	3			
		組織解剖学	5			
	人 体 の 機 能	分子生物学	3			
		細胞生物学	2			
		代謝生化学	5			
		統合生理学	4			
		細胞生理学	4			
	異 常 の 発 生 と 制 御	薬理学	4			
		病理学A	3			
		病理学B	1			
		感染症・免疫学	5			
		熱帯病・寄生虫学	2			
法医学		1				
衛生学		2				
公衆衛生学	3					
		臨床医学入門Ⅰ	1			

第3類 (杏林大学学則)

臨床 医学 講義	臨床 医学	臨床医学入門Ⅱ	1		
		臨床医学総論	1		
		呼吸器内科学	1		
		腎臓内科学	1		
		リウマチ膠原病学	1		
		神経内科学・脳卒中医学	2		
		循環器病学A	2		
		循環器病学B	2		
		血液内科学	1		
		内分泌・代謝内科学	2		
		消化器内科学	2		
		高齢医学	1		
		精神神経科学	1		
		小児科学	2		
		消化器外科学	1		
		呼吸器・甲状腺・乳腺外科学	1		
		小児外科学	1		
		救急医学	1		
		脳神経外科学・脳卒中医学	1		
		整形外科・リハビリテーション医学	1		
		皮膚科・形成外科学	1		
		泌尿器科学	1		
		眼科学	1		
		耳鼻咽喉科学	1		
		産科婦人科学	2		
		放射線医学	1		
麻酔科学	1				
臨床検査医学・輸血学	1				
腫瘍学	1				
感染症学	1				
生活習慣病学	1				
臨床診断学	4				
臨床 実習	グ ル ー プ 実 習	呼吸器内科学実習	2		
		腎臓内科・リウマチ膠原病学実習	2		
		神経内科学実習	1		
		脳卒中医学実習	1		
		循環器病学実習	2		
		血液内科学実習	1		
		内分泌・代謝内科学実習	2		
		消化器内科学実習	2		
		腫瘍内科学実習	1		
		高齢医学実習	2		
		精神神経科学実習	2		
		小児科学実習	2		

第3類（杏林大学学則）

	消化器外科学実習	2			
	呼吸器・甲状腺外科学実習	1			
	乳腺外科学実習	1			
	小児外科学実習	1			
	救急医学実習	2			
	救急総合医療学実習	1			
	脳神経外科学実習	1			
	心臓血管外科学実習	1			
	整形外科学・リハビリテーション医学実習	2			
	皮膚科学実習	1			
	形成外科学実習	1			
	泌尿器科学実習	1			
	眼科学実習	1			
	耳鼻咽喉科学実習	1			
	産科婦人科学実習	2			
	放射線医学実習	1			
	麻酔科学実習	1			
	病理学実習	1			
実応 習用	チュートリアル	1			
	臨床応用実習A	1 2			
	臨床応用実習B	1 2			
	臨床総合演習	1 4			
計					205単位

第3類（杏林大学学則）

別表2-1

保健学部学科目構成

（平成19年度入学生から適用）

臨床検査技術学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		10単位以上
心理学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
生命倫理		2		
芸		2		
数学・物理学系				
数学		2		6単位以上
医療情報科学		2		
医療情報処理		2		
医療情報処理演習		2		
基礎物理学		1		
物理学		2		
物理学実験		1		
医用工学概論		2		
医用工学実験		1		
化学系				
基礎化学		1		4単位以上
無機化学		2		
生物有機化学Ⅰ		2		
生物有機化学Ⅱ		2		
化学実験		1		
生物学系				
基礎生物学		1		4単位以上
生命科学概論		2		
細胞生物学		2		
人類遺伝学		2		
生物学実験		1		
言語系				

第3類 (杏林大学学則)

日 本 語 表 現 法		2	10 単位以上
英 語 I		2	
英 語 II		2	
英 語 III		2	
英 語 IV		2	
英 会 話		2	
医 学 英 語		2	
体育学系			
健康スポーツ科学		2	
体育実技 I	2		
基礎医学系			
医学概論	2		
医学検査概論	2		
保健学概論 I	2		
保健学概論 II		2	
公衆衛生学 I	2		
公衆衛生学 II		2	
解剖学 I	2		
解剖学 II		2	
解剖・組織学実験	1		
病理学	2		
病理学実験	1		
生理学 I	2		
生理学 II		2	
生理学実験	1		
生化学 I	2		
生化学 II		2	
生化学実験	1		
血液学	2		
血液学実験	1		
免疫学	2		
免疫学実験	1		
微生物学	2		
微生物学実験	1		
医動物学	2		
遺伝子工学		2	
遺伝子工学実験		1	

第3類 (杏林大学学則)

分子生物学		2	
分子細胞生物学		2	
薬理学		2	
実験動物学		1	
動物実験実習		1	
救命救助法		1	
医学検査系			
生理機能検査学 I	2		
生理機能検査学 II		2	
生理機能検査学実習		2	
画像診断技術		2	
臨床化学検査学 I	2		
臨床化学検査学 II		2	
臨床化学検査学実習		2	放射性同位元素検査技術を含む
放射線概論		2	
染色体学		2	
臨床遺伝学		2	
遺伝子・染色体検査学	2		
遺伝子・染色体検査学実習		1	
病理診断学	2		
病理検査学		2	
病理検査学実習		2	
細胞診断学		2	
細胞診断学実習		1	
血液検査学	2		
血液検査学実習		2	
医動物検査学実習		1	
微生物検査学 I	2		
微生物検査学 II		2	
微生物検査学実習		2	
免疫検査学 I	2		
免疫検査学 II		2	
免疫検査学実習		2	
一般検査学	2		
一般検査学実習		1	
臨床病態学 I		2	
臨床病態学 II		2	

第3類 (杏林大学学則)

検 査 管 理 学		2	
分 析 化 学 I		2	
分 析 化 学 II		2	
分 析 化 学 実 験		1	
専 門 実 験 ・ 実 習 手 法	1		
臨 地 実 習		6	
保健学系			
医 療 福 祉 概 論		2	
国 際 保 健 学		2	
生 活 習 慣 病 論		2	
衛生学系			
産 業 保 健 学		2	
環 境 衛 生 工 学		2	
環 境 化 学		2	
食 品 栄 養 学		2	
食 品 衛 生 学		2	
食 品 製 造 学		2	
職 業 適 性 論		2	
労 働 衛 生 法 規 I		2	
労 働 衛 生 法 規 II		2	
自由専攻			
細 胞 診 断 学 演 習 I		1	
細 胞 診 断 学 演 習 II		1	
細 胞 診 断 学 演 習 III		1	
細 胞 診 断 学 演 習 IV		1	
細 胞 診 断 学 演 習 V		1	
遺 伝 ・ バイオ技術系特別演習 I		1	
遺 伝 ・ バイオ技術系特別演習 II		1	
細 胞 ・ 組 織 ・ 形 態 系 特 別 演 習 I		1	
細 胞 ・ 組 織 ・ 形 態 系 特 別 演 習 II		1	
感 染 症 制 御 系 特 別 演 習 I		1	
感 染 症 制 御 系 特 別 演 習 II		1	
生 殖 ・ 移 植 医 療 系 特 別 演 習 I		1	
生 殖 ・ 移 植 医 療 系 特 別 演 習 II		1	
化 学 系 特 別 演 習 I		1	
化 学 系 特 別 演 習 II		1	
生 理 機 能 系 特 別 演 習 I		1	

第3類（杏林大学学則）

生理機能系特別演習Ⅱ		1		
治験コーディネータ特別演習		1		
薬事申請特別演習		1		
総合				
総合医療演習Ⅰ		1		
総合医療演習Ⅱ	2			
移植コーディネータ論		2		
生命倫理学特論		2		
インターンシップ		4		
卒業研究		4		4単位以上
計	52	192		124単位以上

健康福祉学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		10単位以上
心理学		2		
法学		2		
日本国憲		2		
社会学		2		
生命倫理学		2		
教育心理学		2		
発達心理学		2		
芸術学		2		
倫理学		2		
民俗学		2		
国際関係論		2		
社会心理学		2		
自然科学系				
数学		2		10単位以上
統計学演習		2		
医療情報科学		2		
情報処理演習		2		
物理学		2		
物理学実験		1		
医用工学概論		2		

第3類 (杏林大学学則)

医 用 工 学 実 験		1	
無 機 化 学		2	
生 物 有 機 化 学 I		2	
生 物 有 機 化 学 II		2	
化 学 実 験		1	
生 命 科 学 概 論		2	
生 物 学 実 験		1	
言語系			
日 本 語 表 現 法		2	
英 語 I		2	英語 I・II (各2単位) 又はフランス語 I・II (各2単位) のどちらかを選択 他に4単位以上
英 語 II		2	
英 語 III		2	
医 学 英 語		2	
英 会 話		2	
フ ラ ン ス 語 I		2	
フ ラ ン ス 語 II		2	
フ ラ ン ス 語 III		2	
フ ラ ン ス 語 会 話		2	
体育学系			
体 育 実 技 I		2	
体 育 実 技 II		1	
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2	
基礎医学系			
医 学 概 論		2	
公 衆 衛 生 学 I	2		
公 衆 衛 生 学 II		2	
解 剖 学 I	2		
解 剖 学 II		2	
解 剖 学 実 験		1	
病 理 学	2		
病 理 学 実 験		1	
生 理 学 I	2		
生 理 学 II		2	
生 理 学 実 験		1	
生 化 学 I	2		
生 化 学 II		2	
生 化 学 実 験		1	

第3類 (杏林大学学則)

血液学	学	2	
血液学実験	学	1	
免疫学	学	2	
免疫学実験	学	1	
微生物学	学	2	
微生物学実験	学	1	
薬理学	学	2	
救命救助法	学	1	
専門基礎			
保健学概論 I	学	2	
保健学概論 II	学	2	
保健学基礎実習	学	1	
保健学発展実習 I (社会調査系)	学	1	
保健学発展実習 II (健康教育系)	学	1	
保健学発展実習 III (環境系)	学	1	
保健学発展実習 IV (遺伝系)	学	1	
保健学発展実習 V (心理検査系)	学	1	
保健学応用実習 A	学	1	
保健学応用実習 B	学	1	
基礎保健学系			
人類生態学	学	2	
環境保健学	学	2	
疫学	学	2	
保健管理学	学	2	
健康社会学	学	2	
母子保健学	学	2	小児保健を含む
成人保健学	学	2	
精神保健学	学	2	
保健栄養学	学	2	食品学を含む
人類遺伝学	学	2	
健康教育学 I	学	2	
社会福祉学	学	2	
ライフステージと心理	学	2	
生活と看護	学	2	
発展保健学系			
健康教育学 II	学	2	
栄養生態学	学	2	

第3類（杏林大学学則）

人 口 学	2	
地 域 保 健 学	2	
国 際 保 健 学	2	
臨 床 心 理 学	2	
細 胞 遺 伝 学	2	
現 代 社 会 と 心 の 病 理	2	
認 知 心 理 学	2	
社会福祉学系		
社 会 福 祉 政 策 論	2	
老 人 福 祉 論	2	
高 齢 保 健 学	2	
障 害 者 福 祉 論	4	
児 童 福 祉 論	2	
社 会 保 障 論	4	
公 的 扶 助 論	2	
地 域 福 祉 論	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 総 論	4	
社 会 福 祉 援 助 技 術 論 I	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 論 II	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習 I	1	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習 II	1	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習 III	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習 IV	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 演 習 V	2	
社 会 福 祉 援 助 技 術 実 習	6	
社 会 福 祉 援 助 技 術 現 場 実 習 指 導	6	
医 療 福 祉 論	2	
家 族 福 祉 論	2	
セ ル フ ヘ ル プ グ ル ー プ 論	2	
保 健 福 祉 論	2	
初 め て の 社 会 福 祉	2	
学校保健学系		
学 校 保 健 学 I	2	学校安全を含む
学 校 保 健 学 II	2	
学 校 看 護 学	1	
健 康 相 談 I	2	
健 康 相 談 II	1	

第3類（杏林大学学則）

養護学概論	2		
カウンセリング	2		
精神医学	1		
保健科指導研究Ⅰ	2		
保健科指導研究Ⅱ	2		
看護学Ⅰ	2		
看護学Ⅱ	2		
看護学Ⅲ	2		
看護学実習	2		
救急看護学	2		
環境・食品学系			
産業保健学	2		
環境衛生工学	2		
環境科学	2		
放射線概論	2		
分析化学Ⅰ	2		
分析化学Ⅱ	2		
分析化学実験	1		放射性同位元素検査学を含む
食品栄養学	2		
食品衛生学	2		
食品製造学	2		
職業適性論	2		
労働衛生法規Ⅰ	2		
労働衛生法規Ⅱ	2		
総合			
コーディネート論	2		
特別講義Ⅰ	2		
特別講義Ⅱ	2		
特別演習Ⅰ	1		
特別演習Ⅱ	1		
教職総合演習	2		
ボランティア活動	2		
インターシッ	2		
卒業研究	4		
計	24	273	124単位以上

第3類 (杏林大学学則)

看護学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
一般教養領域				
人間科学系				
哲 学		2		10 単位以上
生 命 倫 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法 学		2		
心 理 学		2		
発 達 心 理 学		2		
社 会 心 理 学		2		
社 会 福 祉 学		2		
芸 術 学		2		
ホスピタリティ論		2		
文 化 人 類 学		2		1 単位以上
国 際 関 係 論		2		
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2		1 単位以上
体 育 実 技		1		
自然科学系				
統 計 学		2		4 単位以上
人 類 遺 伝 学		2		
物 理 学 概 論		2		
化 学 概 論		2		
生 命 科 学 概 論		2		2
情 報 処 理 論	2			
言語系				
英 語 I	2			6 単位以上
英 語 II	2			
英 語 III		2		
英 会 話		2		
医 学 英 語		2		
フ ラ ン ス 語 I		2		
フ ラ ン ス 語 II		2		
フ ラ ン ス 語 III		2		
フ ラ ン ス 語 会 話		2		
日 本 語 表 現 法		2		

第3類（杏林大学学則）

専門基礎領域				
基礎医学系				
解 剖 学	2			
生 理 学	2			
生 化 学	2			
栄 養 学	2			
病 態 学 I	2			
病 態 学 II	2			
微 生 物 学	2			
薬 理 学	2			
公 衆 衛 生 学	2			
関 係 法 規	1			
カ ウ ン セ リ ン グ		1		
臨 床 心 理 学		1		
血 液 学		2		
免 疫 学		2		
医 学 概 論		2		
専門領域				
基礎看護学系				
看 護 学 概 論	2			
看 護 方 法 演 習 I	2			
看 護 方 法 演 習 II	2			
看 護 方 法 演 習 III	2			
看 護 方 法 演 習 IV	2			
基 礎 看 護 学 実 習 I	1			
基 礎 看 護 学 実 習 II	2			
在宅看護学系				
在 宅 ケ ア 論	2			
在 宅 ケ ア 演 習	2			
在 宅 看 護 学 実 習	2			
成人・高齢者看護学系				
成 人 看 護 学 概 論	1			
成 人 看 護 学 I	2			
成 人 看 護 学 II	2			
成 人 看 護 学 演 習	2			
成 人 看 護 学 実 習 I	4			
成 人 看 護 学 実 習 II	4			

第3類 (杏林大学学則)

高 齡 者 看 護 学 概 論	1		
高 齡 者 看 護 学	2		
高 齡 者 看 護 学 実 習 I	2		
高 齡 者 看 護 学 実 習 II	2		
精神看護学系			
精 神 看 護 学 概 論	1		
精 神 看 護 学	2		
精 神 看 護 学 実 習	2		
精 神 看 護 学 演 習	1		
母子看護学系			
母 性 看 護 学 概 論	1		
母 性 看 護 学	2		
母 性 看 護 学 演 習	1		
母 性 看 護 学 実 習	2		
小 児 看 護 学 概 論	1		
小 児 看 護 学	2		
小 児 看 護 学 演 習	1		
小 児 看 護 学 実 習	2		
地域看護学系			
地 域 看 護 学 概 論	2		
地 域 看 護 学	2		
地 域 看 護 学 演 習 I	2		
地 域 看 護 学 演 習 II	2		
地 域 看 護 学 実 習 I	2		
地 域 看 護 学 実 習 II	1		
保健学系			
健 康 教 育 学 I		2	
産 業 保 健 学		2	
保 健 福 祉 行 政 論	2		
疫 学 ・ 保 健 統 計 学	2		
保 健 統 計	2		
保 健 学 概 論		1	
保 健 学 I		1	
保 健 学 II	1		
保 健 学 III		1	
保 健 学 IV	1		
養 護 学 概 論		2	

第3類 (杏林大学学則)

学 校 保 健 学 I		2	
学 校 保 健 学 II		2	
健 康 相 談		2	
健 康 教 育 学 II		2	
地 域 福 祉 論	2		
児 童 福 祉 論		2	
老 人 福 祉 論	2		
臨床検査学系			
医 用 工 学 概 論		2	
助産学系			
助 産 学 概 論		1	
助 産 診 断 ・ 技 術 学 I		2	
助 産 診 断 ・ 技 術 学 II		2	
助 産 診 断 ・ 技 術 学 III		2	
助 産 診 断 ・ 技 術 学 IV		2	
助 産 診 断 ・ 技 術 学 V		2	
助 産 管 理 学		1	
助 産 学 特 論		1	
助 産 学 実 習 I		6	
助 産 学 実 習 II		2	
総合領域			
看 護 管 理 学		1	
看 護 教 育 論		1	
移植コーディネータ論		1	
特 別 講 義		1	
看 護 理 論		1	
看 護 倫 理		1	
疾 病 論		2	
教 職 総 合 演 習		2	
死 生 学		1	
遺 伝 看 護		1	
地 域 活 動 論	2		
総 合 看 護		2	
救 急 看 護 学		2	
医 療 安 全		1	
国 際 看 護 活 動 論		1	
災 害 看 護 活 動 論		1	

第3類（杏林大学学則）

ボランティア活動		2		4 単位以上
インターンシップ		4		
卒業研究		4		
計	109	132		134 単位以上

救急救命学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				10 単位以上
哲学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
倫理学		2		
生命倫理学		2		
心理心理学		2		
発達心理学		2		
教育心理学		2		
芸術学		2		
民俗学		2		
数学・物理学系				4 単位以上
基礎物理学		1		
物理		2		
医用工学概論		2		
数学		2		
統計学		2		
医療情報科学		2		
情報処理演習		2		
化学系				3 単位以上
基礎化学		1		
無機化学		2		
生物有機化学Ⅰ		2		
生物有機化学Ⅱ		2		
化学実験		1		
生物学系				3 単位以上
基礎生物学		1		
生命科学概論		2		

第3類 (杏林大学学則)

細胞生物学		2		
人類遺伝学		2		
生物学実験		1		
言語系				
日本語表現法		2		
英語 I	2			
英語 II	2			
英語 III		2		
英語 IV		2		
英会話		2		
医学英語		2		
フランス語 I		2		
フランス語 II		2		
フランス語 III		2		
フランス語会話		2		
体育学系				
健康スポーツ科学		2		
体育実技 I	2			
体育実技 II	1			
基礎医学系				
医学概論		2		
公衆衛生学 I	2			
公衆衛生学 II		2		
解剖学 I	2			
解剖学 II		2		
生理学 I	2			
生理学 II		2		
生化学	2			
病理学	2			
微生物学	2			
血液学		2		
免疫学		2		
薬理学	2			
救命救助法	1			
救急医学系				
内科学 I	2			
内科学 II	2			

4 単位以上

第3類 (杏林大学学則)

内科学 III	2		
内科学 IV		2	
内科学 V		2	
内科学 VI		2	
医療コミュニケーション学		2	
医療安全論		2	
救急医学概論	2		
救急処置総論	2		
救急処置各論	2		
災害医学		2	
外科学 I		2	
外科学 II		2	
外傷学		2	
環境障害・急性中毒学		2	
救急搬送論		2	
小児科学		2	
産婦人科学		2	
整形外科学		2	
脳外科学		2	
精神医学		2	
放射線概論		2	
シミュレーション I	2		
シミュレーション II	2		
シミュレーション III		3	
シミュレーション IV		3	
シミュレーション V		2	
シミュレーション VI		2	
病院内実習		10	
救急車同乗実習		3	
衛生学系			
産業保健学		2	
環境衛生工学		2	
職業適性論		2	
労働衛生法規 I		2	
労働衛生法規 II		2	
総合			
移植コーディネータ論		2	

第3類（杏林大学学則）

特 別 講 義 I		2		
特 別 講 義 II		2		
特 別 演 習 I		1		
特 別 演 習 II		1		
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動		2		
イ ン タ ー ン シ ッ プ		4		
卒 業 研 究		4		4 単位以上
計	38	168		124 単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2-2

保健学部学科目構成

（平成21年度入学生から適用）

臨床検査技術学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
人文・社会学系				
哲 学		2		10 単位以上
心 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法 学		2		
社 会 学		2		
生 命 倫 理 学		2		
芸 術 学		2		
数学・物理学系				
数 学		2		6 単位以上
医 療 情 報 科 学		2		
医 療 情 報 処 理		2		
医 療 情 報 処 理 演 習		2		
基 礎 物 理 学		1		
物 理 学		2		
物 理 学 実 験		1		
医 用 工 学 概 論		2		
医 用 工 学 実 験		1		
化学系				
基 礎 化 学		1		4 単位以上
無 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学 I		2		
生 物 有 機 化 学 II		2		
化 学 実 験		1		
生物学系				
基 礎 生 物 学		1		4 単位以上
生 命 科 学 概 論		2		
細 胞 生 物 学		2		
人 類 遺 伝 学		2		
生 物 学 実 験		1		
言語系				

第3類 (杏林大学学則)

日本語表現法	2	10単位以上
英語 I	2	
英語 II	2	
英語 III	2	
英語 IV	2	
英会話	2	
医学英語	2	
体育学系		
健康スポーツ科学	2	
基礎医学系		
医学概論	2	
医学検査概論	2	
保健学概論 I	2	
保健学概論 II	2	
公衆衛生学 I	2	
公衆衛生学 II	2	
解剖学 I	2	
解剖学 II	2	
解剖・組織学実験	1	
病理学	2	
病理学実験	1	
生理学 I	2	
生理学 II	2	
生理学実験	1	
生化学 I	2	
生化学 II	2	
生化学実験	1	
血液学	2	
血液学実験	1	
免疫学	2	
免疫学実験	1	
微生物学	2	
微生物学実験	1	
医動物学	2	
遺伝子工学	2	
遺伝子工学実験	1	
分子生物学	2	

第3類 (杏林大学学則)

分子細胞生物学		2	
薬理学		2	
実験動物学		1	
動物実験実習		1	
救命救助法		1	
医学検査系			
生理機能検査学Ⅰ	2		
生理機能検査学Ⅱ		2	
生理機能検査学実習		2	
画像診断技術		2	
臨床化学検査学Ⅰ	2		
臨床化学検査学Ⅱ		2	
臨床化学検査学実習		2	放射性同位元素検査技術を含む
放射線概論		2	
染色体学		2	
臨床遺伝学		2	
遺伝子・染色体検査学	2		
遺伝子・染色体検査学実習		1	
病理診断学	2		
病理検査学		2	
病理検査学実習		2	
細胞診断学		2	
細胞診断学実習		1	
血液検査学	2		
血液検査学実習		2	
医動物検査学実習		1	
微生物検査学Ⅰ	2		
微生物検査学Ⅱ		2	
微生物検査学実習		2	
免疫検査学Ⅰ	2		
免疫検査学Ⅱ		2	
免疫検査学実習		2	
一般検査学	2		
一般検査学実習		1	
臨床病態学Ⅰ		2	
臨床病態学Ⅱ		2	
検査管理学		2	

第3類 (杏林大学学則)

分 析 化 学 I		2	
分 析 化 学 II		2	
分 析 化 学 实 験		1	
専 門 实 験 ・ 实 習 手 法	1		
臨 地 实 習		6	
保健学系			
医 療 福 祉 概 論		2	
国 際 保 健 学		2	
生 活 習 慣 病 論		2	
衛生学系			
産 業 保 健 学		2	
環 境 衛 生 工 学		2	
環 境 化 学		2	
食 品 栄 養 学		2	
食 品 衛 生 学		2	
食 品 製 造 学		2	
職 業 適 性 論		2	
劳 働 衛 生 法 規 I		2	
劳 働 衛 生 法 規 II		2	
自由専攻			
細 胞 診 断 学 演 習 I		1	
細 胞 診 断 学 演 習 II		1	
細 胞 診 断 学 演 習 III		1	
細 胞 診 断 学 演 習 IV		1	
細 胞 診 断 学 演 習 V		1	
遺 伝 ・ バイオ技術系特別演習 I		1	
遺 伝 ・ バイオ技術系特別演習 II		1	
細 胞 ・ 組 織 ・ 形 態 系 特別演習 I		1	
細 胞 ・ 組 織 ・ 形 態 系 特別演習 II		1	
感 染 症 制 御 系 特別演習 I		1	
感 染 症 制 御 系 特別演習 II		1	
生 殖 ・ 移 植 医 療 系 特別演習 I		1	
生 殖 ・ 移 植 医 療 系 特別演習 II		1	
化 学 系 特 別 演 習 I		1	
化 学 系 特 別 演 習 II		1	
生 理 機 能 系 特別演習 I		1	
生 理 機 能 系 特別演習 II		1	

第3類（杏林大学学則）

治験コーディネート特別演習		1		
薬事申請特別演習		1		
総合				
総合医療演習Ⅰ		1		
総合医療演習Ⅱ	2			
移植コーディネータ論		2		
生命倫理学特論		2		
特別講義Ⅰ		2		
特別講義Ⅱ		2		
インターンシップ		4		4単位以上
卒業研究		4		
計	50	196		124単位以上

健康福祉学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		10単位以上
心理学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
生命倫理学		2		
教育心理学		2		
発達心理学		2		
芸術学		2		
倫理学		2		
民俗学		2		
国際関係論		2		
自然科学系				
数学		2		
統計学演習		2		
医療情報科学		2		
情報処理演習		2		

第3類 (杏林大学学則)

基礎物理学	1	10単位以上
物理学	2	
物理学実験	1	
基礎化学	1	
無機化学	2	
生物有機化学	2	
化学実験	1	
基礎生物学	1	
生命科学概論	2	
生物学実験	1	
言語系		
日本語表現法	2	英語Ⅰ・Ⅱ (各2単位) 又はフランス語Ⅰ・Ⅱ (各2単位) のどちらか を選択、他に4単位以上
英語Ⅰ	2	
英語Ⅱ	2	
英語Ⅲ	2	
医学英語	2	
英会話	2	
フランス語Ⅰ	2	
フランス語Ⅱ	2	
フランス語Ⅲ	2	
フランス語会話	2	
基礎医学系		
医学概論	2	
医学基礎実習	1	
公衆衛生学Ⅰ	2	
公衆衛生学Ⅱ	2	
解剖学Ⅰ	2	
解剖学Ⅱ	2	
病理学	2	
生理学Ⅰ	2	
生理学Ⅱ	2	
生化学Ⅰ	2	

第3類 (杏林大学学則)

生 化 学 II	2	
血 液 学	2	
免 疫 学	2	
微 生 物 学	2	
微 生 物 学 实 験	1	
薬 理 学	2	
实 験 動 物 学	1	
動 物 实 験 实 習	1	
救 命 救 助 法	1	
専門基礎系		
保 健 学 概 論 I	2	
保 健 学 概 論 II	2	
保 健 学 基 礎 实 習	1	
保 健 学 発 展 实 習 I (社 会 調 査 系)	1	
保 健 学 発 展 实 習 II (健 康 教 育 系)	1	
保 健 学 発 展 实 習 III (環 境 系)	1	
保 健 学 発 展 实 習 IV (遺 伝 系)	1	
保 健 学 発 展 实 習 V (心 理 検 査 系)	1	
保 健 学 応 用 实 習 A	1	
保 健 学 応 用 实 習 B	1	
保健学系		
人 類 生 態 学	2	
環 境 保 健 学	2	
疫 学	2	
保 健 管 理 学	2	
健 康 社 会 学	2	
母 子 保 健 学	2	小児保健を含む
成 人 保 健 学	2	

第3類（杏林大学学則）

精神保健学	2	食品学を含む	
保健栄養学	2		
人類遺伝学	2		
健康教育学Ⅰ	2		
健康教育学Ⅱ	2		
看護と養護	2		
栄養生態学	2		
人口学	2		
地域保健学	2		
国際保健学	2		
臨床心理学	2		
細胞遺伝学	2		
認知心理学	2		
病気の生化学	2		
健康スポーツ科学	2		
社会福祉学系			
社会福祉学	2		
社会福祉政策論	2		
老人福祉論	2		
高齢保健学	2		
障害者福祉論	2		
児童福祉論	2		
社会保障論	4		
公的扶助論	2		
地域福祉論	4		
社会福祉援助技術総論Ⅰ	4		
社会福祉援助技術総論Ⅱ	2		
社会福祉援助技術論Ⅰ	2		
社会福祉援助技術論Ⅱ	2		
社会福祉援助技術演習Ⅰ	1		
社会福祉援助技術演習Ⅱ	1		
社会福祉援助技術演習Ⅲ	2		
		150時間	

第3類（杏林大学学則）

社会福祉援助技術演習Ⅳ	2	
社会福祉援助技術演習Ⅴ	2	
社会福祉援助技術演習Ⅵ	2	
社会福祉援助技術実習	6	180時間
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ	1	30時間（実習）
社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ	4	60時間（講義・演習）
医療福祉論	2	
保健福祉論	2	
初めての社会福祉	2	
社会調査概論	1	
福祉行政と福祉計画概論	1	
社会福祉経営論	1	
就労支援概論	1	
権利擁護と成年後見概論	1	
更生保護概論	1	
介護福祉論	2	
学校保健学系		
学校保健学Ⅰ	2	学校安全を含む
学校保健学Ⅱ	2	
学校看護学	1	
健康相談Ⅰ	2	
健康相談Ⅱ	1	
養護学概論	2	
カウンセリング	2	
精神医学	1	
保健科指導研究Ⅰ	2	
保健科指導研究Ⅱ	2	
保健科教育法－1	2	
保健科教育法－2	2	
看護学Ⅰ	2	
看護学Ⅱ	2	
看護学Ⅲ	2	

第3類（杏林大学学則）

看護学実習	2		
救急看護学	2		
環境・食品学系			
産業保健学	2		
環境衛生工学	2		
環境科学	2		
放射線概論	2		
分析化学	2		
分析化学実験	1		
食品栄養学	2		
食品衛生学	2		
食品製造学	2		
職業適性論	2		
労働衛生法規Ⅰ	2		
労働衛生法規Ⅱ	2		
総合			
コーディネータ論	2		
特別講義Ⅰ	2		
特別講義Ⅱ	2		
特別演習Ⅰ	1		
特別演習Ⅱ	1		
教職総合演習	2		
ボランティア活動	2		
インターンシップ	2		
卒業研究	4		
計	25	269	124単位以上

第3類（杏林大学学則）

看護学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必修	選択	自由	
基礎分野				
人間科学系				
哲 学		2		10単位以上
死 生 学		2		
生 命 倫 理 学	2			
日 本 国 憲 法 学		2		
心 理 学		2		
発 達 心 理 学	2			
社 会 福 祉 学		2		
教 育 学		2		
ホスピタリティ論		2		
国 際 協 力 論		2		
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2		
自然科学系				
統 計 学		2		6単位以上
人 類 遺 伝 学		2		
物 理 学 概 論		1		
化 学 概 論		1		
生 命 科 学 概 論		2		
情 報 処 理 論	2			
言語系				
英 語 I	2			10単位以上
英 語 II	2			
英 語 III		2		
英 会 話		2		
医 学 英 語		2		
日 本 語 表 現 法	2			
専門基礎分野				
人体の構造と機能・疾病の成り立ち				
形 態 ・ 機 能 学	2			
代 謝 ・ 栄 養 学	2			
薬 理 学	2			
病 原 微 生 物 学	1			

第3類（杏林大学学則）

免 疫 学	1		
病 態 治 療 論 I	2		
病 態 治 療 論 II	2		
病 態 治 療 論 III	1		
病 態 治 療 論 IV	1		
病 態 治 療 論 V	1		
病 態 治 療 論 VI	1		
病 態 治 療 論 VII	1		
病 態 治 療 論 VIII	1		
健康支援と社会保障制度			
公 衆 衛 生 学	1		
関 係 法 規	1		
保 健 福 祉 行 政 論	2		
健 康 教 育 学		2	
学 校 保 健 学 概 論	2		
学 校 保 健 学		2	
養 護 学 概 論		2	
カ ウ ン セ リ ン グ		2	
健 康 相 談		2	
疫学と統計			
疫 学	2		
保 健 統 計	2		
基礎看護学			
基礎看護学系			
看 護 学 概 論 I	1		
看 護 学 概 論 II	2		
生 活 行 動 援 助 技 術 I	2		
生 活 行 動 援 助 技 術 II	2		
ヘ ル ス ア セ ス メ ン ト 技 術	1		
看 護 過 程	1		
治 療 ・ 処 置 技 術	2		
基 礎 看 護 学 実 習 I	1		
基 礎 看 護 学 実 習 II	2		
専門看護学			
成人看護学系			
成 人 看 護 学 概 論	2		
成 人 看 護 学 I	2		

第3類（杏林大学学則）

成人看護学Ⅱ	2		
成人看護学演習	1		
成人看護学実習Ⅰ	3		
成人看護学実習Ⅱ	3		
高齢者看護学系			
高齢者看護学概論	2		
高齢者看護学	2		
高齢者看護学演習	1		
高齢者看護学実習Ⅰ	2		
高齢者看護学実習Ⅱ	2		
小児看護学系			
小児看護学概論	2		
小児看護学	2		
小児看護学演習	1		
小児看護学実習	2		
母性看護学系			
母性看護学概論	2		
母性看護学	2		
母性看護学演習	1		
母性看護学実習	2		
精神看護学系			
精神看護学概論	2		
精神看護学	2		
精神看護学演習	1		
精神看護学実習	2		
在宅看護学系			
在宅看護学	2		
在宅看護学演習	2		
在宅看護学実習	2		
地域看護学系			
地域看護学概論	2		
地域看護学方法論	2		
地域看護学Ⅰ	2		
地域看護学Ⅱ	2		
地域看護学演習	2		
地域看護学実習Ⅰ	1		
地域看護学実習Ⅱ	3		

第3類（杏林大学学則）

応用看護学				
応用看護学系				
看護研究	2			
看護倫理	1			
看護管理学	1			
総合看護学実習Ⅰ		2		☐ — どちらか一方を選択
総合看護学実習Ⅱ		2		
特別講義Ⅰ		2		
特別講義Ⅱ		2		
助産学専攻				
助産学系				
助産学概論		1		
周産期医学		2		
助産診断・技術学Ⅰ		1		
助産診断・技術学Ⅱ		2		
助産診断・技術学Ⅲ		2		
助産診断・技術学Ⅳ		1		
助産管理学		1		
助産学特別講義		1		
助産学実習Ⅰ		8		
助産学実習Ⅱ		1		
計	121	70		137単位以上

理学療法学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
基礎分野				
人間科学系				
哲学		2		☐ — 必修2単位及び 選択6単位以上
社会学		2		
法学		2		
心理学		2		
生命倫理学	2			
芸術学		2		
社会福祉学		2		
倫理学		2		
発達心理学		2		

第3類 (杏林大学学則)

職業適性論		2		
自然科学系				
数学		2		
統計学		2		
情報処理論	2			
基礎物理学		1		必修2単位及び 選択4単位以上
物理学概論		2		
基礎化学		1		
生化学概論		2		
基礎生物学		1		
生命科学概論		2		
言語系				
英語 I	2			必修4単位及び 選択4単位以上
英語 II	2			
英語 III		2		
英語 IV		2		
英会話		2		
医学英語		2		
日本語表現法		2		
専門基礎分野				
医学系				
解剖学 I	2			必修27単位及び 選択3単位以上
解剖学 II	1			
解剖学実習 I	1			
解剖学実習 II	1			
生理学 I	2			
生理学 II	1			
生理学実習	1			
病理学	1			
人間発達学	2			
リハビリテーション概論	1			
臨床心理学概論	1			
精神医学	2			
内科学 I	2			
内科学 II		2		
小児科	1			

第3類 (杏林大学学則)

神 經 内 科 学	2			
外 科 学	1			
整 形 外 科 学	2			
腦 神 經 外 科 学	1			
リハビリテーション医学	1			
医 療 安 全 論	1			
感 染 症 学		1		
免 疫 学		1		
薬 理 学		1		
栄 養 学		1		
保健学・衛生学系				
保 健 学 概 論	2			
高 齡 保 健 学	2			
産 業 保 健 学	2			
地 域 保 健 学	2			
公 衆 衛 生 学 I	2			
公 衆 衛 生 学 II	2		4 単位以上	
環 境 衛 生 工 学	2			
看 護 学	2			
救 命 救 助 法	1			
労 働 衛 生 法 規 I	2			
労 働 衛 生 法 規 II	2			
専門分野				
基礎理学療法学系				
理 学 療 法 概 論	1			
理 学 療 法 用 語 論		1		
運 動 学	1			
運 動 学 実 習	1			
病 態 運 動 学		2		
運 動 解 剖 学		1		
理学療法評価学系				
理 学 療 法 評 価 学 概 論	1			
理 学 療 法 評 価 学 I	1			
理 学 療 法 評 価 学 II	1			
理 学 療 法 評 価 学 実 習	1			
動 作 分 析 学		1		

第3類（杏林大学学則）

理学療法治療学系				
理学療法治療学総論		1		
運動療法学	2			
運動療法学実習	1			
物理療法学Ⅰ	1			
物理療法学Ⅱ	1			
物理療法学実習	1			
義肢学	1			
義肢学実習	1			
装具学	1			
装具学実習	1			
日常生活技術学	1			
日常生活技術学実習	1			
運動器障害系理学療法学Ⅰ	1			
運動器障害系理学療法学Ⅱ	1			
神経障害系理学療法学Ⅰ	1			
神経障害系理学療法学Ⅱ	1			
内部障害系理学療法学Ⅰ	1			
内部障害系理学療法学Ⅱ	1			
小児理学療法学	1			
高次脳機能障害学		1		
高齢者理学療法学		1		
急性期理学療法学		1		
スポーツ障害理学療法学		1		
マニュアルセラピー		1		
プロフェッショナルスキル	4			
クリニカルリーズニング		1		
地域理学療法学系				
生活環境学	1			
地域理学療法学	2			
理学療法国際事情		1		
臨床実習系				
見学実習	1			
評価実習Ⅰ	2			
評価実習Ⅱ	4			
総合臨床実習	14			

必修62単位及び
選択7単位以上

第3類（杏林大学学則）

総合領域				
理学療法特論Ⅰ		1		
理学療法特論Ⅱ		1		
理学療法研究法		1		
応用理学療法学		1		
基礎ゼミ	4			
特別講義Ⅰ		1		
特別講義Ⅱ		1		
卒業研究	4			
計	97	87		125単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2-3

臨床工学科（平成22年度入学生から適用）

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
人文・社会学系				10単位以上
哲 学		2		
心 理 学		2		
法 学		2		
日 本 国 憲 法		2		
社 会 学		2		
生 命 倫 理 学	2			
発 達 心 理 学		2		
芸 術		2		
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2		
数学系				
基 礎 数 学		1		
数 学	2			
統 計 学 演 習		1		
医 療 情 報 科 学	2			
計 算 機 演 習	2			
応 用 数 学	2			
物理学系				
基 礎 物 理 学		1		
基 礎 電 気 学	2			
基 礎 電 子 回 路	2			
医 用 工 学 概 論	2			
化学系				3単位以上
基 礎 化 学		1		
無 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学 I		2		
生 物 有 機 化 学 II		2		
化 学 実 験		1		
生物学系				3単位以上
基 礎 生 物 学		1		
生 命 科 学 概 論		2		
細 胞 生 物 学		2		

第3類 (杏林大学学則)

人類遺伝学		2	
生物学実験		1	
言語系			
日本語表現法	2		
英語 I		2	英語 I・II (各2単位) 又はフランス語 I・II (各2単位)、どちらか選択、他に4単位以上。
英語 II		2	
英語 III		2	
医学英語		2	
英会話		2	
フランス語 I		2	
フランス語 II		2	
フランス語 III		2	
フランス語会話		2	
基礎医学系			
医学概論	2		
公衆衛生学 I	2		
公衆衛生学 II		2	
解剖学 I	2		
解剖学 II		2	
病理学	2		
生理学 I	2		
生理学 II	2		
生理学実験	1		
生化学 I		2	
生化学 II		2	
血液学		2	
免疫学		2	
微生物学		2	2単位以上
医動物学		2	
薬理学		2	
看護学		2	
医学検査系			
生理学検査 I	2		
生理学検査 II	2		
画像診断技術		2	
生理学検査実習		1	

第3類 (杏林大学学則)

臨床検査学		2	
臨床遺伝学		2	
臨床工学系			
医用電気工学	2		
医用電気工学実習		1	
医用電子工学	2		
医用電子工学実習		1	
システム工学		2	
医用情報処理工学	2		
医用情報処理工学実習		1	
医用計測工学	2		
医用計測工学実習		1	
医用機械工学	2		
生体物性学	2		
生体材料工学		2	
医用機器学概論	2		
医用計測機器学	2		
医用計測機器学実習		1	
医用治療機器学	2		
医用治療機器学実習		1	
生体機能代行装置学概論		2	
生体機能代行装置学基礎実習		1	
呼吸関連機器学		2	
呼吸関連機器学実習		1	
血液浄化装置学		2	
応用血液浄化装置学		2	
血液浄化装置学実習		1	
体外循環機器学		2	
体外循環機器学実習		1	
医用機器安全管理学Ⅰ	2		
医用機器安全管理学Ⅱ		2	
安全管理学実習		1	
臨床医学各論Ⅰ	2		
臨床医学各論Ⅱ	2		
臨床医学各論Ⅲ	2		
臨床医学各論Ⅳ	2		
医療関係法規		2	

第3類 (杏林大学学則)

臨床実習講義		1		
臨床実習		3		
衛生学系				
産業保健学		2		
環境衛生工学		2		
放射線概論		2		
環境化学		2		
分析化学Ⅰ		2		
分析化学Ⅱ		2		
食品栄養学		2		
食品衛生学		2		
食品製造学		2		
職業適性論		2		
労働衛生法規Ⅰ		2		
労働衛生法規Ⅱ		2		
救命救助法		2		
総合				
特別講義Ⅰ		2		
特別講義Ⅱ		2		
特別演習Ⅰ		1		
特別演習Ⅱ		1		
総合演習		2		
卒業研究	4			
計	67	146		124 単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2-4

保健学部学科目構成

（平成23年度入学生から適用）

作業療法学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
基礎分野				
人間科学系				
哲 学		2		必修2単位及び 選択6単位以上
社 会 学		2		
法 学		2		
心 理 学		2		
生 命 倫 理 学	2			
芸 術 学		2		
社 会 福 祉 学		2		
倫 理 学		2		
発 達 心 理 学		2		
職 業 適 性 学 論		2		
自然科学系				
数 学		2		必修2単位及び 選択4単位以上
統 計 学		2		
情 報 処 理 論	2			
基 礎 物 理 学 論		1		
物 理 学 概 論		2		
基 礎 化 学 論		1		
生 化 学 概 論		2		
基 礎 生 物 学		1		
生 命 科 学 概 論		2		
分 子 生 物 学		2		
人 類 遺 伝 学		2		
語学系				
英 語 I	2			必修4単位及び 選択4単位以上
英 語 II	2			
英 語 III		2		
英 語 IV		2		
英 会 話		2		

第3類 (杏林大学学則)

医学英語		2	
日本語表現法		2	
専門基礎分野			
医学系			
解剖学Ⅰ	2		
解剖学Ⅱ	1		
解剖学実習Ⅰ	1		
解剖学実習Ⅱ	1		
生理学Ⅰ	2		
生理学Ⅱ	1		
生理学実習	1		
病理学	1		
人間発達学	2		
リハビリテーション概論	1		
臨床心理学概論	1		
精神医学	2		
内科学Ⅰ	2		
内科学Ⅱ		2	
小児科学	1		
神経内科学	2		
外科学	1		
整形外科学	2		
脳神経外科学	1		
リハビリテーション医学	1		
医療安全論	1		
感染症学		1	
免疫学		1	
薬理学		1	
栄養学		1	
保健学・衛生学系			
保健学概論		2	
高齢保健学	2		
産業保健学		2	
地域保健学		2	
公衆衛生学Ⅰ		2	
公衆衛生学Ⅱ		2	
			必修27単位及び 選択3単位以上
			4単位以上

第3類（杏林大学学則）

環境衛生工学		2		
看護学		2		
救命救助法		1		
労働衛生法規Ⅰ		2		
労働衛生法規Ⅱ		2		
専門分野				
基礎作業療法学系				
作業療法学概論	1			
運動学	1			
運動学実習	1			
病態運動学		2		
基礎作業学概論	1			
基礎作業学実習Ⅰ	1			
(作業活動の基礎)				
基礎作業学実習Ⅱ	1			
(作業活動の応用)				
作業分析学Ⅰ(基本的分析)	1			
作業分析学Ⅱ(客観的分析)	1			
作業療法管理運営		1		
作業療法諸理論		1		
作業療法評価学系				
作業療法評価学Ⅰ(概要)	1			
作業療法評価学Ⅱ(疾患別)	1			
作業療法評価学実習Ⅰ	1			
(中枢神経系疾患)				
作業療法評価学実習Ⅱ	1			
(発達、精神障害)				
作業療法評価学実習Ⅲ	1			
(老年期障害)				
認知機能評価法		1		
作業療法治療学系				
身体障害作業療法学Ⅰ	1			
(内科系疾患)				
身体障害作業療法学Ⅱ	1			
(運動器系疾患)				
身体障害作業療法学Ⅲ	1			

第3類（杏林大学学則）

（中枢神経系疾患：脳血管）				
身体障害作業療法学Ⅳ	1			
（中枢神経系疾患：進行性）				
身体障害作業療法学演習	1			
高次脳機能障害作業療法学	1			
精神障害作業療法学Ⅰ（総論）	1			
精神障害作業療法学Ⅱ（疾患別）	1			
精神障害作業療法学演習	1			
発達障害作業療法学Ⅰ（総論）	1			
発達障害作業療法学Ⅱ（疾患別）	1			
発達障害作業療法学演習	1			
老年期障害作業療法学	1			
認知障害作業療法学	1			
職業関連作業療法学	1			
身体機能代償学	1			必修65単位及び 選択4単位以上
義肢装具学	1			
義肢装具学実習	1			
福祉機器適応学	1			
日常生活活動学Ⅰ（治療法）	1			
日常生活活動学Ⅱ（動作内容）	1			
バリアフリー論		1		
レクリエーション概論		1		
クリニカルリーズニング		1		
ハンドセラピー学		1		
地域作業療法学系				
地域生活作業療法学	1			
地域ケアシステム論	1			
住環境整備論	1			
地域生活作業療法学演習	1			
作業療法国際事情		1		
臨床実習系				
見学実習	1			
評価実習Ⅰ	2			
評価実習Ⅱ	4			
総合臨床実習	14			
総合領域				

第3類（杏林大学学則）

作業療法学特論Ⅰ		1		
作業療法学特論Ⅱ		1		
作業療法研究法		1		
応用作業療法学		1		
基礎ゼミ	2			
特別講義Ⅰ		1		
特別講義Ⅱ		1		
卒業研究	4			
計	102	86		125単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2-5

保健学部学科目構成

（平成24年度入学生から適用）

看護学科看護学専攻

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
基礎分野				
人間科学系				
哲学		2		10単位以上
死生学		2		
生命倫理学	2			
日本国憲法学		2		
心理理学		2		
発達心理学	2			
社会福祉学		2		
教育学		2		
ホスピタリティ論		2		
国際協力論		2		
健康スポーツ科学		2		
自然科学系				
統計学		2		6単位以上
人類遺伝学		2		
物理学概論		1		
化学概論		1		
生命科学概論		2		
情報処理論	2			
言語系				
英語Ⅰ	2			10単位以上
英語Ⅱ	2			
英語Ⅲ		2		
英会話		2		
医学英語		2		
日本語表現法	2			
専門基礎分野				
人体の構造と機能・疾病の成り立ち 形態・機能学	2			

第3類（杏林大学学則）

代謝・栄養学	2		
薬理学	2		
病原微生物学	1		
免疫学	1		
病態治療論 I	2		
病態治療論 II	2		
病態治療論 III	2		
病態治療論 IV	1		
病態治療論 V	1		
健康支援と社会保障制度			
公衆衛生学	1		
関係法規	1		
保健福祉行政論 I	1		
保健福祉行政論 II	2		
健康教育学	2		
産業保健学概論		1	
学校保健学概論		1	
疫学と統計			
疫学		2	
保健統計		2	
基礎看護学			
基礎看護学系			
看護学概論	2		
看護援助論	1		
生活行動援助技術 I	2		
生活行動援助技術 II	2		
ヘルスアセスメント技術	1		
看護過程	1		
治療・処置技術	2		
基礎看護学実習 I	1		
基礎看護学実習 II	2		
専門看護学			
成人看護学系			
成人看護学概論	2		
成人看護学 I	2		
成人看護学 II	2		

第 3 類 (杏林大学学則)

成人看護学演習	2		
成人看護学実習 I	3		
成人看護学実習 II	3		
高齢者看護学系			
高齢者看護学概論	2		
高齢者看護学	2		
高齢者看護学演習	1		
高齢者看護学実習 I	2		
高齢者看護学実習 II	2		
小児看護学系			
小児看護学概論	2		
小児看護学	2		
小児看護学演習	1		
小児看護学実習	2		
母性看護学系			
母性看護学概論	2		
母性看護学	2		
母性看護学演習	1		
母性看護学実習	2		
精神看護学系			
精神看護学概論	2		
精神看護学	2		
精神看護学演習	1		
精神看護学実習	2		
在宅看護学系			
在宅看護学	2		
在宅看護学演習	2		
在宅看護学実習	2		
公衆衛生看護学系			
公衆衛生看護学概論	2		
家族相談支援論	1		
公衆衛生看護学実習 I	1		
応用看護学			
応用看護学系			
看護研究	4		
看護管理		1	

第3類 (杏林大学学則)

家族看護		2	4 単位以上	
クリティカルケア		2		
感染症看護		2		
がん看護		2		
医療安全		2		
応用看護学実習	2			
特別講義 I	2			
特別講義 II		2		
保健師課程				
公衆衛生看護専門学系				
公衆衛生看護活動方法論 I		2		
公衆衛生看護活動方法論 II		1		
公衆衛生看護活動論 I		2		
公衆衛生看護活動論 II		2		
地区診断演習		1		
公衆衛生看護管理		1		
公衆衛生看護学実習 II		2		
公衆衛生看護学実習 III		3		
助産師課程				
助産学系				
助産学概論		2		
周産期医学 I		2		
周産期医学 II		1		
助産診断・技術学 I		1		
助産診断・技術学 II		2		
助産診断・技術学 III		2		
助産診断・技術学 IV		1		
助産診断・技術学 V		2		
地域助産活動論		1		
助産管理学		2		
助産学特別講義		1		
助産学実習 I		1		
助産学実習 II		7		
助産学実習 III		2		
助産学実習 IV		1		

第3類（杏林大学学則）

計	111	93		129単位以上
---	-----	----	--	---------

看護学科看護養護教育学専攻

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
基礎分野				
人間科学系				
哲 学		2		
日 本 国 憲 法	2			
芸 術		2		
教 育 心 理 学	2			
生 命 倫 理 学	2			
健 康 ス ポ ー ツ 科 学	2			
ホ ス ピ タ リ テ ィ 論		2		
自然科学系				
統 計 学		2		必修2単位を 含めて6単位 以上
遺 伝 学		2		
生 命 科 学 概 論		2		
基 礎 物 理 学		1		
基 礎 化 学		1		
情 報 処 理 論	2			
語学系				
英 語 I	2			必修6単位を 含めて8単位 以上
英 語 II	2			
英 会 話	2			
医 学 英 語		2		
日 常 中 国 語 会 話		2		
日 本 語 表 現 法		2		
専門分野				
人体の構造と機能・疾病の成り立ち				
解 剖 学 ・ 生 理 学	2			
感 染 症 ・ 免 疫 学	2			
栄 養 学（食品学を含む。）	2			
疾 病 の 成 り 立 ち I	2			

第3類（杏林大学学則）

疾病の成り立ちⅡ	2		
疾病の成り立ちⅢ	2		
疾病の成り立ちⅣ	2		
疾病の成り立ちⅤ	2		
疾病の成り立ちⅥ	2		
健康支援と社会保障制度			
公衆衛生学	2		
社会福祉学		2	
コンピューター演習	1		
疫学と統計			
保健統計	2		
基礎看護学分野			
基礎看護学系			
看護学概論Ⅰ	1		
看護学概論Ⅱ	2		
看護基本技術Ⅰ	2		
看護基本技術Ⅱ	2		
看護基本技術Ⅲ	1		
アセスメントと援助技術	1		
看護過程	1		
救命救助法	1		
看護基礎実習Ⅰ	1		
看護基礎実習Ⅱ	2		
専門看護学分野			
成人看護学系			
成人看護学概論	1		
成人看護学Ⅰ	2		
成人看護学Ⅱ	2		
成人看護学方法	1		
成人看護学実習Ⅰ	3		
成人看護学実習Ⅱ	3		
老年看護学系			
老年看護学概論	1		
老年看護学	2		
老年看護学方法	1		
老年看護学実習Ⅰ	2		
老年看護学実習Ⅱ	2		

第3類（杏林大学学則）

小児看護学系			
小児看護学概論	1		
小児看護学	2		
小児看護方法	1		
小児看護学実習	2		
母性看護学系			
母性看護学概論	1		
母性看護学	2		
母性看護方法	1		
母性看護学実習	2		
精神看護学系			
精神看護学概論	2		
精神看護学	2		
精神看護学実習	2		
統合分野			
在宅看護学系			
在宅看護学概論	2		
在宅看護学	2		
在宅看護学実習	2		
特別支援			
発達心理学	2		
小児保健学	2		
発達障害と特別支援	2		
統合看護学実習(発達障害)	2		
公衆衛生看護学分野			
公衆衛生看護学系			
公衆衛生看護学概論	2		
学校保健学系			
学校保健学概論	2		
養護実践学Ⅰ	2		
養護実践学Ⅱ	2		
健康相談活動	2		
学校教育環境づくり	1		
健康教育学概論	2		
健康教育学	2		
学校保健学実習	1		
総合分野			

第3類（杏林大学学則）

総合				
移植コーディネータ論		2		
ボランティア活動		1		
特別講義Ⅰ		2		
特別講義Ⅱ		2		
看護研究	2			
計	123	29		129単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2-6

保健学部学科目構成

（平成25年度入学生から適用）

診療放射線技術学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
基礎分野				
人文・社会学系				
哲 学		2		必修2単位を含め 4単位以上
心 理 学		2		
生 命 倫 理 学	2			
法 学		2		
日 本 国 憲 法 学		2		
社 会 学 術		2		
数学・物理学系				
基 礎 数 学	2			必修2単位を含め 4単位以上
医 療 情 報 科 学	2			
計 算 機 演 習	1			
統 計 学 演 習	1			
基 礎 物 理 学	2			
化学・生物学系				
基 礎 化 学	1			必修2単位を含め 4単位以上
無 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学		2		
基 礎 生 物 学	1			
生 命 科 学 概 論		2		
遺 伝 学		2		
細 胞 生 物 学		2		
言語系				
英 語 I	2			必修6単位を含め 8単位以上
英 語 II	2			
英 語 III		2		
英 語 IV		2		
英 会 話		2		
日 本 語 表 現 法	2			

第3類（杏林大学学則）

専門基礎分野			
人体の構造と機能および疾病の成り立ち			
解剖学	2		
解剖・組織学実習	1		
臨床生理学	2		
臨床生理学実習	1		
生化学	2		
感染症・免疫学	2		
薬理学		2	
公衆衛生学	2		
疾病の成り立ちⅠ（感覚器系・女性生殖器系）	2		
疾病の成り立ちⅡ（消化器系）	2		
疾病の成り立ちⅢ（呼吸器系）	2		
疾病の成り立ちⅣ（循環器系）	2		
疾病の成り立ちⅤ（神経系・脳血管系）	2		
疾病の成り立ちⅥ（腎・泌尿器系）	2		
保健医療福祉における理工学的基礎 並びに放射線の科学および技術			
医用電気工学	2		
医用電気工学実験	1		
医用電子工学	2		
医用電子工学実験	1		
システム工学	2		
システム工学実験	1		
放射線生物学	2		
放射線生物学演習		1	
放射線物理学Ⅰ	2		
放射線物理学Ⅱ	2		
放射線物理学演習		1	
放射化学	2		
放射化学演習		1	
放射線計測学	2		
放射線計測学演習	1		
放射線計測学実験	1		
放射線取扱技術学演習	1		
専門分野			
診療画像技術学			

第3類（杏林大学学則）

放射線画像検査技術学概論	2			
診療画像検査技術学Ⅰ	2			
診療画像検査技術学Ⅱ	2			
診療画像検査技術学Ⅲ	2			
診療画像検査機器学Ⅰ	2			
診療画像検査機器学Ⅱ	2			
画像解剖学	2			
画像解剖学演習		1		
画像医学	2			
診療画像検査技術学演習	1			
診療画像検査技術学実習	1			
核医学検査技術学				
核医学検査技術学概論	2			
核医学検査技術学各論	2			
核医学検査機器学	2			
放射性医薬品学	1			
核医学検査技術学演習		1		
放射線治療技術学				
放射線治療技術学Ⅰ	2			
放射線治療技術学Ⅱ	2			
放射線腫瘍学	2			
放射線治療機器学	2			
医用画像情報学				
医療画像情報学Ⅰ	2			
医療画像情報学Ⅱ	2			
医療システム情報学	2			
医療画像情報学演習		1		
医療画像情報学実習	1			
放射線安全管理学				
放射線安全管理技術学	2			
放射線安全管理技術学演習		1		
放射線安全管理技術学実習	1			
関係法規	2			
臨床実習				
画像検査技術学実習	6			
核医学検査技術学実習	2			

第3類（杏林大学学則）

放射線治療技術学実習	2			
総合領域				
医療総合演習	2			
医療安全学	2			
千一ム医療論		2		
原書講読		2		
特別講義Ⅰ		1		
特別講義Ⅱ		1		
卒業研究	4			
計	127	43		133単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2-7

保健学部学科目構成

（平成27年度入学生から適用）

健康福祉学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				10単位以上
哲学		2		
心理学		2		
法学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
生命倫理学	2			
教育心理学		2		
発達心理学		2		
芸術学		2		
倫理学		2		
地域と大	1			
自然科学系				
基礎数学		1		
情報処理演習	2			
基礎物理学		1		
基礎化学	1			
無機化学		2		
基礎生物学	1			
自然科学実験	1			
言語系				
英語 I	2			
英語 II		2		
英語 III		2		
医学英語	2			
英会話		2		
基礎医学系				

第3類 (杏林大学学則)

医学概論	2		
医学基礎実習	1		
公衆衛生学Ⅰ	2		
公衆衛生学Ⅱ		2	
解剖学	2		
病理学	2		
生理学	2		
生化学	2		
免疫学	2		
微生物学	2		
微生物学実験		1	
薬理学	2		
小児疾患の病態学	2		
内科疾患の病態学Ⅰ	2		
内科疾患の病態学Ⅱ		2	
内科疾患の病態学Ⅲ		2	
外科疾患の病態学	2		
精神医学		1	
救命救助法		1	
保健学系			
保健学概論	2		
健康福祉学	4		
健康福祉学実習	1		
疫学		2	
小児保健学	2		
精神保健学	2		
保健栄養学	2		食品学を含む
健康教育学	2		
健康スポーツ科学		2	
社会福祉学系			
社会福祉学	2		
社会福祉政策論		2	
老人福祉論		2	

第3類 (杏林大学学則)

高 齡 保 健 学	2	
障 害 者 福 祉 論	2	
児 童 福 祉 論	2	
社 会 保 障 論	4	
公 的 扶 助 論	2	
地 域 福 祉 論	4	
社会福祉援助技術総論 I	4	
社会福祉援助技術総論 II	2	
社会福祉援助技術論 I	2	
社会福祉援助技術論 II	2	
社会福祉援助技術演習 I	1	150時間
社会福祉援助技術演習 II	1	
社会福祉援助技術演習 III	2	
社会福祉援助技術演習 IV	2	
社会福祉援助技術演習 V	2	
社会福祉援助技術演習 VI	2	
社会福祉援助技術実習	6	180時間
社会福祉援助技術現場実習指導 I	1	30時間 (実習)
社会福祉援助技術現場実習指導 II	4	60時間 (講義・演習)
医 療 福 祉 論	2	
社 会 調 査 概 論	1	
福祉行財政と福祉計画概論	1	
社 会 福 祉 経 営 論	1	
就 労 支 援 概 論	1	
権利擁護と成年後見概論	1	
更 生 保 護 概 論	1	
介 護 福 祉 論	2	
学校保健学系		
学 校 保 健 学 I	2	学校安全を含む
学 校 保 健 学 II	2	
学 校 看 護 学	1	
健 康 相 談 I	2	

第3類 (杏林大学学則)

健康相談Ⅱ		1	
養護学概論		2	
カウンセリング	2		
保健科指導研究Ⅰ		2	
保健科指導研究Ⅱ		2	
保健科教育法－1		2	
保健科教育法－2		2	
看護学Ⅰ		2	
看護学Ⅱ		2	
看護学Ⅲ		2	
看護学実習		2	
救急看護学		2	
環境・食品学系			
産業保健学		2	
環境衛生工学		2	
環境科学		2	
放射線概論		2	
分析化学		2	
分析化学実験		1	
食品栄養学		2	
食品衛生学		2	
食品製造学		2	
職業適性論		2	
労働衛生法規Ⅰ		2	
労働衛生法規Ⅱ		2	
総合			
移植コーディネータ論		2	
特別講義Ⅰ		2	
特別講義Ⅱ		2	
特別演習Ⅰ		1	
特別演習Ⅱ		1	
ボランティア活動		2	

第3類（杏林大学学則）

フィールドスタディ		4		
計	59	164		124単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2-8

保健学部学科目構成

（平成28年度入学生から適用）

看護学科看護学専攻

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
看護師課程				
基礎分野				
人間科学系				
哲 学		2		「人間科学系」より 必修4単位を含めて 10単位以上
生 命 倫 理 学		2		
日 本 国 憲 法		2		
心 理 学		2		
発 達 心 理 学	2			
福 祉 ・ 地 域 と 大 学	2			
現 代 教 育 論		2		
ホ ス ピ タ リ テ ィ 論		2		
国 際 協 力 論		2		
健 康 ス ポ ー ツ 科 学		2		
自然科学系				
統 計 学		2		「自然科学系」より 必修2単位を含めて 6単位以上
人 類 遺 伝 学		2		
物 理 学 概 論		1		
化 学 概 論		1		
生 命 科 学 概 論		2		
情 報 処 理 論	2			
語学系				
英 語 I	2			「語学系」より 必修6単位を含めて 10単位以上
英 語 II	2			
英 語 III		2		
英 会 話		2		
医 学 英 語		2		
日 本 語 表 現 法	2			
専門基礎分野				
人体の構造と機能・疾病の成り立ち 形 態 ・ 機 能 学	2			

第3類（杏林大学学則）

代謝・栄養学	2		
薬理学	2		
感染症・免疫学	2		
病態治療論Ⅰ	2		
病態治療論Ⅱ	2		
病態治療論Ⅲ	2		
病態治療論Ⅳ	1		
病態治療論Ⅴ	1		
健康支援と社会保障制度			
公衆衛生学	1		
健康支援と法律	1		
保健福祉行政論Ⅰ	1		
保健福祉行政論Ⅱ	2		
健康教育学	2		
産業保健学概論		1	保健師課程選択者は必修
学校保健学概論		1	
疫学と統計			
疫学	2		
保健統計	2		
基礎看護学			
基礎看護学系			
看護学概論	2		
看護援助論	1		
生活行動援助技術Ⅰ	2		
生活行動援助技術Ⅱ	2		
ヘルスアセスメント技術	1		
看護過程	1		
治療・処置の技術	2		
基礎看護学実習Ⅰ	1		
基礎看護学実習Ⅱ	2		
専門看護学			
成人看護学系			
成人看護学概論	2		
成人看護学Ⅰ	2		
成人看護学Ⅱ	2		
成人看護学演習	2		

第3類 (杏林大学学則)

成人看護学実習Ⅰ	3		
成人看護学実習Ⅱ	3		
高齢者看護学系			
高齢者看護学概論	2		
高齢者看護学	2		
高齢者看護学演習	1		
高齢者看護学実習Ⅰ	2		
高齢者看護学実習Ⅱ	2		
小児看護学系			
小児看護学概論	2		
小児看護学	2		
小児看護学演習	1		
小児看護学実習	2		
母性看護学系			
母性看護学概論	2		
母性看護学	2		
母性看護学演習	1		
母性看護学実習	2		
精神看護学系			
精神看護学概論	2		
精神看護学	2		
精神看護学演習	1		
精神看護学実習	2		
在宅看護学系			
在宅看護学	2		
在宅看護学演習	2		
在宅看護学実習	2		
公衆衛生看護学系			
公衆衛生看護学概論	2		
家族相談支援論	1		
公衆衛生看護学実習Ⅰ	1		
応用看護学			
応用看護学系			
看護研究	4		
看護管理		2	
家族看護		2	

看護師課程選択者は

第3類（杏林大学学則）

クリティカルケア		2		選択必修4単位以上
がん看護		2		
応用看護学実習	2			
特別講義	2			
保健師課程				
公衆衛生看護学				
公衆衛生看護学系				
公衆衛生看護活動方法論Ⅰ		2		保健師課程選択者は必修
公衆衛生看護活動方法論Ⅱ		1		
公衆衛生看護活動論Ⅰ		2		
公衆衛生看護活動論Ⅱ		2		
地域診断演習		1		
公衆衛生看護管理		1		
公衆衛生看護学実習Ⅱ		2		
公衆衛生看護学実習Ⅲ		3		
助産師課程				
助産学専攻				
助産学系				
助産学概論		2		助産師課程選択者は必修
周産期医学Ⅰ		2		
周産期医学Ⅱ		1		
助産診断・技術学Ⅰ		1		
助産診断・技術学Ⅱ		2		
助産診断・技術学Ⅲ		2		
助産診断・技術学Ⅳ		1		
助産診断・技術学Ⅴ		2		
地域助産活動論		1		
助産管理学		2		
助産学特別講義		1		
助産学実習Ⅰ		1		
助産学実習Ⅱ		7		
助産学実習Ⅲ		2		
助産学実習Ⅳ		1		
計	115	82		133単位以上

第3類（杏林大学学則）

看護学科看護養護教育学専攻

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
基礎分野				
人間科学系				
日 本 国 憲 法	2			
芸 術		2		
教 育 心 理 学	2			
生 命 倫 理 学		2		
学 校 教 育 環 境 づ くり	1			
健 康 ス ポ ー ツ 科 学	2			
健 康 教 育 学 概 論	2			
ホ ス ピ タ リ テ ィ 論		2		
国 際 協 力 論		2		
日 本 語 学		2		
日 本 人 の 言 語 行 動 学		2		
自然科学系				
基 礎 生 物 学		1		「自然科学系」より 必修2単位を含めて 5単位以上
基 礎 物 理 学		1		
基 礎 化 学		1		
基 礎 数 学		1		
情 報 処 理 論	2			
生 化 学		2		
医 用 機 器 概 論		2		
語学系				
実 用 英 語 I	2			「語学系」より 必修6単位を含めて 8単位以上
実 用 英 語 II	2			
英 会 話	2			
看 護 英 語		2		
日 本 語 表 現 法		2		
専門基礎分野				
人体の構造と機能・疾病の成り立ち				
解剖学(解剖学実習を含む)	2			
生 理 学	2			
病 理 学	2			
薬 理 学	2			

第3類（杏林大学学則）

感染症・免疫学	2		
栄養学（食品学を含む。）	2		
疾病の成り立ちⅠ	2		
疾病の成り立ちⅡ	2		
疾病の成り立ちⅢ	2		
疾病の成り立ちⅣ	2		
疾病の成り立ちⅤ	2		
健康支援と社会保障制度			
公衆衛生学	2		
学校保健学概論	2		
福祉・地域と大学	2		
健康支援と法律	1		
保健統計学	2		
疫学	2		
基礎看護学分野			
基礎看護学系			
看護学概論Ⅰ	1		
看護学概論Ⅱ	2		
看護基本技術Ⅰ	2		
看護基本技術Ⅱ	2		
看護基本技術Ⅲ	1		
アセスメントと援助技術Ⅰ	1		
看護過程	1		
救命救助法	1		
看護基礎実習Ⅰ	1		
看護基礎実習Ⅱ	2		
専門看護学分野			
成人看護学系			
成人看護学概論	1		
成人看護学Ⅰ	2		
成人看護学Ⅱ	2		
アセスメントと援助技術Ⅱ	1		
成人看護学方法	1		
成人看護学実習Ⅰ	3		
成人看護学実習Ⅱ	3		
老年看護学系			
老年看護学概論	1		

第3類（杏林大学学則）

老年看護学	2		
老年看護方法	1		
老年看護学実習Ⅰ	2		
老年看護学実習Ⅱ	2		
小児看護学系			
小児看護学概論	1		
小児看護学	2		
小児看護方法	1		
小児看護学実習	2		
母性看護学系			
母性看護学概論	1		
母性看護学	2		
母性看護方法	1		
母性看護学実習	2		
精神看護学系			
精神看護学概論	2		
精神看護学（演習含む）	2		
精神看護学実習	2		
統合分野			
在宅看護学系			
在宅看護学概論	2		
在宅看護学（演習含む）	2		
在宅看護学実習	2		
公衆衛生看護学系			
公衆衛生看護学概論	2		
ヘルスプロモーション系			
小児保健学	2		
養護実践学Ⅰ	2		
養護実践学Ⅱ	2		
健康相談活動	2		
ボランティア活動		1	
看護の統合と実践			
発達障害と特別支援	2		
統合看護学実習（発達障害）	2		
看護トピックス		1	
医療看護英文読解	1		

第3類（杏林大学学則）

国際看護学実習基礎分野		1		
国際看護学実習応用分野		1		
領域別ゼミナール(看護系)	2			
領域別ゼミナール(養護系)		2		
看護研究	2			
計	128	30		133単位以上

理学療法学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
基礎分野				
人間科学系				
心理学		2		「人間科学系」より 必修1単位を含めて 7単位以上
生命倫理学		2		
芸術学		2		
社会福祉学		2		
発達心理学		2		
職業適性論		2		
日本国憲法		2		
日本語学		2		
日本人の言語行動学		2		
地域と大学	1			
自然科学系				
数学		2		「自然科学系」より 必修2単位を含めて 7単位以上
統計学		2		
情報処理論	2			
基礎物理学		1		
基礎化学		1		
生化学概論		2		
基礎生物学		1		
生命科学概論		2		
語学系				
英語 I	2			「語学系」より 必修4単位を含めて
英語 II	2			
英語 III		2		
英語 IV		2		

第3類（杏林大学学則）

英 会 話	2		8単位以上
医 学 英 語	2		
日 本 語 表 現 法	2		
専門基礎分野			
医学系			
解 剖 学	2		
リハビリテーション解剖学	1		
解 剖 学 実 習	1		
リハビリテーション解剖学実習	1		
生 理 学 I	2		
生 理 学 II	1		
生 理 学 実 習	1		
病 理 学 概 論	1		
人 間 発 達 学	2		
リハビリテーション概論	1		
臨 床 心 理 学	1		「医学系」より 必修27単位を 含めて30単位以上
精 神 医 学	2		
内 科 学 I	2		
内 科 学 II	2		
小 児 科 学	1		
神 経 内 科 学	2		
外 科 学	1		
整 形 外 科 学	2		
脳 神 経 外 科 学	1		
リハビリテーション医学	1		
医 療 安 全 論	1		
感 染 症 ・ 免 疫 学	2		
薬 理 学	1		
栄 養 学	1		
保健学・衛生学系			
産 業 保 健 学	2		
公 衆 衛 生 学 I	2		
公 衆 衛 生 学 II	2		「保健学・衛生学系」 より4単位以上
環 境 衛 生 工 学	2		
救 命 救 助 法	1		
労 働 衛 生 法 規 I	2		

第3類（杏林大学学則）

労働衛生法規Ⅱ		2	
専門分野			
基礎理学療法学系			
理学療法概論	1		
理学療法用語論		1	
運動学	1		
運動学実習	1		
病態運動学		1	
運動解剖学		1	
理学療法評価学系			
理学療法評価学概論	1		
理学療法評価学Ⅰ	1		
理学療法評価学Ⅱ	2		
理学療法評価学実習	1		
動作分析学		1	
理学療法治療学系			
理学療法治療学総論		1	
運動療法学	2		
運動療法学実習	1		
物理療法学	2		
物理療法学実習	1		
義肢学	1		
装具学	1		
義肢装具学実習	1		
日常生活技術学	1		
日常生活技術学実習	1		
運動器障害系理学療法学	2		
神経障害系理学療法学	2		
内部障害系理学療法学	2		
小児理学療法学	2		
高次脳機能障害学	1		
高齢者理学療法学		1	
急性期理学療法学		1	
スポーツ障害理学療法学		1	
マニュアルセラピー		1	
プロフェッショナルスキル	2		

「専門分野」より
必修57単位を
含めて69単位以上

第3類（杏林大学学則）

クリニカルリーズニング		1		
地域理学療法学系				
地域理学療法学	2			
理学療法国際事情		1		
臨床実習系				
見学実習	1			
評価実習Ⅰ	2			
評価実習Ⅱ	4			
総合臨床実習	14			
総合領域				
理学療法特論		2		
理学療法研究法		1		
応用理学療法学		1		
基礎ゼミ	2			
特別講義		2		
卒業研究	2			
計	91	75		125単位以上

作業療法学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
基礎分野				
人間科学系				
心理学		2		「人間科学系」より 必修1単位を含めて 7単位以上
生命倫理学		2		
芸術学		2		
社会福祉学		2		
発達心理学		2		
職業適性論		2		
日本国憲法学		2		
日本語学		2		
日本人の言語行動学		2		
地域と大学	1			
自然科学系				
数学		2		
統計学		2		

第3類 (杏林大学学則)

情報処理論	2			
基礎物理学		1		
物理学概論		2		
基礎化学		1		
生化学概論		2		
基礎生物学		1		
生命科学概論		2		
分子生物学		2		
人類遺伝学		2		
語学系				
英語 I	2			
英語 II	2			
英語 III		2		
英語 IV		2		
英会話		2		
医学英語		2		
日本語表現法		2		
専門基礎分野				
医学系				
解剖学	2			
リハビリテーション解剖学	1			
解剖学実習	1			
リハビリテーション解剖学実習	1			
生理学 I	2			
生理学 II	1			
生理学実習	1			
運動学	1			
運動学実習	1			
病態運動学実習		1		
病理学	1			
人間発達学	2			
リハビリテーション概論	1			
臨床心理学概論	1			
精神医学	2			
内科学 I	2			
内科学 II		2		
				「自然科学系」より 必修2単位を含めて 7単位以上
				「語学系」より 必修4単位を含めて 8単位以上
				「医学系」より 必修29単位を 含めて30単位以上

第3類（杏林大学学則）

小 児 科 学	1		
神 経 内 科 学	2		
外 科 学	1		
整 形 外 科 学	2		
脳 神 経 外 科 学	1		
リハビリテーション医学	1		
医 療 安 全 論	1		
感 染 症 ・ 免 疫 学		2	
薬 理 学		1	
栄 養 学		1	
保健学・衛生学系			
産 業 保 健 学		2	
公 衆 衛 生 学 I		2	
公 衆 衛 生 学 II		2	「保健学・衛生学系」 より4単位以上
環 境 衛 生 工 学		2	
救 命 救 助 法		1	
労 働 衛 生 法 規 I		2	
労 働 衛 生 法 規 II		2	
専門分野			
基礎作業療法学系			
作 業 療 法 学 概 論	1		
基 礎 作 業 学 概 論	1		
基礎作業学実習Ⅰ（作業活動の基礎）	1		
基礎作業学実習Ⅱ（作業活動の応用）	1		
作業分析学Ⅰ（基本的分析）	1		
作業分析学Ⅱ（応用的分析）	1		
作 業 療 法 管 理 運 営		1	
作 業 療 法 諸 理 論		1	
作業療法評価学系			
作 業 療 法 評 価 学 I（総論）	1		
作 業 療 法 評 価 学 II（疾患別）	1		
作業療法評価学実習Ⅰ（中枢神経障害）	1		
作業療法評価学実習Ⅱ（発達、精神障害）	1		
作業療法評価学実習Ⅲ（老年期障害）	1		
認 知 機 能 評 価 法		1	
作業療法治療学系			

第3類（杏林大学学則）

身体障害作業療法学Ⅰ（内科系疾患）	1			
身体障害作業療法学Ⅱ（運動器系疾患）	1			
身体障害作業療法学Ⅲ（中枢神経系疾患：脳血管）	1			
身体障害作業療法学Ⅳ（中枢神経系疾患：進行性）	1			
身体障害作業療法学演習	1			
高次脳機能障害作業療法学	1			
精神障害作業療法学Ⅰ（総論）	1			
精神障害作業療法学Ⅱ（疾患別）	1			
精神障害作業療法学演習	1			
発達障害作業療法学Ⅰ（総論）	1			
発達障害作業療法学Ⅱ（疾患別）	1			
発達障害作業療法学演習	1			
老年期障害作業療法学	1			
認知障害作業療法学	1			
職業関連作業療法学	1			
身体機能代償学		1		
義肢装具学	1			
義肢装具学実習	1			
福祉用具適応学	1			
日常生活活動学Ⅰ（総論）	1			
日常生活活動学Ⅱ（疾患別）	1			
バリアフリー論		1		
レクリエーション概論		1		
クリニカルリーズニング		1		
ハンドセラピー学	1			
地域作業療法学系				
地域生活作業療法学	1			
地域ケアシステム論	1			
住環境整備論	1			
地域生活作業療法学演習	1			
作業療法国際事情		1		
臨床実習系				
見学実習	1			
評価実習Ⅰ	2			
評価実習Ⅱ	4			
総合臨床実習	14			
総合領域				

「専門分野」より
必修63単位を
含めて69単位以上

第3類（杏林大学学則）

作業療法学特論Ⅰ		1		
作業療法学特論Ⅱ		1		
作業療法研究法		1		
応用作業療法学		1		
基礎ゼミ	2			
特別講義		1		
卒業研究	4			
計	99	78		125単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2-9

保健学部学科目構成

（平成28年度入学生から適用）

臨床検査技術学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
心理学		2		必修を含めて 7単位以上
日本国憲法		2		
芸術学		2		
発達心理学		2		
社会福祉学		2		
日本語学		2		
日本人の言語行動学		2		
地域と大	1			
自然科学系				
数学		2		7単位以上
統計学		2		
基礎物理学		1		
物理学		2		
物理実験		1		
基礎化学		1		
化学実験		1		
基礎生物		1		
生物実験		1		
語学系				
日本語表現法		2		必修を含めて 10単位以上
英語 I	2			
英語 II	2			
英語 III		2		
英語 IV		2		
英会話		2		
医学英語	2			
学科基礎系				
医療情報処理演習		2		
生命科学科	2			
遺伝子工学		1		
分子細胞生物学		1		
無機化学		2		
生物有機化学 I		2		
生物有機化学 II		2		
分析化学	2			
分析化学実験	1			
医療情報科	2			

第3類 (杏林大学学則)

医 療 学 概 論	1	1	集中 (実践的防災論を含む)
救 命 救 助 論 法	2		
医 用 工 学 概 論	1		
医 用 工 学 実 験 論	2		
放 射 線 概 論	1		
生 命 倫 理 学	2		
基礎医学系			
公 衆 衛 生 学 I	2		
公 衆 衛 生 学 II	2		
解 剖 学	2		
組 織 学 実 習 論	1		
組 織 学 実 験 論	2		
病 理 学 I	2		
病 理 学 II	2		
生 化 学	2		
血 液 学	2		
免 疫 学	2		
微 生 物 学	2		
医 動 物 学	2		
薬 理 学	2		
臨床検査学系			
生 理 機 能 検 査 学 I	2		
生 理 機 能 検 査 学 II	2		
生 理 機 能 検 査 学 実 習	2		
生 理 機 能 検 査 学 III	2		
臨 床 化 学 検 査 学	2		
生 体 分 子 検 査 学	2		
臨 床 化 学 検 査 学 実 習	2		
臨 床 遺 伝 学	1		
遺 伝 子 ・ 染 色 体 検 査 学	2		
遺 伝 子 ・ 染 色 体 検 査 学 実 習	1		
病 理 学 各 論	2		
病 理 検 査 学	2		
病 理 検 査 学 実 習	2		
細 胞 診 断 学	2		
細 胞 診 断 学 実 習	2		
血 液 検 査 学	2		
血 液 検 査 学 実 習	2		
医 動 物 検 査 学 実 習	1		
細 菌 検 査 学	2		
真 菌 ・ ウ イ ル ス 検 査 学	2		
細 菌 ・ 真 菌 検 査 学 実 習	2		
免 疫 検 査 学	2		
		1	放射性同位元素検査学を含む

第3類（杏林大学学則）

輸血・移植検査学	2		
免疫検査学実習	1		
輸血検査学実習	1		
一般検査学	2		
一般検査学実習	1		
臨床病態学	2		
臨床検査総合演習		4	
検査管理学	1		
臨床検査機器総論	2		
臨地実習		7	
臨床検査概論	1		
医療安全管理学	1		
精度管理学	1		
臨床検査基礎実習	2		
臨床検査学特論 （アドバンスドクラス）		1	
画像検査技術			
臨床検査学特論 （アドバンスドクラス）		1	
血液検査技術			
臨床検査学特論 （アドバンスドクラス）		1	1 単位以上
病理組織検査技術			
臨床検査学特論 （アドバンスドクラス）		1	
微生物検査技術			
臨床検査学特論 （アドバンスドクラス）		1	
輸血検査技術			
衛生学系			
産業保健学	2		
環境衛生工学	2		
環境科学	2		
食品栄養学	2		
食品衛生学	2		
食品製造学	2		
職業適性論	2		
労働衛生法規Ⅰ	2		
労働衛生法規Ⅱ	2		
細胞検査士養成課程			
入門細胞診断学演習	1		
婦人科細胞診断学演習	1		
呼吸器細胞診断学演習	1		
乳腺細胞診断学演習	1		
総合細胞診断学演習	1		
			細胞検査士養成課程 選択者は必修

第3類（杏林大学学則）

臨床細胞診断学		4		細胞検査士養成課程選択者以外は必修
自由専攻 特別演習		1		
総合 総合医療演習		1		
卒業 卒業研究		4		
国際医療検査特論		1		
計	1000	1000		124単位以上

臨床工学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				必修を含めて 6単位以上
心理学		2		
日本国憲法学		2		
発達心理学		2		
芸術学		2		
健康スポーツ科学		2		
職業適性論		2		
生命倫理学	1			
日本語学		2		
日本人の言語行動学		2		
地域と大衆学	1			
数学系				
基礎数学		1		
数学	2			
統計学演習		1		
医療情報科学	2			
計算機演習	2			
応用数学	2			
物理学系				
基礎物理学		1		
基礎電気学	2			
基礎電子回路	2			
医用工学概論	2			
化学系				2単位以上
基礎化学		1		
無機化学		2		
生物有機化学		2		
化学実験		1		
生物学系				1単位以上
基礎生物学		1		
生命科学概論		2		

第3類 (杏林大学学則)

生物学実験		1		
言語系				
日本語表現法	2			
英語 I		2		
英語 II		2		
英語 III		2		
英語 IV		2		
医学英会話	2			
基礎医学系				
医学概論	2			
公衆衛生学 I	2			
公衆衛生学 II		2		
解剖学 I	2			
解剖学 II		2		
病理学 I	2			
病理学 II	2			
生理学実験	1			
生化学 I		2		
生化学 II		2		
免疫学		2		
薬理学		2		
看護学		2		
医学検査系				
生理学検査 I	2			
生理学検査 II	2			
画像診断技術		2		
生理学検査実習		1		
臨床工学系				
医用電気工学	2			
医用電気工学実習		1		
医用電子工学	2			
医用電子工学実習		1		
システム工学		2		
医用情報処理工学	2			
医用情報処理工学実習		1		
医用計測工学	2			
医用計測工学実習		1		
医用機械工学	2			
生体物性学	2			
生体材料工学		2		
医用機器学概論	2			
医用計測機器学	2			
				必修2単位を含めて 8単位以上
				2単位以上

第3類 (杏林大学学則)

医用計測機器学実習		1		
医用治療機器学	2			
医用治療機器学実習		1		
生体機能代行装置学概論		2		
生体機能代行装置学基礎実習		1		
呼吸関連機器学		2		
呼吸関連機器学実習		1		
血液浄化装置学		2		
応用血液浄化装置学		2		
血液浄化装置学実習		1		
体外循環機器学		2		
体外循環機器学実習		1		
医用機器安全管理学Ⅰ	2			
医用機器安全管理学Ⅱ		2		
安全管理学実習		1		
臨床医学各論Ⅰ	2			
臨床医学各論Ⅱ	2			
臨床医学各論Ⅲ	2			
臨床医学各論Ⅳ	2			
医療関係法規		2		
臨床実習講義		1		
臨床実習		3		
衛生学系				
産業保健学		2		
環境衛生工学		2		
労働衛生法規Ⅰ		2		
労働衛生法規Ⅱ		2		
救命救助法		1		集中(実践的防災論を含む)
総合				
特別講義Ⅰ		2		
特別講義Ⅱ		2		
特別演習Ⅰ		1		
特別演習Ⅱ		1		
総合演習		2		
卒業研究	4			
計	69	106		124単位以上

救急救命学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
日本国憲法学		2		
心理理学		2		

第3類 (杏林大学学則)

発達心理学		2		
芸術学		2		
生命倫理学	1			必修を含めて 10単位以上
日本語学		2		
日本人の言語行動学		2		
地域と大	1			
数学・物理学系				
基礎物理学		1		
物理学		2		4単位以上
医用工学概論		2		
数学		2		
統計学		2		
医療情報科学		2		
情報処理解演習		2		
化学系				
基礎化学		1		3単位以上
無機化学		2		
生物有機化学Ⅰ		2		
生物有機化学Ⅱ		2		
生物学系				
基礎生物学		1		3単位以上
生命科学概論		2		
細胞生物学		2		
人類遺伝学		2		
言語系				
日本語表現法		2		6単位以上
英語Ⅰ	2			
英語Ⅱ	2			
英会話		2		
プレホスピタル救急英会話Ⅰ		2		
プレホスピタル救急英会話Ⅱ		2		
医学英語		2		
体育学系				
体育実技Ⅰ	2			6単位以上
体育実技Ⅱ	2			
体育実技Ⅲ		2		
体育実技Ⅳ		1		
基礎医学系				
医学概論		2		6単位以上
公衆衛生学Ⅰ	2			
公衆衛生学Ⅱ		2		
解剖学Ⅰ	2			
解剖学Ⅱ		2		
生理解学Ⅰ	2			

第3類 (杏林大学学則)

生 理 学	II	2			
生 化 学	学	2			
病 理 学	学	2			
微 生 物 学	学	2			
血 液 学	学		2		
免 疫 学	学		2		
薬 理 学	学	2			
救 命 救 助 法	学	1			集中
救急医学系					
内 科 学	I	2			
内 科 学	II	2			
内 科 学	III	2			
内 科 学	IV		2		
内 科 学	V		2		
内 科 学	VI		2		
医療コミュニケーション学	学		2		
救 急 医 学 概 論	論	2			
救 急 処 置 総 論	論	2			
救 急 処 置 各 論	論	2			
災 害 医 学	学		1		
外 科 学	学		2		
法 医 学	学		1		
外 傷 学	学		2		
環 境 障 害 ・ 急 性 中 毒 学	I		2		
環 境 障 害 ・ 急 性 中 毒 学	II		2		
救 急 搬 送 論	論		2		
小 児 科 学	学		1		
産 婦 人 科 学	学		1		
整 形 外 科 学	学		2		
脳 外 科 学	学		2		
精 神 医 学	学		2		
放 射 線 概 論	論		2		
シミュレーション I	I	2			
シミュレーション II	II	2			
シミュレーション III	III	2			
シミュレーション IV	IV		3		
シミュレーション V	V		3		
シミュレーション VI	VI		2		
シミュレーション VII	VII		2		
救 急 ・ 防 災 実 習	習	1			見学含む
臨 床 実 習	習		6		
実 践 救 急 症 候 学	学	1			
救 急 車 同 乗 実 習	習		2		
実 践 的 防 災 論	論		1		演習含む

第3類（杏林大学学則）

衛生学系				
産業保健学		2		
環境衛生工学		2		
職業適性論		2		
労働衛生法規 I		2		
労働衛生法規 II		2		
総合				
特別講義 I		2		
特別講義 II		2		
特別講義 III		2		
特別講義 IV		2		
卒業業研究	4			演習含む
計	51	129		124単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2-10

保健学部学科目構成

（平成29年度入学生から適用）

診療放射線技術学科

授 業 科 目	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
基礎分野				
人間科学系				
哲 学		2		4単位以上 (必修1単位を含む)
心 理 学		2		
生 命 倫 理 学		2		
日 本 国 憲 法		2		
社 会 学		2		
芸 術 学		2		
日 本 語 学		2		
日 本 人 の 言 語 行 動 学		2		
地 域 と 大 学	1			
自然科学系				
基 礎 数 学		1		14単位以上 (必修12単位を含む)
微 分 積 分 学	1			
応 用 数 学	1			
基 礎 物 理 学 I	1			
基 礎 物 理 学 II	1			
計 算 機 演 習	1			
統 計 学 演 習	1			
基 礎 化 学	1			
無 機 化 学		2		
生 物 有 機 化 学		2		
基 礎 生 物 学	1			
生 命 科 学 概 論		2		
遺 伝 学		2		
基 礎 画 像 工 学	2			
基 礎 科 学 実 験 I	1			
基 礎 科 学 実 験 II	1			
語学系				
英 語 I	2			8単位以上 (必修6単位を含む)
英 語 II	2			
英 語 III		2		
英 語 IV		2		

第3類（杏林大学学則）

英 会 話		2	
医 学 英 語	2		
日 本 語 表 現 法		2	
専門基礎分野			
人体の構造と機能および疾病の成り立ち			
解 剖 学	2		
臨 床 生 理 学	2		
臨 床 生 理 学 実 習	1		
生 化 学		2	
感 染 症 ・ 免 疫 学	2		
薬 理 学		2	
公 衆 衛 生 学	2		
疾病の成り立ちI（感覚器系・脳神経・脳血管系）	2		
疾病の成り立ちII（消化器系・腎泌尿器系）	2		
疾病の成り立ちIII（呼吸器系）	2		
疾病の成り立ちIV（循環器系）	2		
救 命 救 助 法	1		
保健医療福祉における理工学の基礎並びに放射線の科学および技術			
医 用 電 気 工 学	2		
医 用 電 子 工 学	2		
医 用 工 学 実 験	1		
放 射 線 生 物 学	2		
放 射 線 生 物 学 演 習		1	
放 射 線 物 理 学 I	2		
放 射 線 物 理 学 II	2		
放 射 線 物 理 学 演 習		1	
放 射 化 学	2		
放 射 化 学 演 習		1	
放 射 線 計 測 学	2		
放 射 線 計 測 学 演 習		1	
放 射 線 計 測 学 実 験	1		
放 射 線 線 量 測 定 学	1		
専門分野			
診療画像技術学			
放射線画像検査技術学概論	1		
診療画像検査技術学 I	2		
診療画像検査技術学 II	2		

第3類 (杏林大学学則)

診療画像検査技術学Ⅲ	2		
診療画像検査技術学Ⅳ	2		
診療画像検査技術学実習Ⅰ	1		
診療画像検査技術学実習Ⅱ	1		
診療画像検査技術学実習Ⅲ	1		
診療画像検査機器学Ⅰ	2		
診療画像検査機器学Ⅱ	2		
診療画像検査機器学Ⅲ	2		
診療画像検査機器学実習	1		
画像解剖学	2		
画像解剖学演習		1	
画像医学	2		
乳房検査技術学		1	
救急撮影技術学		1	
M R I 検査技術学		1	
核医学検査技術学			
核医学検査技術学Ⅰ	2		
核医学検査技術学Ⅱ	2		
核医学検査機器学	2		
放射性医薬品学		1	
核医学検査技術学実習	1		
放射線治療技術学			
放射線治療技術学Ⅰ	2		
放射線治療技術学Ⅱ	2		
放射線腫瘍学	2		
放射線治療機器学	1		
放射線治療技術学実習	1		
医用画像情報学			
医療画像情報学Ⅰ	2		
医療画像情報学Ⅱ	2		
医療画像工学	2		
医療システム情報学	2		
医療画像情報学実習Ⅰ	1		
医療画像情報学実習Ⅱ	1		
放射線安全管理学			
放射線安全管理技術学	2		
放射線安全管理技術学演習		1	

第3類（杏林大学学則）

放射線安全管理技術学実習	1			
放射線関係法規	2			
医療安全管理学				
医療安全学	2			
医療倫理	1			
臨床実習				
画像検査技術学臨床実習	6			
核医学検査技術学臨床実習	2			
放射線治療技術学臨床実習	2			
総合領域				
医療総合演習	2			
医用統計学演習		1		
原書講読		1		
特別講義		1		
医療の最先端		1		
卒業研究	4			
計	126	51		133単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表2-11

保健学部学科目構成

（平成30年度入学生から適用）

臨床心理学科

授業科目	単位数			備考
	必修	選択	自由	
人文・社会学系				
哲学		2		必修を含めて10単位以上
生命倫理学		2		
日本国憲法		2		
社会学		2		
社会学		2		
芸術論		2		
職業適性論		2		
日本語学概論		2		
ことばと社会学		2		
地域と大	2			
自然科学系				
情報処理論	2			必修を含めて12単位以上
基礎生物学		1		
基礎化学		1		
基礎数学		1		
言語系				
日本語表現法	2			
英語 I	2			
英語 II	2			
英語 III	2			
英語 IV		2		
医学英話		2		
英会話		2		
基礎医学系				
公衆衛生学	1			
医学概論	1			
人体の構造	2			
人体の機能	2			
病態病理学		1		
疾病学	2			
精神医学概論	2			

第3類 (杏林大学学則)

精神医学各論	2		
緩和医療学(演習を含む)	2		
救急医療		1	
救命救助法	1		
看護学・精神科リハビリテーション学系			
看護学		2	
精神看護学(精神科リハビリテーション学を含む)	2		
精神看護学演習(精神科リハビリテーション学演習を含む)	2		
心理学基礎分野			
心理学概論	2		
心理学研究法	2		
心理学統計法	2		
心理学基礎実験Ⅰ	2		
心理学基礎実験Ⅱ	2		
心理検査演習	2		
心理面接演習	2		
心理学発展分野			
基礎心理学関連			
神経心理学	2		
認知心理学	2		
知覚心理学	2		
生理心理学	2		
発達・教育心理学関連			
発達心理学	2		
教育心理学		2	必修を含めて6単位以上
乳幼児心理学		2	
学校心理学		2	
社会・青年心理学関連			
社会心理学		2	6単位以上
集団心理学		2	
青年心理学		2	
家族心理学		2	
臨床心理学関連			
臨床心理学概論	2		
発達臨床心理学	2		
カウンセリング	2		

第3類（杏林大学学則）

心 理 療 法	2		— 必修を含めて16単位 以上
人 格 心 理 学		2	
心 理 検 査 法		2	
認 知 行 動 療 法		2	
医 療 心 理 学		2	
障 害 者 心 理 学		2	
隣接領域			
社 会 福 祉 学	2		— 必修を含めて14単位 以上
学 校 教 育 学		2	
児 童 福 祉 学		2	
高 齢 者 福 祉 学		2	
高 齢 保 健 学		2	
医 療 福 祉 学		2	
公 的 扶 助 学		2	
障 害 者 福 祉 学		2	
社 会 福 祉 政 策 学		2	
心理実践実習分野			
心 理 実 践 職 能 学	2		— 心理実践実習Ⅱ インターンシップ ボランティア活動 の中から2単位以上取得
心 理 実 践 基 礎 実 習 Ⅰ	1		
心 理 実 践 基 礎 実 習 Ⅱ	1		
心 理 実 践 実 習 Ⅰ	3		
心 理 実 践 実 習 Ⅱ		2	
総合領域			
臨 床 心 理 学 総 合 講 義	2		
臨 床 心 理 学 特 別 講 義 Ⅰ		2	
臨 床 心 理 学 特 別 講 義 Ⅱ		2	
特 別 演 習 Ⅰ		1	
特 別 演 習 Ⅱ		1	
イ ン タ ー ン シ ッ プ		2	
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動		2	
基 礎 ゼ ミ	2		
卒 業 研 究	4		
計	80	83	124単位以上

第3類（杏林大学学則）

別表3-1（平成18年度入学生から適用）

総合政策学部学科目構成

総合政策学科

1 基礎教養科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
社会のしくみ	4			
文章力演習	2			
読解力演習	2			
計算力演習	2			
近現代史論	2			
データ分析演習	2			
表現力演習	2			

2 専門科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
共通科目	国際関係論 I		2		16単位以上
	国際関係論 II		2		
	日本政治論 I		2		
	日本政治論 II		2		
	憲法 I		2		
	憲法 II		2		
	民法総論 I		2		
	民法総論 II		2		
	社会福祉学 I		2		
	社会福祉学 II		2		
	経済原論 I		2		
	経済原論 II		2		
	財政学概論 I		2		
	財政学概論 II		2		
	総合政策論 I		2		
	総合政策論 II		2		
	国際政治学 I		2		
	国際政治学 II		2		

第3類 (杏林大学学則)

国際政経 コース 基本科目	比較政治学 I	2	24 単位以上
	比較政治学 II	2	
	外交政策論 I	2	
	外交政策論 II	2	
	経済政策論 I	2	
	経済政策論 II	2	
	国際政治史 I	2	
	国際政治史 II	2	
	国際貿易論 I	2	
	国際貿易論 II	2	
	国際金融論 I	2	
	国際金融論 II	2	
	国際投資論 I	2	
	国際投資論 II	2	
	経済開発論 I	2	
	経済開発論 II	2	
国際法 I	2		
国際法 II	2		
アメリカ政治外交論	2	24 単位以上	
ヨーロッパ政治外交論	2		
ロシア政治外交論	2		
中国政治外交論	2		
中東政治外交論	2		
エネルギー戦略論	2		
朝鮮半島政治外交論	2		
国際資源論	2		
途上国協力論	2		
国際機構論	2		
日本経済論	2		
世界経済論	2		
アメリカ経済論	2		
ヨーロッパ経済論	2		
アジア経済論	2		
環境経済学	2		
環境政策論	2		
国際企業論 I	2		

第3類（杏林大学学則）

国際政経 コース 発展科目	国際企業論Ⅱ	2	42単位以上
	国際私法	2	
	環境法	2	
	国際経営論Ⅰ	2	
	国際経営論Ⅱ	2	
	キャリア開発論	2	
	憲法概論	2	
	民法概論	2	
	政治学概論	2	
	国際関係論演習	2	
	経済原論演習	2	
	憲法演習	2	
	民法演習	2	
	行政法演習	2	
	行政学演習	2	
	政治学演習	2	
	インターンシップⅠ	2	
	インターンシップⅡ	2	
	学際演習Ⅰ	2	
	学際演習Ⅱ	2	
演習Ⅰ	12		
演習Ⅱ	8		
卒業研究	4		
法律行政 コース 基本科目	公共選択論Ⅰ	2	24単位以上
	公共選択論Ⅱ	2	
	比較政治学Ⅰ	2	
	比較政治学Ⅱ	2	
	行政学Ⅰ	2	
	行政学Ⅱ	2	
	行政法Ⅰ	2	
	行政法Ⅱ	2	
	物権法Ⅰ	2	
	物権法Ⅱ	2	
	債権法Ⅰ	2	
	債権法Ⅱ	2	
家族法Ⅰ	2		

第3類 (杏林大学学則)

	家 族 法	II	2	
	刑 事 法	I	2	
	刑 事 法	II	2	
	劳 働 法	I	2	
	劳 働 法	II	2	
	経 済 政 策 論	I	2	
	経 済 政 策 論	II	2	
	会 社 法	I	2	
	会 社 法	II	2	
	刑 法 総 論		2	
	刑 法 各 論		2	
	民 事 訴 訟 法		2	
	刑 事 訴 訟 法		2	
	医 事 法	I	2	
	医 事 法	II	2	
	税 法	I	2	
	税 法	II	2	
	有 価 証 券 法		2	
	企 業 取 引 法		2	
	現 代 家 族 法 論		2	
	情 報 法 制		2	
	経 済 刑 法		2	
	国 際 私 法		2	
	国 際 法	I	2	
	国 際 法	II	2	
	環 境 法		2	
	年 金 ・ 劳 働 保 險 法		2	
	劳 働 衛 生 法 規		2	
	社 会 保 障 論	I	2	
	社 会 保 障 論	II	2	
法律行政 コース 発展科目	日 本 法 制 史		2	— 4 2 単位以上
	日 本 政 治 史		2	
	政 策 過 程 論		2	
	立 法 過 程 論		2	
	地 方 政 府 論		2	
	キ ャ リ ア 開 発 論		2	

第3類 (杏林大学学則)

	憲法概論	2	
	民法概論	2	
	政治学概論	2	
	国際関係論演習	2	
	経済原論演習	2	
	憲法演習	2	
	民法演習	2	
	行政法演習	2	
	行政学演習	2	
	政治学演習	2	
	インターンシップ I	2	
	インターンシップ II	2	
	学際演習 I	2	
	学際演習 II	2	
	演習 I	1 2	
	演習 II	8	
	卒業研究	4	
環境福祉 コース 基本科目	社会保障論 I	2	24 単位以上
	社会保障論 II	2	
	環境科学概論 I	2	
	環境科学概論 II	2	
	人類生態学 I	2	
	人類生態学 II	2	
	人体構造機能論 I	2	
	人体構造機能論 II	2	
	健康福祉システム論 I	2	
	健康福祉システム論 II	2	
	障害者福祉論 I	2	
	障害者福祉論 II	2	
	医療経済学 I	2	
	医療経済学 II	2	
	医事法 I	2	
	医事法 II	2	
家族法 I	2		
家族法 II	2		
労働法 I	2		

第3類（杏林大学学則）

	労働法Ⅱ			
	国際保健学	2		
	環境保健学	2		
	疫学	2		
	カウンセリング論	2		
	社会福祉政策論	2		
	児童福祉論	2		
	老人福祉論	2		
	経済政策論Ⅰ	2		
	経済政策論Ⅱ	2		
	環境経済学	2		
	環境政策論	2		
	環境アセスメント論	2		
	環境保全論	2		
	医療福祉財政論	2		
	社会福祉援助技術総論Ⅰ	2		
	社会福祉援助技術総論Ⅱ	2		
	産業社会学	2		
	地域社会学	2		
環境福祉	環境法	2		
コース	現代家族法論	2		42単位以上
発展科目	年金・労働保険法	2		
	労働衛生法規	2		
	キャリア開発論	2		
	憲法概論	2		
	民法概論	2		
	政治学概論	2		
	国際関係論演習	2		
	経済原論演習	2		
	憲法演習	2		
	民法演習	2		
	行政法演習	2		
	行政学演習	2		
	政治学演習	2		
	インターンシップⅠ	2		
	インターンシップⅡ	2		

第3類 (杏林大学学則)

学 際 演 習 I	2	
学 際 演 習 II	2	
演 習 I	1 2	
演 習 II	8	
卒 業 研 究	4	

3 専門関連科目

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必 修	選 択	自 由	
1 類	人文科学 分 野	宗 教 学 A		2	16 単位以上
		宗 教 学 B		2	
		哲 学 A		2	
		哲 学 B		2	
		倫 理 学 A		2	
		倫 理 学 B		2	
		歴 史 学 A		2	
		歴 史 学 B		2	
		文 学 A		2	
		文 学 B		2	
	音 楽 A		2		
	音 楽 B		2		
	社会科学 分 野	社 会 学 A		2	
		社 会 学 B		2	
		法 学 A		2	
		法学B (日本国憲法)		2	
		政 治 学 A		2	
		政 治 学 B		2	
		地 理 学 A		2	
		地 理 学 B		2	
自然科学 分 野	数 学 A		2		
	数 学 B		2		
	統 計 学 A		2		
	統 計 学 B		2		
	物 理 学 A		2		

第3類 (杏林大学学則)

		物理学 B		2		
		化学 A		2		
		化学 B		2		
		生物学 A		2		
		生物学 B		2		
		心理学 A		2		
		心理学 B		2		
2類	第1 外国語	英語 I	2			
		英語 II	2			
		英語 III	2			
		日本語 A	2			留学生のみ
		日本語 B	2			
		日本語 C	2			
	発展英語 A		2		最大6単位まで 発展科目に繰り 入れる	
	発展英語 B		2			
	発展英語 C		2			
	ドイツ語 A		2			
	ドイツ語 B		2			
	フランス語 A		2			
	フランス語 B		2			
	中国語 A		2			
	中国語 B		2			
	スペイン語 A		2			
	スペイン語 B		2			
韓国語 A		2				
韓国語 B		2				
3類		特別プレゼミナールA		2		
		特別プレゼミナールB		2		
		特別演習 I		2		
		特別演習 II		2		
		特別演習 III		2		
		特別演習 IV		2		
		特別演習 V		2		
		特別演習 VI		2		
4類		体育実技 A		1		
		体育実技 B		1		

第3類（杏林大学学則）

	体 育 理 論		2		
自 由 科 目					

4 教職課程教科に関する科目

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
日 本 史 I			2	
日 本 史 II			2	
外 国 史 I			2	
外 国 史 II			2	
地 誌 学 I			2	
地 誌 学 II			2	

企業経営学科

1 基礎教養科目

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
社 会 の し く み	4			
文 章 力 演 習	2			
読 解 力 演 習	2			
計 算 力 演 習	2			
近 現 代 史 論	2			
デ ー タ 分 析 演 習	2			
表 現 力 演 習	2			

2 専門科目

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			備 考
	必 修	選 択	自 由	
共 通 科 目	経 営 学 総 論 I		2	16単位以上
	経 営 学 総 論 II		2	
	会 計 学 総 論 I		2	
	会 計 学 総 論 II		2	
	情 報 処 理 概 論 I		2	
	情 報 処 理 概 論 II		2	

第3類 (杏林大学学則)

	マーケティング総論 I	2		
	マーケティング総論 II	2		
	経営情報論 I	2		
	経営情報論 II	2		
	総合政策論 I	2		
	総合政策論 II	2		
経営戦略 コース 基本科目	経営管理総論 I	2	24単位以上	
	経営管理総論 II	2		
	経営戦略論 I	2		
	経営戦略論 II	2		
	人材マネジメント論 I	2		
	人材マネジメント論 II	2		
	経営史 I	2		
	経営史 II	2		
	経営組織論 I	2		
	経営組織論 II	2		
	国際経営論 I	2		
	国際経営論 II	2		
	財務管理 I	2		
	財務管理 II	2		
	流通システム論 I	2		
	流通システム論 II	2		
	会社法 I	2		
会社法 II	2			
労働法 I	2			
労働法 II	2			
	キャリア開発論	2		
	地域社会学	2		
	産業社会学	2		
	情報処理論 I	2		
	情報処理論 II	2		
	システム設計 I	2		
	システム設計 II	2		
	簿記論 I	2		
	簿記論 II	2		
	株式会社簿記論 I	2		

第3類 (杏林大学学則)

経営戦略 コース 発展科目	株 式 会 社 簿 記 論	Ⅱ	2	— 4 2 単位以上
	財 務 会 計 論	Ⅰ	2	
	財 務 会 計 論	Ⅱ	2	
	財 務 会 計 各 論	Ⅰ	2	
	財 務 会 計 各 論	Ⅱ	2	
	税 法	Ⅰ	2	
	税 法	Ⅱ	2	
	税 法 各 論	Ⅰ	2	
	税 法 各 論	Ⅱ	2	
	財 政 学 概 論	Ⅰ	2	
	財 政 学 概 論	Ⅱ	2	
	国 際 関 係 論	Ⅰ	2	
	国 際 関 係 論	Ⅱ	2	
	世 界 経 済 論		2	
	国 際 貿 易 論	Ⅰ	2	
	国 際 貿 易 論	Ⅱ	2	
	国 際 金 融 論	Ⅰ	2	
	国 際 金 融 論	Ⅱ	2	
	国 際 投 資 論	Ⅰ	2	
	国 際 投 資 論	Ⅱ	2	
	国 際 企 業 論	Ⅰ	2	
	国 際 企 業 論	Ⅱ	2	
	環 境 経 済 学 論		2	
	環 境 政 策 論		2	
	憲 法	Ⅰ	2	
	憲 法	Ⅱ	2	
	民 法 総 論	Ⅰ	2	
	民 法 総 論	Ⅱ	2	
	物 権 法	Ⅰ	2	
	物 権 法	Ⅱ	2	
	債 権 法	Ⅰ	2	
	債 権 法	Ⅱ	2	
	有 価 証 券 法		2	
企 業 取 引 法		2		
国 際 法	Ⅰ	2		
国 際 法	Ⅱ	2		

第3類 (杏林大学学則)

	経 済 刑 法	2	
	社 会 保 障 論 I	2	
	社 会 保 障 論 II	2	
	経 済 政 策 論 I	2	
	経 済 政 策 論 II	2	
	経 済 原 論 I	2	
	経 済 原 論 II	2	
	憲 法 概 論	2	
	民 法 概 論	2	
	政 治 学 概 論	2	
	国 際 関 係 論 演 習	2	
	経 済 原 論 演 習	2	
	憲 法 演 習	2	
	民 法 演 習	2	
	行 政 法 演 習	2	
	行 政 学 演 習	2	
	政 治 学 演 習	2	
	イ ン タ ー シ ッ プ I	2	
	イ ン タ ー シ ッ プ II	2	
	学 際 演 習 I	2	
	学 際 演 習 II	2	
	演 習 I	1 2	
	演 習 II	8	
	卒 業 研 究	4	
経営会計 コース 基本科目	簿 記 論 I	2	— 24単位以上
	簿 記 論 II	2	
	株 式 会 社 簿 記 論 I	2	
	株 式 会 社 簿 記 論 II	2	
	財 務 会 計 論 I	2	
	財 務 会 計 論 II	2	
	財 務 会 計 各 論 I	2	
	財 務 会 計 各 論 II	2	
	税 法 I	2	
	税 法 II	2	
	税 法 各 論 I	2	
	税 法 各 論 II	2	

第3類（杏林大学学則）

情報処理論 I	2		
情報処理論 II	2		
システム設計 I	2		
システム設計 II	2		
会社法 I	2		
会社法 II	2		
労働法 I	2		
労働法 II	2		
管理会計論	2		
会計監査論	2		
経営管理総論 I	2		
経営管理総論 II	2		
経営戦略論 I	2		
経営戦略論 II	2		
人材マネジメント論 I	2		
人材マネジメント論 II	2		
経営史 I	2		
経営史 II	2		
財務管理 I	2		
財務管理 II	2		
経営組織論 I	2		
経営組織論 II	2		
国際経営論 I	2		
国際経営論 II	2		
流通システム論 I	2		
流通システム論 II	2		
地域社会学	2		
産業社会学	2		
キャリア開発論	2		
財政学概論 I	2		
財政学概論 II	2		
国際関係論 I	2		
国際関係論 II	2		
世界経済論	2		
国際貿易論 I	2		
国際貿易論 II	2		

第3類 (杏林大学学則)

経営会計 コース 発展科目	国際金融論 I	2	— 4 2 単位以上
	国際金融論 II	2	
	国際投資論 I	2	
	国際投資論 II	2	
	国際企業論 I	2	
	国際企業論 II	2	
	環境経済学論	2	
	環境政策論	2	
	憲法 I	2	
	憲法 II	2	
	民法総論 I	2	
	民法総論 II	2	
	物権法 I	2	
	物権法 II	2	
	債権法 I	2	
	債権法 II	2	
	有価証券法	2	
	企業取引法	2	
	国際法 I	2	
	国際法 II	2	
	経済刑法	2	
	社会保障論 I	2	
	社会保障論 II	2	
	経済政策論 I	2	
	経済政策論 II	2	
	経済原論 I	2	
	経済原論 II	2	
	憲法概論	2	
	民法概論	2	
	政治学概論	2	
国際関係論演習	2		
経済原論演習	2		
憲法演習	2		
民法演習	2		
行政法演習	2		
行政学演習	2		

第3類（杏林大学学則）

政治学演習	2		
インターンシップ I	2		
インターンシップ II	2		
学際演習 I	2		
学際演習 II	2		
演習 I	1 2		
演習 II	8		
卒業研究	4		

3 専門関連科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
1 類	人文科学分野	宗 教 学 A		2	
		宗 教 学 B		2	
		哲 学 A		2	
		哲 学 B		2	
		倫 理 学 A		2	
		倫 理 学 B		2	
		歴 史 学 A		2	
		歴 史 学 B		2	
		文 学 A		2	
		文 学 B		2	
		音 楽 A		2	
		音 楽 B		2	
1 類	社会科学分野	社 会 学 A		2	1 6 単位以上
		社 会 学 B		2	
		法 学 A		2	
		法学B (日本国憲法)		2	
		政 治 学 A		2	
		政 治 学 B		2	
		地 理 学 A		2	
		地 理 学 B		2	
		経 済 学 A		2	
		経 済 学 B		2	
1 類		数 学 A		2	
		数 学 B		2	

第3類 (杏林大学学則)

		統計学 A		2		
		統計学 B		2		
		物理学 A		2		
	自然科学分野	物理学 B		2		
		化学 A		2		
		化学 B		2		
		生物学 A		2		
		生物学 B		2		
		心理学 A		2		
		心理学 B		2		
	第1外国語	英語 I	2			
		英語 II	2			
		英語 III	2			
		日本語 A	2			留学生のみ
		日本語 B	2			
		日本語 C	2			
2類	第2外国語	発展英語 A		2		最大6単位まで 発展科目に繰り 入れる
		発展英語 B		2		
		発展英語 C		2		
		ドイツ語 A		2		
		ドイツ語 B		2		
		フランス語 A		2		
		フランス語 B		2		
		中国語 A		2		
		中国語 B		2		
		スペイン語 A		2		
		スペイン語 B		2		
		韓国語 A		2		
		韓国語 B		2		
3類		特別プレゼミナールA		2		
		特別プレゼミナールB		2		
		特別演習 I		2		
		特別演習 II		2		
		特別演習 III		2		
		特別演習 IV		2		
		特別演習 V		2		

第3類（杏林大学学則）

	特別演習 VI		2		
4 類	体育実技 A		1		
	体育実技 B		1		
	体育理論		2		
自由科目					

4 教職課程教科に関する科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
日本史 I			2	
日本史 II			2	
外国史 I			2	
外国史 II			2	
地誌学 I			2	
地誌学 II			2	
職業指導			2	

第3類（杏林大学学則）

別表3-2（平成22年度入学生から適用）

総合政策学部学科目構成

総合政策学科

1 基礎教養科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
社会のしくみⅠ	2			8単位以上
社会のしくみⅡ	2			
近現代史論		2		
読解力演習		2		
文章力演習		2		
計算力演習		2		
国語力演習		2		

2 専門科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
共通科目	国際関係論Ⅰ		2	32単位以上
	国際関係論Ⅱ		2	
	経済原論Ⅰ		2	
	経済原論Ⅱ		2	
	憲法Ⅰ		2	
	憲法Ⅱ		2	
	民法総論Ⅰ		2	
	民法総論Ⅱ		2	
	日本政治論Ⅰ		2	
	日本政治論Ⅱ		2	
	社会福祉学Ⅰ		2	
	社会福祉学Ⅱ		2	
	環境保全論Ⅰ		2	
	環境保全論Ⅱ		2	
	健康科学Ⅰ		2	
	健康科学Ⅱ		2	
	財政金融論Ⅰ		2	
	財政金融論Ⅱ		2	

第3類 (杏林大学学則)

	外交政策論 I	2	
	外交政策論 II	2	
	刑事法概論 I	2	
	刑事法概論 II	2	
	ヒューマンエコロジー I	2	
	ヒューマンエコロジー II	2	
国際政経 コース 基本科目	国際協力論 I	2	16単位以上
	国際協力論 II	2	
	国際政治学 I	2	
	国際政治学 II	2	
	経済政策論 I	2	
	経済政策論 II	2	
	国際貿易論 I	2	
	国際貿易論 II	2	
	国際金融論 I	2	
	国際金融論 II	2	
	日本経済論	2	
	アジア経済論	2	
	アメリカ経済論	2	
	ヨーロッパ経済論	2	
	世界経済論	2	
	国際投資論	2	
	経済開発論	2	
	国際経営論	2	
	環境経済学 I	2	
	環境経済学 II	2	
	環境政策論	2	
	国際法 I	2	
	国際法 II	2	
	国際政治史	2	
	比較政治学	2	
	アジア政治論	2	
	アメリカ政治論	2	
	ロシア政治論	2	
	ヨーロッパ政治論	2	
	資源エネルギー論	2	

第3類（杏林大学学則）

国際政経 コース 発展科目	経営学総論 I	2	34単位以上
	経営学総論 II	2	
	マーケティング総論 I	2	
	マーケティング総論 II	2	
	基礎簿記 I	2	
	基礎簿記 II	2	
	キャリア開発論 I	2	
	キャリア開発論 II	2	
	憲法概論	2	
	民法概論	2	
	政治学概論	2	
	経済原論演習	2	
	憲法演習	2	
	民法演習	2	
	行政法演習	2	
	行政学演習	2	
	政治学演習	2	
	インターンシップ I	2	
	インターンシップ II	2	
	キャリア開発演習 I	2	
	キャリア開発演習 II	2	
	学際演習 I	2	
	学際演習 II	2	
	学際演習 III	2	
	学際演習 IV	2	
	演習	8	
	卒業研究	4	
法律行政 コース 基本科目	物権法 I	2	16単位以上
	物権法 II	2	
	家族法 I	2	
	家族法 II	2	
	刑法 I	2	
	刑法 II	2	
	行政学 I	2	
	行政学 II	2	
公共選択論 I	2		

第3類 (杏林大学学則)

	公 共 選 択 論 Ⅱ		2	
	行 政 法 Ⅰ		2	
	行 政 法 Ⅱ		2	
	債 権 法 Ⅰ		2	
	債 権 法 Ⅱ		2	
	労 働 法 Ⅰ		2	
	労 働 法 Ⅱ		2	
	会 社 法 Ⅰ		2	
	会 社 法 Ⅱ		2	
	民 事 訴 訟 法		2	
	刑 事 訴 訟 法		2	
	経 済 刑 法		2	
	医 事 法 総 論		2	
	医 事 法 各 論		2	
	企 業 法 総 論		2	
	企 業 取 引 法		2	
	税 法 Ⅰ		2	
	税 法 Ⅱ		2	
	基 礎 簿 記 Ⅰ		2	
	基 礎 簿 記 Ⅱ		2	
	国 際 法 Ⅰ		2	
	国 際 法 Ⅱ		2	
	環 境 法		2	
	情 報 法 制		2	
法律行政 コース 発展科目	年 金 ・ 労 働 保 険 法		2	
	比 較 政 治 学		2	
	日 本 法 制 史		2	
	日 本 政 治 史		2	
	政 策 過 程 論		2	
	立 法 過 程 論		2	
	地 方 政 府 論		2	
	キ ャ リ ア 開 発 論 Ⅰ		2	
	キ ャ リ ア 開 発 論 Ⅱ		2	
	憲 法 概 論		2	
	民 法 概 論		2	
	政 治 学 概 論		2	
				— 34 単位以上

第3類（杏林大学学則）

	経済原論演習	2	
	憲法演習	2	
	民法演習	2	
	行政法演習	2	
	行政学演習	2	
	政治学演習	2	
	インターンシップⅠ	2	
	インターンシップⅡ	2	
	キャリア開発演習Ⅰ	2	
	キャリア開発演習Ⅱ	2	
	学際演習Ⅰ	2	
	学際演習Ⅱ	2	
	学際演習Ⅲ	2	
	学際演習Ⅳ	2	
	演習	8	
	卒業研究	4	
環境福祉 コース 基本科目	社会保障論Ⅰ	2	— 16単位以上
	社会保障論Ⅱ	2	
	環境科学概論Ⅰ	2	
	環境科学概論Ⅱ	2	
	保健医療システム論Ⅰ	2	
	保健医療システム論Ⅱ	2	
	障害者・老人福祉論Ⅰ	2	
	障害者・老人福祉論Ⅱ	2	
	環境経済学Ⅰ	2	
	環境経済学Ⅱ	2	
	環境保健学	2	
	カウンセリング論	2	
	社会福祉政策論	2	
	児童福祉論	2	
	社会福祉援助技術総論Ⅰ	2	
	社会福祉援助技術総論Ⅱ	2	
	経済政策論Ⅰ	2	
	経済政策論Ⅱ	2	
	環境政策論	2	
	資源エネルギー論	2	

第3類（杏林大学学則）

	産 業 社 会 学 I	2		
	産 業 社 会 学 II	2		
	経 営 戦 略 論 I	2		
	経 営 戦 略 論 II	2		
	国 際 協 力 論 I	2		
	国 際 協 力 論 II	2		
	医 事 法 総 論	2		
	医 事 法 各 論	2		
	環 境 法	2		
	年 金 ・ 労 働 保 険 法	2		
	労 働 法 I	2		
	労 働 法 II	2		
環境福祉 コース	経 営 学 総 論 I	2	—	34 単位以上
	経 営 学 総 論 II	2		
発展科目	マ ー ケ テ ィ ン グ 総 論 I	2		
	マ ー ケ テ ィ ン グ 総 論 II	2		
	基 礎 簿 記 I	2		
	基 礎 簿 記 II	2		
	キ ャ リ ア 開 発 論 I	2		
	キ ャ リ ア 開 発 論 II	2		
	憲 法 概 論	2		
	民 法 概 論	2		
	政 治 学 概 論	2		
	経 済 原 論 演 習	2		
	憲 法 演 習	2		
	民 法 演 習	2		
	行 政 法 演 習	2		
	行 政 学 演 習	2		
	政 治 学 演 習	2		
	イ ン タ ー シ ッ プ I	2		
	イ ン タ ー シ ッ プ II	2		
	キ ャ リ ア 開 発 演 習 I	2		
	キ ャ リ ア 開 発 演 習 II	2		
	学 際 演 習 I	2		
	学 際 演 習 II	2		
	学 際 演 習 III	2		

第3類（杏林大学学則）

学 際 演 習	IV	2	
演 習		8	
卒 業 研 究		4	

3 専門関連科目

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必 修	選 択	自 由	
1 類	人文科学 分 野	宗 教 学 A		2	16単位以上
		宗 教 学 B		2	
		哲 学 A		2	
		哲 学 B		2	
		倫 理 学 A		2	
		倫 理 学 B		2	
		歴 史 学 A		2	
		歴 史 学 B		2	
		文 学 A		2	
		文 学 B		2	
		音 楽 A		2	
		音 楽 B		2	
	人 文 科 学 概 論		2		
	社会科学 分 野	社 会 学 A		2	
		社 会 学 B		2	
		法 学 A		2	
		法学B(日本国憲法)		2	
		政 治 学 A		2	
		政 治 学 B		2	
地 理 学 A			2		
地 理 学 B			2		
経 済 学 A			2		
経 済 学 B			2		
	数 学 A		2		
	数 学 B		2		
	統 計 学 A		2		
	統 計 学 B		2		

第3類 (杏林大学学則)

	自然科学分野	物理学 A		2		
		物理学 B		2		
		化学 A		2		
		化学 B		2		
		生物学 A		2		
		生物学 B		2		
		心理学 A		2		
		心理学 B		2		
		自然科学概論		2		
	第1外国語	英語 I	2			
		英語 II	2			
		日本語 A	2			留学生のみ
		日本語 B	2			
2類	第2外国語	発展英語 A		2		最大8単位まで 発展科目に繰り 入れる
		発展英語 B		2		
		ドイツ語 A		2		
		ドイツ語 B		2		
		フランス語 A		2		
		フランス語 B		2		
		スペイン語 A		2		
		スペイン語 B		2		
		中国語 A		2		
		中国語 B		2		
		韓国語 A		2		
		韓国語 B		2		
3類		プレゼミナール A	2			
		プレゼミナール B	2			
		基礎演習 I		2		
		基礎演習 II		2		
		特別演習 I		2		
		特別演習 II		2		
		特別演習 III		2		
		特別演習 IV		2		
		特別演習 V		2		
		特別演習 VI		2		
		プロジェクト演習 I		2		

第3類（杏林大学学則）

	プロジェクト演習Ⅱ		2		
	プロジェクト演習Ⅲ		2		
	プロジェクト演習Ⅳ		2		
4 類	体育実技 A		1		
	体育実技 B		1		
	体育理論		2		
自由科目					

4 教職課程教科に関する科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
日本史Ⅰ			2	
日本史Ⅱ			2	
外国史Ⅰ			2	
外国史Ⅱ			2	
地誌学Ⅰ			2	
地誌学Ⅱ			2	

企業経営学科

1 基礎教養科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
社会のしくみⅠ	2			8単位以上
社会のしくみⅡ	2			
近現代史論		2		
読解力演習		2		
文章力演習		2		
計算力演習		2		
国語力演習		2		

2 専門科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	

第3類（杏林大学学則）

共通科目	経営学総論Ⅰ		2	32単位以上
	経営学総論Ⅱ		2	
	マーケティング総論Ⅰ		2	
	マーケティング総論Ⅱ		2	
	経営情報論Ⅰ		2	
	経営情報論Ⅱ		2	
	キャリア開発論Ⅰ		2	
	キャリア開発論Ⅱ		2	
	基礎簿記Ⅰ		2	
	基礎簿記Ⅱ		2	
	商業簿記Ⅰ		2	
	商業簿記Ⅱ		2	
	財務会計論Ⅰ		2	
	財務会計論Ⅱ		2	
	会社法Ⅰ		2	
	会社法Ⅱ		2	
	経営管理総論Ⅰ		2	
	経営管理総論Ⅱ		2	
	人材マネジメント論Ⅰ		2	
	人材マネジメント論Ⅱ		2	
工業簿記Ⅰ		2		
工業簿記Ⅱ		2		
基礎簿記各論Ⅰ		2		
基礎簿記各論Ⅱ		2		
経営戦略 コース 基本科目	経営史Ⅰ		2	16単位以上
	経営史Ⅱ		2	
	経営戦略論Ⅰ		2	
	経営戦略論Ⅱ		2	
	財務管理論Ⅰ		2	
	財務管理論Ⅱ		2	
	流通システム論Ⅰ		2	
	流通システム論Ⅱ		2	
	経営組織論Ⅰ		2	
	経営組織論Ⅱ		2	
	中小企業経営論		2	
	国際経営論		2	

第3類 (杏林大学学則)

	産 業 社 会 学 I	2	
	産 業 社 会 学 II	2	
	財 務 会 計 各 論 I	2	
	財 務 会 計 各 論 II	2	
	商 業 簿 記 各 論 I	2	
	商 業 簿 記 各 論 II	2	
	工 業 簿 記 各 論 I	2	
	工 業 簿 記 各 論 II	2	
	税 法 I	2	
	税 法 II	2	
	勞 働 法 I	2	
	勞 働 法 II	2	
	企 業 法 総 論	2	
	企 業 取 引 法	2	
	行 政 法 I	2	
	行 政 法 II	2	
	經 済 刑 法	2	
	年 金 ・ 勞 働 保 険 法	2	
	国 際 法 I	2	
	国 際 法 II	2	
経営戦略	行 政 学 I	2	— 3 4 単位以上
コース	行 政 学 II	2	
発展科目	国 際 政 治 学 I	2	
	国 際 政 治 学 II	2	
	經 済 原 論 I	2	
	經 済 原 論 II	2	
	財 政 金 融 論 I	2	
	財 政 金 融 論 II	2	
	憲 法 概 論	2	
	民 法 概 論	2	
	政 治 学 概 論	2	
	經 済 原 論 演 習	2	
	憲 法 演 習	2	
	民 法 演 習	2	
	行 政 法 演 習	2	
	行 政 学 演 習	2	

第3類 (杏林大学学則)

	政治学演習	2	
	インターンシップⅠ	2	
	インターンシップⅡ	2	
	キャリア開発演習Ⅰ	2	
	キャリア開発演習Ⅱ	2	
	学際演習Ⅰ	2	
	学際演習Ⅱ	2	
	学際演習Ⅲ	2	
	学際演習Ⅳ	2	
	演習	8	
	卒業研究	4	
経営会計 コース 基本科目	財務会計各論Ⅰ	2	16単位以上
	財務会計各論Ⅱ	2	
	商業簿記各論Ⅰ	2	
	商業簿記各論Ⅱ	2	
	工業簿記各論Ⅰ	2	
	工業簿記各論Ⅱ	2	
	税法Ⅰ	2	
	税法Ⅱ	2	
	労働法Ⅰ	2	
	労働法Ⅱ	2	
	産業社会学Ⅰ	2	
	産業社会学Ⅱ	2	
	流通システム論Ⅰ	2	
	流通システム論Ⅱ	2	
	中小企業経営論	2	
	国際経営論	2	
	経営組織論Ⅰ	2	
	経営組織論Ⅱ	2	
	経営戦略論Ⅰ	2	
	経営戦略論Ⅱ	2	
	財務管理論Ⅰ	2	
	財務管理論Ⅱ	2	
	経営史Ⅰ	2	
	経営史Ⅱ	2	
	企業法総論	2	

第3類 (杏林大学学則)

	企業取引法	2	
	家族法 I	2	
	家族法 II	2	
	行政法 I	2	
	行政法 II	2	
	税法各論 I	2	
	税法各論 II	2	
	経済刑法	2	
	年金・労働保険法	2	
経営会計	国際法 I	2	
コース	国際法 II	2	— 34単位以上
発展科目	行政学 I	2	
	行政学 II	2	
	国際政治学 I	2	
	国際政治学 II	2	
	経済原論 I	2	
	経済原論 II	2	
	財政金融論 I	2	
	財政金融論 II	2	
	憲法概論	2	
	民法概論	2	
	政治学概論	2	
	経済原論演習	2	
	憲法演習	2	
	民法演習	2	
	行政法演習	2	
	行政学演習	2	
	政治学演習	2	
	インターンシップ I	2	
	インターンシップ II	2	
	キャリア開発演習 I	2	
	キャリア開発演習 II	2	
	学際演習 I	2	
	学際演習 II	2	
	学際演習 III	2	
	学際演習 IV	2	

第3類（杏林大学学則）

演 卒	業 業	研 業	習 業	究 業	8 4	
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--

3 専門関連科目

授業科目の名称			単位数			備考
			必修	選択	自由	
1 類	人文科学 分野	宗 教 学 A		2		16 単位以上
		宗 教 学 B		2		
		哲 学 A		2		
		哲 学 B		2		
		倫 理 学 A		2		
		倫 理 学 B		2		
		歴 史 学 A		2		
		歴 史 学 B		2		
		文 学 A		2		
		文 学 B		2		
		音 楽 A		2		
		音 楽 B		2		
	人 文 科 学 概 論		2			
	社会科学 分野	社 会 学 A		2		
		社 会 学 B		2		
		法 学 A		2		
		法学B(日本国憲法)		2		
		政 治 学 A		2		
		政 治 学 B		2		
		地 理 学 A		2		
地 理 学 B			2			
自然科学	経 済 学 A		2			
	経 済 学 B		2			
	数 学 A		2			
	数 学 B		2			
	統 計 学 A		2			
	統 計 学 B		2			
	物 理 学 A		2			
	物 理 学 B		2			

第3類（杏林大学学則）

	分野	化学 A		2		
		化学 B		2		
		生物学 A		2		
		生物学 B		2		
		心理学 A		2		
		心理学 B		2		
		自然科学概論		2		
2類	第1 外国語	英語 I	2			
		英語 II	2			
		日本語 A	2			留学生のみ
		日本語 B	2			
	第2 外国語	発展英語 A		2		最大8単位まで 発展科目に繰り 入れる
		発展英語 B		2		
		ドイツ語 A		2		
		ドイツ語 B		2		
		フランス語 A		2		
		フランス語 B		2		
		スペイン語 A		2		
		スペイン語 B		2		
		中国語 A		2		
		中国語 B		2		
韓国語 A		2				
韓国語 B		2				
3類		プレゼミナール A	2			
		プレゼミナール B	2			
		基礎演習 I		2		
		基礎演習 II		2		
		特別演習 I		2		
		特別演習 II		2		
		特別演習 III		2		
		特別演習 IV		2		
		特別演習 V		2		
		特別演習 VI		2		
		プロジェクト演習 I		2		
		プロジェクト演習 II		2		

第3類（杏林大学学則）

		プロジェクト演習Ⅲ		2		
		プロジェクト演習Ⅳ		2		
4	類	体育実技 A		1		
		体育実技 B		1		
		体育理論		2		
自由科目						

4 教職課程教科に関する科目

授業科目の名称				単位数			備考
				必修	選択	自由	
日	本	史	I			2	
日	本	史	II			2	
外	国	史	I			2	
外	国	史	II			2	
地	誌	学	I			2	
地	誌	学	II			2	
職	業	指	導			2	

第3類（杏林大学学則）

別表3-3（平成26年度入学生から適用）

総合政策学部学科目構成

総合政策学科

1 基礎教養科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
社会のしくみ	I	2			8単位以上
社会のしくみ	II	2			
地域と大学		2			
近現代史論			2		
読解力演習			2		
文章力演習			2		
計算力演習			2		
国語力演習			2		

2 専門科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
共通科目	国際関係論	I	2		32単位以上
	国際関係論	II	2		
	経済原論	I	2		
	経済原論	II	2		
	憲法	I	2		
	憲法	II	2		
	民法総論	I	2		
	民法総論	II	2		
	日本政治論	I	2		
	日本政治論	II	2		
	社会福祉学	I	2		
	社会福祉学	II	2		
	環境保全論	I	2		
	環境保全論	II	2		
	健康科学	I	2		
	健康科学	II	2		
財政金融論	I	2			

第3類 (杏林大学学則)

	財 政 金 融 論 II		2		
	外 交 政 策 論 I		2		
	外 交 政 策 論 II		2		
	刑 事 法 概 論 I		2		
	刑 事 法 概 論 II		2		
	ヒューマンエコロジー I		2		
	ヒューマンエコロジー II		2		
国際政経 コース 基本科目	国 際 協 力 論 I		2	16 単位以上	
	国 際 協 力 論 II		2		
	国 際 政 治 学 I		2		
	国 際 政 治 学 II		2		
	経 済 政 策 論 I		2		
	経 済 政 策 論 II		2		
	国 際 貿 易 論 I		2		
	国 際 貿 易 論 II		2		
	国 際 金 融 論 I		2		
	国 際 金 融 論 II		2		
	日 本 経 済 論		2		
	ア ジ ア 経 済 論		2		
	ア メ リ カ 経 済 論		2		
	ヨ ー ロ ッ パ 経 済 論		2		
	世 界 経 済 論		2		
	国 際 投 資 論		2		
	経 済 開 発 論		2		
	国 際 経 営 論		2		
	環 境 経 済 学 I		2		
	環 境 経 済 学 II		2		
	環 境 政 策 論		2		
	国 際 法 I		2		
	国 際 法 II		2		
	国 際 政 治 史		2		
	比 較 政 治 学		2		
	ア ジ ア 政 治 論		2		
	ア メ リ カ 政 治 論		2		
	ロ シ ア 政 治 論		2		
	ヨ ー ロ ッ パ 政 治 論		2		

第3類（杏林大学学則）

国際政経 コース 発展科目	資源エネルギー論	2	34単位以上
	経営学総論Ⅰ	2	
	経営学総論Ⅱ	2	
	マーケティング総論Ⅰ	2	
	マーケティング総論Ⅱ	2	
	基礎簿記Ⅰ	2	
	基礎簿記Ⅱ	2	
	キャリア開発論Ⅰ	2	
	キャリア開発論Ⅱ	2	
	憲法概論	2	
	民法概論	2	
	政治学概論	2	
	経済原論演習	2	
	憲法演習	2	
	民法演習	2	
	行政法演習	2	
	行政学演習	2	
	政治学演習	2	
	インターンシップⅠ	2	
	インターンシップⅡ	2	
	キャリア開発演習Ⅰ	2	
	キャリア開発演習Ⅱ	2	
	学際演習Ⅰ	2	
	学際演習Ⅱ	2	
	学際演習Ⅲ	2	
	学際演習Ⅳ	2	
演習	8		
卒業研究	4		
法律行政 コース 基本科目	物権法Ⅰ	2	16単位以上
	物権法Ⅱ	2	
	家族法Ⅰ	2	
	家族法Ⅱ	2	
	刑法Ⅰ	2	
	刑法Ⅱ	2	
	行政学Ⅰ	2	
	行政学Ⅱ	2	

第3類 (杏林大学学則)

	公 共 選 択 論 I		2		
	公 共 選 択 論 II		2		
法律行政 コース 発展科目	行 政 法 I		2		
	行 政 法 II		2		
	債 権 法 I		2		
	債 権 法 II		2		
	労 働 法 I		2		
	労 働 法 II		2		
	会 社 法 I		2		
	会 社 法 II		2		
	民 事 訴 訟 法		2		
	刑 事 訴 訟 法		2		
	経 済 刑 法		2		
	医 事 法 総 論		2		
	医 事 法 各 論		2		
	企 業 法 総 論		2		
	企 業 取 引 法		2		
	税 法 I		2		
	税 法 II		2		
	基 礎 簿 記 I		2		
	基 礎 簿 記 II		2		
	国 際 法 I		2		
	国 際 法 II		2		
	環 境 法		2		
	情 報 法 制		2		
	年 金 ・ 労 働 保 険 法		2		
	比 較 政 治 学		2		— 34 単位以上
	日 本 法 制 史		2		
	日 本 政 治 史		2		
	政 策 過 程 論		2		
	立 法 過 程 論		2		
	地 方 政 府 論		2		
	キ ャ リ ア 開 発 論 I		2		
	キ ャ リ ア 開 発 論 II		2		
	憲 法 概 論		2		
	民 法 概 論		2		

第3類（杏林大学学則）

	政治学概論	2		
	経済原論演習	2		
	憲法演習	2		
	民法演習	2		
	行政法演習	2		
	行政学演習	2		
	政治学演習	2		
	インターンシップⅠ	2		
	インターンシップⅡ	2		
	キャリア開発演習Ⅰ	2		
	キャリア開発演習Ⅱ	2		
	学際演習Ⅰ	2		
	学際演習Ⅱ	2		
	学際演習Ⅲ	2		
	学際演習Ⅳ	2		
	演習	8		
	卒業研究	4		
環境福祉 コース 基本科目	社会保障論Ⅰ	2		16単位以上
	社会保障論Ⅱ	2		
	環境科学概論Ⅰ	2		
	環境科学概論Ⅱ	2		
	保健医療システム論Ⅰ	2		
	保健医療システム論Ⅱ	2		
	障害者・老人福祉論Ⅰ	2		
	障害者・老人福祉論Ⅱ	2		
	環境経済学Ⅰ	2		
	環境経済学Ⅱ	2		
	環境保健学	2		
	カウンセリング論	2		
	社会福祉政策論	2		
	児童福祉論	2		
	社会福祉援助技術総論Ⅰ	2		
	社会福祉援助技術総論Ⅱ	2		
	経済政策論Ⅰ	2		
	経済政策論Ⅱ	2		
	環境政策論	2		

第3類（杏林大学学則）

	資源エネルギー論	2	
	産業社会学Ⅰ	2	
	産業社会学Ⅱ	2	
	経営戦略論Ⅰ	2	
	経営戦略論Ⅱ	2	
	国際協力論Ⅰ	2	
	国際協力論Ⅱ	2	
	医事法総論	2	
	医事法各論	2	
	環境法	2	
	年金・労働保険法	2	
	労働法Ⅰ	2	
	労働法Ⅱ	2	
環境福祉 コース	経営学総論Ⅰ	2	— 34単位以上
	経営学総論Ⅱ	2	
発展科目	マーケティング総論Ⅰ	2	
	マーケティング総論Ⅱ	2	
	基礎簿記Ⅰ	2	
	基礎簿記Ⅱ	2	
	キャリア開発論Ⅰ	2	
	キャリア開発論Ⅱ	2	
	憲法概論	2	
	民法概論	2	
	政治学概論	2	
	経済原論演習	2	
	憲法演習	2	
	民法演習	2	
	行政法演習	2	
	行政学演習	2	
	政治学演習	2	
	インターンシップⅠ	2	
	インターンシップⅡ	2	
	キャリア開発演習Ⅰ	2	
	キャリア開発演習Ⅱ	2	
	学際演習Ⅰ	2	
	学際演習Ⅱ	2	

第3類（杏林大学学則）

学 際 演 習 III	2	
学 際 演 習 IV	2	
演 習 究	8	
卒 業 研 究	4	

3 専門関連科目

授業科目の名称		単位数			備 考
		必修	選択	自由	
1 類	人文科学 分野	宗 教 学 A		2	16 単位以上
		宗 教 学 B		2	
		哲 学 A		2	
		哲 学 B		2	
		倫 理 学 A		2	
		倫 理 学 B		2	
		歴 史 学 A		2	
		歴 史 学 B		2	
		文 学 A		2	
		文 学 B		2	
		音 楽 A		2	
		音 楽 B		2	
	人 文 科 学 概 論		2		
	社会科学 分野	社 会 学 A		2	
		社 会 学 B		2	
		法 学 A		2	
		法学B(日本国憲法)		2	
		政 治 学 A		2	
		政 治 学 B		2	
		地 理 学 A		2	
地 理 学 B			2		
	数 学 A		2		
	数 学 B		2		
	統 計 学 A		2		

第3類（杏林大学学則）

	自然科学分野	統計学 B		2		
		物理学 A		2		
		物理学 B		2		
		化学 A		2		
		化学 B		2		
		生物学 A		2		
		生物学 B		2		
		心理学 A		2		
		心理学 B		2		
		自然科学概論		2		
2類	第1外国語	英語 I	2			— 留学生のみ
		英語 II	2			
		日本語 A	2			
		日本語 B	2			
	第2外国語	発展英語 A		2		— 最大8単位まで 発展科目に繰り 入れる
		発展英語 B		2		
		ドイツ語 A		2		
		ドイツ語 B		2		
		フランス語 A		2		
		フランス語 B		2		
		スペイン語 A		2		
		スペイン語 B		2		
		中国語 A		2		
		中国語 B		2		
韓国語 A		2				
韓国語 B		2				
3類	プレゼミナール A	2				
	プレゼミナール B	2				
	基礎演習 I		2			
	基礎演習 II		2			
	特別演習 I		2			
	特別演習 II		2			
	特別演習 III		2			
	特別演習 IV		2			
	特別演習 V		2			
	特別演習 VI		2			

第3類（杏林大学学則）

	プロジェクト演習Ⅰ		2		
	プロジェクト演習Ⅱ		2		
	プロジェクト演習Ⅲ		2		
	プロジェクト演習Ⅳ		2		
4 類	体育実技 A		1		
	体育実技 B		1		
	体育理論		2		
自由科目					

4 教職課程教科に関する科目

授業科目の名称				単位数			備考
				必修	選択	自由	
日	本	史	Ⅰ			2	
日	本	史	Ⅱ			2	
外	国	史	Ⅰ			2	
外	国	史	Ⅱ			2	
地	誌	学	Ⅰ			2	
地	誌	学	Ⅱ			2	
職	業	指	導			2	

企業経営学科

1 基礎教養科目

授業科目の名称				単位数			備考		
				必修	選択	自由			
社	会	の	し	く	み	Ⅰ	2		
社	会	の	し	く	み	Ⅱ	2		
地	域	と	大	学			2		
近	現	代	史	論			2		
読	解	力	演	習			2		
文	章	力	演	習			2		
計	算	力	演	習			2		
国	語	力	演	習			2		

8 単位以上

第3類（杏林大学学則）

2 専門科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
共通科目	経営学総論Ⅰ		2		32単位以上
	経営学総論Ⅱ		2		
	マーケティング総論Ⅰ		2		
	マーケティング総論Ⅱ		2		
	経営情報論Ⅰ		2		
	経営情報論Ⅱ		2		
	キャリア開発論Ⅰ		2		
	キャリア開発論Ⅱ		2		
	基礎簿記Ⅰ		2		
	基礎簿記Ⅱ		2		
	商業簿記Ⅰ		2		
	商業簿記Ⅱ		2		
	財務会計論Ⅰ		2		
	財務会計論Ⅱ		2		
	会社法Ⅰ		2		
	会社法Ⅱ		2		
	経営管理総論Ⅰ		2		
	経営管理総論Ⅱ		2		
	人材マネジメント論Ⅰ		2		
	人材マネジメント論Ⅱ		2		
工業簿記Ⅰ		2			
工業簿記Ⅱ		2			
基礎簿記各論Ⅰ		2			
基礎簿記各論Ⅱ		2			
経営戦略 コース 基本科目	経営史Ⅰ		2		16単位以上
	経営史Ⅱ		2		
	経営戦略論Ⅰ		2		
	経営戦略論Ⅱ		2		
	財務管理論Ⅰ		2		
	財務管理論Ⅱ		2		
	流通システム論Ⅰ		2		
	流通システム論Ⅱ		2		
	経営組織論Ⅰ		2		

第3類 (杏林大学学則)

	経営組織論 II	2	
経営戦略 コース 発展科目	中小企業経営論	2	34単位以上
	国際経営論	2	
	産業社会学 I	2	
	産業社会学 II	2	
	財務会計各論 I	2	
	財務会計各論 II	2	
	商業簿記各論 I	2	
	商業簿記各論 II	2	
	工業簿記各論 I	2	
	工業簿記各論 II	2	
	税法 I	2	
	税法 II	2	
	労働法 I	2	
	労働法 II	2	
	企業法総論	2	
	企業取引法	2	
	行政法 I	2	
	行政法 II	2	
	経済刑法	2	
	年金・労働保険法	2	
	国際法 I	2	
	国際法 II	2	
	行政学 I	2	
	行政学 II	2	
	国際政治学 I	2	
	国際政治学 II	2	
	経済原論 I	2	
	経済原論 II	2	
	財政金融論 I	2	
	財政金融論 II	2	
	憲法概論	2	
	民法概論	2	
	政治学概論	2	
	経済原論演習	2	

第3類（杏林大学学則）

	憲法演習		2		
	民法演習		2		
	行政法演習		2		
	行政学演習		2		
	政治学演習		2		
	インターンシップⅠ		2		
	インターンシップⅡ		2		
	キャリア開発演習Ⅰ		2		
	キャリア開発演習Ⅱ		2		
	学際演習Ⅰ		2		
	学際演習Ⅱ		2		
	学際演習Ⅲ		2		
	学際演習Ⅳ		2		
	演習		8		
	卒業研究		4		
経営会計 コース 基本科目	財務会計各論Ⅰ		2	16単位以上	
	財務会計各論Ⅱ		2		
	商業簿記各論Ⅰ		2		
	商業簿記各論Ⅱ		2		
	工業簿記各論Ⅰ		2		
	工業簿記各論Ⅱ		2		
	税法Ⅰ		2		
	税法Ⅱ		2		
	労働法Ⅰ		2		
	労働法Ⅱ		2		
	産業社会学Ⅰ		2		
	産業社会学Ⅱ		2		
	流通システム論Ⅰ		2		
	流通システム論Ⅱ		2		
	中小企業経営論		2		
	国際経営論		2		
	経営組織論Ⅰ		2		
	経営組織論Ⅱ		2		
	経営戦略論Ⅰ		2		
	経営戦略論Ⅱ		2		
	財務管理論Ⅰ		2		

第3類 (杏林大学学則)

経営会計 コース 発展科目	財務管理論	Ⅱ	2	— 34単位以上
	経営史	Ⅰ	2	
	経営史	Ⅱ	2	
	企業法総論		2	
	企業取引法		2	
	家族法	Ⅰ	2	
	家族法	Ⅱ	2	
	行政法	Ⅰ	2	
	行政法	Ⅱ	2	
	税法各論	Ⅰ	2	
	税法各論	Ⅱ	2	
	経済刑法		2	
	年金・労働保険法		2	
	国際法	Ⅰ	2	
	国際法	Ⅱ	2	
	行政学	Ⅰ	2	
	行政学	Ⅱ	2	
	国際政治学	Ⅰ	2	
	国際政治学	Ⅱ	2	
	経済原論	Ⅰ	2	
	経済原論	Ⅱ	2	
	財政金融論	Ⅰ	2	
	財政金融論	Ⅱ	2	
	憲法概論		2	
	民法概論		2	
	政治学概論		2	
	経済原論演習		2	
	憲法演習		2	
	民法演習		2	
	行政法演習		2	
	行政学演習		2	
	政治学演習		2	
	インターンシップ	Ⅰ	2	
インターンシップ	Ⅱ	2		
キャリア開発演習	Ⅰ	2		
キャリア開発演習	Ⅱ	2		

第3類（杏林大学学則）

学 際 演 習 I	2	
学 際 演 習 II	2	
学 際 演 習 III	2	
学 際 演 習 IV	2	
演 習 研 究	8	
卒 業 研 究	4	

3 専門関連科目

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必 修	選 択	自 由	
1 類	人文科学 分 野	宗 教 学 A		2	16 単位以上
		宗 教 学 B		2	
		哲 学 A		2	
		哲 学 B		2	
		倫 理 学 A		2	
		倫 理 学 B		2	
		歴 史 学 A		2	
		歴 史 学 B		2	
		文 学 A		2	
		文 学 B		2	
		音 楽 A		2	
	音 楽 B		2		
	人 文 科 学 概 論		2		
	社会科学 分 野	社 会 学 A		2	
社 会 学 B			2		
法 学 A			2		
法学B(日本国憲法)			2		
政 治 学 A			2		
政 治 学 B			2		
地 理 学 A			2		
地 理 学 B			2		
経 済 学 A			2		
経 済 学 B		2			
	数 学 A		2		
	数 学 B		2		

第3類 (杏林大学学則)

	自然科学分野	統計学 A		2		
		統計学 B		2		
		物理学 A		2		
		物理学 B		2		
		化学 A		2		
		化学 B		2		
		生物学 A		2		
		生物学 B		2		
		心理学 A		2		
		心理学 B		2		
		自然科学概論		2		
2類	第1外国語	英語 I	2			— 留学生のみ
		英語 II	2			
		日本語 A	2			
		日本語 B	2			
	第2外国語	発展英語 A		2		— 最大8単位まで 発展科目に繰り 入れる
		発展英語 B		2		
		ドイツ語 A		2		
		ドイツ語 B		2		
		フランス語 A		2		
		フランス語 B		2		
		スペイン語 A		2		
		スペイン語 B		2		
		中国語 A		2		
		中国語 B		2		
韓国語 A		2				
韓国語 B		2				
3類	プレゼミナール A	2				
	プレゼミナール B	2				
	基礎演習 I		2			
	基礎演習 II		2			
	特別演習 I		2			
	特別演習 II		2			
	特別演習 III		2			
	特別演習 IV		2			

第3類（杏林大学学則）

	特別演習 V		2		
	特別演習 VI		2		
	プロジェクト演習 I		2		
	プロジェクト演習 II		2		
	プロジェクト演習 III		2		
	プロジェクト演習 IV		2		
4 類	体育実技 A		1		
	体育実技 B		1		
	体育理論		2		
自由科目					

4 教職課程教科に関する科目

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
日本史 I			2	
日本史 II			2	
外国史 I			2	
外国史 II			2	
地誌学 I			2	
地誌学 II			2	
職業指導			2	

第3類（杏林大学学則）

別表3-4（平成28年度入学生から適用）

総合政策学部学科目構成

総合政策学科

ベーシック科目

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
ベーシック科目	ベーシック政治		2		10単位以上
	ベーシック経済		2		
	ベーシック法律		2		
	ベーシック国際関係		2		
	ベーシック福祉政策		2		
	ベーシック経営		2		
	ベーシック会計		2		

地域と大学

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
地域	と大学	2			

コース別専門科目（政治）

授業科目の名称		単位数			備考		
		必修	選択	自由			
専門科目	コア科目	政治心理学		2	16単位以上		
		政治コミュニケーション論		2			
		現代日本政治A		2			
		現代日本政治B		2			
		現代行政学A		2			
		現代行政学B		2			
		立法過程論		2			
		政策過程論		2			
		ローカル・ガバメント論A		2			
		ローカル・ガバメント論B		2			
		政治史		2			
		法制史		2			
		応用科目	目	比較政治学			2
				外交政策論A			2
外交政策論B				2			
		国際政治経済学		2			

第3類（杏林大学学則）

	国際政治学 A	2	
	国際政治学 B	2	
	アメリカ政治論	2	
	アジア政治論	2	
	ヨーロッパ政治論	2	
	国際政治史	2	
	憲法 I（統治機構）	2	
	憲法 II（人権）	2	
	行政法 I	2	
	行政法 II	2	
	地方自治と法	2	

コース別専門科目（経済）

授業科目の名称		単位数			備考
		必修	選択	自由	
専 門 科 目	コ ア 科 目	マクロ経済学		2	16単位 以上
		ミクロ経済学		2	
		国際経済学 A（貿易）		2	
		国際経済学 B（金融）		2	
		国際政治経済学		2	
		開発経済学		2	
		公共経済学		2	
		経済政策論		2	
		金融論		2	
		財政論		2	
	日本経済論		2		
	経済統計		2		
	応 用 科 目	行動経済学		2	
		環境経済学		2	
医療経済学			2		
人口学			2		
アメリカ経済論			2		
ヨーロッパ経済論			2		
アジア経済論			2		
中東・アフリカの政治・経済			2		
社会福祉政策論		2			
日本の貿易政策		2			

第3類（杏林大学学則）

	法と経済		2	
	経済学説史		2	
	ゲーム理論		2	

コース別専門科目（法律）

授業科目の名称		単位数			備考	
		必修	選択	自由		
コア科目	法情報調査		2		16単位以上	
	法学の現代的課題		2			
	会社法Ⅰ（ガバナンス）		2			
	会社法Ⅱ（ファイナンス）		2			
	民法総論		2			
	物権法		2			
	契約法		2			
	家族法		2			
	憲法Ⅰ（統治機構）		2			
	憲法Ⅱ（人権）		2			
	刑法Ⅰ（総論）		2			
	刑法Ⅱ（各論）		2			
	専門科目 応用科目	行政法Ⅰ		2		
		行政法Ⅱ		2		
		民事訴訟法		2		
刑事訴訟法			2			
租税法Ⅰ			2			
租税法Ⅱ			2			
企業法総論			2			
企業取引法			2			
国際法Ⅰ			2			
国際法Ⅱ			2			
環境法			2			
労働法			2			
社会保障法			2			
医事法			2			
法と経済			2			
法制史		2				
比較法文化論		2				
メディア・コンテンツと法		2				

第3類（杏林大学学則）

	地方自治と法	2	
	倒産処理と法	2	
	不動産取引と法Ⅰ	2	
	不動産取引と法Ⅱ	2	

コース別専門科目（国際関係）

授業科目の名称	単位数			備考
	必修	選択	自由	
コア科目	国際政治学 A		2	16単位以上
	国際政治学 B		2	
	国際政治経済学		2	
	比較政治学		2	
	マクロ経済学		2	
	外交政策論 A		2	
	外交政策論 B		2	
	国際機構論		2	
	政策過程論		2	
	国際政治史		2	
専門科目	国際法Ⅰ		2	
	国際法Ⅱ		2	
	応用科目			
	開発経済学		2	
	現代行政学 A		2	
	政治心理学		2	
	アジア経済論		2	
	アジア政治論		2	
	アメリカ経済論		2	
	アメリカ政治論		2	
	国際関係論演習		2	
	国際協力論		2	
	国際経営論		2	
	国際経済学 A（貿易）		2	
	政治コミュニケーション論		2	
中東・アフリカの政治・経済		2		
ヨーロッパ経済論		2		
ヨーロッパ政治論		2		
経済統計		2		

第3類（杏林大学学則）

コース別専門科目（福祉政策）

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
コ ア 科 目	社 会 福 祉 学		2		16単位 以上
	健 康 社 会 学		2		
	健 康 科 学		2		
	人 口 学		2		
	児 童 福 祉 論		2		
	障 害 者 福 祉 論		2		
	老 人 福 祉 論		2		
	社 会 福 祉 政 策 論		2		
	社 会 保 障 論 I		2		
	社 会 保 障 論 II		2		
専 門 科 目	環 境 保 全 論 I		2		
	環 境 保 全 論 II		2		
	応 用 科 目	医 療 経 済 学		2	
		環 境 経 済 学		2	
		公 共 経 済 学		2	
		介 護 政 策 論		2	
		社 会 福 祉 援 助 技 術 総 論 I		2	
		社 会 福 祉 援 助 技 術 総 論 II		2	
		カ ウ ン セ リ ン グ 論		2	
		環 境 政 策 論		2	
		ロ ー カ ル ・ ガ バ メ ン ト 論 A		2	
		ロ ー カ ル ・ ガ バ メ ン ト 論 B		2	
	日 本 経 済 論		2		
	経 済 政 策 論		2		
	財 政 論		2		
	民 法 総 論		2		
	ヒ ュ ー マ ン エ コ ロ ジ ー		2		
	現 代 日 本 政 治 A		2		
	現 代 日 本 政 治 B		2		
	政 策 過 程 論		2		
憲 法 I（統 治 機 構）		2			
憲 法 II（人 権）		2			
家 族 法		2			
租 税 法 I		2			

第3類（杏林大学学則）

	労働法	2	
	医事法	2	
	環境法	2	

演習

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数			備 考
				必修	選択	自由	
専 門 演 習 科 目	演 習	演 習 I		2			
		演 習 II		2			
		演 習 III		2			
		演 習 IV		2			
		演 習 V		2			
		演 習 VI		2			
		卒業研究 I		2			
		卒業研究 II		2			
	学 際 演 習	学 際 演 習 I		2		4 単 位 以 上	
		学 際 演 習 II		2			
		学 際 演 習 III		2			
		学 際 演 習 IV		2			
		学 際 演 習 V		2			
		学 際 演 習 VI		2			
		学 際 演 習 VII		2			
		学 際 演 習 VIII		2			
	特 別 演 習	特 別 演 習 I		2			
		特 別 演 習 II		2			
		特 別 演 習 III		2			
		特 別 演 習 IV		2			
プ ロ ジ ェ ク ト 演 習	プ ロ ジ ェ ク ト 演 習 I		2				
	プ ロ ジ ェ ク ト 演 習 II		2				
	プ ロ ジ ェ ク ト 演 習 III		2				
	プ ロ ジ ェ ク ト 演 習 IV		2				

プレゼミナール

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
プレゼミナール	プレゼミナール A	2			
	プレゼミナール B	2			

第3類（杏林大学学則）

一般教養科目

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
一 般 教 養 科 目	生 活 と 法		2		10単位 以上
	日 本 国 憲 法		2		
	基 礎 簿 記 I		2		
	基 礎 簿 記 II		2		
	人 文 地 理 学		2		
	自 然 地 理 学		2		
	社 会 会 計 学		2		
	統 計 教 育 学		2		
	宗 教 学		2		
	哲 倫 理 学		2		
	心 理 史 学		2		
	歴 史 学		2		
	文 学 楽 典		2		
	音 楽 概 論		2		
ダ イ バ ー シ テ ィ 入 門		2			
人 文 科 学 概 論		2			
自 然 科 学 概 論		2			

外国語科目

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考	
		必修	選択	自由		
外 国 語 科 目	必 修 外 国 語	英 語 I	2		4単位 以上	
		英 語 II	2			
		英 語 III	2			
		英 語 IV	2			
	選 択 外 国 語	発 展 英 語 I		2		
		発 展 英 語 II		2		
		中 国 語 A		2		
		中 国 語 B		2		
		韓 国 語 A		2		
		韓 国 語 B		2		
		フ ラ ン ス 語 A		2		

第3類（杏林大学学則）

		フランス語 B		2		
		ドイツ語 A		2		
		ドイツ語 B		2		
		スペイン語 A		2		
		スペイン語 B		2		

キャリア関連科目

授 業 科 目 の 名 称			単 位 数			備 考
			必修	選択	自由	
キャリア 関連科目	基礎 教養 分野	時事問題研究 A	2			
		時事問題研究 B	2			
		ライティング演習 I	2			
		ライティング演習 II	2			
		計算力演習 I	2			
		計算力演習 II	2			
		情報処理演習 A		2		
		情報処理演習 B		2		
	ライフ デザイン 分野	ライフ・プランニング I	2			
		ライフ・プランニング II	2			
		キャリア開発論 I	2			
		キャリア開発論 II	2			
		キャリア開発演習 I	2			
		キャリア開発演習 II	2			
	インターンシップ I		2			
	インターンシップ II		2			

グローバルキャリア・プログラム

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
英 語 科 目	Oral Communication 1		2		
	Oral Communication 2		2		
	Academic Writing 1		2		
	Academic Writing 2		2		
	Academic Writing 3		2		
	Recent Topics in English		2		
	Business Communication 1		2		

第3類（杏林大学学則）

		Business Communication 2		2		
関 連 科 目		Critical Thinking		2		
		Global Career Development		2		
		Communication for Business		2		
		Japan Studies		2		
		Public Speaking		2		
グ ロ ー バ ル 専 門 科 目	Introductory	Introduction to Business		2		
		Introduction to Economics		2		
		Introduction to Global Health Issues		2		
		Introduction to International Relations		2		
	Progressive	Monetary Policy and Financial System		2		
		Fiscal Policy and Tax System in Japan		2		
		Culture and Business		2		
		Global Health and Social Justice		2		
		Marketing		2		
		History of Innovation and Science		2		
	Interdisciplinary Seminar 1		2			
	Interdisciplinary Seminar 2		2			

教職課程教科に関する科目

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			備 考
	必修	選択	自由	
教 職 課 程 科 目	日 本 史 I		2	
	日 本 史 II		2	
	外 国 史 I		2	
	外 国 史 II		2	
	地 誌 学 I		2	
	地 誌 学 II		2	
	職 業 指 導		2	
	体 育 理 論		1	
	体 育 実 技		1	

第3類（杏林大学学則）

企業経営学科

ベーシック科目

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
ベーシック科目	ベーシック政治		2		10単位以上
	ベーシック経済		2		
	ベーシック法律		2		
	ベーシック国際関係		2		
	ベーシック福祉政策		2		
	ベーシック経営		2		
	ベーシック会計		2		

地域と大学

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
地 域 と 大 学		2			

コース別専門科目（経営）

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
コア科目	経営学総論Ⅰ		2		16単位以上
	経営学総論Ⅱ		2		
	経営管理論		2		
	経営組織論		2		
	現代企業論		2		
	経営戦略論		2		
	マーケティング総論		2		
	流通論		2		
	経営史		2		
	ミクロ経済学		2		
財務会計論		2			
管理会計論		2			
専門科目	応用科目		2		
	国際経営論		2		
	ベンチャー企業論		2		
	イノベーション論		2		
	経営情報論		2		
	財務管理論		2		

第3類 (杏林大学学則)

		人 的 資 源 管 理		2		
		出 店 戦 略		2		
		販 売 戦 略		2		
		原 価 計 算		2		
		会 社 法 I (ガバナンス)		2		
		企 業 取 引 法		2		
		労 働 法		2		
		租 税 法 I		2		
		現 代 ビ ジ ネ ス 演 習		2		
		経 営 特 殊 講 義		2		
		国 際 政 治 学 A		2		
		国 際 政 治 学 B		2		
		国 際 経 済 学 A (貿 易)		2		
		国 際 経 済 学 B (金 融)		2		
		社 会 福 祉 学		2		
		社 会 福 祉 政 策 論		2		
		行 動 経 済 学		2		
		ゲ ー ム 理 論		2		

コース別専門科目 (会計)

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
専 門 科 目	コ ア 科 目	財 務 会 計 論		2	16単位 以上
		国 際 会 計 論		2	
		監 査 論		2	
		管 理 会 計 論		2	
		商 業 簿 記 I		2	
		商 業 簿 記 II		2	
		工 業 簿 記		2	
		原 価 計 算		2	
		会 社 法 I (ガバナンス)		2	
		会 社 法 II (ファイナンス)		2	
		租 税 法 I		2	
		租 税 法 II		2	
		会 計 史		2	
	税 務 会 計 論		2		
	基 礎 簿 記 演 習		2		

第3類 (杏林大学学則)

応用科目	財務諸表作成演習	2	
	会計特殊講義	2	
	企業法総論	2	
	企業取引法	2	
	経営学総論 I	2	
	経営学総論 II	2	
	経営管理論	2	
	経営組織論	2	
	現代企業論	2	
	経営戦略論	2	
	マーケティング総論	2	
	流通論	2	
	財務管理論	2	
	出店戦略	2	
	販売戦略	2	
	労働法	2	
	契約法	2	
	民法総論	2	
	国際法 I	2	
	国際法 II	2	
環境経済学	2		
マクロ経済学	2		
ミクロ経済学	2		

演習

授業科目の名称	単位数			備考	
	必修	選択	自由		
専門演習科目	演習 I	2			
	演習 II	2			
	演習 III	2			
	演習 IV	2			
	演習 V	2			
	演習 VI	2			
	卒業研究 I	2			
	卒業研究 II	2			
	学際演習 I	2			4単位
	学際演習 II	2			

第3類（杏林大学学則）

学 際 演 習	学	際	演	習	Ⅲ	2		以上			
	学	際	演	習	Ⅳ	2					
	学	際	演	習	Ⅴ	2					
	学	際	演	習	Ⅵ	2					
	学	際	演	習	Ⅶ	2					
	学	際	演	習	Ⅷ	2					
	特 別 演 習	特	別	演	習	Ⅰ			2		
		特	別	演	習	Ⅱ			2		
特		別	演	習	Ⅲ	2					
特		別	演	習	Ⅳ	2					
プ ロ ジ エ ク ト 演 習	プ	ロ	ジ	エ	ク	ト	演	習	Ⅰ	2	
	プ	ロ	ジ	エ	ク	ト	演	習	Ⅱ	2	
	プ	ロ	ジ	エ	ク	ト	演	習	Ⅲ	2	
	プ	ロ	ジ	エ	ク	ト	演	習	Ⅳ	2	

プレゼミナール

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			備 考
	必修	選択	自由	
プレゼミナール	2			
プレゼミナール	2			

一般教養科目

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			備 考			
	必修	選択	自由				
一 般 教 養 科 目	生	活	と	法	2	10単位 以上	
	日	本	国	憲	法		2
	基	礎	簿	記	Ⅰ		2
	基	礎	簿	記	Ⅱ		2
	人	文	地	理	学		2
	自	然	地	理	学		2
	社	会	計	学	学		2
	統	計	学	学	学		2
	宗	教	学	学	学		2
	哲	学	学	学	学		2
	倫	理	学	学	学		2
	心	理	学	学	学		2

第3類（杏林大学学則）

	歴	史	学		2		
	文		学		2		
	音		楽		2		
	人	文	科	学	概	論	
	自	然	科	学	概	論	

外国語科目

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数			備 考		
				必修	選択	自由			
外国語科目	必修外国語	英	語	I	2				
		英	語	II	2				
		英	語	III	2				
		英	語	IV	2				
	選択外国語	発	展	英	語	I	2	4単位以上	
		発	展	英	語	II	2		
		中	国	語	A	2			
		中	国	語	B	2			
		韓	国	語	A	2			
		韓	国	語	B	2			
		フ	ラ	ン	ス	語	A		2
		フ	ラ	ン	ス	語	B		2
		ド	イ	ツ	語	A	2		
		ド	イ	ツ	語	B	2		
		ス	ペ	イ	ン	語	A		2
		ス	ペ	イ	ン	語	B		2

キャリア関連科目

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数			備 考					
				必修	選択	自由						
キャリア関連科目	基礎教養分野	時	事	問	題	研	究	A	2			
		時	事	問	題	研	究	B	2			
		ラ	イ	テ	ィ	ン	グ	演	習	I	2	
		ラ	イ	テ	ィ	ン	グ	演	習	II	2	
		計	算	力	演	習	I	2				
		計	算	力	演	習	II	2				
		情	報	処	理	演	習	A	2			

第3類（杏林大学学則）

		情報処理演習 B		2		
ライフデザイン分野		ライフ・プランニング I	2			
		ライフ・プランニング II	2			
		キャリア開発論 I	2			
		キャリア開発論 II	2			
		キャリア開発演習 I	2			
		キャリア開発演習 II	2			
		インターンシップ I		2		
		インターンシップ II		2		

グローバルキャリア・プログラム

授 業 科 目 の 名 称		単 位 数			備 考
		必修	選択	自由	
英語科目		Oral Communication 1		2	
		Oral Communication 2		2	
		Academic Writing 1		2	
		Academic Writing 2		2	
		Academic Writing 3		2	
		Recent Topics in English		2	
		Business Communication 1		2	
		Business Communication 2		2	
関連科目		Critical Thinking		2	
		Global Career Development		2	
		Communication for Business		2	
		Japan Studies		2	
		Public Speaking		2	
グローバル専門科目	Introductory	Introduction to Business		2	
		Introduction to Economics		2	
		Introduction to Global Health Issues		2	
		Introduction to International Relations		2	
	Progressive	Monetary Policy and Financial System		2	
		Fiscal Policy and Tax System in Japan		2	
		Culture and Business		2	
		Global Health and Social Justice		2	
		Marketing		2	
		History of Innovation & Science		2	

第3類（杏林大学学則）

	Interdisciplinary Seminar 1		2	
	Interdisciplinary Seminar 2		2	

教職課程教科に関する科目

授 業 科 目 の 名 称	単 位 数			備 考
	必修	選択	自由	
教 職 課 程 科 目	日 本 史 I		2	
	日 本 史 II		2	
	外 国 史 I		2	
	外 国 史 II		2	
	地 誌 学 I		2	
	地 誌 学 II		2	
	職 業 指 導		2	
	体 育 理 論		1	
	体 育 実 技		1	

第3類（杏林大学学則）

別表4-1（平成23年度入学生から適用）

外国語学部学科目構成

英語学科

授業科目の名称					単位数		備考
					必修	選択	
専門外国語科目	英語	I	—	1	1		英語及び中国語（留学生は日本語から4単位選択） 必修12単位
	英語	I	—	2	1		
	英語	II	—	1	1		
	英語	II	—	2	1		
	英語	III	—	1	1		
	英語	III	—	2	1		
	英語	IV	—	1	1		
	英語	IV	—	2	1		
	中国語	I	—	1	1		
	中国語	I	—	2	1		
	中国語	II	—	1	1		
	中国語	II	—	2	1		
	中国語	III	—	1		1	
	中国語	III	—	2		1	
	中国語	IV	—	1		1	
	中国語	IV	—	2		1	
	日本語	I	—	1		1	
	日本語	I	—	2		1	
	日本語	II	—	1		1	
	日本語	II	—	2		1	
日本語	III	—	1		1		
日本語	III	—	2		1		
日本語	IV	—	1		1		
日本語	IV	—	2		1		
専門科	英語学	—	1		2		
	英語学	—	2		2		
	英語音声学	—	1		2		
	英語音声学	—	2		2		
	英語史	—	1			2	

第3類 (杏林大学学則)

目	英語史	—	2		2
A	日米比較文化概論				2
	英語の文化誌				2
	ヨーロッパの社会と文化				2
	英米文化論				2
	英米文学				2
	児童文学論				2
	社会言語学	—	1		2
	社会言語学	—	2		2
	対照言語学	—	1		2
	対照言語学	—	2		2
	認知言語学	—	1		2
	認知言語学	—	2		2
	言語獲得のメカニズム	—	1		2
	言語獲得のメカニズム	—	2		2
	アメリカ近現代史概説				2
	ヨーロッパ近現代史概説				2
	英語文法	I —	1	1	
	英語文法	I —	2	1	
	英語文法	II —	1		1
	英語文法	II —	2		1
	英語会話	—	1	1	
	英語会話	—	2	1	
	実用英語	I			1
	実用英語	II			1
	実用英語	III			1
	実用英語	IV			1
	ITイングリッシュ		1		
	英語作文	—	1	1	
	英語作文	—	2	1	
	現代英語購読	I —	1	1	
	現代英語購読	I —	2	1	
	現代英語購読	II —	1		1
	現代英語購読	II —	2		1
	実用英語演習	I	1		
	実用英語演習	II	1		
	実用英語演習	III	1		

第3類 (杏林大学学則)

	実用英語演習Ⅳ	1		
	ゼミナール－1	2		
	ゼミナール－2	2		
	ゼミナール－3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専 門 科 目 B	国際コミュニケーション論	2		英語ビジネスコミュニ ケーションコース
	グローバルビジネス論－1	2		
	グローバルビジネス論－2	2		
	現代北米ビジネス事情		2	
	現代ヨーロッパビジネス事情		2	
	マーケティング総論		2	
	アメリカ経済論		2	
	アメリカ政治外交論		2	
	ヨーロッパ経済論		2	
	ヨーロッパ政治外交論		2	
	ビジネスイングリッシュⅠ	1		
	ビジネスイングリッシュⅡ	1		
	ビジネスイングリッシュⅢ	1		
	ビジネスイングリッシュⅣ	1		
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ	1		
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅱ		1	
専 門 科 目 C	英語教育論－1	2		英語教育コース
	英語教育論－2	2		
	英語音声学特論－1	2		
	英語音声学特論－2	2		
	英語学特論－1		2	
	英語学特論－2		2	
	英語科教育法－1		2	
	英語科教育法－2		2	
	児童英語教育論－1		2	
	児童英語教育論－2		2	
	児童英語教育教材研究		1	
	児童英語教育実習		1	
	英語発音聴取	1		
	英語文章表現法－1	1		
	英語文章表現法－2	1		

第3類 (杏林大学学則)

	英語聴解・討論－1		1	
	英語聴解・討論－2		1	
専門 関連 科目 A	比較文化論 I－1		2	
	比較文化論 I－2		2	
	比較文化論 II－1		2	
	比較文化論 II－2		2	
	地域圏研究 I－1		2	
	地域圏研究 I－2		2	
	地域圏研究 II－1		2	
	地域圏研究 II－2		2	
	地域圏研究 III－1		2	
	地域圏研究 III－2		2	
	地域圏研究 IV－1		2	
	地域圏研究 IV－2		2	
	地域圏研究 V－1		2	
	地域圏研究 V－2		2	
	地域圏研究 VI－1		2	
	地域圏研究 VI－2		2	
	国際関係論 I		2	
	国際関係論 II		2	
	経済原論 I		2	
	経済原論 II		2	
	西洋史－1		2	
	西洋史－2		2	
	中国史－1		2	
	中国史－2		2	
	日本史－1		2	
	日本史－2		2	
	言語学－1		2	
	言語学－2		2	
	言語と文化－1		2	
	言語と文化－2		2	
	神話学－1		2	
	神話学－2		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1		2	
クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2		

第3類 (杏林大学学則)

	英語総合講座－1		2	
	英語総合講座－2		2	
	英語特論－1		2	
	英語特論－2		2	
	コミュニケーション概論－1	2		
	コミュニケーション概論－2	2		
	基礎演習－1	1		
	基礎演習－2	1		
	キャリア指導Ⅰ－1	1		
	キャリア指導Ⅰ－2	1		
	キャリア指導Ⅱ－1	1		
	キャリア指導Ⅱ－2	1		
	ホスピタリティ実習－1	1		
	ホスピタリティ実習－2	1		
	インターンシップⅠ		1	
	インターンシップⅡ		1	
	インターンシップⅢ		1	
	インターンシップⅣ		1	
専門 関連 科目 B	ドイツ語Ⅰ－1		1	
	ドイツ語Ⅰ－2		1	
	ドイツ語Ⅱ－1		1	
	ドイツ語Ⅱ－2		1	
	ドイツ語Ⅲ－1		1	
	ドイツ語Ⅲ－2		1	
	フランス語Ⅰ－1		1	
	フランス語Ⅰ－2		1	
	フランス語Ⅱ－1		1	
	フランス語Ⅱ－2		1	
	フランス語Ⅲ－1		1	
	フランス語Ⅲ－2		1	
	スペイン語Ⅰ－1		1	
	スペイン語Ⅰ－2		1	
	スペイン語Ⅱ－1		1	
	スペイン語Ⅱ－2		1	
	スペイン語Ⅲ－1		1	
スペイン語Ⅲ－2		1		

第3類 (杏林大学学則)

	インドネシア語 I - 1	1	
	インドネシア語 I - 2	1	
	インドネシア語 II - 1	1	
	インドネシア語 II - 2	1	
	インドネシア語 III - 1	1	
	インドネシア語 III - 2	1	
	韓国語 I - 1	1	
	韓国語 I - 2	1	
	韓国語 II - 1	1	
	韓国語 II - 2	1	
	韓国語 III - 1	1	
	韓国語 III - 2	1	
	口語英語 I - 1	1	
	口語英語 I - 2	1	
	口語英語 II - 1	1	
	口語英語 II - 2	1	
	口語英語 III - 1	1	
	口語英語 III - 2	1	
	口語英語 IV - 1	1	
	口語英語 IV - 2	1	
	口語中国語 I - 1	1	
	口語中国語 I - 2	1	
	口語中国語 II - 1	1	
	口語中国語 II - 2	1	
	口語中国語 III - 1	1	
	口語中国語 III - 2	1	
	口語中国語 IV - 1	1	
	口語中国語 IV - 2	1	
専門 関連 科目	哲学 - 1	2	
	哲学 - 2	2	
	宗教学 - 1	2	
	宗教学 - 2	2	
	歴史学 - 1	2	
	歴史学 - 2	2	
	文学 - 1	2	
文学 - 2	2		

第3類 (杏林大学学則)

C	音 楽	—	1	2	
	音 楽	—	2	2	
	日 本 国 憲 法 学			2	
	政 治 学	—	1	2	
	政 治 学	—	2	2	
	地 理 学	—	1	2	
	地 理 学	—	2	2	
	経 済 学	—	1	2	
	経 済 学	—	2	2	
	数 学	—	1	2	
	数 学	—	2	2	
	物 理 学	—	1	2	
	物 理 学	—	2	2	
	化 学	—	1	2	
	化 学	—	2	2	
	生 物 学	—	1	2	
	生 物 学	—	2	2	
	健 康 科 学			2	
	食 と 健 康 の エ コ ロ ジ ー			2	
	心 理 学	—	1	2	
	心 理 学	—	2	2	
	統 計 学	—	1	2	
	統 計 学	—	2	2	
	情 報 処 理 論			2	
	体 育 理 論			2	
	体 育 実 技	—	1	1	
	体 育 実 技	—	2	1	
	専 門 関 連 科 目	日 本 語 教 育 概 説			2
		日 本 語 教 授 法 概 論			2
日 本 語 学 概 論				2	
日 本 語 音 声 学				2	
日 本 語 文 法 論				2	
日 本 語 意 味 論				2	
日 本 語 教 材 教 具 論				2	
試 験 と 評 価			2		

第3類 (杏林大学学則)

D	日本語語彙論	2	
	日本語文字表記概説	2	
	日本語史	2	
	日本人の言語行動	2	
	異文化理解とコミュニケーション	2	
	日本語教授法演習	1	
	日本語教育実習	1	
	日本語学演習	1	
	日本語教育演習	1	
専科 門目 関連 目 E	他学部 の 設置 科目		
自科 自由 目			

中国語学科

授業科目の名称		単位数		備考
		必修	選択	
専 門 外 国 語 科 目	英語 I	1	1	英語及び中国語 (留学生 は日本語から8単位選択) 必修16単位
	英語 I	2	1	
	英語 II	1	1	
	英語 II	2	1	
	英語 III	1	1	
	英語 III	2	1	
	英語 IV	1	1	
	英語 IV	2	1	
	中国語 I	1	1	
	中国語 I	2	1	
	中国語 II	1	1	
	中国語 II	2	1	
	中国語 III	1	1	
	中国語 III	2	1	
中国語 IV	1	1		
中国語 IV	2	1		

第3類 (杏林大学学則)

	日 本 語 I - 1		1	
	日 本 語 I - 2		1	
	日 本 語 II - 1		1	
	日 本 語 II - 2		1	
	日 本 語 III - 1		1	
	日 本 語 III - 2		1	
	日 本 語 IV - 1		1	
	日 本 語 IV - 2		1	
	日 本 語 V - 1		1	
	日 本 語 V - 2		1	
	日 本 語 VI - 1		1	
	日 本 語 VI - 2		1	
	日 本 語 VII - 1		1	
	日 本 語 VII - 2		1	
専 門 科 目 A	異文化コミュニケーション	2		
	日 本 文 化 論		2	
	インテンシブ中国語 I - 1	1		
	インテンシブ中国語 I - 2	1		
	インテンシブ中国語 II - 1	1		
	インテンシブ中国語 II - 2	1		
	インテンシブ中国語 III - 1	1		
	インテンシブ中国語 III - 2	1		
	インテンシブ中国語 IV - 1	1		
	インテンシブ中国語 IV - 2	1		
	実用中国語演習 I		1	
	実用中国語演習 II		1	
	実用中国語演習 III		1	
	実用中国語演習 IV		1	
	発展英語 - 1		1	
	発展英語 - 2		1	
	中国語文章表現法 - 1		1	
	中国語文章表現法 - 2		1	
	中国語聴解・討論 - 1		1	
	中国語聴解・討論 - 2		1	
ゼミナール - 1	2			

第3類 (杏林大学学則)

	ゼミナール - 2	2	
	ゼミナール - 3	2	
	卒業論文・課題指導		4
専 門 科 目 B	中国語学概論 - 1	2	
	中国語学概論 - 2	2	
	中国語音声学 - 1	2	
	中国語音声学 - 2	2	
	中国語コミュニケーション論 - 1	2	
	中国語コミュニケーション論 - 2	2	
	中国語通訳概論 - 1	2	
	中国語通訳概論 - 2	2	
	中国語翻訳概論 - 1	2	
	中国語翻訳概論 - 2	2	
	中国文学史 - 1		2
	中国文学史 - 2		2
	中国古典概説 - 1		2
	中国古典概説 - 2		2
	日中比較文化論 I - 1		2
	日中比較文化論 I - 2		2
	日中コミュニケーション研究 - 1		2
	日中コミュニケーション研究 - 2		2
	中国経済概論 - 1		2
	中国経済概論 - 2		2
	アジア経済論		2
	中国政治外交論		2
	実践中国語演習 I - 1		1
	実践中国語演習 I - 2		1
	実践中国語演習 II - 1		1
	実践中国語演習 II - 2		1
	実践中国語演習 III - 1		1
	実践中国語演習 III - 2		1
	実践中国語演習 IV - 1		1
	実践中国語演習 IV - 2		1
時事中国語 - 1		1	
時事中国語 - 2		1	

第3類 (杏林大学学則)

	商業中国語 - 1	1	
	商業中国語 - 2	1	
専門 関 連 科 目 A	比較文化論 I - 1	2	
	比較文化論 I - 2	2	
	比較文化論 II - 1	2	
	比較文化論 II - 2	2	
	地域圏研究 I - 1	2	
	地域圏研究 I - 2	2	
	地域圏研究 II - 1	2	
	地域圏研究 II - 2	2	
	地域圏研究 III - 1	2	
	地域圏研究 III - 2	2	
	地域圏研究 IV - 1	2	
	地域圏研究 IV - 2	2	
	地域圏研究 V - 1	2	
	地域圏研究 V - 2	2	
	地域圏研究 VI - 1	2	
	地域圏研究 VI - 2	2	
	国際関係論 I	2	
	国際関係論 II	2	
	経済原論 I	2	
	経済原論 II	2	
	西洋史 - 1	2	
	西洋史 - 2	2	
	中国史 - 1	2	
	中国史 - 2	2	
	日本史 - 1	2	
	日本史 - 2	2	
	言語学 - 1	2	
	言語学 - 2	2	
	言語と文化 - 1	2	
	言語と文化 - 2	2	
	神話学 - 1	2	
	神話学 - 2	2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1	2	

第3類 (杏林大学学則)

	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英語総合講座-1		2	
	英語総合講座-2		2	
	英語特論-1		2	
	英語特論-2		2	
	コミュニケーション概論-1	2		
	コミュニケーション概論-2	2		
	基礎演習-1	1		
	基礎演習-2	1		
	キャリア指導I-1	1		
	キャリア指導I-2	1		
	キャリア指導II-1	1		
	キャリア指導II-2	1		
	ホスピタリティ実習-1	1		
	ホスピタリティ実習-2	1		
	インターンシップI		1	
	インターンシップII		1	
	インターンシップIII		1	
	インターンシップIV		1	
専門 関 連 科 目 B	ドイツ語I-1		1	
	ドイツ語I-2		1	
	ドイツ語II-1		1	
	ドイツ語II-2		1	
	ドイツ語III-1		1	
	ドイツ語III-2		1	
	フランス語I-1		1	
	フランス語I-2		1	
	フランス語II-1		1	
	フランス語II-2		1	
	フランス語III-1		1	
	フランス語III-2		1	
	スペイン語I-1		1	
	スペイン語I-2		1	
	スペイン語II-1		1	
	スペイン語II-2		1	

第3類 (杏林大学学則)

	スペイン語 III - 1	1	
	スペイン語 III - 2	1	
	インドネシア語 I - 1	1	
	インドネシア語 I - 2	1	
	インドネシア語 II - 1	1	
	インドネシア語 II - 2	1	
	インドネシア語 III - 1	1	
	インドネシア語 III - 2	1	
	韓国語 I - 1	1	
	韓国語 I - 2	1	
	韓国語 II - 1	1	
	韓国語 II - 2	1	
	韓国語 III - 1	1	
	韓国語 III - 2	1	
	口語英語 I - 1	1	
	口語英語 I - 2	1	
	口語英語 II - 1	1	
	口語英語 II - 2	1	
	口語英語 III - 1	1	
	口語英語 III - 2	1	
	口語英語 IV - 1	1	
	口語英語 IV - 2	1	
	口語中国語 I - 1	1	
	口語中国語 I - 2	1	
	口語中国語 II - 1	1	
	口語中国語 II - 2	1	
	口語中国語 III - 1	1	
	口語中国語 III - 2	1	
	口語中国語 IV - 1	1	
	口語中国語 IV - 2	1	
専門 関連	哲学 - 1	2	
	哲学 - 2	2	
	宗教学 - 1	2	
	宗教学 - 2	2	
	歴史学 - 1	2	
	歴史学 - 2	2	

第3類 (杏林大学学則)

科目C	文 学	—	1	2
	文 学	—	2	2
	音 楽	—	1	2
	音 楽	—	2	2
	日 本 国 憲 法 学			2
	法 学			2
	政 治 学	—	1	2
	政 治 学	—	2	2
	地 理 学	—	1	2
	地 理 学	—	2	2
	経 済 学	—	1	2
	経 済 学	—	2	2
	数 学	—	1	2
	数 学	—	2	2
	物 理 学	—	1	2
	物 理 学	—	2	2
	化 学	—	1	2
	化 学	—	2	2
	生 物 学	—	1	2
	生 物 学	—	2	2
	健 康 科 学			2
	食 と 健 康 の エ コ ロ ジ ー			2
	心 理 学	—	1	2
	心 理 学	—	2	2
	統 計 学	—	1	2
	統 計 学	—	2	2
	情 報 処 理 学			2
	体 育 理 論			2
	体 育 実 技	—	1	1
	体 育 実 技	—	2	1
	専門	日 本 語 教 育 概 説		
日 本 語 教 授 法 概 論				2
日 本 語 学 概 論				2
日 本 語 音 声 学				2
日 本 語 文 法 論				2

第3類 (杏林大学学則)

関連科目D	日本語意味論		2	
	日本語教材教具論		2	
	試験と評価		2	
	日本語語彙論		2	
	日本語文字表記概説		2	
	日本語史		2	
	日本人の言語行動		2	
	異文化理解とコミュニケーション		2	
	日本語教授法演習		1	
	日本語教育実習		1	
専科 門 関 連 E	日本語学演習		1	
	日本語教育演習		1	
専科 門 関 連 E	他学部 の 設置 科目			
自科 由 目				

観光交流文化学科

授業科目の名称	単位数		備考
	必修	選択	
専 門 外 国 語 科 目	英語 I ー 1	1	英語及び中国語8単位、又は 英語及び韓国語8単位(留学 生は日本語8単位) 必修16単位
	英語 I ー 2	1	
	英語 II ー 1	1	
	英語 II ー 2	1	
	英語 III ー 1	1	
	英語 III ー 2	1	
	英語 IV ー 1	1	
	英語 IV ー 2	1	
	中国語 I ー 1	1	
	中国語 I ー 2	1	
	中国語 II ー 1	1	
	中国語 II ー 2	1	
	中国語 III ー 1	1	

第3類 (杏林大学学則)

中国語 III - 2	1
中国語 IV - 1	1
中国語 IV - 2	1
韓国語 I - 1	1
韓国語 I - 2	1
韓国語 II - 1	1
韓国語 II - 2	1
韓国語 III - 1	1
韓国語 III - 2	1
韓国語 IV - 1	1
韓国語 IV - 2	1
日本語 I - 1	1
日本語 I - 2	1
日本語 II - 1	1
日本語 II - 2	1
日本語 III - 1	1
日本語 III - 2	1
日本語 IV - 1	1
日本語 IV - 2	1
日本語 V - 1	1
日本語 V - 2	1
日本語 VI - 1	1
日本語 VI - 2	1
日本語 VII - 1	1
日本語 VII - 2	1
インテンシブ中国語 I - 1	1
インテンシブ中国語 I - 2	1
インテンシブ中国語 II - 1	1
インテンシブ中国語 II - 2	1
インテンシブ中国語 III - 1	1
インテンシブ中国語 III - 2	1
インテンシブ中国語 IV - 1	1
インテンシブ中国語 IV - 2	1
観光交流文化論	2
ホスピタリティ論	2

第3類 (杏林大学学則)

専 門 科 目 A	国 際 観 光 論	2		
	交 流 文 化 論	2		
	異文化コミュニケーション論	2		
	サ ー ビ ス 文 化 論	2		
	サ ー ビ ス 日 本 語	2		
	紀 行 文 学 論		2	
	観 光 メ デ ィ ア 論		2	
	観 光 心 理 学		2	
	観 光 人 類 学		2	
	観 光 地 理 学		2	
	観 光 保 健 論		2	
	福 祉 観 光 論		2	
	観 光 マ ー ケ テ ィ ン グ 論		2	
	キ ャ リ ア デ ザ イン I	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イン II	2		
	基 礎 英 語 I - 1	1		
	基 礎 英 語 I - 2	1		
	基 礎 英 語 II - 1	1		
	基 礎 英 語 II - 2	1		
	観 光 英 語 I - 1	1		
	観 光 英 語 I - 2	1		
	観 光 英 語 II - 1	1		
	観 光 英 語 II - 2	1		
	観 光 中 国 語 - 1		1	
	観 光 中 国 語 - 2		1	
	観 光 韓 国 語 - 1		1	
	観 光 韓 国 語 - 2		1	
	観 光 手 話 基 礎		1	
	観 光 手 話		1	
	実 用 英 語 - 1	1		
	実 用 英 語 - 2	1		
	観 光 基 礎 演 習 - 1	1		
	観 光 基 礎 演 習 - 2	1		
ゼ ミ ナ ー ル - 1	2			
ゼ ミ ナ ー ル - 2	2			
ゼ ミ ナ ー ル - 3	2			
			8 単位以上	
			観光中国語-1・2(各1単位)又は観光韓国語-1・2(各1単位)のどちらかを選択必修	

第3類 (杏林大学学則)

	卒業論文・課題指導		4	
専 門 科 目 B	サービス産業論	2		
	ファシリテーション論	2		
	ファシリテーション実習	1		
	航空産業論		2	
	航空サービス論		2	
	宿泊産業論		2	
	宿泊サービス論		2	
	外食産業論		2	
	外食サービス論		2	
	旅行産業論		2	
	旅行サービス論		2	
	ホスピタリティマネジメント論		2	
	観光政策・行政論		2	
	風景・景観論		2	
	イベント・コンベンション論		2	
	エンターテインメント産業論		2	
	ツアーガイド論		2	
	ブライダルコーディネート論		2	
	多摩八王子観光論		2	
	世界遺産観光論		2	
	旅行医学概論		2	
	サービス衛生論		2	
	観光交流文化特論Ⅰ		2	
	観光交流文化特論Ⅱ		2	
観光交流文化特論Ⅲ		2		
観光交流文化特論Ⅳ		2		
観光交流文化特論Ⅴ		2		
観光交流文化特論Ⅵ		2		
専 門 関 連	比較文化論Ⅰ－1		2	
	比較文化論Ⅰ－2		2	
	比較文化論Ⅱ－1		2	
	比較文化論Ⅱ－2		2	
	アメリカ社会論－1		2	
	アメリカ社会論－2		2	

第3類 (杏林大学学則)

科目	中国事情	2
	韓国事情	2
A	地域圏研究Ⅰ－1	2
	地域圏研究Ⅰ－2	2
	地域圏研究Ⅱ－1	2
	地域圏研究Ⅱ－2	2
	地域圏研究Ⅲ－1	2
	地域圏研究Ⅲ－2	2
	地域圏研究Ⅳ－1	2
	地域圏研究Ⅳ－2	2
	地域圏研究Ⅴ－1	2
	地域圏研究Ⅴ－2	2
	地域圏研究Ⅵ－1	2
	地域圏研究Ⅵ－2	2
	国際関係論Ⅰ	2
	国際関係論Ⅱ	2
	経済原論Ⅰ	2
	経済原論Ⅱ	2
	西洋史－1	2
	西洋史－2	2
	中国史－1	2
	中国史－2	2
	日本史－1	2
	日本史－2	2
	言語学－1	2
	言語学－2	2
	言語と文化－1	2
	言語と文化－2	2
	日中文化交流史－1	2
	日中文化交流史－2	2
	日韓文化交流史－1	2
	日韓文化交流史－2	2
	神話学	2
	文化人類学	2
	クリエイティブ・コミュニケーション論-1	2

第3類 (杏林大学学則)

	クリエイティブ・コミュニケーション論-2		2	
	英語総合講座-1		2	
	英語総合講座-2		2	
	英語特論-1		2	
	英語特論-2		2	
	コミュニケーション概論	2		
	基礎演習-1	1		
	基礎演習-2	1		
	キャリア指導I-1	1		
	キャリア指導I-2	1		
	キャリア指導II-1	1		
	キャリア指導II-2	1		
	ホスピタリティ実習-1	1		
	ホスピタリティ実習-2	1		
	インターンシップI		1	インターンシップI～IV のうち1科目選択必修
	インターンシップII		1	
	インターンシップIII		1	
	インターンシップIV		1	
専門 関連 科目 B	ドイツ語I-1		1	
	ドイツ語I-2		1	
	ドイツ語II-1		1	
	ドイツ語II-2		1	
	ドイツ語III-1		1	
	ドイツ語III-2		1	
	フランス語I-1		1	
	フランス語I-2		1	
	フランス語II-1		1	
	フランス語II-2		1	
	フランス語III-1		1	
	フランス語III-2		1	
	スペイン語I-1		1	
	スペイン語I-2		1	
スペイン語II-1		1		
スペイン語II-2		1		
	スペイン語III-1		1	

第3類 (杏林大学学則)

スペイン語 III - 2	1	
インドネシア語 I - 1	1	
インドネシア語 I - 2	1	
インドネシア語 II - 1	1	
インドネシア語 II - 2	1	
インドネシア語 III - 1	1	
インドネシア語 III - 2	1	
情報英語 I	1	
情報英語 II	1	
情報中国語 I	1	
情報中国語 II	1	
情報日本語	1	
口語英語 I - 1	1	
口語英語 I - 2	1	
口語英語 II - 1	1	
口語英語 II - 2	1	
口語英語 III - 1	1	
口語英語 III - 2	1	
口語英語 IV - 1	1	
口語英語 IV - 2	1	
口語英語 V - 1	1	
口語英語 V - 2	1	
中国語演習 I - 1	2	
中国語演習 I - 2	2	
中国語演習 II - 1	2	
中国語演習 II - 2	2	
中国語演習 III - 1	2	
中国語演習 III - 2	2	
中国語実習 I - 1	1	
中国語実習 I - 2	1	
中国語実習 II - 1	1	
中国語実習 II - 2	1	
中国語実習 III - 1	1	
中国語実習 III - 2	1	
哲学 - 1	2	
哲学 - 2	2	

第3類 (杏林大学学則)

専 門 関 連 科 目 C	宗 教 学	—	1	2
	宗 教 学	—	2	2
	歴 史 学	—	1	2
	歴 史 学	—	2	2
	文 学	—	1	2
	文 学	—	2	2
	音 楽	—	1	2
	音 楽	—	2	2
	日 本 国 憲 法 学			2
	法 学			2
	政 治 学	—	1	2
	政 治 学	—	2	2
	地 理 学	—	1	2
	地 理 学	—	2	2
	経 済 学	—	1	2
	経 済 学	—	2	2
	数 学	—	1	2
	数 学	—	2	2
	物 理 学	—	1	2
	物 理 学	—	2	2
	化 学	—	1	2
	化 学	—	2	2
	生 物 学	—	1	2
	生 物 学	—	2	2
	健 康 科 学			2
	食 と 健 康 の エ コ ロ ジ ー			2
	心 理 学	—	1	2
	心 理 学	—	2	2
	統 計 学	—	1	2
	統 計 学	—	2	2
情 報 処 理			2	
体 育 理 論			1	
体 育 実 技	—	1	1	
体 育 実 技	—	2	1	
日 本 語 教 育 概 説			2	

第3類（杏林大学学則）

専 門 関 連 科 目 D	日 本 語 教 授 法 概 論	2		
	日 本 語 学 概 論	2		
	日 本 語 音 声 学	2		
	日 本 語 文 法 論	2		
	日 本 語 意 味 論	2		
	日 本 語 教 材 教 具 論	2		
	試 験 と 評 価	2		
	日 本 語 語 彙 論	2		
	日 本 語 文 字 表 記 概 説	2		
	日 本 語 史	2		
	日 本 人 の 言 語 行 動	2		
	異文化理解とコミュニケーション	2		
	日 本 語 教 授 法 演 習	1		
	日 本 語 教 育 実 習	1		
日 本 語 学 演 習	1			
日 本 語 教 育 演 習	1			
専 門 関 連 E	他学部 の 設 置 科 目			
自 由 目				

第3類（杏林大学学則）

別表4-2（平成26年度入学生から適用）

外国語学部学科目構成

英語学科

授業科目の名称					単位数		備考
					必修	選択	
専門外国語科目	英語	I	—	1	1	英語及び中国語（留学生は日本語から4単位選択） 必修12単位	
	英語	I	—	2	1		
	英語	II	—	1	1		
	英語	II	—	2	1		
	英語	III	—	1	1		
	英語	III	—	2	1		
	英語	IV	—	1	1		
	英語	IV	—	2	1		
	中国語	I	—	1	1		
	中国語	I	—	2	1		
	中国語	II	—	1	1		
	中国語	II	—	2	1		
	中国語	III	—	1	1		
	中国語	III	—	2	1		
	中国語	IV	—	1	1		
	中国語	IV	—	2	1		
	日本語	I	—	1	1		
	日本語	I	—	2	1		
	日本語	II	—	1	1		
	日本語	II	—	2	1		
日本語	III	—	1	1			
日本語	III	—	2	1			
日本語	IV	—	1	1			
日本語	IV	—	2	1			
専門科	英語学	—	1	2			
	英語学	—	2	2			
	英語史	—	1	2			
	英語史	—	2	2			
	日米比較文化概論				2		

第3類 (杏林大学学則)

目	ヨーロッパの社会と文化			2
A	英米文化論			2
	英米文学			2
	児童文学論			2
	社会言語学 - 1			2
	社会言語学 - 2			2
	対照言語学 - 1			2
	対照言語学 - 2			2
	認知言語学 - 1			2
	認知言語学 - 2			2
	アメリカ近現代史概説			2
	ヨーロッパ近現代史概説			2
	グローバル人材論			2
	グローバルシチズンシップ論			2
	アジアン・ホスピタリティ論			2
	交流フィールドワーク			1
	英語文法 I - 1	1		
	英語文法 I - 2	1		
	英語文法 II - 1		1	
	英語文法 II - 2		1	
	英語会話 - 1	1		
	英語会話 - 2	1		
	実用英語 I			1
	実用英語 II			1
	英語作文 - 1	1		
	英語作文 - 2	1		
	現代英語購読 I - 1	1		
	現代英語購読 I - 2	1		
	現代英語購読 II - 1		1	
	現代英語購読 II - 2		1	
	実用英語演習 I	1		
	実用英語演習 II	1		
	実用英語演習 III	1		
	実用英語演習 IV	1		
	ゼミナール - 1	2		
	ゼミナール - 2	2		
	ゼミナール - 3	2		

第3類 (杏林大学学則)

	卒業論文・課題指導		4	
専 門 科 目 B	国際コミュニケーション論	2		英語ビジネスコミュニ ケーションコース
	グローバルビジネス論-1	2		
	グローバルビジネス論-2	2		
	現代北米ビジネス事情		2	
	現代ヨーロッパビジネス事情		2	
	マーケティング総論		2	
	アメリカ経済論		2	
	アメリカ政治外交論		2	
	ヨーロッパ経済論		2	
	ヨーロッパ政治外交論		2	
	ビジネスイングリッシュⅠ	1		
	ビジネスイングリッシュⅡ	1		
	ビジネスイングリッシュⅢ	1		
	ビジネスイングリッシュⅣ	1		
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ	1		
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅱ		1	
専 門 科 目 C	英語教育論-1	2		英語教育コース
	英語教育論-2	2		
	英語音声学-1	2		
	英語音声学-2	2		
	英語音声学特論-1	2		
	英語音声学特論-2	2		
	英語学特論Ⅰ-1		2	
	英語学特論Ⅰ-2		2	
	英語学特論Ⅱ-1		2	
	英語学特論Ⅱ-2		2	
	英語科教育法-1		2	
	英語科教育法-2		2	
	児童英語教育論-1		2	
	児童英語教育論-2		2	
	児童英語教育教材研究		1	
	児童英語教育実習		1	
	英語発音聴取	1		
英語文章表現法-1	1			
英語文章表現法-2	1			

第3類 (杏林大学学則)

	英語聴解・討論－1		1	
	英語聴解・討論－2		1	
専門 関連 科目 A	比較文化論 I－1		2	
	比較文化論 I－2		2	
	比較文化論 II－1		2	
	比較文化論 II－2		2	
	地域圏研究 I－1		2	
	地域圏研究 I－2		2	
	地域圏研究 II－1		2	
	地域圏研究 II－2		2	
	地域圏研究 III－1		2	
	地域圏研究 III－2		2	
	地域圏研究 IV－1		2	
	地域圏研究 IV－2		2	
	地域圏研究 V－1		2	
	地域圏研究 V－2		2	
	地域圏研究 VI－1		2	
	地域圏研究 VI－2		2	
	国際関係論 I		2	
	国際関係論 II		2	
	経済原論 I		2	
	経済原論 II		2	
	西洋史－1		2	
	西洋史－2		2	
	中国史－1		2	
	中国史－2		2	
	日本史－1		2	
	日本史－2		2	
	言語学－1		2	
	言語学－2		2	
	言語と文化－1		2	
	言語と文化－2		2	
	神話学－1		2	
	神話学－2		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論－1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論－2		2	

第3類 (杏林大学学則)

	英語総合講座－1		2	
	英語総合講座－2		2	
	英語特論－1		2	
	英語特論－2		2	
	コミュニケーション概論－1	2		
	コミュニケーション概論－2	2		
	地域と大学	2		
	基礎演習－1	1		
	基礎演習－2	1		
	キャリア指導Ⅰ－1	1		
	キャリア指導Ⅰ－2	1		
	キャリア指導Ⅱ－1	1		
	キャリア指導Ⅱ－2	1		
	ホスピタリティ実習	1		
	プロジェクト演習Ⅰ		1	
	プロジェクト演習Ⅱ		1	
	インターンシップⅠ		1	
	インターンシップⅡ		1	
	インターンシップⅢ		1	
	インターンシップⅣ		1	
専門 関連 科目 B	ドイツ語Ⅰ－1		1	
	ドイツ語Ⅰ－2		1	
	ドイツ語Ⅱ－1		1	
	ドイツ語Ⅱ－2		1	
	ドイツ語Ⅲ－1		1	
	ドイツ語Ⅲ－2		1	
	フランス語Ⅰ－1		1	
	フランス語Ⅰ－2		1	
	フランス語Ⅱ－1		1	
	フランス語Ⅱ－2		1	
	フランス語Ⅲ－1		1	
	フランス語Ⅲ－2		1	
	スペイン語Ⅰ－1		1	
	スペイン語Ⅰ－2		1	
	スペイン語Ⅱ－1		1	
	スペイン語Ⅱ－2		1	

第3類 (杏林大学学則)

	スペイン語Ⅲ	－	1	1	
	スペイン語Ⅲ	－	2	1	
	インドネシア語Ⅰ	－	1	1	
	インドネシア語Ⅰ	－	2	1	
	インドネシア語Ⅱ	－	1	1	
	インドネシア語Ⅱ	－	2	1	
	インドネシア語Ⅲ	－	1	1	
	インドネシア語Ⅲ	－	2	1	
	韓国語Ⅰ	－	1	1	
	韓国語Ⅰ	－	2	1	
	韓国語Ⅱ	－	1	1	
	韓国語Ⅱ	－	2	1	
	韓国語Ⅲ	－	1	1	
	韓国語Ⅲ	－	2	1	
	口語英語Ⅰ	－	1	1	
	口語英語Ⅰ	－	2	1	
	口語英語Ⅱ	－	1	1	
	口語英語Ⅱ	－	2	1	
	口語英語Ⅲ	－	1	1	
	口語英語Ⅲ	－	2	1	
	口語英語Ⅳ	－	1	1	
	口語英語Ⅳ	－	2	1	
	口語中国語Ⅰ	－	1	1	
	口語中国語Ⅰ	－	2	1	
	口語中国語Ⅱ	－	1	1	
	口語中国語Ⅱ	－	2	1	
	口語中国語Ⅲ	－	1	1	
	口語中国語Ⅲ	－	2	1	
	口語中国語Ⅳ	－	1	1	
	口語中国語Ⅳ	－	2	1	
専門 関連	哲学	－	1	2	
	哲学	－	2	2	
	宗教学	－	1	2	
	宗教学	－	2	2	
	歴史学	－	1	2	
	歴史学	－	2	2	

第3類 (杏林大学学則)

科目C	文 学	—	1	2
	文 学	—	2	2
	音 楽	—	1	2
	音 楽	—	2	2
	日 本 国 憲 法 学			2
	法 学			2
	政 治 学	—	1	2
	政 治 学	—	2	2
	地 理 学	—	1	2
	地 理 学	—	2	2
	経 済 学	—	1	2
	経 済 学	—	2	2
	数 学	—	1	2
	数 学	—	2	2
	物 理 学	—	1	2
	物 理 学	—	2	2
	化 学	—	1	2
	化 学	—	2	2
	生 物 学	—	1	2
	生 物 学	—	2	2
	健 康 科 学			2
	食 と 健 康 の エ コ ロ ジ ー			2
	心 理 学	—	1	2
	心 理 学	—	2	2
	統 計 学	—	1	2
	統 計 学	—	2	2
情 報 処 理 論			2	
体 育 理 論			2	
体 育 実 技	—	1	1	
体 育 実 技	—	2	1	
専門 関連	日 本 語 教 育 概 説			2
	日 本 語 教 授 法 概 論			2
	日 本 語 学 概 論			2
	日 本 語 音 声 学			2
	日 本 語 文 法 論			2
	日 本 語 意 味 論			2

第3類 (杏林大学学則)

科目 D	日本語教材教具論	2	
	試験と評価	2	
	日本語語彙論	2	
	日本語文字表記概説	2	
	日本語史	2	
	日本人の言語行動	2	
	異文化理解とコミュニケーション	2	
	日本文化論	2	
	日本語教授法演習	1	
	日本語教育実習	1	
	日本語学演習	1	
	日本語教育演習	1	
	日本文化演習Ⅰ	1	
	日本文化演習Ⅱ	1	
	日本文化演習Ⅲ	1	
	日本語表現演習	1	
専科 門 関 連 目 E	他学部 の 設置 科目		
自科 由 目			

中国語学科

授業科目の名称					単位数		備 考
					必修	選択	
専 門 外 国 語 科 目	英語	I	—	1	1	英語及び中国語 (留学生 は日本語から8単位選択) 必修16単位	
	英語	I	—	2	1		
	英語	II	—	1	1		
	英語	II	—	2	1		
	英語	III	—	1	1		
	英語	III	—	2	1		
	英語	IV	—	1	1		
	英語	IV	—	2	1		
	中国語	I	—	1	1		

第3類 (杏林大学学則)

	中国語 I - 2	1	
	中国語 II - 1	1	
	中国語 II - 2	1	
	中国語 III - 1	1	
	中国語 III - 2	1	
	中国語 IV - 1	1	
	中国語 IV - 2	1	
	日本語 I - 1		1
	日本語 I - 2		1
	日本語 II - 1		1
	日本語 II - 2		1
	日本語 III - 1		1
	日本語 III - 2		1
	日本語 IV - 1		1
	日本語 IV - 2		1
	日本語 V - 1		1
	日本語 V - 2		1
	日本語 VI - 1		1
	日本語 VI - 2		1
	日本語 VII - 1		1
	日本語 VII - 2		1
専 門 科 目 A	異文化コミュニケーション	2	
	日本文化論		2
	インテンシブ中国語 I - 1	1	
	インテンシブ中国語 I - 2	1	
	インテンシブ中国語 II - 1	1	
	インテンシブ中国語 II - 2	1	
	インテンシブ中国語 III - 1	1	
	インテンシブ中国語 III - 2	1	
	インテンシブ中国語 IV - 1	1	
	インテンシブ中国語 IV - 2	1	
	実用中国語演習 I		1
	実用中国語演習 II		1
	実用中国語演習 III		1
実用中国語演習 IV		1	

第3類 (杏林大学学則)

	発展英語－1		1	
	発展英語－2		1	
	中国語文章表現法－1		1	
	中国語文章表現法－2		1	
	中国語聴解・討論－1		1	
	中国語聴解・討論－2		1	
	グローバル人材論		2	
	グローバルシチズンシップ論		2	
	アジアン・ホスピタリティ論		2	
	交流フィールドワーク		1	
	ゼミナール－1	2		
	ゼミナール－2	2		
	ゼミナール－3	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専 門 科 目 B	中国語学概論－1	2		
	中国語学概論－2	2		
	中国語音声学－1	2		
	中国語音声学－2	2		
	中国語コミュニケーション論－1	2		
	中国語コミュニケーション論－2	2		
	中国語通訳概論－1	2		
	中国語通訳概論－2	2		
	中国語翻訳概論－1	2		
	中国語翻訳概論－2	2		
	中国文学史－1		2	
	中国文学史－2		2	
	中国古典概説－1		2	
	中国古典概説－2		2	
	日中比較文化論I－1		2	
	日中比較文化論I－2		2	
	日中コミュニケーション研究－1		2	
	日中コミュニケーション研究－2		2	
	中国経済概論－1		2	
	中国経済概論－2		2	

第3類 (杏林大学学則)

	ア ジ ア 経 済 論	2	
	中 国 政 治 外 交 論	2	
	実 践 中 国 語 演 習 I - 1	1	
	実 践 中 国 語 演 習 I - 2	1	
	実 践 中 国 語 演 習 II - 1	1	
	実 践 中 国 語 演 習 II - 2	1	
	実 践 中 国 語 演 習 III - 1	1	
	実 践 中 国 語 演 習 III - 2	1	
	実 践 中 国 語 演 習 IV - 1	1	
	実 践 中 国 語 演 習 IV - 2	1	
	時 事 中 国 語 - 1	1	
	時 事 中 国 語 - 2	1	
	商 業 中 国 語 - 1	1	
	商 業 中 国 語 - 2	1	
専 門 関 連 科 目 A	比 較 文 化 論 I - 1	2	
	比 較 文 化 論 I - 2	2	
	比 較 文 化 論 II - 1	2	
	比 較 文 化 論 II - 2	2	
	地 域 圏 研 究 I - 1	2	
	地 域 圏 研 究 I - 2	2	
	地 域 圏 研 究 II - 1	2	
	地 域 圏 研 究 II - 2	2	
	地 域 圏 研 究 III - 1	2	
	地 域 圏 研 究 III - 2	2	
	地 域 圏 研 究 IV - 1	2	
	地 域 圏 研 究 IV - 2	2	
	地 域 圏 研 究 V - 1	2	
	地 域 圏 研 究 V - 2	2	
	地 域 圏 研 究 VI - 1	2	
	地 域 圏 研 究 VI - 2	2	
	国 際 関 係 論 I	2	
	国 際 関 係 論 II	2	
	経 済 原 論 I	2	
	経 済 原 論 II	2	
西 洋 史 - 1	2		

第3類 (杏林大学学則)

西 洋 史	—	2		2
中 国 史	—	1		2
中 国 史	—	2		2
日 本 史	—	1		2
日 本 史	—	2		2
言 語 学	—	1		2
言 語 学	—	2		2
言 語 と 文 化	—	1		2
言 語 と 文 化	—	2		2
神 話 学	—	1		2
神 話 学	—	2		2
クリエイティブ・コミュニケーション論-1				2
クリエイティブ・コミュニケーション論-2				2
英 語 総 合 講 座	—	1		2
英 語 総 合 講 座	—	2		2
英 語 特 論	—	1		2
英 語 特 論	—	2		2
コミュニケーション概論-1		2		
コミュニケーション概論-2		2		
地 域 と 大 学		2		
基 礎 演 習	—	1	1	
基 礎 演 習	—	2	1	
キ ャ リ ア 指 導 I	—	1	1	
キ ャ リ ア 指 導 I	—	2	1	
キ ャ リ ア 指 導 II	—	1	1	
キ ャ リ ア 指 導 II	—	2	1	
ホスピタリティ実習-1		1	1	
ホスピタリティ実習-2		1	1	
プロジェクト演習 I				1
プロジェクト演習 II				1
インターンシップ I				1
インターンシップ II				1
インターンシップ III				1
インターンシップ IV				1
ド イ ツ 語 I	—	1		1

第3類 (杏林大学学則)

専門 関 連 科 目 B	ド イ ツ 語 I - 2	1
	ド イ ツ 語 II - 1	1
	ド イ ツ 語 II - 2	1
	ド イ ツ 語 III - 1	1
	ド イ ツ 語 III - 2	1
	フ ラ ン ス 語 I - 1	1
	フ ラ ン ス 語 I - 2	1
	フ ラ ン ス 語 II - 1	1
	フ ラ ン ス 語 II - 2	1
	フ ラ ン ス 語 III - 1	1
	フ ラ ン ス 語 III - 2	1
	ス ペ イ ン 語 I - 1	1
	ス ペ イ ン 語 I - 2	1
	ス ペ イ ン 語 II - 1	1
	ス ペ イ ン 語 II - 2	1
	ス ペ イ ン 語 III - 1	1
	ス ペ イ ン 語 III - 2	1
	イ ン ド ネ シ ア 語 I - 1	1
	イ ン ド ネ シ ア 語 I - 2	1
	イ ン ド ネ シ ア 語 II - 1	1
	イ ン ド ネ シ ア 語 II - 2	1
	イ ン ド ネ シ ア 語 III - 1	1
	イ ン ド ネ シ ア 語 III - 2	1
	韓 国 語 I - 1	1
	韓 国 語 I - 2	1
	韓 国 語 II - 1	1
	韓 国 語 II - 2	1
	韓 国 語 III - 1	1
	韓 国 語 III - 2	1
	口 語 英 語 I - 1	1
	口 語 英 語 I - 2	1
	口 語 英 語 II - 1	1
口 語 英 語 II - 2	1	
口 語 英 語 III - 1	1	
口 語 英 語 III - 2	1	

第 3 類 (杏林大学学則)

	口 語 英 語 IV - 1	1	
	口 語 英 語 IV - 2	1	
	口 語 中 国 語 I - 1	1	
	口 語 中 国 語 I - 2	1	
	口 語 中 国 語 II - 1	1	
	口 語 中 国 語 II - 2	1	
	口 語 中 国 語 III - 1	1	
	口 語 中 国 語 III - 2	1	
	口 語 中 国 語 IV - 1	1	
	口 語 中 国 語 IV - 2	1	
專 門 關 連 科 目 C	哲 学 - 1	2	
	哲 学 - 2	2	
	宗 教 学 - 1	2	
	宗 教 学 - 2	2	
	歷 史 学 - 1	2	
	歷 史 学 - 2	2	
	文 学 - 1	2	
	文 学 - 2	2	
	音 楽 - 1	2	
	音 楽 - 2	2	
	日 本 国 憲 法 学	2	
	法 学	2	
	政 治 学 - 1	2	
	政 治 学 - 2	2	
	地 理 学 - 1	2	
	地 理 学 - 2	2	
	經 济 学 - 1	2	
	經 济 学 - 2	2	
	数 学 - 1	2	
	数 学 - 2	2	
物 理 学 - 1	2		
物 理 学 - 2	2		
化 学 - 1	2		
化 学 - 2	2		
生 物 学 - 1	2		
生 物 学 - 2	2		

第3類 (杏林大学学則)

	健康科学		2	
	食と健康のエコロジー		2	
	心理学 - 1		2	
	心理学 - 2		2	
	統計学 - 1		2	
	統計学 - 2		2	
	情報処理論		2	
	体育理論		2	
	体育実技 - 1		1	
	体育実技 - 2		1	
専門 関 連 科 目 D	日本語教育概説		2	
	日本語教授法概論		2	
	日本語学概論		2	
	日本語音声学		2	
	日本語文法論		2	
	日本語意味論		2	
	日本語教材教具論		2	
	試験と評価		2	
	日本語語彙論		2	
	日本語文字表記概説		2	
	日本語史		2	
	日本人の言語行動		2	
	異文化理解とコミュニケーション		2	
	日本語教授法演習		1	
	日本語教育実習		1	
	日本語学演習		1	
	日本語教育演習		1	
	日本文化演習 I		1	
	日本文化演習 II		1	
	日本文化演習 III		1	
	日本語表現演習		1	
専科 関 連 目 録 E	他学部設置科目			
自科				

第3類（杏林大学学則）

由 目				
-----	--	--	--	--

観光交流文化学科

授 業 科 目 の 名 称					単 位 数		備 考
					必 修	選 択	
専 門 外 国 語 科 目	英 語	I	—	1	1		英語及び中国語8単位、又は 英語及び韓国語8単位(留学 生は日本語8単位) 必修16単位
	英 語	I	—	2	1		
	英 語	II	—	1	1		
	英 語	II	—	2	1		
	英 語	III	—	1	1		
	英 語	III	—	2	1		
	英 語	IV	—	1	1		
	英 語	IV	—	2	1		
	中 国 語	I	—	1		1	
	中 国 語	I	—	2		1	
	中 国 語	II	—	1		1	
	中 国 語	II	—	2		1	
	中 国 語	III	—	1		1	
	中 国 語	III	—	2		1	
	中 国 語	IV	—	1		1	
	中 国 語	IV	—	2		1	
	韓 国 語	I	—	1		1	
	韓 国 語	I	—	2		1	
	韓 国 語	II	—	1		1	
	韓 国 語	II	—	2		1	
	韓 国 語	III	—	1		1	
	韓 国 語	III	—	2		1	
	韓 国 語	IV	—	1		1	
	韓 国 語	IV	—	2		1	
	日 本 語	I	—	1		1	
	日 本 語	I	—	2		1	
	日 本 語	II	—	1		1	
	日 本 語	II	—	2		1	
日 本 語	III	—	1		1		

第3類 (杏林大学学則)

	日 本 語 III - 2		1	
	日 本 語 IV - 1		1	
	日 本 語 IV - 2		1	
	日 本 語 V - 1		1	
	日 本 語 V - 2		1	
	日 本 語 VI - 1		1	
	日 本 語 VI - 2		1	
	日 本 語 VII - 1		1	
	日 本 語 VII - 2		1	
専 門 科 目 A	観 光 学 入 門	2		
	ホ ス ピ タ リ テ ィ 論	2		
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ ー I		1	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ ー I ~ IV、お よ び 交 流 フ ィ ー ル ド ワ ー ク の う ち 1 科 目 選 択 必 修
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ ー II		1	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ ー III		1	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ ー IV		1	
	交 流 フ ィ ー ル ド ワ ー ク		1	
	国 際 観 光 論	2		
	交 流 文 化 論	2		
	日 本 語 表 現 論	2		
	文 章 表 現 法	2		
	異文化コミュニケーション論		2	8 単 位 以 上
	サ ー ビ ス 文 化 論		2	
	観 光 心 理 学		2	
	観 光 人 類 学		2	
	観 光 地 理 学		2	
	観 光 保 健 論		2	
	福 祉 観 光 論		2	
	観 光 マ ー ケ テ ィ ン グ 論		2	
	キ ャ リ ア デ ザ イン I	2		
キ ャ リ ア デ ザ イン II	2			
英 語 文 法 I - 1	1			
英 語 文 法 I - 2	1			
英 語 文 法 II - 1		1		
英 語 文 法 II - 2		1		
英 語 会 話 - 1	1			

第3類 (杏林大学学則)

	英語会話	1		
	英語作文	1		
	英語作文	1		
	観光英語	1		
	観光英語	1		
	観光中国語		1	観光中国語－1・2(各1単位)又は観光韓国語－1・2(各1単位)のどちらかを選択必修
	観光中国語		1	
	観光韓国語		1	
	観光韓国語		1	
	観光手話基礎		1	
	観光手話		1	
	実用英語	1		
	実用英語	1		
	グローバル人材論		2	
	グローバルシチズンシップ論		2	
	アジアン・ホスピタリティ論		2	
	観光基礎演習	1		
	観光基礎演習	1		
	ゼミナール	2		
	ゼミナール	2		
	ゼミナール	2		
	卒業論文・課題指導		4	
専門科目B	サービス産業論	2		
	ファシリテーション論	2		
	ファシリテーション実習	1		
	航空産業論		2	
	航空サービス論		2	
	宿泊産業論		2	
	宿泊サービス論		2	
	外食産業論		2	
	外食サービス論		2	
	旅行産業論		2	
	旅行サービス論		2	
	ホスピタリティマネジメント論		2	
	観光政策・行政論		2	
	風景・景観論		2	

第3類 (杏林大学学則)

	イベント・コンベンション論	2	
	エンターテインメント産業論	2	
	ブライダルコーディネーター論	2	
	世界遺産観光論	2	
	旅行医学概論	2	
	サービスマナー衛生論	2	
	リスクマネジメント論	2	
	観光交流文化特論Ⅰ	2	
	観光交流文化特論Ⅱ	2	
	観光交流文化特論Ⅲ	2	
	観光交流文化特論Ⅳ	2	
専門 関連 科目 A	比較文化論Ⅰ－1	2	
	比較文化論Ⅰ－2	2	
	比較文化論Ⅱ－1	2	
	比較文化論Ⅱ－2	2	
	地域圏研究Ⅰ－1	2	
	地域圏研究Ⅰ－2	2	
	地域圏研究Ⅱ－1	2	
	地域圏研究Ⅱ－2	2	
	地域圏研究Ⅲ－1	2	
	地域圏研究Ⅲ－2	2	
	地域圏研究Ⅳ－1	2	
	地域圏研究Ⅳ－2	2	
	地域圏研究Ⅴ－1	2	
	地域圏研究Ⅴ－2	2	
	地域圏研究Ⅵ－1	2	
	地域圏研究Ⅵ－2	2	
	国際関係論Ⅰ	2	
	国際関係論Ⅱ	2	
	経済原論Ⅰ	2	
	経済原論Ⅱ	2	
西洋史－1	2		
西洋史－2	2		
中国史－1	2		
中国史－2	2		

第3類 (杏林大学学則)

	日 本 史	－ 1		2	
	日 本 史	－ 2		2	
	言 語 学	－ 1		2	
	言 語 学	－ 2		2	
	言 語 と 文 化	－ 1		2	
	言 語 と 文 化	－ 2		2	
	神 話 学	－ 1		2	
	神 話 学	－ 2		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論	－ 1		2	
	クリエイティブ・コミュニケーション論	－ 2		2	
	英 語 総 合 講 座	－ 1		2	
	英 語 総 合 講 座	－ 2		2	
	英 語 特 論	－ 1		2	
	英 語 特 論	－ 2		2	
	コミュニケーション概論	－ 1	2		
	コミュニケーション概論	－ 2	2		
	地 域 と 大 学		2		
	基 礎 演 習	－ 1	1		
	基 礎 演 習	－ 2	1		
	キ ャ リ ア 指 導 I	－ 1	1		
	キ ャ リ ア 指 導 I	－ 2	1		
	キ ャ リ ア 指 導 II	－ 1	1		
	キ ャ リ ア 指 導 II	－ 2	1		
	ホ ス ピ タ リ テ ィ 実 習		1		
	プ ロ ジ ェ ク ト 演 習 I		1		
	プ ロ ジ ェ ク ト 演 習 II		1		
	イ ン タ ー ン シ ッ プ I			1	インターンシップ I～IV のうち1科目選択必修
	イ ン タ ー ン シ ッ プ II			1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ III			1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ IV			1	
専 門	ド イ ツ 語 I	－ 1		1	
	ド イ ツ 語 I	－ 2		1	
	ド イ ツ 語 II	－ 1		1	
	ド イ ツ 語 II	－ 2		1	

第3類 (杏林大学学則)

関連科目 B	ドイツ語 III - 1	1
	ドイツ語 III - 2	1
	フランス語 I - 1	1
	フランス語 I - 2	1
	フランス語 II - 1	1
	フランス語 II - 2	1
	フランス語 III - 1	1
	フランス語 III - 2	1
	スペイン語 I - 1	1
	スペイン語 I - 2	1
	スペイン語 II - 1	1
	スペイン語 II - 2	1
	スペイン語 III - 1	1
	スペイン語 III - 2	1
	インドネシア語 I - 1	1
	インドネシア語 I - 2	1
	インドネシア語 II - 1	1
	インドネシア語 II - 2	1
	インドネシア語 III - 1	1
	インドネシア語 III - 2	1
	口語英語 I - 1	1
	口語英語 I - 2	1
	口語英語 II - 1	1
	口語英語 II - 2	1
	口語英語 III - 1	1
	口語英語 III - 2	1
	口語英語 IV - 1	1
	口語英語 IV - 2	1
	口語中国語 I - 1	1
	口語中国語 I - 2	1
	口語中国語 II - 1	1
	口語中国語 II - 2	1
	口語中国語 III - 1	1
口語中国語 III - 1	1	
口語中国語 IV - 1	1	

第3類 (杏林大学学則)

	口語中国語IV	—	2	1
専門 関連 科目 C	哲学	—	1	2
	哲学	—	2	2
	宗教学	—	1	2
	宗教学	—	2	2
	歴史学	—	1	2
	歴史学	—	2	2
	文学	—	1	2
	文学	—	2	2
	音楽	—	1	2
	音楽	—	2	2
	日本国憲法			2
	法学			2
	政治学	—	1	2
	政治学	—	2	2
	地理学	—	1	2
	地理学	—	2	2
	経済学	—	1	2
	経済学	—	2	2
	数学	—	1	2
	数学	—	2	2
	物理学	—	1	2
	物理学	—	2	2
	化学	—	1	2
	化学	—	2	2
	生物学	—	1	2
	生物学	—	2	2
	健康科学			2
	食と健康のエコロジー			2
	心理学	—	1	2
	心理学	—	2	2
統計学	—	1	2	
統計学	—	2	2	
情報処理			2	
体育理論			2	

第3類（杏林大学学則）

	体 育 実 技 - 1		1	
	体 育 実 技 - 2		1	
専 門 関 連 科 目 D	日 本 語 教 育 概 説		2	
	日 本 語 教 授 法 概 論		2	
	日 本 語 学 概 論		2	
	日 本 語 音 声 学		2	
	日 本 語 文 法 論		2	
	日 本 語 意 味 論		2	
	日 本 語 教 材 教 具 論		2	
	試 験 と 評 価		2	
	日 本 語 語 彙 論		2	
	日 本 語 文 字 表 記 概 説		2	
	日 本 語 史		2	
	日 本 人 の 言 語 行 動		2	
	異文化理解とコミュニケーション		2	
	日 本 文 化 論		2	
	日 本 語 教 授 法 演 習		1	
	日 本 語 教 育 実 習		1	
	日 本 語 学 演 習		1	
	日 本 語 教 育 演 習		1	
	日 本 文 化 演 習 I		1	
	日 本 文 化 演 習 II		1	
	日 本 文 化 演 習 III		1	
	日 本 語 表 現 演 習		1	
専 門 関 連 E	他 学 部 の 設 置 科 目			
自 科 由 目				

第3類（杏林大学学則）

別表4-3（平成28年度入学生から適用）

外国語学部学科目構成

英語学科

授 業 科 目 の 名 称				単 位 数		備 考	
				必修	選択		
外 国 語 科 目 A	英	語	I	1		留学生等本学が指定する 学生は日本語6単位選択 必修	
	英	語	II	1			
	英	語	III	1			
	英	語	IV	1			
	英	語	V	1			
	英	語	VI	1			
	英	語	VII	1			
	英	語	VIII	1			
	英	語	文 法	I	1		
	英	語	文 法	II	1		
	英	語	作 文	I	1		
	英	語	作 文	II	1		
	実	用	英 語	I	1		
	実	用	英 語	II	1		
	実	用	英 語	III	1		
	実	用	英 語	IV	1		
	実	用	英 語 演 習	I	1		
	実	用	英 語 演 習	II	1		
	中	国	語	I	1		
	中	国	語	II	1		
	中	国	語	III	1		
	中	国	語	IV	1		
	中	国	語	V	1		
中	国	語	VI	1			
日	本	語	I		1		
日	本	語	II		1		
日	本	語	III		1		
日	本	語	IV		1		
日	本	語	V		1		
日	本	語	VI		1		
日	本	語	VII		1		
日	本	語	VIII		1		

第3類 (杏林大学学則)

外国語科目B	目的別英語演習 I	2	
	目的別英語演習 II	2	
	目的別英語演習 III	2	
	目的別英語演習 IV	2	
	目的別英語演習 V	2	
	目的別英語演習 VI	2	
	目的別英語演習 VII	2	
	目的別中国語演習 I	2	
	目的別中国語演習 II	2	
	目的別中国語演習 III	2	
	目的別中国語演習 IV	2	
	目的別中国語演習 V	2	
	韓国語 I	2	
	韓国語 II	2	
	韓国語 III	2	
	韓国語 IV	2	
	ドイツ語 I	2	
	ドイツ語 II	2	
	ドイツ語 III	2	
	ドイツ語 IV	2	
	フランス語 I	2	
	フランス語 II	2	
	フランス語 III	2	
	フランス語 IV	2	
	スペイン語 I	2	
	スペイン語 II	2	
	スペイン語 III	2	
	スペイン語 IV	2	
	口語英語 I	1	
	口語英語 II	1	
口語英語 III	1		
口語英語 IV	1		
口語英語 V	1		
口語英語 VI	1		
口語英語 VII	1		
口語英語 VIII	1		

第3類 (杏林大学学則)

		口 語 中 国 語 I		1	
		口 語 中 国 語 II		1	
		口 語 中 国 語 III		1	
		口 語 中 国 語 IV		1	
		口 語 中 国 語 V		1	
		口 語 中 国 語 VI		1	
		口 語 中 国 語 VII		1	
		口 語 中 国 語 VIII		1	
基 盤 教 育 科 目		大 学 入 門 I	1		
		大 学 入 門 II	1		
		日 本 語 表 現 実 習 I	1		
		日 本 語 表 現 実 習 II	1		
		グ ローバルコミュニケーション論	2		
		グ ローバル人材論	2		
		日 本 文 化 論	2		
		ホスピタリティ・コミュニケーション	1		
		地 域 と 大 学	2		
		キ ャ リ ア デ ザ イン I	2		
		キ ャ リ ア デ ザ イン II	2		
		キ ャ リ ア デ ザ イン III	2		
		キ ャ リ ア デ ザ イン IV	2		
		キ ャ リ ア デ ザ イン V	2		
		キ ャ リ ア デ ザ イン VI	2		
		キ ャ リ ア デ ザ イン 演 習		2	
		フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ I		2	
		フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ II		2	
		フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ III		2	
		フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ IV		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ V		2		
	イ ン タ ー ン シ ッ プ I		1		
	イ ン タ ー ン シ ッ プ II		1		
	イ ン タ ー ン シ ッ プ III		1		
教 養	こ と	異文化コミュニケーション		2	
		こ と ば と 文 化		2	
		こ と ば と 社 会		2	
		言 語 の 歴 史 (英)		2	

第3類（杏林大学学則）

科目	ば	言語の歴史（中）	2	
	と	言語の歴史（日）	2	
	文	英米文学	2	
	化	児童文学	2	
		アジアの文学・文化（日）	2	
		アジアの文学・文化（中）	2	
		アジアの文学・文化（韓）	2	
グローバル社会と観光地域	グ	グローバル社会と国際協力	2	
	ロ	ダイバーシティ入門	2	
	ー	日本と世界の近現代史	2	
	バ	生活と法	2	
	ル	日本国憲法	2	
	社	社会学	2	
	会	ミクロ経済学	2	
	と	マクロ経済学	2	
	地	統計学	2	
	域	観光学入門	2	
		マーケティング入門	2	
		ホスピタリティ入門	2	
		アジアン・ホスピタリティ	2	
		人文地理学	2	
	自然地理学	2		
	地域圏研究Ⅰ	2		
	地域圏研究Ⅱ	2		
	地域圏研究Ⅲ	2		
	地域圏研究Ⅳ	2		
	地域圏研究Ⅴ	2		
	地域圏研究Ⅵ	2		
人間と健康	哲	哲学	2	
	倫	理学	2	
	心	心理学	2	
	宗	教	2	
	健	健康科学Ⅰ	2	
	康	健康科学Ⅱ	2	
	体	体育理論	1	
体	体育実技	1		

第3類 (杏林大学学則)

日 本 語 教 育	ファシリテーション論		2	
	日本語学概論		2	
	日本語教育概論		2	
	日本語学特論Ⅰ		2	
	日本語学特論Ⅱ		2	
	日本語学特論Ⅲ		2	
	日本語学特論Ⅳ		2	
	日本語教育学特論Ⅰ		2	
	日本語教育学特論Ⅱ		2	
	日本語教育学特論Ⅲ		2	
	日本語教育学特論Ⅳ		2	
	日本語授業の実際Ⅰ		2	
	日本語授業の実際Ⅱ		2	
	日本語教育実習Ⅰ		1	
	日本語教育実習Ⅱ		1	
	日本文化演習Ⅰ		2	
日本文化演習Ⅱ		2		
専 門 科 目 （ 英 語 ビ ジ ネ ス コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	発展英文法		2	
	発展英語読解		2	
	発展英作文		2	
	発展英語聴解		2	
	ビジネスイングリッシュⅠ	2		
	ビジネスイングリッシュⅡ	2		
	グローバルビジネス論Ⅰ	2		
	グローバルビジネス論Ⅱ	2		
	ビジネスコミュニケーション論Ⅰ		2	
	ビジネスコミュニケーション論Ⅱ		2	
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ		2	
	ビジネスコミュニケーション演習Ⅱ		2	
	Introduction to Business		2	
	Introduction to Economics		2	
	Business Cycle and Monetary Policy		2	
	現代企業論		2	
経営戦略論		2		
人材マネジメント論		2		
国際会計論		2		

第3類 (杏林大学学則)

シ ョ ン コ ー ス)	国 際 経 済 学 I		2	
	国 際 経 済 学 II		2	
	ア メ リ カ 政 治 論		2	
	ア メ リ カ 経 済 論		2	
	ヨ ー ロ ッ パ 政 治 論		2	
	ヨ ー ロ ッ パ 経 済 論		2	
	ア ジ ア 政 治 論		2	
	ア ジ ア 経 済 論		2	
	ゼ ミ ナ ー ル I	2		
	ゼ ミ ナ ー ル II	2		
ゼ ミ ナ ー ル III	2			
卒 業 論 文 ・ 課 題 指 導		4		
専 門 科 目 (英 語 教 育 コ ー ス)	発 展 英 文 法		2	4 単位以上
	発 展 英 語 読 解		2	
	発 展 英 作 文		2	
	発 展 英 語 聴 解		2	
	英 語 発 音 聴 取	2		
	英 語 翻 訳 論		2	
	英 語 翻 訳 ワ ー ク シ ョ ッ プ		2	
	比 較 文 化 と 異 文 化 理 解		2	
	英 語 学 特 論 I		2	
	英 語 学 特 論 II		2	
	英 語 学 特 論 III		2	
	英 語 学 特 論 IV		2	
	英 語 学 演 習 I		2	
	英 語 学 演 習 II		2	
	英 語 学 演 習 III		2	
	英 語 学 演 習 IV		2	
	英 語 音 声 学	2		
	社 会 言 語 学		2	
	認 知 言 語 学		2	
	英 語 教 育 論 I	2		
英 語 教 育 論 II	2			
英 語 科 教 育 法 I		2		
英 語 科 教 育 法 II		2		
児 童 英 語 教 育 論 I		2		

第3類（杏林大学学則）

	児童英語教育論Ⅱ		2	
	児童英語教育教材研究		2	
	児童英語教育実習		1	
	英語教育演習Ⅰ		2	
	英語教育演習Ⅱ		2	
	情報処理		2	
	ゼミナールⅠ	2		
	ゼミナールⅡ	2		
	ゼミナールⅢ	2		
	卒業論文・課題指導		4	
関連科目	他学部 の 設置科目			
自由科目				

中国語学科

授業科目の名称	単位数		備考	
	必修	選択		
外国語科目A	英語Ⅰ	1	留学生等本学が指定する 学生は日本語8単位必修	
	英語Ⅱ	1		
	英語Ⅲ	1		
	英語Ⅳ	1		
	英語Ⅴ	1		
	英語Ⅵ	1		
	中国語Ⅰ	1		
	中国語Ⅱ	1		
	中国語Ⅲ	1		
	中国語Ⅳ	1		
	中国語Ⅴ	1		
	中国語Ⅵ	1		
	中国語Ⅶ	1		
	中国語Ⅷ	1		
	日本語Ⅰ			1
	日本語Ⅱ			1
	日本語Ⅲ			1
	日本語Ⅳ			1
	日本語Ⅴ			1

第3類 (杏林大学学則)

	日 本 語 VI		1	
	日 本 語 VII		1	
	日 本 語 VIII		1	
外国語科目B	目的別英語演習 I		2	
	目的別英語演習 II		2	
	目的別英語演習 III		2	
	目的別英語演習 IV		2	
	目的別英語演習 V		2	
	目的別英語演習 VI		2	
	目的別英語演習 VII		2	
	目的別中国語演習 I		2	
	目的別中国語演習 II		2	
	目的別中国語演習 III		2	
	目的別中国語演習 IV		2	
	目的別中国語演習 V		2	
	韓 国 語 I		2	
	韓 国 語 II		2	
	韓 国 語 III		2	
	韓 国 語 IV		2	
	ド イ ツ 語 I		2	
	ド イ ツ 語 II		2	
	ド イ ツ 語 III		2	
	ド イ ツ 語 IV		2	
	フ ラ ン ス 語 I		2	
	フ ラ ン ス 語 II		2	
	フ ラ ン ス 語 III		2	
	フ ラ ン ス 語 IV		2	
	ス ペ イ ン 語 I		2	
	ス ペ イ ン 語 II		2	
	ス ペ イ ン 語 III		2	
	ス ペ イ ン 語 IV		2	
	口 語 英 語 I		1	
	口 語 英 語 II		1	
	口 語 英 語 III		1	
口 語 英 語 IV		1		
口 語 英 語 V		1		

第3類 (杏林大学学則)

	口 語 英 語 VI		1	
	口 語 英 語 VII		1	
	口 語 英 語 VIII		1	
	口 語 中 国 語 I		1	
	口 語 中 国 語 II		1	
	口 語 中 国 語 III		1	
	口 語 中 国 語 IV		1	
	口 語 中 国 語 V		1	
	口 語 中 国 語 VI		1	
	口 語 中 国 語 VII		1	
	口 語 中 国 語 VIII		1	
基 盤 教 育 科 目	大 学 入 門 I	1		
	大 学 入 門 II	1		
	日 本 語 表 現 実 習 I	1		
	日 本 語 表 現 実 習 II	1		
	グ ローバルコミュニケーション論	2		
	グ ローバル人材論	2		
	日 本 文 化 論	2		
	ホスピタリティ・コミュニケーション	1		
	地 域 と 大 学	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン I	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン II	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン III	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン IV	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン V	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン VI	2		
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン 演 習		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ I		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ II		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ III		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ IV		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ V		2	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ I		1	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ II		1	
イ ン タ ー ン シ ッ プ III		1		
	異文化コミュニケーション		2	

第3類 (杏林大学学則)

教 養 科 目	こ と ば と 文 化	2	
	こ と ば と 社 会	2	
	言 語 の 歴 史 (英)	2	
	言 語 の 歴 史 (中)	2	
	言 語 の 歴 史 (日)	2	
	英 米 文 学	2	
	児 童 文 学	2	
	アジアの文学・文化(日)	2	
	アジアの文学・文化(中)	2	
	アジアの文学・文化(韓)	2	
グ ロ ー バ ル 社 会 と 地 域	グローバル社会と国際協力	2	
	ダイバーシティ入門	2	
	日本と世界の近現代史	2	
	生 活 と 法	2	
	日 本 国 憲 法	2	
	社 会 学	2	
	ミ ク ロ 経 済 学	2	
	マ ク ロ 経 済 学	2	
	統 計 学	2	
	観 光 学 入 門	2	
	マ ー ケ テ ィ ン グ 入 門	2	
	ホ ス ピ タ リ テ ィ 入 門	2	
	ア ジ ア ン ・ ホ ス ピ タ リ テ ィ	2	
	人 文 地 理 学	2	
	自 然 地 理 学	2	
	地 域 圏 研 究 I	2	
	地 域 圏 研 究 II	2	
地 域 圏 研 究 III	2		
地 域 圏 研 究 IV	2		
地 域 圏 研 究 V	2		
地 域 圏 研 究 VI	2		
人 間 と	哲 学	2	
	倫 理 学	2	
	心 理 学	2	
	宗 教 学	2	
	健 康 科 学 I	2	

第3類 (杏林大学学則)

健康	健康科学Ⅱ	2	
	体育理論	1	
	体育実技	1	
日本語教育	ファッション論	2	
	日本語学概論	2	
	日本語教育概論	2	
	日本語学特論Ⅰ	2	
	日本語学特論Ⅱ	2	
	日本語学特論Ⅲ	2	
	日本語学特論Ⅳ	2	
	日本語教育学特論Ⅰ	2	
	日本語教育学特論Ⅱ	2	
	日本語教育学特論Ⅲ	2	
	日本語教育学特論Ⅳ	2	
	日本語授業の実際Ⅰ	2	
	日本語授業の実際Ⅱ	2	
	日本語教育実習Ⅰ	1	
	日本語教育実習Ⅱ	1	
専門科目	日本語文化演習Ⅰ	2	4単位以上
	日本語文化演習Ⅱ	2	
	インテンシブ中国語Ⅰ	1	
	インテンシブ中国語Ⅱ	1	
	インテンシブ中国語Ⅲ	1	
	インテンシブ中国語Ⅳ	1	
	インテンシブ中国語Ⅴ	1	
	インテンシブ中国語Ⅵ	1	
	インテンシブ中国語Ⅶ	1	
	インテンシブ中国語Ⅷ	1	
	インテンシブ中国語Ⅷ	1	
	中国語発音実習Ⅰ	1	
	中国語発音実習Ⅱ	1	
	ビジネス中国語Ⅰ	2	
	ビジネス中国語Ⅱ	2	
中国語通訳法Ⅰ	2		
中国語通訳法Ⅱ	2		
中国語翻訳法Ⅰ	2		
中国語翻訳法Ⅱ	2		

第3類 (杏林大学学則)

	中国語演習Ⅰ		2	
	中国語演習Ⅱ		2	
	中国語演習Ⅲ		2	
	中国語演習Ⅳ		2	
	日中通訳・翻訳演習Ⅰ		2	
	日中通訳・翻訳演習Ⅱ		2	
	日中通訳・翻訳演習Ⅲ		2	
	日中通訳・翻訳演習Ⅳ		2	
	中国語学概論	2		
	中国語文法論	2		
	中国語音声学		2	
	中国文学史Ⅰ		2	
	中国文学史Ⅱ		2	
	日中比較文化論Ⅰ	2		
	日中比較文化論Ⅱ	2		
	アジア政治論		2	
	アジア経済論		2	
	中国経済概論		2	
	中国語翻訳ワークショップ		2	
	認知言語学		2	
	中国語ビジネスコミュニケーション演習Ⅰ		2	
	中国語ビジネスコミュニケーション演習Ⅱ		2	
	ゼミナールⅠ	2		
	ゼミナールⅡ	2		
	ゼミナールⅢ	2		
	卒業論文・課題指導		4	
関連科目	他学部設置科目			
自由科目				

観光交流文化学科

授業科目の名称	単位数		備考
	必修	選択	
英 語 Ⅰ	1		留学生等本学が指定する 学生は日本語6単位選択 必修
英 語 Ⅱ	1		
外 英 語 Ⅲ	1		

第3類 (杏林大学学則)

国 語 科 目 A	英	語	IV	1							
	英	語	V	1							
	英	語	VI	1							
	英	語	VII	1							
	英	語	VIII	1							
	英	語	文	法	I	1					
	英	語	文	法	II	1					
	英	語	作	文	I	1					
	英	語	作	文	II	1					
	実	用	英	語	I	1					
	実	用	英	語	II	1					
	実	用	英	語	III	1					
	実	用	英	語	IV	1					
	実	用	英	語	演	習	I	1			
	実	用	英	語	演	習	II	1			
	中	国	語	I	1						
	中	国	語	II	1						
	中	国	語	III	1						
	中	国	語	IV	1						
	中	国	語	V	1						
	中	国	語	VI	1						
	日	本	語	I		1					
	日	本	語	II		1					
	日	本	語	III		1					
日	本	語	IV		1						
日	本	語	V		1						
日	本	語	VI		1						
日	本	語	VII		1						
日	本	語	VIII		1						
外 国 語 科 目	目	的	別	英	語	演	習	I		2	
	目	的	別	英	語	演	習	II		2	
	目	的	別	英	語	演	習	III		2	
	目	的	別	英	語	演	習	IV		2	
	目	的	別	英	語	演	習	V		2	
	目	的	別	英	語	演	習	VI		2	
	目	的	別	英	語	演	習	VII		2	

第3類 (杏林大学学則)

B	目的別中国語演習 I		2	
	目的別中国語演習 II		2	
	目的別中国語演習 III		2	
	目的別中国語演習 IV		2	
	目的別中国語演習 V		2	
	韓国語 I		2	
	韓国語 II		2	
	韓国語 III		2	
	韓国語 IV		2	
	ドイツ語 I		2	
	ドイツ語 II		2	
	ドイツ語 III		2	
	ドイツ語 IV		2	
	フランス語 I		2	
	フランス語 II		2	
	フランス語 III		2	
	フランス語 IV		2	
	スペイン語 I		2	
	スペイン語 II		2	
	スペイン語 III		2	
	スペイン語 IV		2	
	英語 I		1	
	英語 II		1	
	英語 III		1	
	英語 IV		1	
	英語 V		1	
	英語 VI		1	
	英語 VII		1	
	英語 VIII		1	
	中国語 I		1	
	中国語 II		1	
	中国語 III		1	
中国語 IV		1		
中国語 V		1		
中国語 VI		1		
中国語 VII		1		

第3類 (杏林大学学則)

		口 語 中 国 語 VIII		1	
基 盤 教 育 科 目		大 学 入 門 I	1		2 単位以上
		大 学 入 門 II	1		
		日 本 語 表 現 実 習 I	1		
		日 本 語 表 現 実 習 II	1		
		グローバルコミュニケーション論	2		
		グ ロ ー バ ル 人 材 論	2		
		日 本 文 化 論	2		
		ホスピタリティ・コミュニケーション	1		
		地 域 と 大 学	2		
		キ ャ リ ア デ ザ イン I	2		
		キ ャ リ ア デ ザ イン II	2		
		キ ャ リ ア デ ザ イン III	2		
		キ ャ リ ア デ ザ イン IV	2		
		キ ャ リ ア デ ザ イン V	2		
		キ ャ リ ア デ ザ イン VI	2		
		キ ャ リ ア デ ザ イン 演 習		2	
		フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ I		2	
		フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ II		2	
		フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ III		2	
		フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ IV		2	
	フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ V		2		
	イ ン タ ー ン シ ッ プ I		1		
	イ ン タ ー ン シ ッ プ II		1		
	イ ン タ ー ン シ ッ プ III		1		
教 養 科 目		異文化コミュニケーション		2	
		こ と ば と 文 化		2	
		こ と ば と 社 会		2	
		こ と ば と 言 語 の 歴 史 (英)		2	
		こ と ば と 言 語 の 歴 史 (中)		2	
		こ と ば と 言 語 の 歴 史 (日)		2	
		文 化 英 米 文 学		2	
		文 化 児 童 文 学		2	
		ア ジ ア の 文 学 ・ 文 化 (日)		2	
		ア ジ ア の 文 学 ・ 文 化 (中)		2	
	ア ジ ア の 文 学 ・ 文 化 (韓)		2		

第3類 (杏林大学学則)

グ ロ ー バ ル 社 会 と 地 域	グローバル社会と国際協力		2	
	ダイバーシティ入門		2	
	日本と世界の近現代史		2	
	生活と法		2	
	日本国憲法学		2	
	社会		2	
	ミクロ経済学		2	
	マクロ経済学		2	
	統計学		2	
	観光学入門	2		
	マーケティング入門		2	
	ホスピタリティ入門	2		
	アジアン・ホスピタリティ		2	
	人文地理学		2	
	自然地理学		2	
	地域圏研究 I		2	
地域圏研究 II		2		
地域圏研究 III		2		
地域圏研究 IV		2		
地域圏研究 V		2		
地域圏研究 VI		2		
人 間 と 健 康	哲学		2	
	倫理学		2	
	心理学		2	
	宗教学		2	
	健康科学 I		2	
	健康科学 II		2	
健 康	体育理論		1	
	体育実技		1	
日 本 語 教 育	ファシリテーション論		2	
	日本語学概論		2	
	日本語教育概論		2	
	日本語学特論 I		2	
	日本語学特論 II		2	
	日本語学特論 III		2	
日本語学特論 IV		2		

第3類 (杏林大学学則)

	日本語教育学特論 I		2	
	日本語教育学特論 II		2	
	日本語教育学特論 III		2	
	日本語教育学特論 IV		2	
	日本語授業の実際 I		2	
	日本語授業の実際 II		2	
	日本語教育実習 I		1	
	日本語教育実習 II		1	
	日本文化演習 I		2	
	日本文化演習 II		2	
専門科目 A	国際観光論		2	
	交流文化論		2	
	サービス文化論		2	
	観光心理学		2	
	観光人類学		2	
	観光地理学		2	
	観光保健論		2	
	福祉観光論		2	
	観光マーケティング論		2	
	観光英語 I	2		
	観光英語 II	2		
	観光英語 III		2	
	観光英語 IV		2	
	観光中国語 I		2	
	観光中国語 II		2	
	観光手話基礎		2	
	観光手話		2	
	プロジェクト演習 I	2		
	プロジェクト演習 II		2	
	観光基礎演習 I	2		
	観光基礎演習 II	2		
	ゼミナール I	2		
	ゼミナール II	2		
	ゼミナール III	2		
	卒業論文・課題指導		4	
		サービス産業論		2

第3類 (杏林大学学則)

専 門 科 目 B	基 礎 簿 記 I	2		
	基 礎 簿 記 II	2		
	旅 行 産 業 論	2		
	旅 行 サ ー ビ ス 論	2		
	ホスピタリティマネジメント論	2		
	航 空 産 業 論	2		
	航 空 サ ー ビ ス 論	2		
	宿 泊 産 業 論	2		
	宿 泊 サ ー ビ ス 論	2		
	フ ー ド ビ ジ ネ ス 論	2		
	フ ー ド ビ ジ ネ ス サ ー ビ ス 論	2		
	観 光 政 策 ・ 行 政 論	2		
	風 景 ・ 景 観 論	2		
	イベント・コンベンション論	2		
	エンターテインメント産業論	2		
	ブライダルコーディネート論	2		
	世 界 遺 産 観 光 論	2		
	旅 行 医 学 概 論	2		
	観光リスクマネジメント論	2		
	観 光 交 流 文 化 特 論 I	2		
観 光 交 流 文 化 特 論 II	2			
観 光 交 流 文 化 特 論 III	2			
観 光 交 流 文 化 特 論 IV	2			
関 連 科 目	他 学 部 の 設 置 科 目			
自 由 科 目				

第3類（杏林大学学則）

別表5-1-1

教職に関する科目構成

（平成22年度入学生から適用）

授業科目の名称	単位	備考
教職総論	2	
教育原理	2	
教育心理学	2	
教育社会学	2	
保健科教育法－1	2	
保健科教育法－2	2	
社会科教育法	2	
社会科・公民科教育法	2	
商業科教育法－1	2	
商業科教育法－2	2	
英語科教育法－1	2	
英語科教育法－2	2	
保健科指導研究Ⅰ	2	
保健科指導研究Ⅱ	2	
社会科指導研究	2	
社会科・公民科指導研究	2	
英語科指導研究Ⅰ	2	
英語科指導研究Ⅱ	2	
道徳教育の研究	2	
特別活動の研究	2	
教育の方法・技術	2	
生徒指導の研究	2	
進路指導の研究	1	
教育相談（カウンセリングを含む。）	2	
教職実践演習（中・高）	2	
教職実践演習（養護教諭）	2	
教育実習Ⅰ	1	
教育実習Ⅱ	2	
教育実習Ⅲ	2	
養護実習Ⅰ	1	
養護実習Ⅱ	4	

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得ようとする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。

ただし、別表2から別表4により開設されている科目を除き、自由科目とし卒業の単位に算入しない。

第3類（杏林大学学則）

別表5-1-2

教職に関する科目構成

（平成24年度入学生から適用）

授業科目の名称	単位	備考
教職総論	2	
教育原理	2	
教育心理学	2	
教育社会学	2	
保健科教育法-1	2	
保健科教育法-2	2	
社会科教育法	2	
社会科・公民科教育法	2	
商業科教育法-1	2	
商業科教育法-2	2	
英語科教育法-1	2	
英語科教育法-2	2	
保健科指導研究I	2	
保健科指導研究II	2	
社会科指導研究	2	
社会科・公民科指導研究	2	
英語科指導研究I	2	
英語科指導研究II	2	
道徳教育指導論	2	
特別活動指導論	2	
教育の方法・技術	2	
生徒指導論	2	
進路指導論	1	
教育相談（カウンセリングを含む。）	2	
教育実習I	1	
教育実習II	2	
教育実習III	2	
養護実習I	1	
養護実習II	4	
教職実践演習（中・高）	2	
教職実践演習（養護教諭）	2	

表の科目は、中学校並びに高等学校の教育職員免許状又は養護教諭免許状を得ようとする場合、別に定めるところにより選択履修する教職に関する科目である。

ただし、別表2から別表4により開設されている科目を除き、自由科目とし卒業の単位に算入しない。

第3類（杏林大学学則）

別表6-1

入学料・授業料等の額

	医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
入 学 料	1,500,000円	250,000円	250,000円	250,000円
授 業 料	3,000,000円 (年額)	1,150,000円 (年額)	720,000円 (年額)	720,000円 (年額)
実 験 実 習 費	1,000,000円 (年額)	300,000円 (年額)		
施 設 設 備 費	4,000,000円 (初年度) 1,500,000円 (2年次以降)	200,000円 (年額)	200,000円 (年額)	200,000円 (年額)

- 1 平成20年度入学生から適用する。
- 2 各学部において、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

第3類（杏林大学学則）

別表6-2

入学料・授業料等の額

	医学部	保健学部	総合政策学部	外国語学部
入 学 料	1,500,000円	250,000円	250,000円	250,000円
授 業 料	3,000,000円 (年額)	1,150,000円 (年額)	720,000円 (年額)	720,000円 (年額)
実 験 実 習 費	1,000,000円 (年額)	健康福祉学科、 臨床心理学科 50,000円 (年額)		
		上記を除く 全学科 300,000円 (年額)		
施 設 設 備 費	4,000,000円 (初年度) 1,500,000円 (2年次以降)	200,000円 (年額)	200,000円 (年額)	200,000円 (年額)

- 1 平成27年度入学生から適用する。ただし、臨床心理学科については平成30年度入学生から適用する。
- 2 各学部において、学習指導資料費及び特定科目の履修費を別に定めるところにより徴収する。

臨床心理学科設置の趣旨

①設置の趣旨及び必要性

(1) 本学の教育理念

本学の建学の精神は「真・善・美の探究」であり、

「真」の意味するところは、真理を追求する素直で謙虚な姿勢

「善」の意味するところは、他者をいたわり思いやる善き人間性・人格

「美」の意味するところは、優れた感性・風格である。

すなわち、建学の精神は「本学での勉学、学習により、「真」を真摯に追求し、他者をいたわり思いやる善い人間性を備え、優れた感性や風格を身に付けることのできる人材の養成を目指す。」ことである。

(2) 設置の母体と経緯

杏林大学は、学校法人杏林学園が 1966(昭和 41)年に臨床検査技師を養成することを目的に三鷹キャンパスに「杏林学園短期大学(後に保健学部へ改組)」を設立したことに始まる。「真・善・美の探究」を建学の精神に掲げ、1970(昭和 45)年に杏林大学として医学部医学科ならびに付属病院を設置した。その後も発展を続け、1979(昭和 54)年には八王子キャンパスに保健学部、1984(昭和 59)年に社会科学部(後に総合政策学部へ名称変更)、1988(昭和 63)年に外国語学部を設置した。また、大学院として、医学研究科、保健学研究科、国際協力研究科を相次いで開設し、2017(平成 29)年 5 月 1 日現在では、4 学部 3 研究科を擁する総合大学となっている。また、創立 50 周年となる 2016(平成 28)年 4 月、八王子キャンパスを医学部および医学部付属病院から徒歩 10 分ほどに位置する井の頭キャンパスに移転し、これからの 50 年に向け、新たなスタートを切ったところである。

このような沿革の中で、本学は「医学」「保健学」「社会科学」「外国語学」の分野において、地域特性や時代の要請に応じて必要な人材の養成を行ってきた。特に医療保健分野ではチーム医療の一員として活躍できる臨床検査技師、看護師、保健師、助産師、救急救命士、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、診療放射線技師の養成、および学校における健康教育の専門家である養護教諭の養成、福祉の専門家である社会福祉士の養成を通して、広く国民の健康増進に努め、現在に至っている。それぞれの学科においては、心の健康・不健康や心理支援等についての教育を行っているが、それらを含む応用心理学を専門とする学科はこれまでにはなかった。

一方、近年うつ病をはじめとする精神疾患の増加が懸念されており、労働者が 50 人以上の事業所にはストレスチェックが義務付けられるなど、心の健康管理や心理的支援の必要性が高まり、心理支援に関する社会的需要に応える必要性が出てきた。また、社会の情勢としては、平成 27 年 9 月 9 日に心理専門職の国家資格である「公認心理師」を定める法律が可決成立した。これは社会における心の支援の必要性が多く訴えられて成立したものである。現在検討されている「公認心理師」の養成カリキュラムにおいては、従来の心理学関連科目を修めるだけでなく、保健医療関連科目の必要性も議論されている。

杏林大学保健学部では、前述の通り保健医療分野における教育を実践してきており、基礎的な保健医療分野における教育に関しては十分な実績を備えている。新設を希望する『臨床心理学科』においては、基礎的な心理学的知識を修得することに加え、基礎的な保健医学教育を受けることで、保健学や医学の基本的な知識を修得し、将来、主に医療領域で活躍できる心理職を養成することを目的に設置計画をするものである。

(3) 設置の必要性

2011（平成23）年5月13日に開催された「今後の医学部入学定員の在り方等に関する検討会（第5回）」に示された東京都の医師数分布図（図-東京都）によると、23区内の医師数は人口10万人あたり500人以上と充足しているが、それ以外の地域においては、杏林大学のある三鷹市が充足しているだけで、三鷹市以西はかなり不足している現状であった。したがって、多摩地域を含む三鷹市以西では医師だけでなくコメディカルスタッフの不足している状況と判断し、医療スタッフの充実の必要性を考慮し、2013年4月診療放射線技術学科を開設し、既設の学科と共に社会の要請、とりわけ杏林大学が基盤としている多摩地域の医療福祉の要請に応える努力をしてきた。それらの効果が少しずつ表れ、保健医療領域では医師だけでなく、コメディカルが日進月歩の医療の中で、チーム医療の担い手として無くてはならない存在になり、医療の質の向上に大きく貢献し現在に至っている。

しかし医療の受け手である患者において、保健医療領域のアウトカムの考え方が時代と共に変化し、現在ではクオリティ・オブ・ライフ（QOL）の考え方が主となってきている。患者のQOLを向上させるには患者の人生感や生活感を的確に把握することが重要で、質の高いコミュニケーションを通じて、患者のQOLを高める役割が求められている。具体的には基本的な面接技術や、治療のための良好な信頼関係ができる状態すなわちラポールを構築する技術が必要とされている。これらの技術は本来、医療に携わる人すべてが持っているべきものであるが、医療の進歩が速く、医療職者が必ずしも満足できる現状ではないため、コミュニケーションスキルについて心理職に依存する場合も多くなっている。

一般的に心理職は保健医療・福祉・教育・司法矯正・産業の5つの領域を中心に活動しているが、現状では約40%が保健医療分野で活動しており、今後も同様の活動が期待されている。

心理学を学ぶ場には大学や大学院があるが、わが国では伝統的に主に文系に位置づけられ、心と体を切り離し、心の面を重視した教育が行われてきた。そのため保健医療分野において、心理職は心のみを問題とし、身体問題はそれほど考慮しないといった閉鎖的な面があると見なされることもあった。しかし脳科学の進歩と共に欧米では、心理学は行動の科学、認知の科学として発展し、理系分野と合体して人々の生活に密着した学問へと進化して行ったこともあり、我が国においても同様な傾向が見られるようになってきた。そのような状況の中で1991年保健医療分野の大学に初めて臨床心理学科が新設され、その後も自然科学分野の大学あるいは大学院に同様な学科あるいは専攻が新設されている。心理学を学ぶ場の拡大と共に手法の多様性も見られ今後の発展が期待され

るが、一例を挙げると統計学、実験法、調査法等は理系の人たちと共通の認識手法を用いているし、実験心理学、認知心理学、行動心理学、臨床心理学などは保健・医療・医療機器・福祉など様々な分野の研究者や教育者と協働して成果を上げている。その中でも臨床心理学は主として心の健康・不健康を取り扱い、様々な心の状態を持った人を対象としているため、精神医療との関わりが極めて強く、取り扱う題材として精神医学、精神病理学、心身医学、精神薬理学などは必須で、また、それらの基礎知識がないと成り立たない医科学的傾向の強い分野である。

次に医療職と心理職の協働が期待されている疾病の例として、最近増加傾向のある「薬では治らないうつ病」が挙げられる。うつ病に関しては、精神科領域の治療原則は、十分な休養と必要な薬の服用であるが、これでは対処できないうつ病が増加している。これらの患者には心理職との協働した治療法が必要であるなど、心理職は多職種連携および多職種協働の要としての役割も重要視されている。

したがって、現状を鑑みるに保健医療分野においては、自然科学保健医療分野をベースにした心理職の養成が望まれていると結論することができる。

一方、チーム医療を担う医療従事者の活動は、高い倫理性と安全性が求められ、医療法や医師法などの下に規定されているため、法律による規定がなく質の担保もされていない心理職がチーム医療に参画する場面はそれほど多くはなかった。そのような中で平成 27 年 9 月 9 日、医療を担う心理専門職の国家資格「公認心理師」を定める法律が可決成立した。社会における心の支援の必要性が訴えられて成立したもので、さまざまな領域の心理的支援を網羅する資格となっているが、保健医療領域に関しては、心理職の専門家としてチーム医療への参画が容易になり、さらに質の高い医療の提供につながるものと期待される。

以上より、杏林大学保健学部においては保健医療分野をベースにした臨床で活躍できる公認心理師を養成すべく新学科を設立するとの結論に至った。

現状の公認心理師に関する開示情報では、学部 4 年間に大学院修士課程 2 年間の合計 6 年間の教育課程修了後に国家資格「公認心理師」受験資格有りとのことなので、それらの状況を鑑み、保健学部では先ず、学部 4 年間を念頭に、保健医療を基礎として、基礎心理学領域の充実を図り、科学的態度や研究能力の習得に取り組むべき学科である臨床心理学科の新設をすることにした。

(4) 人材養成の理念・目的および就職

保健学部の理念・目的は、本学の建学の精神である「眞・善・美の探究」に基づいて、「保健、医療、看護および福祉の分野で、専門知識と技術を教授し、科学的な物の見方と、人に対する思いやりの心を涵養し、将来広い視野から物事をとらえ、人々がより健康に生きることをサポートできる人材を養成する。」ことである。この理念・目的を基に、臨床心理学科における人材養成と教育目的を、「心理職としての高い専門性と確かな技術力に加え、豊かな人間性を併せ持ち、チーム医療の一員として他の医療従事者と協調し患者中心の医療に貢献できる人材を養成する」と設定している。

この教育目的を達成するため、卒業時点までに到達すべき教育上の目標（ディプロマポリシー）を以下のように定めている。

1. 心理学に関する幅広い専門知識と技術を有する。
2. 臨床現場における心理分野の新しい課題に適切に対応できる問題解決能力を有する。
3. チーム医療の一員として、関連専門職との緊密な連携と協働を実践するために必要なコミュニケーション能力を有する。
4. 地域医療の水準向上に貢献できる能力を有する。
5. 国際的視野を持って行動できる能力を有する。
6. 将来、教育者や研究者として成り立つための基礎的能力を有する。

このような公認心理師は、各医療機関をはじめ、多くの分野で活躍することが期待され、チーム医療を実践することのできる心理職の専門家として、医療に大きく貢献できる人材であり、活躍の場が広がるものと考えられる。公認心理師の就職先については、大学病院、一般病院、精神病院、診療所、福祉施設および教育機関などが考えられる。

②本学の臨床心理学科の特色

臨床心理学科のカリキュラムでは、本学保健学部の既存学科との共通科目を配置し、保健医療分野における幅広い知識と見識を身に付け、基本的な医学的知識を修得させると共に、心理職としての高い専門性と確かな技術力を身に付けさせる。更には、心理職に欠かすことができない豊かな人間性と倫理観を備え、質の高いコミュニケーションを通じて心理的な援助を必要とする人々のQOLの維持・向上に貢献できる人材を養成する。

- (1) 科学的根拠に基づいた心理学教育に加え、基礎的な医学教育を充実させる。特に大学としての高度専門職業人養成機能と社会貢献機能を重視する。
- (2) 問題解決能力を高めるために、常に対象者を意識し、高度で実践的な専門知識を修得できるようにし、実習によって確実性を高める。臨床的な実習として1年次に「心理実践基礎実習Ⅰ」、2年次に「心理実践基礎実習Ⅱ」、3年次に「心理実践実習Ⅰ」、そして4年次に「心理実践実習Ⅱ」を行い、医療機関での実習を早期の段階から設定する。
- (3) 国際的に活躍できる人材養成として、国際的視野とコミュニケーション能力を持った人材を養成する。そのため、1学年から4学年までの4年間を通して実用的な語学関連科目である「英語Ⅰ～Ⅳ」「英会話」「医学英語」を開講する。幸いなことに、本学に国際的なコミュニケーション能力を養うことが可能な、外国語学部英語学科が併設されていることから、そのスタッフと教育手法を生かし、語学教育を充実させることが可能である。
- (4) 基礎的な医学教育の充実を図るため、「医学概論」、「人体の構造」、「人体の機能」、「疾病学」、「精神医学概論」、「精神医学各論」、「緩和医療学（演習を含む）」等、計11科目を基礎医学系科目として開講する。
- (5) 学部教育の集大成として卒業研究を必修科目とした。卒業研究は問題解決能力を発展させる絶好の機会であり、研究の立案、実施、結果のまとめ、結果の解釈と考察、研究の総括と論文作成といった研究の流れを理解させることができる。

③学科の名称及び学位の名称

医療を受ける患者において、保健医療領域のアウトカムの考え方が時代と共に変化し、現在ではクオリティ・オブ・ライフ（QOL）の考え方が主となっている。患者のQOLを向上させるには患者の人生感や生活感を的確に把握することが重要で、質の高いコミュニケーションを通じて、患者のQOLを高める役割が求められている。具体的には基本的な面接技術や、治療のための良好な信頼関係ができる状態、すなわちラポールを構築する技術が必要とされている。これらは本来、文学作品を時間をかけて読むなどして養われるもので、文学に依存することが多い分野であるが、医療職者が必ずしも満足できる現状ではないため、コミュニケーションスキルについて心理職に依存する場合も多くなっている。一般的に心理職は保健医療・福祉・教育・司法矯正・産業の5つの領域を中心に活動しているが、現状では約40%が保健医療分野で活動しており、今後も同様の活動が期待されている。

一方、心理学は脳科学の進歩と共に行動の科学、認知の科学として発展し、理系分野と協同して人々の生活に密着した発展が期待されているが、大きく分けると基礎心理学と応用心理学に大別される。応用心理学の中でも認知心理学、行動心理学、臨床心理学などは保健・医療・福祉などの分野で保健医療系の研究者や教育者と協同して成果を上げている。その中でも臨床心理学は人の心の健康・不健康を取り扱い、様々な心の状態を持った人を対象としているため、精神医学との関わりが極めて強く、逆にその基礎知識がないと成り立たない医科学的傾向の強い分野である。しかし、精神医学の上に臨床心理学があるわけでも、臨床心理学の上に精神医学があるわけでもない。精神医学は治療モデルに基づくのに対して、臨床心理学は援助モデルに基づいている。同一の疾患に対して治療モデルであれば標準的な治療法が選択されるが、援助モデルの場合その人が重要となり、必ずしも同じ援助法が選択されるわけではない。そのため臨床心理学では常に援助のための実践と研究が一緒に機能している必要がある。

以上より、杏林大学保健学部においては文学関係と保健医療関係をベースに、治療モデルを十分理解した上でその人に最適な援助モデルを提示し、実践できる人材の養成を念頭に新学科名を臨床心理学科とした。

また、学位は文学関係と保健医療関係からなることを考慮し、学士（臨床心理学）とした。

④教育課程の編成の考え方及び特色

(1) 各学年の到達目標について

カリキュラムは、教育理念に基づく教育目標の達成を目指し、学年毎の教育到達目標に従って、1年次から4年次までそれぞれ次のような方針で進める。

1年次：「心理学概論」および「心理学研究法」「心理学統計法」などの心理学基礎分野科目において心理学の基礎的理解を深め、専門領域への導入を図る。また「医学概論」「人体の構造」「人体の機能」等の基礎医学、および看護学を教授し、医療現場での基礎的知識の理解を深める。教養科目においては、哲学・社会学などの人文社会学系科目だけでなく、自然科学系科目についても理解を深め、幅広い教養と知識を持った全人的資質を養う。

- 2 年次：1 年次の教育方針を継続し、「心理学基礎実験Ⅰ,Ⅱ」の心理学基礎分野科目、また「神経心理学」等の心理学発展分野の科目を教授する。さらに、精神科領域における医療や看護の基礎知識を修得させるため、「精神医学概論」「精神看護学(精神科リハビリテーション学を含む)」等の科目を教授する。また、心理学隣接領域として、福祉学や保健学についても教授し、隣接領域の視点からも人間理解の幅を広げていく。
- 3 年次：主として臨床心理学の臨床的専門領域について、心理学発展分野の各論に関する講義や心理検査・心理面接に関する演習を実施し、心理臨床の専門職業人としての基礎的能力を養うとともに、チーム医療の一員としての役割について理解を深める。また、将来の心理学教育および研究のための基礎的能力を養う。
- 4 年次：実習やインターンシップ、ボランティア活動を通して、支援を要する人々の心理状態を理解することをはじめ、社会人としての基本的遵守事項や良好なコミュニケーション能力を養う。また、臨床現場での心理的援助に貢献できる人材を養成するために、「臨床心理学総合講義」として、心理臨床の現代的課題やトピックについて教授し、時代の変遷や職域の多様化とともに変容する心理的課題に対応できる柔軟さを身に付けさせ、同時に卒業時の教育到達目標である、チーム医療の一員として貢献できる、専門的知識・技術の基礎知識や態度を習得させ、人間的資質を養う。また、基礎ゼミや卒業研究を通じて、指導者、教育者および研究者としての基礎的能力を養う。

(2) 教育課程の編成について

本学部の設置の趣旨・目的を実現し、かつ公認心理師のカリキュラム案に対応する観点から、授業科目を「基礎分野」、「心理学基礎分野」、「心理学発展分野」、「心理実践実習分野」、および「総合領域」の各科目区分によって体系的に構成する。

「基礎分野」では豊かな人間性と社会性を育むことに重点を置き、また、グローバル化や情報化社会にも対応できることを念頭に置き、一般教養と専門教育への基礎を兼ねた科目を学習する。

「基礎分野」では、「人文・社会学系」「自然科学系」「言語系」「基礎医学系」「看護学・精神科リハビリテーション学系」の5部門を教育内容として位置づける。

「人文・社会学系」および、「自然科学系」の部門においては、科学的思考の基盤を培うとともに、人間としての尊厳を倫理面のみならず、制度・経済・文化等多角的な視点から理解する。また、グローバル化社会に対応するため「言語系」として、外国語学部を併設することの利点を生かし、実践に即した「英語Ⅰ～Ⅳ」、「英会話」を開講して充実させた。さらに「日本語表現法」を開講し、話しことばとしての日本語表現を実践的に学び、良好なコミュニケーションを取ることにできるように工夫をこらした。

「基礎医学系」科目および「看護学・精神科リハビリテーション学系」科目では、主として人体の構造や機能を系統的に理解し、基本的な解剖・生理学的知識の習得を図る。また、「精神医学概論」、「精神医学各論」においては、主要な精神疾患の症状、病態、診

断、治療法を包括的に教授し、医療現場での協働に必要な知識獲得をねらいとする。

「心理学基礎分野」科目群は、心理学の成り立ちや基本的知識、研究法を体系的に習得し、人のこころの理解を目指す動機付けとして、また発展分野につながる導入となることをねらいとして位置づける。基礎的心理学の手法を「心理学研究法」「心理学統計法」として学び、それを活かして「心理学基礎実験Ⅰ，Ⅱ」において、実験データの収集や処理、および結果についての適切な解釈や報告書の作成ができる力を養う。また観察法や調査法といった技法も実習を通じて理解を深めていく。「心理検査演習」・「心理面接演習」の各科目では、臨床実践の基礎として、心理査定・心理面接のワークやロールプレイを実施し、体験的に学習する。これらにより、実際の技法や解釈の方法、実施倫理等、心理職として求められる臨床力の基礎を広く教授する。

「心理学発展分野」科目群においては、「知覚心理学」「生理心理学」「社会心理学」等で構成し、幅広く心理学についての知識を積み重ねる。実践的心理学としては「医療心理学」や「学校心理学」を配し、医療現場や教育現場における心理社会的課題および必要な支援を具体的に学ぶ。また、臨床心理学関連の科目として、「臨床心理学概論」において臨床心理学の成り立ちや基本的知識を身につけ、「カウンセリング」および「心理療法」の各科目において、代表的な心理療法やカウンセリングの歴史、概念、意義、適応等について教授する。これらによって、心理支援を要する人々に対して、状況に応じて適切な支援方法を選択・調整することができる知識の獲得を目指す。さらに、「集団心理学」「家族心理学」を配し、個々人の心理的課題だけでなく、集団力動によって現れる心理的課題についても理解を深め、またそれらの応用としての集団療法および家族療法についても触れ、より実際の場での知識修得をめざす。隣接領域における人間理解についても、福祉領域から「児童福祉学」、「障害者福祉学」等、保健学領域から「高齢保健学」等を配置し教授する。これは、多様な職域において多職種との連携が想定される心理職にとって必要な複層的視点の修得を目指すものである。

「心理実践実習分野」においては、「心理実践基礎実習Ⅰ，Ⅱ」、「心理実践実習Ⅰ，Ⅱ」として各学年において医療機関での実習を配置し、修得した知識と実践をつなげ、心理援助を必要とする人々との有効なコミュニケーションの在り方を体験的に学ぶ。また、「心理実践職能学」において専門職としての職務や責任、倫理、関連行政法令等について学び、心理職の職責を果たすために必須の基本的知識を教授する。

さらに「総合領域」科目群として、「臨床心理学総合講義」や「臨床心理学特別講義Ⅰ，Ⅱ」、「特別演習Ⅰ，Ⅱ」を配置する。これらにおいては、臨床心理学のトピックス、課題や視点をふまえ、さらには保健医療領域の知識を統合し、人間関係を築く上で、どの分野にも通底するコミュニケーション能力や人間力の向上を目指し総括的に習得する。また「インターンシップ」「ボランティア活動」科目も配置し、社会人としての基本的遵守事項を身につける。「基礎ゼミ」「卒業研究」では、専門領域についてより深く学ぶための問題意識をもち、研究計画の立案力や情報収集能力、論文として纏め上げる力をつけながら、心理職として求められる生涯学習の態度を培う。

(3) 教養教育の実施方針、教育課程編成上の工夫について

教養教育課程（基礎分野）は、人文・社会学系、自然科学学系、言語系から構成され、様々な学問分野に触れ、いろいろな現象のとらえ方、価値観および多様性を認識することを目的としている。

人文・社会学系科目では、「哲学」、「生命倫理学」、「法学」、「日本国憲法」、「社会学」、「芸術」などを配置して、幅広い分野にわたって教養を養い、生命の尊厳と人権の尊重を基盤とする公認心理師としての倫理観を養うことを目的とする。

心理学はこころという目に見えない領域を科学的根拠に基づいて理解を深めていく学問であり、そのために統計的手続きや実験的手法を用いて論拠としている。そのため、自然科学系科目も構成するように工夫している。自然科学系科目としては、高等学校において、「数学Ⅰ，Ⅱ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」のいずれかを未履修の者および受講を強く希望する者を対象に、高校レベルの授業「基礎数学」「基礎化学」「基礎生物学」を開講する。また、2年時には「情報処理論」を配置し、統計的处理を必須とする「心理学基礎実験Ⅰ，Ⅱ」の心理学基礎分野への移行がスムーズに行えるよう、配慮している。

言語系については、医療・保健学分野における英語の重要性に鑑み、英語の教育に力を入れている。また、現在、他言語の重要性も増してきており、同じキャンパス内の外国語学部において開講されている中国語、ドイツ語、韓国語などを積極的に履修するように指導する。医療系分野における知識技術は日進月歩であり、英語の文献を読みこなすことのできる学力は不可欠であるので「医学英語」を配置する。また、TOEIC、TOFEL、実用英語技能検定試験など外部の試験にも門戸を開き、スコアに応じて、英語の科目の単位認定を行う。

(4) カリキュラム編成における必修科目・選択科目の量的配分の適切性、妥当性について

必修科目の卒業要件単位に占める割合はおよそ 65%であり、およそ 4 割を選択科目に充てている。本学科の特色であるチーム医療の一員として他職種の基礎知識を豊富に蓄えた心理専門家の養成するため、基礎医学系や看護学・リハビリテーション学については必修を多く配分している。一方、心理学発展分野の隣接領域に配した科目については選択科目とし、学生それぞれの目標や関心によって、選択できるよう配慮している。また、専門分野、総合領域には各教員の専門領域に関する科目を選択科目として設置しており、より最新の知識や技能の修得をも可能とするものである。

⑤教員組織の編成の考え方及び特色

(1) 教員組織の編成について

本学科は初年度（平成 30 年度）、専任教員 11 名（教授 6 名、常勤講師 5 名）をもって組織し、そのうち 5 名（教授 3 名、講師 2 名）は既設の健康福祉学科から異動させる。異動元の健康福祉学科の教員数（異動後 15 名）は大学設置基準で定められた数を大幅に上回っているため、教育水準の維持に問題はない。

専任教員 11 名のうち臨床心理士の資格を有する教員は 5 名、医師の資格を有する教員が 1 名、心理カウンセラーの資格を有する教員が 2 名である。また、専任教員のうち、7 名が博士の学位を、4 名が修士の学位を有し、教育研究上の十分な資質を有している。

(2) 主要科目と教員配置について

基礎分野では、言語系として国際的視野を持った社会人育成のため、併設する外国語学部教員が「英語Ⅰ～Ⅳ」「英会話」を兼担して、専門科目の専任教員と連携をとりやすくした。基礎医学系では特に医療現場での患者理解を深める知識として必要性が高い「医学概論」「人体の構造」「人体の機能」「疾病学」「精神医学概論」などの保健医学系の分野を中心に、教育研究上の実績を有する保健学部所属の教員を配した。

また、心理学基礎分野では、それぞれに心理学の基礎的研究、実験研究において実績のある教員を配置し、科学的根拠に基づいた心理学の基礎的視点を持たせるよう配慮した。

心理学発展分野および心理実践実習分野では公認心理師養成という専門職業人の養成の観点および実学重視という本学の独自性の観点から、臨床現場の経験が豊富な実務家教員を専門科目に配置することで、臨床に直結した教育に反映することが可能となっている。同時に、大学という高度な専門的知識の教育と研究の場としての役割を果たすべく、教育実績および研究実績の豊富な教員を配置することで、教育および最新の研究と臨床の現場をオーバーラップできるように工夫した。

さらに「基礎ゼミ」や「卒業研究」では専任教員が全員担当することで、臨床心理学および臨床医学に関して統合的なものの見方ができるように配慮した。

(3) 教員の年齢構成について

平成30年4月に臨床心理学科が設置された場合、臨床心理学科においては1名の教授が3年目終了時に定年となるが、完成年度を迎える4年目に向けて新規採用する予定である。なお、本学の規程では、教育職の定年は、教授は満65歳、その他の職位は満63歳に達した日の属する年度の末日となっている。

臨床心理学科設立時の11名の専任教員のうち、50歳代は教授3名、40歳代は教授1名、常勤講師3名、30歳代は常勤講師2名であり、教育研究水準の維持向上および教育研究の活性化に支障のない構成になっている。

杏林学園職員就業規則【資料1】

⑥教育方法、履修指導方法及び卒業要件

(1) 教育方法

カリキュラムの具体的な展開は、教育理念に基づく教育目標の達成を目指し、教育方針にそって周到に準備された教授方法によって実現される。それには、講義と演習、学内実習および本学医学部付属病院を始め地域の各種医療施設などでの臨床実習を通して教授する。学内での視聴覚教材の活用と実習室でのデモンストレーション等により、臨床実習との一貫した教育内容や、グループ学習、セミナー方式による学生の自主的な参加と研究態度を重視した教育方法を採用する。

授業の規模は、学部共通科目として開設する人文・社会学系、自然科学系、基礎医学系、看護学・精神科リハビリテーション学系においては80名から90名程度を想定して

いるが、100名を上回る場合は分割して開講する。その他の学科独自の心理学基礎分野、心理学発展分野の科目は80名規模での授業となる。

カリキュラムの内容は、主に次の4つの柱で構成する。

1. 人間を全人的に理解するために、人文・社会学系の科目を通して、社会学および倫理的などの観点から学習する。
2. 公認心理師の基盤となる心理学は広範な学問である。心の健康・不健康を取り扱い、様々な心の状態を持った人を対象としているため、精神医療との関わりが極めて強く、取り扱う題材として精神医学概論、精神医学各論、精神看護学（精神科リハビリテーション学を含む）、緩和医療学などは必須として学習する。また、医学的基礎知識を基盤とした知識の修得を目指すため、専門基礎分野では人体の構造と機能、疾病の理解の基礎となるべく基礎的な保健医学教育の充実を計り、そのうえで、基礎から応用へと体系的な学問体系に沿い履修できるよう配置している。
3. 専門各領域では、講義、演習、実習を通して効果的に学習する。特に患者のQOLの向上を目的とした基本的な面接技術や、心理的援助のための良好な信頼関係の構築技術を得意とする公認心理師を養成するため、関連科目の演習、実習に重点を置いた。チーム医療については、実際の臨床の場での「心理実践基礎実習Ⅰ・Ⅱ」「心理実践演習Ⅰ・Ⅱ」を通して最新の心理臨床技術を学び、チーム医療の一員として役割と他の専門職との関連や連携について修得させる。また、関連する「心理実践職能学」「臨床心理学総合講義」を配置した。
4. 教養科目の中での基礎的な知識の修得、「心理学基礎実験Ⅰ・Ⅱ」における心理学実験およびデータ処理の実践と実験レポート作成、「基礎ゼミ」における小グループでの討議や最新の心理学国際論文の読解、ならびに教員の個人的指導による卒業論文の作成などによって、指導者、教育者および研究者としての基礎的な能力を養成する。

(2) 履修指導方法

新入生に対する履修指導は、ガイダンス期間を4日間設定し、その期間に新入生の担任、教務委員、教務課職員によって、単位、時間割の立て方、資格関連科目の履修方法、履修登録手続き、図書館の利用方法などについての説明をし、さらに履修方法を徹底するために少人数単位でも履修指導などを行う。「履修案内」「学生ハンドブック」「時間割表」など履修に必要な冊子・書類を全学生に配布するとともに、平成18年度から導入されたWEB履修システム「Universal Passport」でいつでも関連する情報を確認できるようにしている。また、後期が始まる9月にも担任、教務委員会委員、教務課職員によるガイダンスを行っている。

(3) 卒業要件

以下の区分に従い、4年以上在学し124単位以上を修得することを卒業の要件にする。

科目区分の名称		単位数		
		必修	選択	計
基礎分野	人文・社会学系	2	8	10
	自然科学系	2	0	2
	言語系	8	4	12
	基礎医学系	15	0	15
	看護学・精神科リハビリテーション学系	4	0	4
	小計（35科目）	31	12	43
心理学 基礎分野	心理学基礎分野	14	0	14
	小計（7科目）	14	0	14
心理学 発展分野	基礎心理学関連	8	0	8
	発達・教育心理学関連	2	4	6
	社会・青年心理学関連	0	6	6
	臨床心理学関連	8	8	16
	隣接領域	2	12	14
	小計（30科目）	20	30	50
心理実践 実習分野	心理実践実習分野	7	0	7
	小計（5科目）	7	0	7
総合領域	総合領域	8	2	10
	小計（9科目）	8	2	10
合計	合計（86科目）	80	44	124

(4) 履修モデルについて

以下に公認心理師資格取得のため、大学院を目指す学生のための履修モデルを示す。

【臨床心理学科 履修モデル】 公認心理師取得のため大学院をめざす学生の履修例

* は選択科目

分野		1年次	2年次	3年次	4年次	計
基礎分野	人文・社会学系	地域と大学 2 *法学 2 *日本語学概論 2 *社会学 2 *生命倫理学 2	*職業適性論 2			12
	自然科学系	*基礎数学 1 *基礎生物 1	情報処理論 2			4

言語系	英語Ⅰ	2	英語Ⅲ	2	*英会話	2	12		
	英語Ⅱ	2	*医学英語	2					
	日本語表現法	2							
基礎 医学系	公衆衛生学	1			緩和医療学 (演習を含む)	2	15		
	医学概論	1							
	人体の構造	2	精神医学概論	2					
	人体の機能	2	精神医学各論	2					
	疾病学	2							
救命救助法	1								
看護 学・精神 科リハ ビリテ ーショ ン学系			精神看護学(精神科 リハビリテーショ ン学を含む)	2			4		
			精神看護学・精神科 リハビリテーショ ン学演習	2					
小計		26	18	4	0	47			
心理学 基礎分野		心理学概論	2	心理学基礎実験Ⅰ	2	心理検査演習	2	14	
		心理学研究法	2	心理学基礎実験Ⅱ	2	心理面接演習	2		
		心理学統計法	2						
心理学 発展 分野	基礎 心理学 関連	知覚心理学	2	生理心理学	2			8	
		認知心理学	2	神経心理学	2				
	発達・教 育心理学 関連	発達心理学	2	*乳幼児心理学	2	*学校心理学	2	6	
	社会・青 年心理学 関連			*社会心理学	2	*家族心理学	2	8	
					*集団心理学	2	*青年心理学		2
臨床 心理学 関連	臨床心理学概論	2	発達臨床心理学	2	心理療法	2	*認知行動療法	2	18
	*医療心理学	2	心理療法	2	カウンセリング	2	*人格心理学	2	
			*心理検査法	2			*障害心理学	2	
隣接 領域			社会福祉学	2	*児童福祉学	2	*高齢保健学	2	14
			*医療福祉学	2			*公的扶助学	2	
							*障害者福祉学	2	
							*社会福祉政策学	2	

心理実践 実習分野	心理実践 基礎実習 1 I	心理実践 基礎実習 1 II	心理実践職能学 2 心理実践実習 I 3	*心理実践 実習 2 II	9
総合領域			基礎ゼミ 2	臨床心理学 総合講 義 2 卒業研究 4	8
小計	17	25	35	8	85
合計	43	43	39	8	133

(5) 学生の習熟度および質的保証への対応

公認心理師受験資格取得には大学院修士課程修了が必要であるため、大学院進学を目標として履修・学習する指導を基本とする。習熟度のバラツキに対して、各科目において学生の理解度、学習到達度に応じてリメディアル（補習）教育を実施することで対応する。しかし、上記の指導の結果、一定の学習到達点に達しない学生については、履修規程に基づき留年とする。

(6) 履修科目の年間登録上限および他大学における授業科目の履修について

学生が履修登録した授業の学習効果を高めるために、1年間の履修登録単位数の上限を49単位とする。他大学との単位互換制度については、本学部では現在実施していない。将来の検討課題とする。

⑦施設、設備等の整備計画

(1) 校地、運動場の整備計画

本学は、井の頭キャンパス（34,568.1 m²）に保健学部、総合政策学部、外国語学部、図書館および管理棟等を、近接する三鷹キャンパスには体育館（5,148.20 m²）を配置し、学生が教育・課外活動を受けるにふさわしい広さを有しており、臨床心理学科を設置する十分なスペースがある。

(2) 校舎等施設の整備計画

実習室と教員の研究室は次の通りである。

- 1) 学部専用教室 15 室（205.26 m²、187 人）、（209.12 m²、176 人）、（149.61 m²、130 人）、（137.36 m²、118 人）、（108.40 m²、86 人）、（108.40 m²、86 人）、（149.42 m²、126 人）、（104.33 m²、90 人）、（81.94 m²、60 人）、（155.06 m²、141 人）、（159.49 m²、180 人）、（148.73 m²、159 人）、（81.60 m²、69 人）、（78.57 m²、69 人）、（70.11 m²、62 人）
- 他学部との共用教室 5 室（243.19 m²、243 人）、（53.17 m²、28 人）、（79.26 m²、

- 42人)、(174.84 m²、153人)
- 2) 学科専用研究室9室 (18 m²×3、19 m²、21 m²、22 m²、24 m²、48 m²、63 m²)
 - 3) 実習室・演習室 専用演習室2室 (208.35 m²、110人)、(109.17 m²、94人) 共用実習室6室 (203.28 m²、64人)、(203.28 m²、86人)、(194.3 m²、90人)、(218.21 m²、80人)、(272.95 m²、33人)、(39.50 m²、30人)
 - 4) 学生専用ロッカー室 (48.41 m²、58.78 m²、55.22 m²、55.15 m²、45.11 m²、25.25 m²、30.24 m²、29.45 m²)
 - 5) コンピュータ室 (107.27 m²、63人)、(101.51 m²、60人)、(105.35 m²、42人)

(3) 機械器具の整備計画

臨床心理学科に関連する科目の教育に使用するため、機械器具・心理検査用具などを1100点以上購入し、新たに設置する実習室などに配置する。主な機械器具・心理検査用具の整備計画は資料3の通りである。

また、保健学部の既存学科で所有する機械器具について、教育上支障がない範囲において共用する。

主な機械器具、心理検査用具等一覧【資料2】

(4) 図書等の資料および図書館の整備計画

井の頭図書館および医学図書館の蔵書冊数はおよそ436,000冊(和書276,000冊、洋書160,000冊)、継続雑誌は1,481種(和雑誌1,324種、洋雑誌157種)、オンラインジャーナル8,624種(国内1,133種、外国7,491種)を整備している。また、井の頭図書館と医学図書館それぞれの蔵書は現物貸借、あるいはFAXによる送信で利用可能となっている。さらに、臨床心理学科を設置するにあたり、公認心理師養成のためのカリキュラムにそった図書1,000冊(和書900冊、洋書100冊)、雑誌15誌(和雑誌8誌、洋雑誌7誌)を整備する。とりわけ専門基礎分野および専門分野に配慮して3年間で整備充実を図る。

現在のところ主要なデータベース(MEDLINE、医中誌Web、CINAHL、AIDE、Cochrane Library、CiNii、Scopus、Westlaw Japan、PsycINFO、判例タイムズ(DVD)、聞蔵Ⅱ、PubMed、JCR、金融商事判例(DVD)、労働判例(DVD)、日経テレコン21、金融法務事情(DVD)、OECD iLibrary、東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー、EBSCOhost Business Source Premier、EBSCOhost Hospitality & Tourism Complete、D1-Law.com、ブリタニカオンライン、今日の診療Web、UptoDate、日経BP記事検索サービス、官報検索サービスなど)が利用に供されている。平成18年度にシステム更新が行なわれ、iLiswave-J(富士通製)が導入された。本システムにより学外的には国立情報学研究所が運用する目録所在情報システムのオンライン分担目録の入力を担い、学内的には貸出・返却をはじめとした処理の一層の迅速化が実現された。

図書館の機能が学習・教育研究活動に効果的に働くよう様々な図書館利用ガイダンスを企画している。目的の雑誌論文や新聞記事を効率的に探す手法の一環として図書館

OPAC の使い方ガイドンスや図書館ツアー、データベースガイドンスを計画的に行うとともに利用者の質問にいつでも対応、回答できる体制を整備していく方針である。

また、図書館総合管理システムを導入、NCSIS-CAT/ILL に参加し大学図書館間の相互協力をはじめ、学生証や身分証を提示するだけで直接閲覧および貸し出しサービスが受けられる「大学図書館相互利用サービス」に加盟し近郊の大学図書館とも相互協力を進めている。今後、一層の学習・教育研究支援機能の整備拡充を計り、最新情報の発信機能を重視した図書館サービスの充実を図る。

整備する臨床心理学関連の学術雑誌【資料3】

⑧入学者選抜の概要

(1) 学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

保健学部は「保健・医療・福祉の分野で、専門的知識と技術を教授し、科学的なものの方と思いやりの心を涵養して、広い視野から物事をとらえ、人々がより健康に生きることをサポートできる人材を育成すること」を教育の目的としている。この目的が確実に達成されるために、次のような資質をもつ人を求めている。

① 健康に関心をもち、保健・医療・福祉に貢献する意志をもつ人。

② 人に対する深い思いやりの心をもつ人。

③ 幅広い多角的な視野をもつ人

④ 保健、医療、看護および福祉に関する学習意欲を備えている人。

この保健学部のアドミッションポリシーに基づき、臨床心理学科のアドミッションポリシーを次のように設定している。

「科学的根拠に基づいた臨床心理学に関する幅広い専門知識と技術を修得し、併せて豊かな人間性と倫理観を備え、質の高いコミュニケーションを通じて心理的な援助を必要とする人々のQOL（生活の質）の維持・向上に貢献したいという意欲をもつ人材を求めます。」

(2) 入試区分、入学試験科目、入学者選抜方法について

①入試区分

一般入試、センター試験利用入試、推薦入試、AO入試を基本とし、他に帰国子女入試、外国人留学生入試を行う。

②募集人員

各入試区分の募集人員は、下表の通りとする。

③入学試験科目

表に示したように、一般入試の入学試験科目は、英語と国語を必修科目、数学、物理、化学、生物から1科目選択とし、かつ他学科の併願を可能とする。推薦入試においては、適性検査に加えて、多様な受験生に応じた面接試験を行う。

④入学者選抜方法

一般入試、センター試験利用入試においては、総合点の高い者から正規合格とし、

入学率を審議し、補欠者を繰り上げて、補欠合格者とする。なお、補欠者については、補欠順位を明記して発表する。また、推薦入試、AO入試、帰国子女入試、外国人留学生入試では調査書、適性検査の成績、面接の成績を総合して合格者を決定する。

入試区分	募集人員	入学試験科目
一般入試	35名	[必修科目] 英語 [選択科目] 国語（近代以降の文章）、数学「数学Ⅰ、数学A」、物理Ⅰ、化学Ⅰ、生物Ⅰから、問題配布後、1科目選択。
センター試験 利用入試	3名	[必修科目] 英語 [選択科目] 以下の3教科4科目から、2科目を選択 ◆国語（近代以降の文章）◆数学「数学Ⅰ、数学A」◆理科「物理基礎・物理基礎・生物基礎」から2科目、「物理」、「化学」、「生物」
推薦入試	25名	適性検査、面接
AO入試	15名	適性検査、面接
帰国子女入試	1名	適性検査、面接
外国人留学生入試	1名	適性検査、面接

(3) 入学試験実施体制について

保健学部の入学試験は、学部長を委員長とし教務部長、学生部長、その他数名の教授会代表者からなる入試審議委員会のもとで実施される。審議委員会は、採用する入試区分、実施時期、募集人員、試験科目などを検討する。さらに入試実施後に合格者ならびに補欠の決定、試験方法や試験問題の反省、次年度の試験方法を検討する。入試審議委員会の下で、入試作業委員会が、出題の依頼、試験問題のチェック、問題の印刷、試験監督の依頼、試験の実施等を担当し、出題に関わる出題委員、採点に関わる採点委員などの委員が任命される。

入学者選抜基準の透明性については、各試験区分の受験資格、試験科目、試験時間、科目別配点、等の基本事項は募集要項に公表する。また、前年度の入試について、受験者数、合格者数、合格最低点などをホームページ上に公表して透明性を高めている。

⑨取得可能な資格

- ・公認心理師の資格取得を目的とする（主として大学院修士課程修了後に取得可）
- ・社会福祉主事任用資格（指定の科目を修めることで取得可）

⑩実習の具体的計画

(1) 実習先の確保の状況

現在までに確保した実習先は、本学科の実習目標を達成するために必要な条件および協力体制を備えていることを条件とし、大学付属病院をはじめ、医療、福祉等の分野の病院、施設である。

臨床実習先（施設名、所在地、住所など） 【資料 4】

(2) 実習先との契約内容

個人情報保護については、実習中知り得た情報については、法令・条例を遵守し、一切漏洩しない旨の誓約書を実習に先立って実習指導者に提出する。また、感染等の事故についても、災害、感染などの事故および故意、または過失による実習施設への損害については、一切の責任を負い弁償、処理する旨の誓約書を事前に実習指導者に提出する。

事故予防および感染予防については、十分な事前指導を行った上、実習指導者に対しても事前指導をお願いする。学生には、実習における万が一の事故に備えて、「学生教育研究災害傷害保険および学生教育研究賠償責任保険」に加入することを義務づける。

万が一、事故が起こった場合は、実習担当者および学生から速やかに連絡を受け、実習担当教員が実習先へ出向き、対応を協議する。

実習中の感染予防および感染発生時、事故発生時の対応について 【資料 5】

(3) 臨床実習の内容および事前・事後の指導

臨床実習は必修 3 科目 5 単位、選択必修 1 科目 2 単位からなり、その 4 科目の組み立てや繋がりをきめ細かく計画することは、着実に力をつけていくために不可欠となる。そのためには、実習時間のみならず、実習の事前事後の学内における指導や実習受入れ先の施設との連携を密にする。

臨床実習の内容は、「心理実践基礎実習Ⅰ」（1 単位）（1 年後期：30 時間）、「心理実践基礎実習Ⅱ」（1 単位）（2 年後期：30 時間）、「心理実践実習Ⅰ」（3 単位）（3 年後期：90 時間）、「心理実践実習Ⅱ」（2 単位）（4 年後期：60 時間）から構成される。

以下に各実習の内容および事前・事後の指導について述べる。

「心理実践基礎実習Ⅰ」：病院や施設等での見学実習を行うことで、心理に関する支援、一般病院、精神病院や施設などの機能について学習する。実習に先立って、臨地で行われる実習への心構えや見学実習の在り方について、事前指導を徹底する。事後指導として、全体の討議と意見交換の場となる実習報告会等を行い、実習内容の共有を図る。

「心理実践基礎実習Ⅱ」：病院や施設等での見学実習を行うことで、心理に関する支援を要する者の疾患、心理的支援、治療法の理解を深める。また、医療、施設等で心理職や臨床心理技術者等が果たす役割を学習する。また、チームアプローチを行う他職種との連携の役割を学ぶ。

「心理実践実習Ⅰ」：医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働などの領域における見学や体験等を通じて、心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、分析について学習する。また、心理に関する支援を要する者及びその関係者へのチームアプローチ、心理職や臨床心理技術者等としての職業倫理及び法的義務について学ぶ。

「心理実践実習Ⅱ」：医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働などの領域における見学や体験等を通じて、具体的支援について学習する。特に多職種連携や地域連携の

実際を見学、体験することで、心理に関する支援を要する者及びその関係者の現実生活を視野に入れた支援について学ぶ。

臨床実習は上記の4実習を合わせて長期になるため、臨床実習の目的を明確にし、綿密な事前指導を行い、各教員は担当学生および臨床実習指導者と適宜、連絡をとり、実習の進捗状況を確認する。それぞれの実習期間中に1回以上の巡回指導または電話連絡を行うことで、実習の進行具合や実態を把握するとともに、学生の臨床上の問題解決に対して指導する。ただし、実習指導者の要請があれば、実習施設にいつでも出向けるようにする。事後指導としては、全体での実習報告会を実施するとともに各領域および個別の討議の時間を設ける。

臨床実習指導体制 【資料6】

(4) 実習水準の確保の方策

本学の臨床実習の多くは、本学付属病院、学外の医療施設、福祉施設、各種センター等で実施する。臨床実習は、学内における勉学の体験学習であるので、本学の教育水準と同レベルに保つことは大変重要となる。実習水準の確保の方策として、以下のことを実施する。

臨床実習を開始する前に各施設の臨床実習指導者に対して、本学で使用している教科書を配布するとともに教育内容を説明し、実習指導方法について本学教員と実習指導者間で十分に調整する。また、各施設の実習指導者と本学との連携を深くするために、各実習施設の担当教員を決める。

各臨床実習終了時には、実習報告会を行う。特に心理実践実習Ⅰ終了時に行われる実習報告会では、各施設の実習指導内容が本学の教育水準を確保できている事を確認する。なお、実習水準が本学の教育水準より低い場合や教育内容が合わない場合は、再度本学の教育内容を指導することで実習水準を確保する。

(5) 臨床実習指導者と教員の役割について

臨床実習における教育計画の立案および遂行については大学の責任のもとに行い、臨床実習指導者と教員は次のような教育の役割を分担し、円滑で効率的な運営を図る。

・教員の役割

- ①臨床実習の内容および方法の計画
- ②実習依頼とその調整、配置先の決定
- ③実習行動計画の指導（事前指導）
- ④実習に関連する問題の調整
- ⑤実習期間の巡回指導や電話連絡による状況把握および施設訪問
- ⑥実習終了後の報告会などの計画（事後指導）

・臨床実習指導者の役割

- ①指導者は、施設の中でも臨床経験豊富な者が担当
- ②臨床上のオリエンテーションの実施
- ③学生の実習内容と方法に関して教員あるいは施設長との連絡調整
- ④学生の課題学習や生活適応側面での指導
- ⑤一定の様式による実習の評価

(6) 実習先との連携体制

臨床実習を行う上で、臨床実習施設と本学との連携体制を強化することは重要である。そこで、臨床実習指導者と本学の連絡を深くするために、臨床実習施設の担当教員を決め、臨床実習施設との連絡は基本的には担当教員が行うこととする。

(7) 教員の配置ならびに巡回指導計画

臨床実習では、臨床実習の目的を明確にし、綿密な事前指導を行い、それぞれの実習期間中に1回以上の巡回指導または電話連絡を行うことで、実習の進行具合や実態を把握するとともに、学生の臨床上の問題解決に対して指導をする。ただし、実習指導者の要請があれば、実習施設にいつでも出向けるようにする。事後指導としては、全体での実習報告会を実施するとともに各領域および個別の討議の時間を設ける。

臨床実習巡回指導計画 【資料7】

(8) 実習施設における指導者の配置計画

臨床実習では学生1名に対して、1名以上の実務経験5年以上の精神科医または臨床心理技術者等、心理の支援に関する業務を行っている者が臨床実習指導および評価を行う。

(9) 成績評価体制および単位認定方法

成績評価は、臨床実習指導者と担当教員が学生の実習に対する取り組み方や実習での成果を総合的に判断して決定する。臨床実習合格基準（60点）は、臨床実習の規定日数以上の出席、レポート課題が提出されていることとする。合格基準に達した学生は実習内容、レポート、実習サマリーの内容等に基づく臨床実習指導者の評価を踏まえ、事前準備、実習報告会等の様子を加味して、担当教員と臨床実習指導者が協議のうえ満点を100点として点数で評価する。

⑪管理運営

学部の最高意思決定機関は、教授会である。教授会は学部長が議長となって8月を除く毎月1回開き、入試時期など必要時には臨時教授会も開く。教授会は過半数の出席をもって成立し、教育、教員人事、学生、研究などに関する事項を審議する。学部には、教務委員会をはじめとする各種委員会を設置し、審議事項を学部長に報告している。

大学の最高意思決定機関である大学評議会、学部長、学長、学部長、図書館長、各教

授会構成員から選任された各2名で構成される。学則や諸規程改正の必要が生じたときに召集される（杏林大学学則第12条）。

⑫自己点検・評価

(1) 自己点検・評価への取り組み

本学では、毎年自己点検・自己評価のためのデータブックを「杏林大学の現況」として作成し、冊子体で公開している。これには学部および大学院についての現況が記載されている。学部に「自己点検・評価委員会」、研究科に「研究科自己点検・評価委員会」が大学活動組織として存在し、これらの委員会が中心となり、上記の「杏林大学の現況」を毎年作成している。また、大学基準協会による認証評価を平成27年に受審し、「大学基準協会の大学基準に適合している」との評価を受けている。なお、大学に対する提言の中で、特記すべき事項に関しては本学の特色となるように積極的に取り組み、助言として挙げられた事項については、真摯に受け止めて、改革と改善を推進し、建学の精神に基づく教育研究活動の更なる充実に努め、教育の質の保証に取り組んでいる。

平成23年度に、杏林大学自己点検・評価規程を改定し、自己点検・評価を毎年行うこと、および自己点検・評価の妥当性と客観性を高めるため、外部評価委員会を設置し、この委員会からの評価結果を付して自己点検・評価報告書を学内外に公表することなど、新たな評価体制を整備した。

(2) 実施体制と方法

本学の教育研究活動等の状況については、自ら行う点検・評価（「自己点検・評価」という。）を行う自己点検・評価委員会（以下、「全学委員会」という。）を置いている。

(2-1) 全学委員会の組織について

全学委員会は次に掲げる委員をもって組織する。また、全学委員会の委員長は学長が指名する者をもって充て、副委員長は全学委員会委員のうちから委員長が指名する。

(a) 各学部長、(b) 各研究科長、(c) 付属病院長、(d) 各学部教授会から推薦された専任教員各1名、(e) 理事長が指名する事務管理職 若干名院長、(f) 各学部教授会から推薦された専任教員各1名、(g) 理事長が指名する事務管理職 若干名

(2-2) 全学委員会が行う事項について

- (a) 自己点検・評価の基本方針および実施要領の策定に関すること。
- (b) 点検・評価（外部評価を含む）の実施に関すること。
- (c) 自己点検・評価に関する報告書の作成。
- (d) 評価結果に基づく改善状況の検証。
- (e) 自己点検・評価結果の公表に関すること。
- (f) 学校教育法に定める認証評価に関すること。
- (g) 前各号の他、自己点検・評価に関し、全学委員会が必要と認めた事項。

(2-3) 自己点検・評価の実施について

自己点検・評価は、原則として毎年行い、自己点検・評価項目は、次の通りとする。

(a) 理念・目的 (b) 教育研究組織 (c) 教員・教員組織 (d) 教育内容・方法・成果 (e) 学生の受け入れ (f) 学生支援 (g) 教育研究等環境 (h) 社会連携・社会貢献 (i) 管理運営・財務 (j) 内部質保証

各学部および大学院各研究科並びに点検・評価項目に関連する教学および法人の各部門にそれぞれ学部等自己点検・評価委員会（以下「学部等委員会」という。）を置き、全学委員会における決定事項に基づき、当該部門の自己点検・評価を主体的に実施し、自己点検・評価の結果に基づき、当該部門の自己点検・評価報告書を作成し、全学委員会に提出する。

(3) 外部評価委員会について

自己点検・評価の妥当性と客観性を高めるため、外部評価を行う機関として外部評価委員会を置き、学長が推薦する有識者若干名をもって構成する。外部委員会は、自己点検・評価について検証および評価を行い、本学の教育研究の向上に資する提言を行う。

(4) 結果の活用および公表

自己点検・評価の結果については、全学委員会が外部評価委員会からの評価結果を伏して自己点検・評価書を学内外に公表するものとする。

また、理事長および学長は自己点検・評価を実施した結果、改善が必要であると認められた事項について、当該部門の長にその改善の実施を求め、実現を図らなければならない。

⑬情報の公表

平成 22 年 6 月 16 日付けの「学校教育法施行規則等を改正する省令の施行について」に則り以下に掲げる情報等を大学のホームページ上で、公表している。

- ①理事長・学長のメッセージ
- ②建学・教育理念・沿革
- ③学園組織（学部・学科・研究科の名称、教員組織、各種委員会、事務局組織）
- ④入学者数、収容定員、在学者数、卒業・修了者数、進学者数、就職者数
- ⑤校地・校舎等の施設その他の学生の教育研究環境
- ⑥授業料
- ⑦教員数、年齢別・男女別構成
- ⑧各教員が有する学位および業績等
- ⑨各学部・研究科の理念・教育研究上の目的、教育目標
- ⑩アドミッションポリシー
- ⑪授業科目、授業の方法および内容並びに年間の授業計画
- ⑫必修・選択・自由科目別の必要単位取得数および取得可能単位
- ⑬学生が取得すべき知識および能力に関する情報

⑭学生の修学、進路選択、学生生活一般に関わる支援

⑮国際交流・社会貢献等の概要

また、教員の研究活動の成果は、独立行政法人科学技術振興機構の ReaD および学術雑誌「杏林医学会雑誌」で公表され、この雑誌は電子化されており、ホームページ上でも閲覧できるようになっている。また、杏林学園の広報誌『あんず』や保護者会報『杏会報』により、入学式や卒業式における学長の式辞、学部長の所信表明等、さまざまな記事の形で伝えられている。

設置認可申請書、設置届出書、設置計画履行状況報告書については、ホームページ上で個人情報に関する部分を除いて閲覧できる。

また、本学の特色を生かして、医療・健康・社会問題・ことばや文学に関する公開講演会や公開講座を実施し、開かれた大学として受け入れられるよう市民との交流に努めている。

⑭教育内容等の改善を図るための組織的な研修等

本学部には、「FD 実施委員会」が設置されており、本委員会の目的は、学部全体の教育を活性化し、教員の教育力向上に向けた全学的な FD 活動の支援を行うことである。

(1) 学生による授業評価制度

学生による授業評価を専任教員および非常勤講師のすべての講義科目において前期・後期に計2回実施しており、その結果を教員にフィードバックして授業改善の資料とするように要請している。自由記載欄を除いた授業評価結果については、本学ホームページ上にも公開しており、学外からも閲覧可能である。

(2) 教員に対する顕彰制度 (Teacher of the Year)

学生による授業評価で高い評価を得た教員を学部長から表彰している。

(3) FD 講演会およびシンポジウムの開催

学外の著名人を招聘し、FD に関するシンポジウムや講演会を実施し教員の参加を義務づけている。さらに、学生対応の諸問題を踏まえ、全教員、特に学生担任を対象に、「学生の相談に対応するための研修会」を開催している。

学外で開催される研修会等は全教員に告知し、その費用は学園が負担している。

(4) 相互授業参観

学生による授業評価最も高い評価を得た講義を学科ごとに指定し、公開講義として全教員に授業聴講を求め、その後、授業担当教員と聴講した教員との間で討論をおこなっている。

(5) 教員評価制度

FDの一環として教員評価制度が導入されており、全教員に、「教員評価シート」の提

出を義務づけている。自己評価項目は各教員の教育業績、研究業績、管理運営、社会貢献、情意考課に関する事項である。

(6) 新任教員のガイダンス

新任教員に対しては4月はじめにガイダンスを企画し、本学部について担当部署から説明をおこなうと共に、学生が参加するガイダンス週間の催しに積極的な参加を促し、教育の授受に関する双方の視点から教育のあり方を捉える機会としている。

これらの実施により、教員の資質の向上に努め、教員の教育力・研究力を向上させている。

⑮社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

(1) 基本的な考え方

本学の建学の精神である「真・善・美の探究」に基づいて学び得た学問的専門知識・知的思考力・専門技術を通して自らの職業観・勤労観を培い、個々の学生がキャリア形成に成功できるよう教育課程内・外にわたって、履修指導、キャリア相談、就職ガイダンス、情報提供などの具体的活動を学生の状況、ニーズに応じて、行っていくシステムを整備することが重要と考えている。

(2) 教育課程内での取り組み

(2-1) 一般教養科目

一般教養科目のうち、次の挙げたものをキャリア教育につながる主な科目と位置づけている。

- (a) 生命倫理学、 (b) 法学、(c) 社会学、(d) 情報処理論、(e) 日本語表現法、
- (f) 職業適性論

これらの科目中には実用的な知識や技術を修得出来る科目の他に、そのことを通して、活躍できる人間関係能力を育成できる科目も含まれている。

(2-2) 専門基礎・専門科目

臨床心理学科では心理学の基礎知識および臨床心理学の対人援助技術を学ぶと共に、公認心理師の社会的役割、専門職業人としての責任、倫理観を学び、講義と臨床実習を通して、自己の職業観を深めていくようにカリキュラムが作成されている。したがって、実践しているカリキュラムの履修がキャリア教育を兼ね備えていると考えている。

キャリア形成の最重要科目として、「心理実践職能学」「心理実践基礎実習Ⅰ・Ⅱ」「心理実践演習Ⅰ・Ⅱ」「インターンシップ」「ボランティア活動」を挙げることができる。「心理実践職能学」「心理実践基礎実習Ⅰ・Ⅱ」では、臨床心理専門職の職務、責任、倫理、関連行政といった実践に必須のテーマについての基本的理解を得る。更に、チーム医療の一員として、医師をはじめとする関連職種専門性や自己と他の職種が果たす役割について理解を深めながら、他の関連職種との連携についての

重要性について認識させ、これを通して職業意識を育成していく。また、「心理実践実習Ⅰ・Ⅱ」「インターンシップ」「ボランティア活動」では、実践にふれて、コミュニケーション能力、観察力、分析力、問題解決能力を養うと共に、チーム医療の一員としての役割について確認し、公認心理師としての求められる職業意識を育成していく。

(3) 教育課程外の取り組み

臨床心理学科の教育内容、特に専門科目はキャリア教育と重複する部分が多いが、これだけでは、実際のキャリアデザインや持続的な就業力を得るためには不十分である。そこで、次のキャリア支援を行っていく。

「初年次からの就業意識醸成・キャリアスキルアッププログラム」(平成21年度 文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」学生支援プログラム採択) この取り組みでは、社会に有用な人材を輩出するという、社会のニーズに応え得る実践的能力を身に付けた学生を育てることを主たる目的においてプログラムを推進していく。そのための施策として就業意識の向上と就業実務能力向上をめざしたキャリア教育の充実を図ることを中軸に据え、知識教育だけにとどまらない体験学習を織り込んだ総合的な学習プログラムをプランし、最終的には就職率の向上につなげることに狙いを置いて展開する。本取り組みの目的である就業意識の涵養並びに就業基礎力の習熟度が1年次から4年次と段階的に図れるようにプログラム構成を考慮して実施を進める。具体的には、就職ガイダンス、就職対策講座、就職専門模擬試験等のプログラムを実施して就職マインドの醸成を図り、一方ではパソコンを用いたネットワーク活用によるスキル研修により就職基礎力向上に取り組んでいる。

保健学部の平成29年度支援スケジュール【資料8】

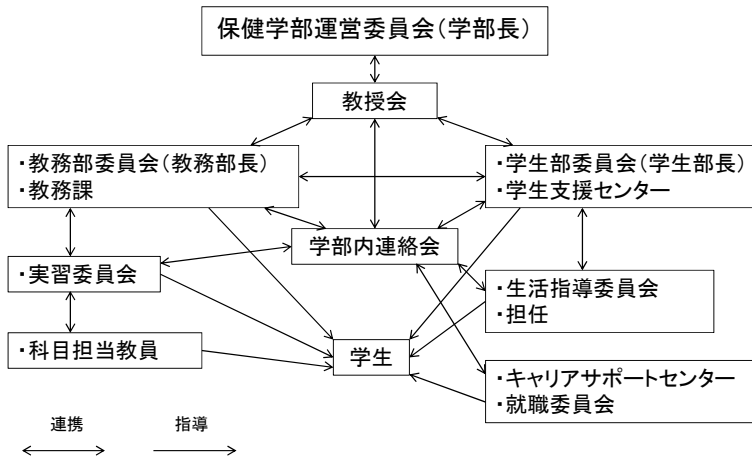
(4) 組織体制(図参照)

- ①教育課程内の取り組みを実施するにあたっては、教務委員会が履修方法、時間割設定、教員配置等の実務を行う。
- ②教育課程外の取り組みではキャリアサポートセンターと就職委員会が実務的な中心的役割を担う。
- ③就職委員会の委員は就職アドバイザーとして、キャリアサポートセンターと連携をとりながら、学生個々のニーズに合った進路支援を行う。

社会的・職業的自立に関する指導体制(組織図)

教育課程内の取り組みにおける組織体制

教育課程外の取り組みにおける組織体制



○杏林学園職員就業規則

制定	昭和48年12月27日	
改正	昭和53年3月6日	昭和54年10月23日
	昭和57年10月15日	昭和58年7月15日
	昭和58年8月15日	昭和59年4月1日
	昭和59年11月26日	昭和60年10月1日
	昭和61年4月1日	昭和62年1月1日
	昭和62年4月1日	昭和63年1月1日
	昭和63年4月1日	昭和63年5月31日
	平成2年2月28日	平成3年1月30日
	平成4年3月16日	平成4年10月26日
	平成6年3月30日	平成6年4月28日
	平成6年10月26日	平成7年4月28日
	平成8年3月29日	平成9年9月5日
	平成10年3月27日	平成10年12月11日
	平成11年3月26日	平成12年3月30日
	平成12年6月19日	平成13年5月30日
	平成14年2月18日	平成14年2月26日
	平成14年3月29日	平成14年7月1日
	平成14年9月13日	平成15年3月28日
	平成15年10月20日	平成15年12月5日
	平成16年3月26日	平成16年6月21日
	平成17年3月30日	平成17年5月27日
	平成17年7月25日	平成18年2月20日
	平成18年3月29日	平成18年5月1日
	平成18年9月1日	平成18年12月8日
	平成19年3月29日	平成19年4月1日
	平成19年5月28日	平成19年12月7日
	平成20年3月28日	平成20年4月1日
	平成21年1月1日	平成21年3月26日
	平成21年4月1日	平成22年2月22日
	平成24年3月30日	平成25年3月29日
	平成26年5月30日	平成26年7月28日
	平成27年3月27日	平成27年5月29日
	平成28年3月25日	平成28年5月27日
	平成29年3月24日	

第1章 総則

（目的及び遵守義務）

第1条 この規則は、労働基準法（以下「基準法」という。）第89条の規定に基づき職員就業に必要な事項を定めたものである。

2 職員は、誠実にこの規則を遵守しなければならない。

（職員の定義）

第2条 この規則で職員とは、第2章第1節に定める手続により杏林学園（以下「学園」という。）に採用された次の常勤職員をいう。

- (1) 教育職員（教授、准教授、講師、助教及び助手）
- (2) 事務職員（一般事務職員）

第2類（杏林学園職員就業規則）

- (3) 技術職員（医療技術職員等）
- (4) 看護職員（看護師、准看護師、保健師及び助産師）
- (5) 技能職員（自動車運転手、交換手及び電気等技術職員）

2 1年以内の期間を定めて学園の業務に従事するパートタイマー及び日々雇用する者については、この規則の職員とはしない。別に定める杏林学園パートタイマー就業規則による。

（規則準用者）

第3条 前条第1項の職員以外で次に掲げる者については、この規則の全部又は一部を準用する。

- (1) 試用中の者
- (2) 常勤嘱託
- (3) その他の他学園が指定する者

2 次の者は、この規則の職員とはしない。ただし、この規則の一部を準用することがある。

- (1) 非常勤嘱託
- (2) その他学園が指定する者

（職位並びに職責）

第4条 職員の職位については別表第1「管理職・監督職等について」のとおりとする。

2 職員はそれぞれの職位に応じて、次の各号に定める職責を果さなければならない。

- (1) 所属長は所属職員を統轄し、その業務に関し学園に対して責任を負うこと。
- (2) 職位において上位の者は、その所属する職員の業務を指揮監督し、上長に対して責任を負うこと。
- (3) 職員は上長の命をうけて、その業務に従事すること。

（用語の定義）

第5条 所属長とは次の各号のとおりとする。

- (1) 教育関係職員については学長及び学部長
- (2) 病院に勤務する職員については病院長
- (3) 本部職員その他については理事長

2 所属上長とは、所属する職員を指揮監督する者（課長又はこれと同等以上の職位）をいう。

（疑義解釈）

第6条 この規則の解釈について疑義が生じたときは、その都度学園が決定する。

第2章 人事

第1節 採用・任免

（職員等の採用・任免）

第7条 職員及び学園に勤務する者の採用及び任免は理事長が行う。

第2類（杏林学園職員就業規則）

（職員の採用）

第8条 教育職員は、大学設置基準及び学園の定める資格を有する者のうちから採用する。

2 前項以外の職員は、人物、経験等を勘案し、所定の手続を経て採用する。

（試用期間）

第9条 新たに採用されたものについては、採用した日から6月間を試用期間とする。ただし、教育職員及び学園が適当と認めたものには、試用期間を短縮し、又はこれを設けないことがある。

2 試用期間中又は試用期間満了の際、引続き職員として勤務させることが適当でないとして認めた者は解職する。

3 試用期間が満了し、本採用が決定した者については、試用開始の日をもって、採用の日とする。

（採用者の提出書類）

第10条 新たに採用された者は、次の各号の書類を提出しなければならない。

- （1）本人自筆の履歴書（学園所定の様式による。）
- （2）近影の手札型写真（3月以内のもの）
- （3）住民票記載事項証明書
- （4）扶養家族調書（学園所定の様式による。）
- （5）最終出身学校の卒業証明書（写）
- （6）学位記号
- （7）各種免許状正本又は写（免許状等を必要とする職務の場合）
- （8）源泉徴収票及び社会保険証書（前職のあった者）
- （9）学園が必要ありと認めた場合は、学業成績証明書
- （10）保証人2名連署の身元保証書（学園所定の様式による。）。ただし、保証人のうち1名は、都内又は近郊に居住する者に限る。
- （11）誓約書（教員用及び職員用様式による。）
- （12）その他学園が必要と認めた書類

2 前項の提出書類のうち、記載事項に異動があったときは、その都度速やかに届け出なければならない。

第2節 異動

（配置転換・職種等の変更命令）

第11条 学園は、業務上必要があるときは、職員に配置転換を命じ、又は職種・職位の変更を命ずることがある。

2 前項の場合においては、所属長の指示により、担当業務を確実に引継がなければならない。

（出向）

第11条の2 学園は業務上必要があるときは、職員に出向を命ずることがある。

第2類（杏林学園職員就業規則）

2 職員の出向に関する事項は、別に定める杏林学園職員出向規程による。

（異動命令の拒否禁止）

第12条 職員が前条に基づいて異動を命ぜられたときは、正当な理由がなければこれを拒んではならない。

（教育職員の任用期間等）

第13条 教育職員について、学園は、任用期間等を定めることができる。

（採用・任免等の形式）

第14条 職員の採用、配置転換、出向及び退職（第21条第1項第1号の場合を除く。）は、人事課長からの通知書に基づき、所属上長が当該職員に通知するものとする。

2 職員の職種・職位の変更、休職（第15条表の8、9及び10の場合を除く。）・復職及び解職は、原則として辞令の交付によるものとする。

第3節 休職・復職

（休職の原因及び期間）

第15条 職員で次に掲げる表の左欄に掲げる要因がある者は、それぞれ右欄に掲げる期間の範囲内において休職を命ずるものとする。

休 職 の 原 因	休 職 の 期 間		
1 職務上負傷し、又は疾病にかかり3月を経過しても治癒しないとき。	3年		
2 職務外の理由による心身の故障のため引続き右欄の欠勤月数を経過して治療休養を要するとき。	(在職年数)	(欠勤月数)	(休職期間)
	1年未満	1月	2月
	1年以上 3年未満	3月	3月
	3年以上 10年未満	6月	5月
	10年以上	12月	6月
	結核性疾患の場合は1年とする。		
3 疾病以外の理由により引続き欠勤1月に及んだとき。	1月		
4 学園の命令により1年以上長期にわたり研究に従事するとき。	研究に従事する期間		
5 職制の改廃又は定員の改正によるとき。	学園が必要と認める期間		
6 刑事事件に関し起訴され、休職させることが適当と認められたとき。	事件の係属期間		

第2類（杏林学園職員就業規則）

7 本人の願い出により学園が認めたとき。	学園が必要と認める期間
8 2歳6月に達しない子を養育するために申し出たとき。	子が2歳6月に達する日までの期間（ただし、1歳6月に達した日の翌日から2歳6月に達する日までの期間については所定の条件を満たした場合に限る）の範囲内
9 選択定年による願い出を学園が認めたとき。	3月
10 要介護状態にある対象家族を介護するために申し出たとき。	同一の対象家族1人につき、介護を要する状態に至ったごとに3回、通算180日の範囲内
11 その他特別の事由で休職する正当な理由があると認められたとき。	学園が必要と認められる期間

2 前項に掲げる表の2の場合における期間算定は、次による。

- (1) 同一疾患による欠勤月数の算定において、引続き30日未満の出勤は、期間算定の中絶と認めない。
 - (2) 休職期間満了前に復職した場合において、その後、6か月以内に同一疾患により休職、又は欠勤した期間は、復職前の休職期間に通算する。
 - (3) 休職期間満了時に復職した場合において、その後、6か月以内に同一疾患により引続き欠勤30日に及ぶ場合は、休職期間満了とみなす。
- 3 表の8に関する事項は、別に定める育児休職等規程による。
- 4 表の9に関する事項は、別に定める杏林学園選択定年制度に関する規程による。
- 5 表の10に関する事項は、別に定める介護休職等規程による。

（休職期間中の身分）

第16条 休職期間中は、職員としての身分を保有する。ただし、職務に従事することはない。

（復職）

第17条 休職期間満了前に休職事由が消滅した場合には、復職を命ずる。ただし、第15条表の8、9及び10による場合は、除くものとする。この場合、心身の故障であった職員を復職させる場合には、学園が指定する医師の診断に基づきこれを行う。

（人事審議会の意見聴取）

第18条 第15条に掲げる表の2、3、5、6及び11の原因により休職を命ずる場合には、人事審議会の意見を聴かなければならない。

第2類（杏林学園職員就業規則）

2 「人事審議会」については、別に定めるところによる。

（休職中の賃金）

第19条 休職中の賃金は、次の表のとおりとする。

休 職 の 原 因	休 職 中 の 給 与 の 支 給 額
1 職務上負傷し、又は疾病にかかった場合	基準法に定める平均賃金の100%。ただし、労災法の適用を受けたときは、その差額を支給する。
2 職務外の理由による心身の故障の場合	支給しない。
3 疾病以外の理由により引き続き欠勤1月に及んだ場合	支給しない。
4 学園の命令により1年以上にわたり学園外で研究に従事する場合	基本給、住宅手当及び扶養手当の金額。ただし、他からこれらに相当する給与、手当が支給されるとき若しくはその一部が支給されるときは、学園の給与はその限度において支給しない。
5 職制の改廃又は定員の改正による場合	基本給、住宅手当、扶養手当及び職務手当の全額
6 刑事事件に関し起訴された場合	基本給、住宅手当及び扶養手当の10分の3を支給する。
7 本人の願い出によった場合	支給しない。
8 育児のため申出た場合	別に定める。
9 選択定年により申出た場合	別に定める。
10 介護のため申出た場合	別に定める。
11 その他の場合	事例によりその都度決定する。

（休職期間の在職年数加算）

第20条 休職中の期間は、第15条に掲げる表の1、4、5及び9の場合においては、その全期間を在職年数に加算する。

2 第15条に掲げる表の6及び11の場合においては、人事審議会の意見を聴いたうえ、在職年数への加算の有無及び程度を決定する。

3 前2項以外の事由による休職期間は、在職年数に加算しない。

第4節 退職

（退職）

第21条 職員が次の各号の一に該当するときは、退職とする。

（1）本人が死亡したとき。

第2類（杏林学園職員就業規則）

- (2) 定年に達したとき又は選択定年に達したとき。
 - (3) 期間の定めがある職員については、その期間が満了したとき。
 - (4) 本人から退職の申し出があり、学園が承認したとき。
 - (5) 休職期間が満了し、復職を命ぜられなかったとき。ただし、第15条表の8、10の場合は除くものとする。
 - (6) 禁錮以上の刑が確定したとき。
 - (7) 成年被後見人になったとき。
- 2 退職を希望するときは、1月以前にその理由及び期日を明記した退職願を所属上長を経て、学園に提出し、その承認を得なければならない。ただし、やむを得ない場合には、14日前に退職手続をとることができる。
 - 3 杏林学園に永年勤務する常勤職員が自らの生涯設計に基づいて退職することを希望したときは、前2項の規定にかかわらず別に定める杏林学園選択定年制度に関する規程による。
 - 4 退職を申し出た者は、退職の承認があるまで、従前の業務に従事しなければならない。
 - 5 職員の定年は、次のとおりとする。
 - (1) 教育職員
 - ア 教授 満65歳に達した日の属する年度の末日
 - イ 准教授、講師、助教、助手 満63歳に達した日の属する年度の末日
 - (2) 教育職以外の職員 満63歳に達した日の属する月の末日
 - (3) 前各号にかかわらず、選択定年制度に関する規程に基づいて定まる日
 - 6 前項の規定は、期間を定めて雇用したのものには適用しない。
 - 7 特別の事由により必要と認めるときは、理事会の承認を得て、期限を付して再雇用若しくは定年を延長することができる。
 - 8 職員の再雇用に関する事項は、別に定める杏林学園定年退職者再雇用規程による。

第5節 解職

(解職)

第22条 職員が次の各号の一に該当するときは解職とする

- (1) 学科目の廃止又は業務の変更若しくは縮小等により、担当業務の継続が不可能又は不必要となり、他の職種に転換させることも困難なとき。
- (2) 試用期間中の者で解職を適当と認めるとき。
- (3) 休職期間の満了したとき。ただし第15条表の8、9及び10の場合は除くものとする。
- (4) 精神又は身体の障害により、職務の遂行に支障があり、又はその職務に堪えられないと認められるとき。
- (5) 勤務成績若しくは能率が悪く、又は著しく協調性を欠き、職員としての適格がないと認められるとき。

第2類（杏林学園職員就業規則）

（6）身上に関する提出書類の記載事項中に偽りがあったとき。

（7）諭旨解雇又は懲戒解雇の処分を受けたとき。

2 前項各号によって解職するときは、少なくとも30日以前に解職の予告をするか又は30日分の平均賃金を支給する。ただし、天災地変その他不可抗力の事由によって、事業の継続が不可能になったとき、又は職員の責に帰すべき事由による場合で、労働基準監督署長の認定を受けたときはこの限りでない。

3 前項の予告の日数は1日について平均賃金を支払った場合には、その日数を短縮することができる。

（有給公務員に就任したとき）

第23条 職員が国会議員、地方公共団体の議員、都道府県知事、市町村長その他常勤の有給公務員に就任したときは、就職の日をもって、依願退職をしたものとする。

（解職等の制限）

第24条 職員が業務上負傷し、又は疾病にかかり、その療養のために休業する期間及びその後の30日間、並びに産前産後の女性職員がこの規則によって休養する期間及びその後の30日間は、解職することはできない。ただし、打切り補償を支払ったとき、又は天災地変その他やむを得ない事由によって事業の継続が不可能になった場合で、労働基準監督署長の認定を受けたときは、この限りでない。

2 学園は、次の各号のいずれかを理由として女性職員に対して解職、その他不利益な取扱いをしない。

（1）妊娠したこと。

（2）出産したこと。

（3）妊娠中及び出産後の健康管理に関する措置を求め、又はこれを受けたこと。

（4）妊婦又は出産後1年以内の女性（以下、「妊産婦」という。）に係る危険有害業務に、就くことができず若しくは従事しなかったこと、又は従事しないことを申出若しくは従事しなかったこと。

（5）産前休業を請求し若しくは産後休業をしたこと、又は産後休業の禁止により就業できず若しくは産後休業をしたこと。

（6）妊婦が軽易な業務への転換を請求し、又は転換したこと。

（7）妊産婦が、1週40時間、1日8時間を超えて労働しない旨の請求をし若しくはそのような労働をしなかったこと、時間外労働、休日労働をしない旨の請求をし若しくはその労働をしなかったこと、又は深夜業をしない旨の請求をし若しくは深夜業をしなかったこと。

（8）育児時間を請求し、又は育児時間を取得したこと。

（9）妊産婦が、妊娠又は出産に起因する症状（妊娠悪阻、切迫流産、出産後の回復不全等）により労務の提供ができないこと若しくはできなかつたこと又は労働能率が低下したこと。

（人事審議会の意見聴取）

第2類（杏林学園職員就業規則）

第25条 第22条第1号、第2号又は第4号から第6号までによって解職する場合には、人事審議会の意見を聴くものとする。

第3章 勤務

第1節 服務規律

（服務規律）

第26条 職員は諸規則、令達を遵守し、上長の指示に従い、職場の秩序を守り、忠実に職務に従事し、上長は所属職員の人格を尊重し、互いに協力して、学園の秩序を維持するため、次の各号の事項を守らなければならない。

- （1）法律、官公庁の命令、規則等には、特に細心の注意を払い、執務上万全を期すること。
- （2）常に品位を保ち、人格の涵養に努め、非礼、背徳の行為をしないこと。
- （3）学園の名誉、品位及び信用を尊重し、学園の機密に関する事項を漏洩しないこと。
- （4）火災その他災害に際しては、人命保護を優先とし、特に入院患者についての避難誘導を図ること。更に学園の安全、重要書類の保全を図り、かつ、火災、薬品の爆発その他の災害を未然に防止するための努力を怠らないこと。
- （5）職務権限を越えて専断的なことをしないこと。
- （6）承認なくして職務以外の目的で、学園の設備、施設、機械器具その他物品を使用しないこと。
- （7）風紀・秩序を乱すような行為及び性的な言動により不快な思いをさせることや職場の環境を悪くしないこと。
- （8）相互に協調を保ち、内部に混乱を起こすようなことを厳に慎むこと。
- （9）職務に関して不当に金品その他の利益を受けないこと。
- （10）学園構内（校舎、病院その他の建物の施設を含む。）において印刷物を配布し、又は掲示し、若しくは放送しようとするときは、あらかじめその印刷物又は放送原稿等を提示して、学園の承認をうけること。
- （11）学園内で職務以外の目的で集会をしようとするときは、責任者は、その都度あらかじめ集会の目的、日時、場所、人員、内容及び責任者の氏名を文書をもって申しいで、学園の承認をうけること。
- （12）勤務時間中みだりに職場を離れないこと。
- （13）学園の承認ある場合を除き、学園以外の業務に従事しないこと。
- （14）学園内で政治活動あるいは特定の宗教活動をしないこと。
- （15）学園の承認ある場合を除き、勤務時間中に組合活動をしないこと。
- （16）私用で任地を離れる場合は、事前に上長に届け出て承認を得ること。

（入門禁止及び退場命令）

第27条 次の各号の一に該当する者は、入門を許可せず、又は退場させることがある。

第2類（杏林学園職員就業規則）

- (1) 出勤停止処分をうけている者
- (2) 自宅謹慎を命ぜられている者
- (3) 事故欠勤により、休職を命ぜられている者
- (4) 就業上不必要と認める危険有害物品を所持する者
- (5) 業務を妨害し、若しくは事業場の風紀を紊した者
- (6) 衛生上就業を禁止している者
- (7) その他前各号に準ずる者

（出勤・退出）

第28条 出勤及び退出については、次の事項を守らなければならない。職員は、始業時間に正しく就業するよう心がけなければならない。

- 2 出勤・退出の際は、本人がタイムカード（指定した場合は出勤簿）に打刻（若しくは捺印）しなければならない。上記の手續を怠った場合は、当日出勤しなかったものとみなす。ただし、学園がとくに認めた者に対してはこの限りでない。

（遅刻・早退・外出）

第29条 公用又は私用で遅刻・早退し、又は構内から外出しようとするときは、その都度事前に届け出て、上長の承認を受けなければならない。事前に届け出ることができないときは、事後遅滞なく、上長に届け出なければならない。

（欠勤）

第30条 職員が、傷病その他やむを得ない事由により欠勤しようとするときは、あらかじめその事由、予定日数その他必要な事項を具して、所属長に願い出て、その許可を得なければならない。ただし、事前に届出のできないときは、事後すみやかに届け出て、その許可を得なければならない。

- 2 負傷又は疾病による欠勤が、引続き1週間以上に及ぶときは、医師の診断書を提出しなければならない。予定日数経過後引続き欠勤する場合には、新たに前項の診断書を提出しなければならない。

第2節 勤務時間、休憩

（一般職員の勤務時間）

第31条 職員の勤務時間は、1か月を平均して1週間あたり39時間を越えないものとする。

- 2 前項の1か月とは、毎月1日から末日までとする。

- 3 職員の1日の勤務時間と休憩時間は次のとおりとする。

(1) 看護部に所属する看護職員（次号に該当する者を除く）及び看護助手

ア 日勤、準夜勤務、深夜勤務の場合は、勤務時間7時間40分、休憩時間1時間とする。

イ 日中勤務①、日中勤務②、夜間勤務①、夜間勤務②の場合は、勤務時間11時間30分、休憩時間1時間30分とする。

ウ 夜間勤務③、夜間勤務④の場合は、勤務時間15時間20分、休憩時間1時間

第2類（杏林学園職員就業規則）

30分とする。

エ 午前半勤務①、午前半勤務②、午後半勤務の場合は、勤務時間3時間50分とする。

(2) 看護部に所属し手術部に勤務する看護職員

ア 日勤の場合は、勤務時間7時間40分、休憩時間1時間とする。

イ 夜間勤務の場合は、勤務時間15時間20分、休憩時間1時間30分とする。

(3) 前各号以外の職員

ア 日勤の場合は、勤務時間7時間15分、休憩時間1時間とする。ただし、土曜日の勤務時間は4時間とする。

イ 病院勤務者の夜間勤務の場合は、勤務時間14時間30分、休憩時間2時間とする。

4 高度救命救急センターの救急総合診療科に勤務する教育職員の1日の勤務時間と休憩時間は次のとおりとする。

ア 日勤の場合は、勤務時間10時間、休憩時間2時間とする。

イ 準夜勤務の場合は、勤務時間5時間とする。

ウ 深夜勤務の場合は、勤務時間8時間30分、休憩時間2時間とする。

エ 夜間勤務の場合は、勤務時間11時間、休憩時間2時間とする。

5 断続的業務に従事する者で所轄官庁の許可を受けた者については、前各項の限りでない。

(教育職員の勤務時間)

第32条 授業を担当する教育職員の勤務時間は、毎週授業時数編成の都合により、時間の伸縮があるものとする。

(始業及び終業時刻)

第33条 職員の始業及び終業時刻は次のとおりとする。ただし、第34条第1項に定めるものについてはこの限りでない。

始業時刻 9時00分

終業時刻 17時15分（土曜日は13時00分）

(交替勤務者及び時差勤務者の始業及び終業時刻)

第34条 交替勤務及び時差勤務に従事する職員の始業及び終業時刻は別表第2「交替勤務者等の始業及び終業時刻表」のとおりとし、毎月の勤務割は、前月末までに所属上長より勤務表をもって明示する。

(休憩時間)

第35条 職員の休憩時間は、原則として12時00分から13時00分までの1時間とする。

2 前条の交替勤務者及び時差勤務者の休憩時間は、職員に割り振られた始業時刻から終業時刻内において1時間以上とする。

3 職員は、休憩時間を自由に利用することができる。ただし、学園構内から外出す

第2類（杏林学園職員就業規則）

る場合は、所属上長にその旨を告げなければならない。

（公民権行使のための時間）

第36条 職員が労働時間中に選挙権その他公民としての権利を行使し、義務を履行し、又は公の職務を執行するため、必要な時間を請求した場合はこれを与える。

2 前項の取扱いは次の各号に定めるところによる。

（1）選挙権その他公民としての権利を行使する場合は、出勤扱いとすること。

（2）公の職務のうち、消防団員など常時職場を離れる必要のない職務を執行する場合及び自己の責に帰し得ない事由によって官公庁に出頭する場合は出勤扱いとすること。

（育児時間）

第37条 生後1年に達しない乳幼児を保育している女性職員から、あらかじめ申し出があった場合には、所定の休憩時間のほか、1日について2回、1回につき30分の育児時間を与える。ただし、1日の勤務時間が4時間以内の場合は、1日について1回30分とする。

第3節 時間外及び休日勤務

（時間外及び休日勤務）

第38条 業務上必要がある場合は職員に所定の勤務時間外又は休日に勤務させることがある。この場合、正当な理由なくして、時間外及び休日勤務を拒否することはできない。

2 基準法第32条に定める時間を超える勤務及び同法第35条に定める休日勤務の場合は同法第36条に定める手続による。

3 第1項の命令をうけた者は、時間外休日勤務票に必要事項を記入のうえ、所属上長の認証を得て学園に届出なければならない。

（代休）

第39条 休日に勤務させた場合は、本人の請求により1週間以内に代休を与える。ただし、女性及び年少者については休日振替をする以外休日勤務はさせない。

2 前項の代休を請求する場合は、代休届に必要事項を記入のうえ事前に所属上長を経て、学園に届出なければならない。

（年少者の時間外勤務、休日勤務及び深夜勤務）

第40条 年少者の時間外勤務、休日勤務及び深夜勤務に関しては、基準法の定めるところによる。

（非常災害時の勤務）

第41条 学園は、災害その他の避けることのできない事由によって、緊急の必要がある場合は、基準法第33条の規定に基づいて、職員を必要限度において所定の勤務時間外に勤務させることができる。

第4節 休日、休暇

（休日）

第2類（杏林学園職員就業規則）

第42条 職員の休日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律に定めた祝日
 - (3) 杏林学園創立記念日 11月11日（学園が公式行事を行う場合を除く。）
 - (4) 年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）
 - (5) その他臨時に定めた日
- 2 前項にかかわらず、第31条第3項第1号に定める者については、前項第2号から第5号のほか、1か月を平均し1週間あたり2日を休日とし前月末までに所属上長より勤務表をもって明示する。
- 3 前各項の休日は、業務の都合により事前に他の労働日と振り替えて変更することがある。
- （年次有給休暇）

第43条 職員が採用された年においては、次のとおりに継続し、又は分割した労働日の年次有給休暇（以下「有給休暇」という。）を与え通常の賃金を支給する。

採用月	有給休暇日数
1月・2月	14日
3月・4月	12日
5月・6月	10日
7月・8月	8日
9月・10月	6日
11月・12月	4日

- 2 職員が採用された年に、勤務すべき労働日数の80%以上勤務したときは、第2年目においても、継続し、又は分割した14労働日の有給休暇を与える・
- 3 職員が採用された年の翌年以後において、1年を超える継続年数1年について前項の有給休暇に2労働日を加算した有給休暇を与える。ただし、有給休暇の総日数は20日をもって限度とする。
- 4 第2項及び第3項による年次有給休暇の年次別日数は次のとおりである。

採用後の年度別	年次有給休暇日数
第2年度	14日
第3年度	16日
第4年度	18日
第5年度以降	20日

- 5 第2項及び第3項の出勤率の算定にあたり、つぎの各号に掲げる期間はこれを出勤とみなす。
- (1) 業務上の傷病による休業期間

第2類（杏林学園職員就業規則）

- (2) 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の定める休業期間
 - (3) 産前産後の休業期間
 - (4) 年次有給休暇の期間
- 6 期間を定めて採用された者が、期間終了後引き続き期間を定め、又は期間の定めがなく採用されたときは、休暇の算出等については、最初に就職した日から通算する。
- 7 有給休暇の計算は、毎年1月1日始まり、12月31日に終る。
- 8 有給休暇は、その有給休暇が与えられた年及びその翌年に限って行使することができる。この期間を経過したものは時効により消滅するものとする。
- (時季変更)

第44条 前条の年次有給休暇は職員の請求するときに与える。ただし、職員の請求があったときに有給休暇をあたえることが事業の正常な運営を妨げる場合には、その他の時季にこれを与えることができる。

(請求手続)

第45条 職員が年次有給休暇をうけようとするときは、その3日前までに学園所定の様式により予定日数を明記して所属上長に届出なければならない。やむを得ない事由により、3日前までに文書による届出ができなかった場合には、その後遅滞なく届け出なければならない。届け出をしないで欠勤したときは、無届欠勤として取扱う。

(特別休暇)

第46条 特別有給休暇は、次のとおりとし、通常の賃金を支給する。

(1) 忌引休暇

ア 職員が親族の死亡のため勤務しなかった場合は、親族の死亡した日又は死亡の通知を受けた日の翌日から、次の範囲内の日数で、特別有給休暇を与える。

親族の区分		血 族	姻 族
配偶者	7日		
父 母		7日	3日
子	7日		
祖 父 母		3日	1日
孫	同居のとき 3日 別居のとき 1日		
兄弟姉妹		3日	1日
伯叔父母		1日	

イ 忌引休暇には、葬儀に参列するために要する往復実日数はこれを加算する。

ウ 代襲相続の場合の祖父母は、父母に、孫は子に準ずる。

エ 生計を一にする姻族の場合は、血族に準ずる。

第2類（杏林学園職員就業規則）

（2）婚姻休暇

職員又はその子が結婚したときは、次の範囲内の日数で、特別有給休暇を与え通常の賃金を支給する。

本人が結婚する場合 7日

子が結婚する場合 1日

前号及び本号（忌引休暇及び結婚休暇）の期間内に休日がある場合には、その日数に、休日が含まれるものとする。

（3）出産休暇

職員の妻が分娩したときは分娩の日から2日間の特別有給休暇を与える。

（4）誕生日休暇

職員の誕生日には休暇を与える。ただし、次の各場合には所属上長が当該月内の他の日に振替指定する。

ア 病棟に勤務する看護職員及び看護助手の誕生日が休日にあたるとき

イ その他の職員の誕生日が休日又は土曜日にあたるとき

（5）永年勤続休暇

永年勤続表彰者には、表彰を受けた年に次の範囲内の日数で、特別有給休暇を与える。

ア 20年永年勤続者の場合 3日

イ 30年永年勤続者の場合 5日

ウ 40年永年勤続者の場合 7日

（6）その他の特別有給休暇

職員が、次の各号の一により勤務しなかったときは、それぞれ次に定める時間又は日数の特別有給休暇を与え、他に別段の定めのない限り、原則として通常の賃金を支給する。

ア 業務上負傷し、又は疾病にかかり、医師の診断により勤務しなかった場合

療養期間中

イ 風水震火災その他天災地変により、職員の現住所が滅失若しくは破壊した場合又はこれに準ずる場合

学園が必要と認める期間

ウ 父母又は配偶者若しくは子の一周忌の法要を営んだ場合

その当日

エ 職務に関し、証人、鑑定人、参考人等として国会、裁判所、検察庁、地方公共団体の議会等の官公署に出頭した場合

学園が必要と認める場合

オ 交通機関の事故のため勤務できなかったと認められた場合

学園が必要と認める期間

カ 伝染病予防法による交通遮断又は隔離のため就業を差止められた場合

就業差止めの期間

キ 職員が、裁判員候補者、選任予定裁判員、裁判員、又は補充裁判員として職務等を遂行する場合

学園が必要と認める期間

第2類（杏林学園職員就業規則）

第47条 削除

（生理日の就業が著しく困難な女性に対する措置）

第48条 生理日の就業が著しく困難な女性職員が休暇を申し出たときは、休業させる。ただし、この場合休業した日の賃金は支給しない。

- 2 前項の場合において、医師が病的な生理であると認めた場合には、診断書を提出する。この場合一生理期間につき2日間を限り、有給休暇に準じて取扱う。

第5節 宿直及び日直

（宿直及び日直）

第49条 職員に対し、正規の勤務時間以外の時間及び休日その他特に定める日に、本来の勤務に従事しないで、校舎・病院の設置、備品、書類等の保全、外部との連絡、文書の收受及び学園内の監視をさせるため、基準法の定めるところにより届出、許可を受けた上、宿直勤務又は日直勤務を命ずることがある。

- 2 医師及び看護師等については、医療法第16条及びその趣旨に基づき宿直勤務又は日直勤務を命ずることがある。
- 3 宿直勤務は、終業時から翌日の始業時まで、又はこれに相当する時間とする。
- 4 日直勤務は平常日の勤務時間に相当する時間とする。
- 5 職員は、正当な理由がない限り、前各項の命令を拒むことができない。

第6節 出張

（出張）

第50条 学園は業務上必要あるときは、職員に出張を命ずる。

- 2 出張を命ぜられた者は、別段の指示をした場合のほか、所定の勤務時間を勤務したものとみなす。
- 3 出張をする者は事前に所定の手続用紙により、所属長を経て学園の承認を得なければならない。
- 4 出張に関する細則及び旅費その他については、別に定める杏林学園旅費規程及び杏林学園外国出張旅費規程による。

第4章 給与

（賃金）

第51条 職員の賃金に関する事項は、別に定める杏林学園職員賃金規程による。

（退職手当）

第52条 職員の退職手当に関する事項は、別に定める杏林学園職員退職手当規程による。

- 2 前項にかかわらず選択定年による退職手当は、別に定める杏林学園選択定年制度に関する規程による。

第5章 福利厚生

（福利厚生）

第53条 職員及び職員の扶養家族は、学園の福利厚生施設を利用することが出来る。

第2類（杏林学園職員就業規則）

- 2 職員はすべて私立学校教職員共済制度に加入するものとする。
- 3 各施設の利用に関しては、それぞれの細則の定めるところによる。
- 4 職員の慶弔については別に定める職員慶弔規程による。

第6章 賞罰

（賞罰）

第54条 職員の表彰は本章第1節に定める基準にしたがい、人事審議会に諮ってこれを行う。職員の懲戒は学園においてその事実を公正に調査し、本章第2節に定めるところに基づき、人事審議会に諮ってこれを行う。この場合、事前に弁明の機会を与える。

第1節 表彰

（表彰の種類）

第55条 表彰は個人表彰、団体表彰の2種とし、これを公示する。

（個人表彰）

第56条 職員が次の各号の一に該当するときは、個人表彰を行う。

- （1）人物優秀、職務の精励で、永年勤続し、職員の模範となる者
- （2）学術上及び業務上有益な改良、考案又は発見をした者
- （3）事故を未然に防ぎ、又は災害の際、人命救助その他功績拔群の者
- （4）前各号に準ずる者

（団体表彰）

第57条 職員の団体が次の各号の一に該当するときは、団体表彰を行う。

- （1）団体の業務成績が、優秀で、他の模範となるとき。
- （2）不時の災害に際し、協力一致、機宜の措置をとり業務上の障害を最小限度に止めたとき。
- （3）前各号に準ずる事実のあったとき。

（表彰）

第58条 表彰の方法及び時期は、次のとおりとする。

- （1）表彰は、賞状、賞品又は賞金をもって行う。
- （2）表彰の時期は、通常学園の創立記念日とし、必要ある場合は随時に行う。

第2節 懲戒

（懲戒の種類）

第59条 懲戒は次の8種とし、その処分を公示することがある。

- （1）戒告 口頭又は文書をもって将来を戒める。
- （2）譴責 始末書を取り、文書をもって非違を譴責する。
- （3）減給 始末書を取り、1回について平均賃金の半日分以内、総額においてその月の総収入の10分の1以内を減給する。
- （4）出勤停止 始末書を取り、10日以内出勤を停止し、その期間賃金を支払わない。

第2類（杏林学園職員就業規則）

- (5) 昇給停止 始末書を取り、一定期間の昇給を停止する。
 - (6) 諭旨退職 退職願を提出させ退職させる。退職願を提出しないときは、諭旨解雇とする。
 - (7) 諭旨解雇 退職手当を支給しないで諭旨して解雇する。ただし、情状により、退職手当の一部を支給することがある。
 - (8) 懲戒解雇 退職手当を支給しないで即時解雇する。
- 2 懲戒に該当する行為があった者に対しては、その処分決定前においても自宅謹慎を命ずることがある。

（譴責を行う場合）

第60条 職員が次の各号の一に該当するときは、譴責する。ただし、情状酌量の余地があるが、又は改悛の情明らかなときは戒告に止めることがある。

- (1) 就業規則その他学園の諸規程、令達又は業務命令に違反したとき。
- (2) 無断欠勤7日以上に及んだとき。
- (3) 正当な理由なく頻繁に遅刻、早退、私用外出又は欠勤したとき。
- (4) 勤務怠慢で業務に対する誠意を認め得ないとき。
- (5) 勤務に対する手続その他の届出を詐ったとき。
- (6) 火気を粗略にし、又は禁じられた場所で、たき火、喫煙したとき。
- (7) 許可なく校内で演説、集会等の政治又は思想運動若しくはこれに関する寄附金の募集その他これに類した行為をし、又はさせたとき。
- (8) 許可なく学園構内で放送し、又は掲示板を使用し、若しくはその場所を利用して図書、印刷物を掲示、貼付、撒布、回覧若しくは直書し、又はさせたとき。
- (9) 戒告再度に及んでもなお改めないとき。
- (10) その他前各号に準ずる不都合な行為のあったとき。

（減給・出勤停止・昇給停止・諭旨退職）

第61条 職員が次の各号の一に該当するときは減給、出勤停止、昇給停止又は諭旨退職とする。ただし、情状によりこれらを併科し、又は譴責に止めることがある。

- (1) 故意又は重大な過失によって、学園に不利益を与えたとき。
- (2) 業務上の怠慢又は監督不行き届きによって災害、障害その他の事故を発生させ、又は設備、機械器具、備品を毀損滅失させて業務に支障をきたし、その他重大な事故を発生させたとき。
- (3) 素行不良又は性的な言動により、学園の秩序、風紀を乱し、又は職員の体面を汚したとき。
- (4) 上長、同僚その他を誹謗して名誉を毀損し、又は暴行脅迫を加え、若しくはその業務を妨害したとき。
- (5) 前条各号に該当し、その情が重いとき。
- (6) 譴責再度に及んでも、なお改めないとき。
- (7) その他前各号に準ずる不都合な行為のあったとき。

第2類（杏林学園職員就業規則）

（懲戒解雇を行う場合）

第62条 職員が次の各号の一に該当するときは、懲戒解雇とする。ただし、情状により諭旨解雇に止めることがある。

- （1）無断欠勤引続き14日に及び、督促してもなおお応じないとき。
- （2）学園の諸規程、令達又は業務命令に違反し、再度注意してもなお従わないとき。
- （3）不正に学園の金銭、物品を持出し、又は私用に供し、又はこれをなさんとし、若しくはこれらの行為を教唆、幫助、煽動したとき。
- （4）身分、履歴の詐称、その他就職申告事項を偽り、又は故意に隠ぺいし、若しくはその他の不正な方法を用いて就職したことが判明したとき。
- （5）業務上重要な機密を故意に漏らし、又は漏らそうとしたとき。
- （6）故意に学園の施設、機械、器具、備品等を毀損、滅失、焼却し、又はなさんとし、若しくはこれらの行為を教唆、幫助、煽動したとき。
- （7）学園の内外を問わず、学園の運営を妨害し、その他業務の運営を妨害する目的をもって演説、集会若しくはこれに類する行為をなし、又はさせたとき。
- （8）職務に関し、私利を図り、又は不正、不当に金品その他を授受したとき。
- （9）許可なく他に就職し、又は自己の業務を営むに至ったもので、甚しく不都合と認められるとき。
- （10）懲戒数回に及んでも、なお改悛の情が認められないとき。
- （11）刑罰法規に違反し、有罪の確定判決を受け、事後の就業に不相当と認められたとき。
- （12）前2条各号に該当し、その情状が著しく重いとき。
- （13）その他前各号に準ずる程度の不都合な行為のあったとき。

（賠償の責任）

第63条 職員が、故意又は重大な過失によって学園に損害を与えたときは、懲戒処分のほか、その損害の一部又は全部を、本人若しくは身許保証人に賠償させることがある。

第7章 安全衛生

第1節 委員会

（委員会）

第64条 学園は、安全管理者及び衛生管理者を選任して、環境の改善及び職員の保健衛生の向上を図るとともに、安全衛生委員会を設け、その目的達成に努める。

2 安全衛生委員会の組織、運営については、別に定める。

第2節 安全

（安全に対する心得）

第65条 職員は安全に関する諸規則を遵守し、安全施設の保全及び職場の整とんに努めなければならない。

（災害予防）

第2類（杏林学園職員就業規則）

第66条 職員は災害予防のため、次の事項を厳守しなければならない。

- (1) 職場においては常に整理整頓に心掛けること。
- (2) 通路、非常用出入口、消火設備のある箇所には物品を置かぬこと。
- (3) 許可なく所定の場所以外で火気の使用をしないこと。
- (4) 油脂、ガス又は薬品等の取扱いを慎重にし、裸火をこれに近づけないこと。
- (5) 喫煙は禁じられた場所では行わないこと。
- (6) その他、所属長の指示に従うこと。

（災害発見）

第67条 火災その他非常災害の発生を発見し、又はその危険があることを知ったときは、臨機の処置をとるとともに、直ちにそのことを所属長及び担当課に報告し、その被害を最小限度に止めるよう、努めなければならない。

第3節 衛生・母性健康管理

（保健衛生に対する心得）

第68条 職員は、保健衛生施設を活用し、衛生管理者及び安全衛生委員の指示に従って保健衛生に努めなければならない。

（産前産後の就業制限）

第69条 6週間（多胎妊娠の場合は14週間）以内に出産予定の女性が医師又は助産師の証明書を付して休業を申し出たとき、及び産後8週間を経過しない女性は就業させない。ただし、産後6週間を経過し、本人が申し出て医師が支障がないと認めるときは、この限りではない。

- 2 前項の規定にかかわらず、出産日が予定より遅れたために産前6週間（多胎妊娠の場合は14週間）超えた場合には、その日数は産前休暇として取扱う。
- 3 出産当日は、産前休暇に含め、産後休暇の始期は、出産日の翌日からとする。
- 4 妊産婦が申し出た場合には、労働基準法第32条に定める時間を超える勤務、時間外勤務、休日勤務又は深夜勤務をさせない。

（母性健康管理）

第69条の2 妊娠中の女性及び産後1年以内の女性は、母子保健法に定める健康審査又は保健指導を受診するための時間並びに医師等の指導事項を順守するために勤務時間の短縮、その他の必要な措置を申出ることができる。

- 2 前項により妊娠中の女性及び産後1年以内の女性が申出ることのできる各措置の内容、手続等については、別に定める母子健康管理規程による

（就業禁止）

第70条 次に掲げる者は就業させない。ただし、第3号から第6号までに掲げる者について伝染予防の処置をとったときは、この限りでない。

- (1) 精神病にかかっている者
- (2) 法定伝染病、癩にかかっている者
- (3) 伝染のおそれある結核にかかっている者

第2類（杏林学園職員就業規則）

- （4）疥癬及びその他の伝染性皮肤病にかかっている者
- （5）トラホームその他の伝染性眼病にかかっている者
- （6）伝染病その他の疾病にかかった者で就業のため病症憎悪のおそれある者
- （7）その他衛生管理者が就業不相当と認めた者

（健康診断）

第71条 学園は、毎年1回以上定期健康診断を行う。ただし、保健上必要と認めたときは随時これを行う。

（健康要保護者）

第72条 次に掲げる者は健康要保護者とし、学園はこれらの者に対し就業の場所作業の転換、就業場所の変更その他保健衛生上の措置をとることがある。

- （1）年齢満18歳未満で就業後6月以内の者
- （2）ツベルクリン反応陽性転換後1年以内の者
- （3）病気にかかり又は身体虚弱で一定の保護を必要とする者
- （4）妊婦

（伝染病の届出）

第73条 職員は、本人又は同居人が伝染病にかかり、若しくはその疑いのあるときは、直ちにその旨を学園に届出てその指図に従わなければならない。

第8章 災害補償

（業務上災害・通勤災害）

第74条 職員の業務上災害及び通勤災害補償については、労働者災害補償保険法の定めるところによる。

（補償の種別）

第75条 前条による災害補償の保険給付は、次のとおりとする。

- （1）業務災害
 - ① 療養補償給付
 - ② 休業補償給付
 - ③ 障害補償給付
 - ④ 遺族補償給付
 - ⑤ 葬祭料
 - ⑥ 傷病補償年金
- （2）通勤災害
 - ① 療養給付
 - ② 休業給付
 - ③ 障害給付
 - ④ 遺族給付
 - ⑤ 葬祭給付
 - ⑥ 傷病年金

第2類（杏林学園職員就業規則）

第9章 発明

（職務発明）

第76条 職員が職務発明をした場合には、遅滞無くその旨を学園に届け出なければならない。

2 「職務発明」とは、その発明等の内容が学園の業務範囲に属するもので、発明等をするに至った行為が当該職員の学園における現在又は過去の職務に属するものをいう。

3 「発明等」とは知的財産権の対象となる知的創作物を生み出すことをいう。

4 職務上の発明等に関する知的財産権（特許権、実用新案権、意匠権、ノウハウ（営業上及び技術上の秘密情報））は、学校法人杏林学園に帰属するものとする。

5 職務著作物については、著作権法第15条の定めによるものとする。

6 特許庁に対する申請は、当該発明者及び学園が協議して決める。

7 学園は、その知的財産権から果実が得られた場合、当該職員と対価の配分について協議を行うものとする。

（規則の改廃）

第77条 この規則の改廃については、理事会の決議によらなければならない。

附 則

この規則は、昭和48年12月27日から施行する。

附 則

この規則は、昭和53年 3月 6日から施行する。

附 則

この規則は、昭和54年10月23日から施行する。

附 則

この規則は、昭和57年10月15日から施行する。

附 則

この規則は、昭和58年 7月15日から施行する。

附 則

1 この規則は、昭和58年 8月15日から施行する。

2 昭和58年8月14日以前に学園に採用された職員の定年は、改正前の杏林学園職員就業規則を適用する。

附 則

この規則は、昭和59年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、昭和59年11月26日から施行する。

附 則

この規則は、昭和60年10月 1日から施行する。

第2類（杏林学園職員就業規則）

附 則

この規則は、昭和61年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、昭和62年 1月 1日から施行する。

附 則

この規則は、昭和62年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、昭和63年 1月 1日から施行する。

附 則

この規則は、昭和63年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、昭和63年 6月 1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成 2年 4月 1日から施行する。
- 2 第21条第5項の規定にかかわらず、昭和58年8月14日以前に学園に採用された同項第1号に規定する職員の定年は、満65歳に達した日の属する年度の末日とする。

附 則

この規則は、平成 3年 2月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成 4年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成 4年11月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成 6年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成 6年 6月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成 6年11月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成 7年 5月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成 8年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成 9年10月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成10年 4月 1日から施行する。

第2類（杏林学園職員就業規則）

附 則

この規則は、平成11年 1月 1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成11年 4月 1日から施行する。
- 2 第38条第1項、第2項の規定にかかわらず、平成14年3月31日までの間は、就学前の児童を養育及び家族の介護を行う女性職員で、学園に申出た者の時間外労働は、法の定めるところによる。

附 則

この規則は、平成12年 3月31日から施行する。

附 則

この規則は、平成12年 7月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成13年 7月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成14年 3月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成14年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成14年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成14年 7月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成14年10月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成15年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成15年11月 1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成16年 1月 1日から施行する。
- 2 平成15年12月31日現在において、既に永年勤続表彰を受けた職員についても、それぞれの永年勤続表彰に応じた特別有給休暇を与える。ただし、平成16年1月1日から3年以内に取得しなければならない。

附 則

この規則は、平成16年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成16年 7月 1日から施行する。

附 則

第2類（杏林学園職員就業規則）

この規則は、平成17年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成17年 6月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成17年 8月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成18年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成18年 5月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成18年 9月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成19年 6月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成20年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成20年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成20年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成21年 1月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成21年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成21年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成22年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成24年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成24年 4月 1日から施行する。

第2類（杏林学園職員就業規則）

附 則

- 1 この規則は、平成26年 5月 1日から施行する。
- 2 別表第1の1管理職（2）部長クラス以上 イ（ソ）井の頭キャンパス開設準備室一室長については、平成26年5月1日から平成29年3月31日までの間に限り設けるものとする。

附 則

この規則は、平成26年 7月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年 4月 1日から施行する。

附 則

この規則は、平成28年 4月 1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成28年 4月 1日から施行する。
- 2 別表第1の1管理職（2）部長クラス以上 イ（ソ）井の頭キャンパス開設準備室一室長については、平成26年5月1日からの規則にかかわらず、平成28年9月30日までの間に限り設けるものとする。

附 則

この規則は、平成29年 4月 1日から施行する。

第2類（杏林学園職員就業規則）

別表第1

管理職・監督職について

1 管理職

(1) 課長クラス

ア 課若しくはこれに相当する単位組織の長として、所管業務を担当し、政策的な事項については指示を受けるが、日常業務については自主的判断に基づいて部下を監督指導しつつ、その実施運営にあたり、業務について、実質上の責任を有する職位

イ 部長クラスのスタッフとして、直接部長クラスを補佐し、部運営の基本的方針の政策その他極めて高度の業務を担当処理する職位

(ア) 本部－課長、課次長

(イ) 大学事務部－課長、課次長

(ウ) 病院事務部－課長、課次長

(エ) 医学部事務部－課長、課次長

(オ) 井の頭事務部－課長、課次長

(カ) 図書館事務室－課長、課次長

(キ) 病院－薬剤科長、栄養科長、外来医長、病棟医長、医局長、臨床検査部技師長、放射線部技師長、看護師長

(ク) 看護専門学校－教務主任、学生主任

(2) 部長クラス以上

ア 学園経営の基本方針に基づいて、局部若しくはこれに相当する包括的な独立分野の業務運営を担当する職位

イ 経営スタッフとして直接経営幹部を補佐し、業務運営の基本方針の策定に参画する職位

(ア) 学園－学園長

(イ) 大学－学長、副学長、図書館長、図書館分館長、入学センター長、キャリアサポートセンター長、国際交流センター長、学生支援センター長、三鷹保健センター長、井の頭保健センター長

(ウ) 医学部－学部長、教務部長、学生部長、教務主任、学生主任、

(エ) 保健学部－学部長、教務部長、学生部長

(オ) 総合政策学部－学部長、教務部長、学生部長

(カ) 外国語学部－学部長、教務部長、学生部長

(キ) 病院－病院長、副院長、高度救命救急センター長、同センター長補佐、臓器・組織移植センター長、同副センター長、熱傷センター長、同副センター長、脳卒中センター長、がんセンター長、総合周産期母子医療センター長、同副センター長、腎透析センター長、人間ドック長、集中治療室長、造血細胞治療センター長、周術期管理センター長、病院管理部長、企画運営室長、医療安全管理部長、医療安全推

第2類（杏林学園職員就業規則）

進室長、感染対策室長、高難度新規医療技術評価室長、未承認新規医薬品等評価室長、診療科長、臨床検査部長、手術部長、医療器材滅菌室長、臨床工学室長、放射線部長、内視鏡室長、リハビリテーション室長、高気圧酸素治療室長、病院病理部長、診療情報管理室長、看護部長、副看護部長、薬剤部長、副薬剤部長、総合研修センター長、臨床試験管理室長、患者支援センター長、栄養部長、患者サービス室長

- (ク) 看護専門学校一校長、副校長
- (ケ) 事務局一事務局長、事務局次長
- (コ) 本部一センター長、副センター長、室長、副室長、部長、副部長
- (サ) 大学事務部一事務部長、副部長
- (シ) 病院事務部一事務部長、副部長
- (ス) 医学部事務部一事務部長、副部長
- (セ) 井の頭事務部一事務部長、副部長、室長、副室長

2 監督職

(1) 係長クラス

ア 一般的な監督の下に一定範囲の業務について、具体的な処理計画をたて、部下を指揮監督しつつ、業務を遂行する職位

イ 事務、技術、現業部門において、きわめて高度の業務を単独、若しくは補助者を指導しながら遂行する職位

- (ア) 本部一課長補佐、係長、主任
- (イ) 大学事務部一課長補佐、係長、主任
- (ウ) 病院事務部一課長補佐、係長、主任
- (エ) 医学部事務部一課長補佐、係長、主任
- (オ) 井の頭事務部一課長補佐、係長、主任
- (カ) 図書館事務室一課長補佐、係長、主任
- (キ) 病院一課長補佐、係長、主任

3 業務上、機密の事項を取扱う者

- (1) 人事、労務、経理各課の課長補佐及び上席課員1名
- (2) 秘書、理事の常用する自動車運転手

4 各職位の取扱いについて

- (1) 管理職には管理職手当を支給するが、超過勤務手当は支給しない。
- (2) 管理職には原則として、出・退勤管理をしない（ただし、当分の間タイムレコーダーの打刻は行うこと）。
- (3) 管理職は、監督的地位にある職員として使用者の利益を代表するものである。
- (4) 監督職には、役付手当を支給する。

第2類（杏林学園職員就業規則）

別表第2

交替勤務者等の始業及び終業時刻表

部署又は職種 (適用条項)		始業	終業	備考	
電話交換手 (就業規則第31条第3項第3号)	(A)	時分 8:00	時分 16:15	平日	
	(B)	8:30	16:45		
	(C)	9:00	17:15		
	(D)	12:45	21:00		
	(A)	(A)	8:00	12:00	土曜
		(B)	9:00	13:00	
		(C)	13:00	17:00	
		(D)	17:00	21:00	
	(A)	8:45	17:00	休日	
	栄養部 (就業規則第31条第3項第3号)	(A)	6:00	14:15	平日
		(B)	8:30	16:45	
		(C)	9:00	17:15	
(D)		10:00	18:15		
(A)		(A)	6:00	10:00	土曜
		(B)	8:30	12:30	
		(C)	9:00	13:00	
		(D)	10:00	14:00	
		(E)	13:00	17:00	
(A)		9:00	17:15	休日	
技術職員 (就業規則第31条第3項第3号)	7:00~22:00 の間で休憩時間1時間を除き、 7時間15分の勤務 (始業時間は毎時00分、15分、30分、45分のいずれか)			平日	
	7:00~22:00 の間で4時間の勤務 (始業時間は毎時00分、15分、30分、45分のいずれか)			土曜	
		8:45	17:00	休日	
		16:30	9:00	夜間勤務	

第2類（杏林学園職員就業規則）

看護部 (就業規則第31条第3項第1号)	(A)	8:30	17:10	(A) 日勤については時差勤務を行う場合がある (1) 7:00-15:40 (2) 8:00-16:40 (3) 9:30-18:10 (4) 9:50-18:30 (5) 10:20-19:00 (6) 11:00-19:40 (7) 12:30-21:10
	(B)	16:20	1:00	(B) 準夜勤務
	(C)	0:30	9:10	(C) 深夜勤務
	(D)	8:30	21:30	(D) 日中勤務①
	(E)	9:00	22:00	(E) 日中勤務②
	(F)	20:30	9:30	(F) 夜間勤務①
	(G)	21:00	10:00	(G) 夜間勤務②
	(H)	16:20	9:10	(H) 夜間勤務③
	(I)	18:00	10:50	(I) 夜間勤務④
	(J)	7:00	10:50	(J) 午前半勤務①
	(K)	8:30	12:20	(K) 午前半勤務②
	(L)	13:20	17:10	(L) 午後半勤務
手術部 (就業規則第31条第3項第2号)	(A)	8:30	17:10	(A) は日勤
	(B)	16:20	9:10	(B) は夜間勤務
事務職員 (就業規則第31条第3項第3号)	7:00~22:00 の間に休憩時間1時間を除き、7時間15分の勤務 (始業時刻は毎時00分、15分、30分、45分のいずれか)			平 日
	7:00~22:00 の間に4時間の勤務 (始業時刻は毎時00分、15分、30分、45分のいずれか)			土 曜
救急総合診療科 勤務者 (就業規則第31条第4項)	(A)	8:00	20:00	日中勤務
	(B)	17:00	22:00	準夜勤務
	(C)	22:30	9:00	深夜勤務
	(D)	20:00	9:00	夜間勤務

杏林大学保健学部臨床心理学科 心理検査物品一覧

項目番号	心理検査項目	個数	備考
1	ロールシャッハテスト図版<スイス図版)	20	
2	整理用紙K-VIII(25名分1組)(片口式)	10	
3	記録用紙(20部)	12	
4	田中ビネー知能検査V	20	
5	記録用紙(20部)	12	
6	検査法手引き(理論編・実践編・採点編)	20	
7	実施法DVD	2	
8	MMPI性格検査(タイプA質問紙 10部)	8	
9	冊子式II型回答記録用紙(100部)	3	
10	MMPIII型採点版(基礎尺度)	10	
11	MMPIII型採点版(追加尺度)	5	
12	MMPI 臨床解釈の実際	3	
13	NEO-PI-R人格検査 大学用紙セット(20部)	4	
14	NEO-PI-R人格検査 成人用紙セット(20部)	4	
15	WISC-IV 知能検査コンプリートセット	20	
16	実施・採点マニュアル	20	
17	理論・解釈マニュアル	20	
18	記録用紙(20部)	12	
19	WAIS-III成人知能検査コンプリートセット	20	
20	検査法・手引書	20	
21	記録用紙(20部)	12	
22	コース立方体組み合わせテスト	2	
23	精研SCT文章完成法テスト(小学生用紙)	240	
24	精研SCT文章完成法テスト(中学生用紙)	240	
25	精研SCT文章完成法テスト(成人用紙)	240	
26	SCT手引書(小・中学生用)	5	
27	SCT手引書(成人用)	5	
28	SDSうつ病性評価尺度(用紙50部、手引書付)	5	
29	TATマレー版(海外版)	20	
30	PFスタディ絵画欲求不満テスト(児童用紙)(20部)	12	
31	PFスタディ絵画欲求不満テスト(青年用紙)(20部)	12	
32	PFスタディ絵画欲求不満テスト(成人用紙)(20部)	12	
33	PFスタディ絵画欲求不満テスト使用マニュアル	10	
34	箱庭療法用具メルコムメディカルサポートセット	6	

杏林大学保健学部臨床心理学科 視聴覚資料一覧

項目番号	視聴覚資料名称	数量
1	動画で学ぼう！ 発達心理学	1
2	ビジュアル臨床心理学入門（全20巻）	1
3	現代心理学シリーズ 認知心理学（全10巻）	1
4	心理臨床を学ぶ（全15巻）	1
5	精神医学を学ぶ方へ 精神疾患・障害の基礎知識（全10巻）	1
6	田中ビネー知能検査V実施ガイドDVD	1
7	A Two-Year-Old Goes to Hospital	1
8	Going to Hospital with Mother	1
9	Young Children in Brief Separation	1
10	John' in 100 British Documentaries	1

杏林大学保健学部臨床心理学科 ソフトウェア一覧

ソフトの種類	ソフトウェア名称	必要数
心理学実験ソフト	E-Prime 3.0 Network License - 50 Seat (Large Scale)	
統計ソフト	SPSS	50ライセンス
	Missing values	
	Categories	
	Forecasting	
	Custom Tables	
	Regression	
	Exact Tests	
	Conjoint	
	Advanced Statistics	
	Base	
心拍センサ	WHS-1セット	10セット
RRI解析ソフト	RRI Analyzer	1ライセンス
心拍センサ解析用PC		1台
眼球運動測定装置	プロスペクトラム600Hz	1台
眼球運動解析ソフト	トビープロラボ	1ライセンス
眼球運動解析用PC		1台
実験用ノートPC		50台

臨床心理学科の図書

No.	資料情報
1	10の図形で知る「あなた自身」 / 河野浩著. -- 大阪教育図書, 1983. 11.
2	APA論文作成マニュアル / APA(アメリカ心理学会)著 ; 江藤裕之, 前田樹海, 田中建彦訳. -- 医学書院, 2004. 7.
3	APA論文作成マニュアル / アメリカ心理学会(APA)著 ; 前田樹海, 江藤裕之, 田中建彦訳. -- 第2版. -- 医学書院, 2011.
4	Art therapy, research and evidence-based practice / Andrea Gilroy ; :pbk. -- SAGE Publications, 2006.
5	Assumptions about human nature : implications for researchers and practitioners / Lawrence S. Wrightsman. -- 2nd ed. -- Sage Publications, 1992.
6	Behavioral Sciences. ; Pretest Self-assessment and Review. / Timothy J. Teylor (Ed.). -- McGraw-Hill, 1979.
7	Behavioral sciences : PreTest self-assessment and review / edited by Evan G. Pattishall, Jr. -- : pbk. -- 7th ed. -- McGraw-Hill, Health Professions Division/PreTeat Series, c1996.
8	Behaviour Analysis and Contemporary Psychology / C. F. Lowe (Ed.). -- Lawrence Erlbaum Associates, 1985.
9	Childrens Human Figure Drawings: Development, Sex Differences and Relation to Psychological Theories. Vol. 1 / Karen Vibeke Mortensen ; Vol. 1. -- Dansk Psykologisk Forlag, 1984.
10	Childrens Human Figure Drawings: Development, Sex Differences and Relation to Psychological Theories. Vol.2 / Karen Vibeke Mortensen ; Vol.2. -- Dansk Psykologisk Forlag, 1984.
11	Comparative Studies of How People Think: an Introduction / Michael Cole. -- Harvard Univ. Press, 1981.
12	Continuity and adaptation in aging : creating positive experiences / Robert C. Atchley. -- alk. paper. -- Johns Hopkins University Press, 1999.
13	Culture's consequences : comparing values, behaviors, institutions, and organizations across nations / Geert Hofstede. -- 2nd ed. -- Sage Publications, c2001.
14	Cultures influence on behaviour / Robert Serpell. -- Methuen, 1976. -- (Essential psychology).
15	Death: the final frontier / Dale V. Hardt. -- Prentice-Hall, 1979.
16	Der Mensch; das Konflikträchtige Wesen. / Heinz-Rolf Lückert. -- Ernst Reinhardt, 1964.
17	Developmental Plasticity: Behavioral and Biological Aspects of Variations in Development / Eugene S. Gollin (Ed.). -- Academic Press, 1981. -- (Developmental Psychology Series).
18	Developmental Theory and Clinical Process / Fred Pine. -- Yale Univ. Press, 1985.
19	EQこころの知能指数 / ダニエル・ゴールマン著 ; 土屋京子訳. -- 講談社, 1996. 7.
20	Emotions, Cognition, and Behavior / Carroll E. Izard (Ed.). -- Cambridge Univ. Press, 1984.
21	Experimental methodology / Larry B. Christensen. -- 10th ed. -- Pearson A & B, 2007. -- (Pearson international edition).
22	Handbook of Research Methods in Human Memory and Cognition / C, Richard Puff. -- Academic Press, 1982. -- (Academic Press Series in Cognition and Perception).
23	Handbook of attachment : theory, research, and clinical applications / edited by Jude Cassidy, Phillip R. Shaver. -- Guilford Press, c1999.
24	Handbook of brief cognitive behaviour therapy / edited by Frank W. Bond, Windy Dryden. -- pbk. -- J. Wiley & Sons, c2002.
25	Handbook of personality : theory and research / edited by Lawrence A. Pervin, Oliver P. John. -- 2nd ed. -- Guilford Press, 1999.
26	I don't know what to say : how to help and support someone who is dying / by Robert Buckman ; with contributions by Ruth Gallop & John Martin. -- 1st U. S. ed. -- Little, Brown, c1989.

27	Individual differences: abilities and motivational directions / Leona E. Tyler. -- Prentice-Hall, 1974. -- (Century psychology series).
28	Infant perceptual and cognitive development / edited by J. Gavin Bremner and Charlie Lewis. -- Sage Publications, 2005. -- (Sage benchmarks in psychology . Developmental psychology ; 1 . Perceptual and cognitive development ; v. 2).
29	Language and Developing Child / Katrina De Hirsch. -- The Orton Dyslexia Society, 1984. -- (Monograph ; No. 4).
30	Learning and memory in normal aging / Donald H. Kausler. -- Academic Press, c1994.
31	Lectures on Conditioned Reflexes: Twenty-five Years of Objective Study of the Higher Nervous Activity(Behaviour) of Animals. / Ivan Petrovitch Pavlov ; W. Horsley Gantt (Tr.). -- M. Lawrence.
32	Life-span and change in a gerontological perspective / Joep M. A. Munnichs (ed.). -- Academic Press, 1985.
33	Life-span development / John W. Santrock. -- : pbk., : cloth. -- 5th ed.. -- WCB Brown & Benchmark Publishers, c1995.
34	Longitudinal Studies in Child Psychology and Psychiatry: Practical Lessons from Research Experience / A. R. Nicol (Ed.). -- Wiley, 1985. -- (Wiley Series on Studies in Child Psychiatry).
35	Measurement Strategies in Health Psychology / Paul Karoly (Ed.). -- Wiley, 1985. -- (Wiley Series on Health Psychology/ Behavioral Medicine).
36	Memory / edited by Elizabeth Ligon Bjork, Robert A. Bjork. -- Academic Press, c1996. -- (Handbook of perception and cognition / editors, Edward C. Carterette, Morton P. Friedman).
37	Mind : introduction to cognitive science / Paul Thagard. -- : hc, : pbk.. -- 2nd ed.. -- MIT Press, c2005. -- (Bradford book).
38	Minds, brains, and learning : understanding the psychological and educational relevance of neuroscientific research / James P. Byrnes. -- : pbk.. -- Guilford Press, c2001.
39	Motivating human behavior. -- McGraw-Hill, 1971.
40	On Death and Dying / Elisabeth Kubler-Ross. -- Macmillan Pub., 1969.
41	PTG心的外傷後成長 : ト라우マを超えて / 近藤卓編著. -- 金子書房, 2012.
42	Perceptual and cognitive development in childhood / edited by J. Gavin Bremner and Charlie Lewis. -- Sage Publications, 2005. -- (Sage benchmarks in psychology . Developmental psychology ; 1 . Perceptual and cognitive development ; v. 3).
43	Personality and disease / edited by Howard S. Friedman. -- Wiley, c1990. -- (Wiley series on health psychology/behavioral medicine).
44	Programs of the Brain / J.Z. Young. -- Oxford Univ. Pr., 1978.
45	Psychiatry and the CIA : victims of mind control / Harvey M. Weinstein. -- American Psychiatric Press, c1990.
46	Psychosexual medicine : a study of underlying themes / edited by Rosemarie Lincoln. -- 1st ed. -- Chapman & Hall, 1992. -- (Psychosexual medicine series ; 4).
47	Q&Aで知る統計データ解析 : DOs and DON'Ts / 繁樹算男, 柳井晴夫, 森敏昭編著. -- サイエンス社, 1999. -- (心理学セミナーテキストライブラリ ; 3).
48	Rethinking language, mind, and meaning / Scott Soames ; : hardcover. -- Princeton University Press, 2015. -- (Carl G. Hempel lecture series).
49	SD法によるイメージの測定 : その理解と実施の手引 / 岩下豊彦著. -- 川島書店, 1983.1.
50	Semantics and beyond : philosophical and linguistic inquiries / edited by Piotr Stalmaszczyk. -- De Gruyter, 2014. -- (Philosophische Analyse = Philosophical analysis / herausgegeben von Herbert Hochberg ... [et al.] ; Bd. 57).
51	Sexuality and mind : The role of the father and mother in the psyche / Janine Chasseguet-Smirgel. -- New York Univ. Press, 1986.
52	Social Interaction in Dividual Development / Willem Doise (Ed.). -- Cambridge Univ. Press, 1984. -- (European Studies in Social Psychology).
53	Social Perception in Infants / Tiffany M. Field (Ed.). -- Ablex Publishing Corporation, 1985.

54	The cognitive brain / Arnold Trehub. -- MIT Press, 1991.
55	The handbook of aging and cognition / edited by Fergus I.M. Craik, Timothy A. Salthouse. -- alk. paper. -- 2nd ed. -- Lawrence Erlbaum Associates, 1999.
56	The psychology of human behavior, 4th ed -- Brooks, 1976. -- 仮出版者.
57	The self illusion : how the social brain creates identity / Bruce Hood. -- Oxford University Press, 2012.
58	The anatomy of Achievement Motivation / heinz Heckhausen ; kay f. butler (tr.). -- Academic press, 1967. -- (Personality and Psychopathology ; 1).
59	Theoretical perspectives on perception and cognition / edited by J. Gavin Bremner and Charlie Lewis. -- Sage Publications, 2005. -- (Sage benchmarks in psychology . Developmental psychology ; 1 . Perceptual and cognitive development ; v. 1).
60	Theories in social psychology / [by] Morton Deutsch and Robert M. Krauss. -- Basic Books, 1965. -- (Basic topics in psychology: social psychology).
61	Time, Mind, and Behavior / John A. Michon (Ed.). -- Springer, 1985.
62	「式カップル言語連想法 : 治療的会話の継続と展開のツールとして / 十島雍蔵著. -- ナカニシヤ出版, 2010.
63	Understanding behaviorism : behavior, culture, and evolution / William M. Baum. -- : pbk. -- 2nd ed. -- Blackwell Pub., 2005.
64	Young Children Learning / Barbara Tizard. -- Harvard Univ. Press, 1984.
65	「あっ、忘れてた」はなぜ起こる : 心理学と脳科学からせまる / 梅田聡著. -- 岩波書店, 2007. -- (岩波科学ライブラリー ; 133).
66	「こころ」で視る・知る・理解する : 認知心理学入門 / 小谷津孝明著. -- 左右社, 2011. -- (放送大学叢書 ; 017).
67	「わざ」から知る / 生田久美子著 ; 佐伯胖補稿. -- 東京大学出版会, 1987. 9. -- (認知科学選書 ; 14).
68	「困った人たち」の心理分析(ファイル) : 傍迷惑な言動にはこんな性格があった! / 伊藤友八郎著. -- オーエス出版, 2002. 9.
69	「心理テスト」はウソでした。 : 受けたみんなが馬鹿を見た / 村上宣寛著. -- 日経BP社.
70	「渦中」の心理学へ : 往復書簡心理学を語りなおす / 浜田寿美男, 伊藤哲司著. -- 新曜社, 2010.
71	「甘え」とスピリチュアリティ : 土居健郎、フロイト、空海、そして「私」 / 熊倉伸宏著. -- 新興医学出版社, 2009.
72	「甘え」と依存 : 精神分析的・人類学的研究 / フランク A. ジョンソン著 ; 江口重幸, 五木田紳共訳. -- 弘文堂, 1997. 2.
73	「甘え」の周辺 / 土居健郎著. -- 弘文堂, 1987.
74	「甘え」の思想 / 土居健郎著. -- 弘文堂, 1995. 2.
75	「甘え」の構造 / 土居健郎. -- 2版. -- 弘文堂, 1985.
76	「甘え」の構造 / 土居健郎. -- 弘文堂, 1980. -- (弘文堂選書).
77	「甘え」の構造 / 土居健郎. -- 弘文堂, 1983.
78	「甘え」の構造 / 土居健郎著. -- 増補普及版. -- 弘文堂, 2007.
79	「甘え」理論と精神分析療法 / 土居健郎著. -- 金剛出版, 1997. 6.
80	「認識」のかたち : 自分を知るための心理学 / 西川泰夫著. -- 誠信書房, 1988.
81	あなたの天職がわかる16の性格 / ポール・D. ティーガー, パーバラ・バロン著 ; 栗木さつき訳. -- 主婦の友社, 2008.
82	いままで気づかなかった自分がわかる心理学練習帳 : 自分がわかると人生はもっと楽になる / 本明寛監修. -- 東京書籍, 2002. 12.
83	いままで解らなかつた相手がわかる心理学練習帳 : 相手がわかると人間関係はもっと楽になる / 匠英一監修. -- 東京書籍, 2003. 12.
84	おとぎ話の心理学 / Marie L. Von Franz ; 氏原寛訳. -- 創元社, 1980. -- (ユング心理学選書 ; 1).
85	おのれに背くもの 上 / Karl A. Menninger ; 草野栄三良訳. -- 上. -- 日本教文社, 1981.
86	おのれに背くもの 下 / Karl A. Menninger ; 草野栄三良. -- 下. -- 日本教文社, 1981.
87	からだ : 認識の原点 / 佐々木正人著 ; 竹内敏晴, 佐伯胖対談. -- 東京大学出版会, 1987. 11. -- (認知科学選書 ; 15).
88	ここまで来た「あの世」の科学 : 魂、輪廻転生、宇宙のしくみを解明する / 天外伺朗著. -- 祥伝社, 1994. 9. -- (ノン・ブック).

89	こころの世界 -図説心理学入門- / 岡本栄一. -- 新曜社, 1983.
90	こころの性愛状態 / ドナルド・メルツァー著. -- 金剛出版, 2012.
91	こころの日曜日 : 45人のカウンセラーが語る心と気持ちのほぐし方 / 菅野泰蔵編. -- [1], 2. -- 法研, 1994.1-1994.9.
92	こころの発達をはぐくむ / 教育と医学の会編. -- 慶應義塾大学出版会, 2002. -- (現代人の心の支援シリーズ / 教育と医学の会編 ; 1. 乳幼児期).
93	こころの行動学 / 米川文雄編著. -- ソフィア, 1996.4.
94	こころを支える臨床心理学と発達教育 / 鎌倉利光著. -- 改訂版. -- 北樹出版, 2011.
95	ことばからみた心 : 生成文法と認知科学 / 大津由紀雄編. -- 東京大学出版会, 1987.8. -- (認知科学選書 / 戸田正直 [ほか] 編集 ; 13).
96	ことばと知に基づいた臨床実践 : ラカン派精神分析の展望 / 河野一紀著. -- 創元社, 2014.
97	この世とあの世のイメージ : 描画のフォーク心理学 / やまだようこ編 ; やまだようこ [ほか] 著. -- 新曜社, 2010.
98	これからの心の援助 : 役に立つカウンセリングの基礎と技法 / 川瀬正裕, 松本真理子, 川瀬三弥子著. -- ナカニシヤ出版, 2001.
99	しぐさと表情の心理分析 / 工藤力著. -- 福村出版, 1999.10.
100	その応用 : 豊かな社会活動を支えるために / 河野義章編著. -- 川島書店, 2011. -- (心理学 / 河野義章編著 ; 2).
101	つい、怒ってしまう人の心理学 : 「怒りの習慣」に振りまわされない法 / カール・セメルローズ, ドナルド・スミス著 ; 和田秀樹監訳・解説 ; 新里聡訳. -- ダイヤモンド社, 2005.10.
102	なぜ人は書くのか / 茂呂雄二著 ; 汐見稔幸補稿. -- 東京大学出版会, 1988.1. -- (認知科学選書 / 戸田正直 [ほか] 編集 ; 16).
103	なぜ本番でしくじるのか : プレッシャーに強い人と弱い人 / シアン・バイロック著 ; 東郷えりか訳. -- 河出書房新社, 2011.
104	はじめて出会う心理学 / 長谷川寿一 [ほか] 著. -- 有斐閣, 2000. -- (有斐閣アルマ ; Interest).
105	もっと自分のこと知りたい : 性格診断テスト / G・ダビデ研究所著. -- マガジンハウス, 1994.10.
106	ものぐさ精神分析 / 岸田秀. -- 青土社, 1977.
107	もの忘れと記憶の記号論 / 有馬道子著. -- 岩波書店, 2012.
108	やさしいアイデアの考え方まとめ方 / 村井美月著 ; 新装版. -- 自由国民社, 2010.
109	やさしく学ぶ発達心理学 : 出逢いと別れの心理学 / 浜崎隆司, 田村隆宏編著. -- ナカニシヤ出版, 2011.
110	やる気の秘密 / 上大岡トメ, 池谷裕二著. -- 幻冬舎, 2008. -- (のうだま / 上大岡トメ, 池谷裕二著).
111	やる気はどこから来るのか : 意欲の心理学理論 / 奈須正裕著. -- 北大路書房, 2002. -- (心理学ジュニアライブラリ ; 03).
112	よくわかる心理学 / 無藤隆 [ほか] 編. -- ミネルヴァ書房, 2009. -- (やわらかアカデミズム・「わかる」シリーズ).
113	よくわかる発達心理学 / 無藤隆, 岡本祐子, 大坪治彦編. -- 第2版. -- ミネルヴァ書房, 2009. -- (やわらかアカデミズム・「わかる」シリーズ).
114	わかりやすさとコミュニケーションの心理学 / 海保博之編. -- 朝倉書店, 2010. -- (朝倉実践心理学講座 / 海保博之監修 ; 5).
115	アイデンティティ : 青年と危機 / E.H. エリクソン著 ; 岩瀬庸理訳. -- 改訂. -- 金沢文庫, 1982.11.
116	アイデンティティとライフサイクル = Identity and the life cycle / エリク・H・エリクソン著 ; 西平直, 中島由恵訳. -- 誠信書房, 2011.
117	アイデンティティの心理学 / 遠藤辰雄. -- ナカニシヤ出版, 1983.
118	アイデンティティの心理学 / 遠藤辰雄編. -- ナカニシヤ出版, 1981.6.
119	アイデンティティ研究の展望 / 鑪幹八郎, 山本力, 宮下一博, 岡本祐子共編. -- 1950-1981年 - 5-2. -- ナカニシヤ出版, 1995.3-.
120	アタッチメントの実践と応用 : 医療・福祉・教育・司法現場からの報告 / 数井みゆき編著. -- 誠信書房, 2012.
121	アダム・コンプレックス : 自己発見のための男性心理学 / ヴォルフガング・E・レーマン著 ; 新田健一訳. -- 勁草書房, 1995.6.
122	アダルト・チャイルドが自分と向きあう本 / アスク・ヒューマン・ケア研修相談室編. -- アスク・ヒューマン・ケア, 1997.3.

123	アドラー100の言葉：なりたい自分になるための心得 / 和田秀樹監修. -- 宝島社, 2016.
124	アメリカの学校文化日本の学校文化：学びのコミュニティの創造 / 臼井博著. -- 金子書房, 2001. 6. -- (認識と文化 / 田島信元, 無藤隆編集 ; 9).
125	アメリカ心理学史 / Hilgard. E. R. ; 成瀬悟策監訳. -- 誠信書房, 1983.
126	アメリカ心理学史上 / A. A. Roback ; 堀川直義訳. -- 上. -- 法政大学出版局, 1956.
127	アメリカ心理学史下 / Roback. A. A. ; 堀川直義訳. -- 下. -- 法政大学出版局, 1956.
128	アルコール依存症は治らない「治らない」の意味 / なだいなだ, 吉岡隆著. -- 中央法規出版, 2013.
129	アルフレッド・アドラー人生に革命が起きる100の言葉 / アルフレッド・アドラー [述] ; 小倉広解説. -- ダイアモンド社, 2014.
130	アンガーマネジメント11の方法：怒りを上手に解消しよう / ロナルド T. ポッターエフロン, パトリシア S. ポッターエフロン著 ; 藤野京子監訳. -- 金剛出版, 2016.
131	アンナ・フロント著作集 2 / 牧田清志監修. -- 2. -- 岩崎学術出版社, 1982.
132	イェール学派の学習理論：ワグナ・レスコラ論文集 / 富田達彦編訳. -- 早稲田大学出版部, 1980.
133	イメージと認知, 2001. -- (認知科学の新展開 4).
134	イメージの誕生 -0歳からの行動観察- / 中沢和子. -- 日本放送出版協会, 1983.
135	イメージ療法 -催眠シンポジウムX- / 成瀬悟策編. -- 誠信書房, 1980.
136	イヤなら態度で示そうよ / ハーバート・フェンスターヘイン, ジーン・ベア共著 ; 宮田貴子訳. -- 翔泳社, 2002. 10.
137	エゴグラム：ひと目でわかる性格の自己診断 / John M. Dusay 著 ; 池見西次郎監修 ; 新里里春訳. -- 創元社, 1980.
138	エゴグラム実践マニュアル：自己成長エゴグラム (SGE) と対処行動エゴグラム (CB-E) / 芦原睦編著. -- チーム医療, 2006.
139	エドガー・ケイシーの死海写本：リーディングの実証 / グレン・D・キトラ著 ; ヒュー・リン・ケイシー編 ; 大西正幸監訳. -- たま出版, 1985.
140	エビデンスにもとづくカウンセリング効果の研究：クライアントにとって何が最も役に立つのか / ミック・クーパー著 ; 田代千夏 [ほか] 訳. -- 岩崎学術出版社, 2012.
141	エリクソンの人間学 / 西平直著. -- 東京大学出版会, 1993. 6.
142	エリクソンの研究 上 -- ペリかん社. -- 仮出版者.
143	エリクソンは語る：アイデンティティの心理学 / R. I. エヴァンズ著 ; 岡堂哲雄, 中園正身訳. -- 新曜社, 1981. 4.
144	エリック・H・エリクソンの研究 下 / Robert Coles ; 鑪幹八郎監訳. -- 下. -- ペリかん社, 1980.
145	エンカウンター・グループ：人間信頼の原点を求めて / カール・ロジャーズ著 ; 畠瀬稔, 畠瀬直子訳. -- ダイアモンド社, 1973. 9.
146	エンカウンター：心とこころのふれあい / 國分康孝著. -- 16刷. -- 誠信書房, 1994. 6.
147	オルポートとの対話 / リチャード・I・エヴァンズ [著] ; 宇津木保 [ほか] 訳. -- 誠信書房, 1974. 9.
148	オルポートパーソナリティの心理学 -- 有斐閣. -- 仮出版者.
149	カウンセリングと精神分析 / 國分康孝. -- 誠信書房, 1982.
150	カウンセラー、心理療法家のためのスピリチュアル・カウンセリング入門 / 諸富祥彦著 ; 上：理論編, 下：方法編. -- 誠信書房, 2012.
151	カウンセラーのための6章：カウンセリング・マインドの展開 / 國分康孝著. -- 誠信書房, 1991. 10.
152	カウンセリングとは何か / 池田久剛著 ; 理論編, 実践編. -- ナカニシヤ出版, 2003.
153	カウンセリングの実際問題 / 河合隼雄著. -- 誠信書房, 1970. 8.
154	カウンセリングの技法 / 國分康孝著. -- 誠信書房, 1979.
155	カウンセリングの条件：クライアント中心療法の立場から / 岡村達也著. -- 日本評論社, 2007.
156	カウンセリングを語る / 河合隼雄著 ; 上, 下. -- 創元社, 1985.
157	カウンセリング心理学ハンドブック / 榎木満生, 田上不二夫編 ; 上巻, 下巻. -- 金子書房, 2011.
158	カール・ロジャーズ入門：自分が“自分”になるということ / 諸富祥彦著. -- コスモス・ライブラリー, 1997.
159	クライン派による現代のこどもへのアプローチ / 木部則雄著. -- 岩崎学術出版社, 2012. -- (こどもの精神分析 ; 2).

160	クリティカルシンキング：あなたの思考をガイドする40の原則 / E. B. ゼックミスタ, J. E. ジョンソン著；宮元博章[ほか]訳。-- 入門篇, 実践篇。-- 北大路書房, 1996. 9-1997. 9.
161	グラフィック認知心理学 / 森敏昭, 井上毅, 松井孝雄共著。-- サイエンス社, 1995. 9. -- (Graphic text book).
162	グレート・マザーと日本の母性 -女性心の謎- / 三木アヤ。-- 太陽出版, 1983.
163	ケアと対人援助に活かす瞑想療法 / 大下大圓著。-- 医学書院, 2010.
164	ケースに学ぶ心理学：交流分析のサイコセラピー / 島田涼子著。-- 新興医学出版社, 2016.
165	ゲシュタルト心理学 / DavidKatz；武政太郎訳。-- 新書館, 1968.
166	ゲシュタルト心理学の立場-體制的全體の事理- / 佐久間鼎。-- 内田老鶴圃, 1943. -- (ゲシュタルトの問題と学説；第1輯).
167	ゲシュタルト心理学入門 / W. Kohler；田中良久訳。-- 東京大学出版会, 1980. -- (UP選書；76).
168	ゲゼル心理学シリーズ 1. -- 1. -- 家政教育社, 1978.
169	ゲゼル心理学シリーズ 2. -- 2. -- 家政教育社, 1979.
170	コミュニケーティング：子どもとサイコドラマ / 北原歌子著。-- 誠信書房, 1983. 10.
171	コミュニケーションと思考 / 波多野誼余夫 [ほか著]。-- 岩波書店, 2001. 6. -- (認知科学の新展開 / 乾敏郎, 安西祐一郎編；2).
172	コミュニティ心理学 / J・A・スキレピ, E・L・ティード, R・D・トレス共著；植村勝彦訳。-- ミネルヴァ書房, 2005. 4.
173	コラージュ療法実践の手引き：その起源からアセスメントまで / 森谷寛之著。-- 金剛出版, 2012.
174	コンセンサスロールシャッハ法：青年期の心理臨床実践にいかす家族関係理解 / 高橋靖恵著。-- 金子書房, 2012.
175	コンピテンシーとチーム・マネジメントの心理学 / 山口裕幸編。-- 朝倉書店, 2009. -- (朝倉実践心理学講座 / 海保博之監修；6).
176	コンピテンス：個人の発達とよりよい社会形成のために / 陳惠貞 [ほか] 編。-- ナカニシヤ出版, 2012.
177	コンピュータのパターン認識 / 長尾真著。-- 東京大学出版会, 1985. 12. -- (認知科学選書 / 戸田正直 [ほか] 編集；3).
178	コーレイ教授の統合的カウンセリングの技術：理論と実践 / ジェラルド・コーレイ著；山添正監訳。-- 第2版。-- 金子書房, 2011.
179	サイバネーション療法 -心身医害への新しい道- / 石川中。-- 時事通信社, 1982.
180	ザ・マインドマップ：脳の無限の可能性を引き出す技術 / トニー・ブザン, バリー・ブザン著；近田美季子訳。-- 新版。-- ダイアモンド社, 2013.
181	シンボルの形成 言葉と表現への有機-発達論的アプローチ / HeinzWernar；柿崎裕一監訳。-- ミネルヴァ書房, 1977.
182	ジェンダー心理学 / 福富護編。-- 朝倉書店, 2006. -- (朝倉心理学講座 / 海保博之監修；14).
183	ジンバルド-現代心理学/現代心理学 1 / PhilipZimbardo；古畑和孝監訳。-- 1. -- 10版。-- サイエンス, 1983.
184	ジンバルド-現代心理学/現代心理学 2 / PhilipZimbardo；古畑和孝監訳。-- 2. -- 10版。-- サイエンス, 1983.
185	ジンバルド-現代心理学/現代心理学 3 / PhilipGZimbardo；古畑和孝監訳。-- 3. -- 10版。-- サイエンス社, 1983.
186	スタンダード 恋愛論 / Stendhal；生島遼一訳。-- 人文書院, 1974.
187	スタンフォードの脳外科医が教わった人生の扉を開く最強のマジック / ジェームズ・ドゥティ著；関美和訳。-- プレジデント社, 2016.
188	スタンフォード大学マインドフルネス教室 / スティーヴン・マーフィ重松著；坂井純子訳。-- 講談社, 2016.
189	スタートライン臨床心理学 / 馬場謙一編集。-- 弘文堂, 2004.
190	ストループ効果：認知心理学からのアプローチ / 嶋田博行著。-- 培風館, 1994. 11.
191	ストレスの心理学：認知的評価と対処の研究 / リチャード・S. ラザルス, スーザン・フォルクマン著；本明寛[ほか]監訳。-- 実務教育出版, 1991. 11.
192	スポーツの心理学 / 末利博, 鷹野健次, 柏原健三編。-- 福村出版, 1988. 11. -- (応用心理学講座 / 三隅二不二 [ほか] 編集；8).
193	セラピストと患者のための実践的精神分析入門 / オーウェン・レニック著；妙木浩之監訳；小此木加江訳。-- 金剛出版, 2007.

194	セラピスト誕生：面接上手になる方法 / 東豊著. -- 日本評論社, 2010.
195	ゼロからはじめる心理学・入門：人の心を知る科学 / 金沢創, 市川寛子, 作田由衣子著. -- 有斐閣, 2015. -- (有斐閣ストウディア).
196	タイプ論 / C.G.ユング[著]; 林道義訳. -- みすず書房, 1987. 5.
197	タビストック 子どもの発達と心理/子どもの発達と心理 / DilysDaws; 繁多進訳. -- あすなる書房, 1983.
198	タビストック 子どもの発達と心理/子どもの発達と心理 / DinaRosenbluth; 繁多進訳. -- あすなる書房, 1982.
199	タビストック 子どもの発達と心理/子どもの発達と心理 / ElsieOsbrone; 繁多進訳. -- あすなる書房, 1982.
200	チビクロころろ：中学生高校生のための心理学入門 / 森まりも著. -- 北大路書房, 1999. 4.
201	チンパンジーから見た世界 / 松沢哲郎著; 波多野誼余夫 [道案内]. -- 東京大学出版会, 1991. 7. -- (認知科学選書 / 戸田正直 [ほか] 編集; 23).
202	テストと測定 / LeonaETyler; 高田洋一郎訳. -- 原書3版. -- 岩波書店, 1980. -- (新訂 現代心理学入門).
203	テストと診断 / 笠原嘉[ほか]著. -- みすず書房, 1990. 4. -- (異常心理学講座 / 土居健郎[ほか]責任編集; 8).
204	データ分析法要説：分散分析法を中心に / 小牧純爾著. -- ナカニシヤ出版, 1995.
205	トラウマと身体：センサリーモーター・サイコセラピー(SP)の理論と実践：マインドフルネスにもとづくトラウマセラピー / パット・オグデン, ケクニ・ミントン, クレア・ペイン著; 日本ハコミ研究所訳. -- 星和書店, 2012.
206	トラウマを理解する：対象関係論に基づく臨床アプローチ / キャロライン・ガーランド編; 田中健夫, 梅本園乃訳. -- 岩崎学術出版社, 2011.
207	ナラティヴ・セラピー入門 / 高橋規子, 吉川悟著. -- 金剛出版, 2001. 11.
208	ナースのための臨床社会心理学：看護場面の人間関係のすべて / C. アブラハム, E. シャンリイ著; 細江達郎監訳. -- 北大路書房, 2001. 9.
209	ノストラダムス：予言の真実 / エルヴェ・ドレヴィヨン, ピエール・ラグランジュ著; 後藤淳一訳. -- 創元社, 2004. 9. -- (「知の再発見」双書; 118).
210	パーソナリティ-心理学的解釈- / G. WALLport; 詫摩敏俊訳. -- 新曜社, 1982.
211	パーソナリティ / RichardS. Lazarus; 帆足喜与子訳. -- 岩波書店, 1981. -- (新訂現代心理学入門).
212	パーソナリティ / RichardSLazarus; 帆足喜与子訳. -- 原書3版. -- 岩波書店, 1981. -- (新訂 現代心理学入門).
213	パーソナリティ / 小川捷之, 詫摩武俊, 三好暁光編. -- 金子書房, 1990. 4. -- (臨床心理学大系 / 河合隼雄 [ほか] 企画委員; 第2巻).
214	パーソナリティ / 水島恵一. -- 有斐閣, 1980.
215	パーソナリティ 心理学的解釈 / Gordon, WillardAllport; 詫摩武俊訳. -- 新曜社, 1982.
216	パーソナリティの力学説 / K. Lewin; 相良守次訳. -- 岩波書店, 1963.
217	パーソナリティ心理学概論：性格理解への扉 / 鈴木公啓編. -- ナカニシヤ出版, 2012.
218	パーソナリティ発達論：生涯発達と心の危機管理 / 岡堂哲雄編. -- 金子書房, 2000. 3. -- (ナースのための心理学; 3).
219	パーソンセンタード・アプローチの挑戦：現代を生きるエンカウンターの実践 / 伊藤義美, 高松里, 村久保雅孝編. -- 創元社, 2011.
220	ヒトはいかにして知恵者(サピエンス)となったのか：思考の進化論 / ペーテル・ヤーデンフォッシュ著; 井上逸兵訳. -- 研究社, 2005.
221	ヒトはなぜほほえむのか：進化と発達にさぐる微笑の起源 / 川上清文, 高井清子, 川上文人著. -- 新曜社, 2012.
222	ヒューマニスティック心理学入門：マズローとロジャーズ / ロイ・J・デカーヴァロー著; 伊東博訳. -- 新水社, 1994. 9.
223	ビジュアル・イリュージョン：芸術と心理学の融合 / ニコラス・ウェイド著; 近藤倫明[ほか]訳. -- 誠信書房, 1989. 7.
224	ピアジェとの対話 / RichardI. Evans; 宇津木保訳. -- 誠信書房, 1980.
225	ピアジェの発生的心理学 / 大浜幾久子編; 波多野完治監修. -- 国土社, 1982. 3. -- (ピアジェ双書; 第1巻).
226	ピアジェの発生的認識論 / 中垣啓[ほか]著; 中垣啓編; 波多野完治監修. -- 国土社, 1984. 1. -- (ピアジェ双書; 第4巻).

227	ピアジェの発達心理学 / 波多野完治編. -- 国土社, 1982.
228	ピアジェの認識心理学 / 波多野完治編. -- 14版. -- 国土社, 1981.
229	ピアジェ入門 / 波多野完治著. -- 国土社, 1986.12. -- (国土社の教育選書 ; 9).
230	ピアジェ晩年に語る / J=C.ブランギエ[著] ; 大浜幾久子訳. -- 国土社, 1985.9.
231	ピアジェの発生的心理学 / 波多野完治監修 ; 大浜幾久子編. -- 国土社, 1982.
232	ピアジェの発達心理学 / 波多野完治編. -- 国土社, 1981.
233	ピアジェ晩年の思想 / 三島唯義. -- 行路社, 1981.
234	ピアジェ派心理学の発展 1. -- 1. -- 国土社, 1982.
235	ピアジェ派心理学の発展 2. -- 2. -- 国土社, 1982.
236	ピアジェ理論と自我心理学 / 波多野完治監修 ; 高橋恵子編. -- 国土社, 1983.
237	フロイト : 無意識の扉を開く / ピエール・ババン著 ; 小林修訳. -- 創元社, 1992.11. -- (「知の再発見」双書 ; 24).
238	フロイト&ラカン事典 / P. コフマン編 ; 佐々木孝次監訳. -- 弘文堂, 1997.11.
239	フロイト-その自我の軌跡 / 小比木啓吾. -- 日本放送出版協会, 1976. -- (NHKブックス ; 179).
240	フロイトとヘーゲル : 性の思想史 / 中本征利著. -- 勁草出版サービスセンター.
241	フロイトとユング 上 / R. S. Steele ; 久保博訳. -- 上. -- 紀伊国屋書店, 1986.
242	フロイトを読む -解釈試論- / Paul Ricoeur ; 久米博訳. -- 新曜社, 1982.
243	フロイトを読む : 年代順に紐解くフロイト著作 / ジャン-ミシェル・キノドス著. -- 岩崎学術出版社, 2013.
244	フロイトを超えて / Erich Fromm ; 佐野哲郎訳. -- 紀伊国屋書店, 1980.
245	フロイトからラカンへ / A. Hesnard ; 影山任佐訳. -- 金剛出版, 1983.
246	フロイト選集 1. -- 1. -- 改訂版. -- 日本教文社, 1969.6.
247	フロイト選集 12. -- 12. -- 改訂版. -- 日本教文社, 1970.1.
248	フロイト選集 14. -- 14. -- 改訂版. -- 日本教文社, 1974.
249	フロイト選集 2. -- 2. -- 改訂版. -- 日本教文社, 1970.5.
250	フロイト選集 第10巻. -- 第10巻. -- 改訂版. -- 日本教文社, 1974.
251	フロイト選集 第11. -- 第11. -- 改訂版. -- 日本教文社, 1969.9.
252	フロイト選集 第13巻. -- 第13巻. -- 改訂版. -- 日本教文社, 1974.
253	フロイト選集 第15. -- 第15. -- 改訂版. -- 日本教文社, 1974.
254	フロイト選集 第16巻. -- 第16巻. -- 改訂版. -- 日本教文社, 1974.
255	フロイト選集 第17. -- 第17. -- 改訂版. -- 日本教文社, 1974.
256	フロイト選集 第3巻. -- 第3巻. -- 改訂版. -- 日本教文社, 1969.6.
257	フロイト選集 第4巻. -- 第4巻. -- 改訂版. -- 日本教文社, 1970.5.
258	フロイト選集 第6巻. -- 第6巻. -- 改訂版. -- 日本教文社, 1970.1.
259	フロイト選集 第7巻. -- 第7巻. -- 改訂版. -- 日本教文社, 1970.6.
260	フロイト選集 第8巻. -- 第8巻. -- 改訂版. -- 日本教文社, 1974.
261	フロイト選集 第9巻. -- 第9巻. -- 改訂版. -- 日本教文社, 1974.
262	フロムの人間観と倫理思想 -心理学と倫理学との統合をめざして- / 小川芳男. -- 北樹出版, 1982.
263	フロー体験入門 : 楽しみと創造の心理学 / M. テクセントミハイ著. -- 世界思想社, 2010.
264	ブックガイド「心の科学」を読む / 岩波書店編集部編. -- 岩波書店, 2005.5. -- (岩波科学ライブラリー ; 105).
265	ブリーフセラピー : 「問題と解決」の理論とコンサルテーション / 青木みのり著. -- ナカニシヤ出版, 2014.
266	ブリーフセラピー入門 / 宮田敬一編. -- 金剛出版, 1994.7.
267	ブリーフセラピー講義 : 太陽の法則が照らすクライアントの「輝く側面」 / 若島孔文著. -- 金剛出版, 2011.
268	ブレイクダウン(ある心理学者の入院体験) -心理療法はこれでいいのか- / Stuart Sutherland ; 鑪幹八郎澄別ニ棒ニ. -- 北大路書房, 1981.
269	ブローケン・タブー -親子相愛の家族病理- / Blain Justice ; 山田和夫訳. -- 新泉社, 1980.
270	プランと行動の構造 / George A Miller ; 十島雍蔵訳. -- 誠信書房, 1980.
271	ヘルスケア・ワーカーのためのこころのエネルギーを高める対人関係情動論 : “わかる”から“できる”へ / 五十嵐透子著. -- 医歯薬出版, 2007.
272	ベーシック心理学 / 二宮克美[ほか]著. -- 医歯薬出版, 2008.
273	ホーンブック心理学 / 大山正編著. -- 北樹出版, 1990.

274	ボディ・イメージ -心の目でみるからだと脳- / WarrenGorman ; 村山久美子訳. -- 誠信書房, 1981.
275	ボディコード -からだの表情- / WarrenLamb ; 小津次郎訳. -- 紀伊國屋書店, 1982.
276	マイヤーズ心理学 : カラー版 / デーヴィッド・マイヤーズ著 ; 村上郁也訳. -- 西村書店東京出版編集部, 2015.
277	マインズ・アイ : コンピュータ時代の「心」と「私」 / D・R・ホフスタッター, D・C・デネット編著 ; 坂本百大監訳. -- 上: 新装版, 下: 新装版. -- TBSブリタニカ, 1992. 10.
278	マインドフルネス認知療法入門 : 30のキーポイントで学ぶ : 理論と実践 / レベッカ・クレーン著 ; 家接哲次訳. -- 創元社, 2010.
279	マズローの心理学 / FrankG.Goble ; 小口忠彦監訳. -- 20版. -- 産業能率大学出版部, 1985.
280	マズローの心理学 / FrankG.Goble ; 小口忠彦監訳. -- 産業能率大学出版部, 1980.
281	マズローの心理学 / フランク・ゴープル著 ; 小口忠彦監訳. -- 産能大学出版部, 1972.
282	マネジャーのための交渉の認知心理学 : 戦略的思考の処方箋 / マックス H. ベイザーマン, マーガレット A. ニール著 ; 奥村哲史訳. -- 白桃書房, 1997. 1.
283	マンウォッチング -人間の行動学 - / DesmondMorris ; 藤田統. -- 小学館, 1984.
284	マンウォッチング -人間の行動学- / DesmondMorris ; 藤田統訳. -- 小学館, 1983.
285	マンウォッチング : 人間の行動学 / DesmondMorris著 ; 藤田統訳. -- 小学館, 1980.
286	マーケティングと広告の心理学 / 杉本徹雄編. -- 朝倉書店, 2013. -- (朝倉実践心理学講座 / 海保博之監修 ; 2).
287	ミュンヘンのアドレリアン : アドラー心理学の世界 / 中河原通夫著. -- 星和書店, 1990. 3.
288	メタ認知療法 : うつと不安の新しいケースフォーミュレーション / エイドリアン・ウェルズ著. -- 日本評論社, 2012.
289	メルヘンと女性心理 / M.-L. フォン・フランツ著 ; 秋山さと子, 野村美紀子訳. -- 海鳴社, 1979. 1.
290	ユングと東洋 / 湯浅泰雄著. -- 上, 下. -- 人文書院, 1989. 6-1989. 8.
291	ユングの人間論 / CarlGustavJung ; 秋山さと子訳. -- 思索社, 1980.
292	ユング心理学の展開 / 河合隼雄著. -- 岩波書店, 1994. 5. -- (河合隼雄著作集 / 河合隼雄著 ; 第2巻).
293	ユング心理学の応用 / 林道義編. -- みすず書房, 1988. 8.
294	ユング心理学の方法 / 林道義 [著]. -- みすず書房, 1987. 10.
295	ユング心理学入門 / 河合隼雄著. -- 培風館, 1980.
296	ユング心理学入門 / 河合隼雄著. -- 岩波書店, 1994. 7. -- (河合隼雄著作集 / 河合隼雄著 ; 第1巻).
297	ユング自伝 : 思い出・夢・思想 / C.G. ユング著 ; ヤッフエ編 ; 河合隼雄, 藤縄昭, 出井淑子訳. -- 1, 2. -- みすず書房, 1972-1973.
298	ライフサイクル / 小川捷之, 齋藤久美子, 鑪幹八郎編. -- 金子書房, 1990. 5. -- (臨床心理学大系 / 河合隼雄 [ほか] 企画委員 ; 第3巻).
299	ライフサイクル, その完結 / E.H. エリクソン [著] ; 村瀬孝雄, 近藤邦夫訳. -- みすず書房, 1989. 5.
300	ラカン -象徴的なものと想像的なもの- / Jean-MichelPalmier ; 岸田秀訳. -- 青土社, 1981.
301	ラカンはこう読め! / スラヴォイ・ジジェク著 ; 鈴木晶訳. -- 紀伊國屋書店, 2008.
302	リジリエンス : 喪失と悲嘆についての新たな視点 / ジョージ・A・ボナーノ著 ; 高橋祥友監訳. -- 金剛出版, 2013.
303	ルリヤ現代の心理学/現代の心理学 上 / ルリヤ.アレクサンドル ; 天野清訳 ; 上, 下. -- 文一総合出版, 1980.
304	ロジャーズクライエント中心療法 / 佐治守夫編. -- 有斐閣, 1983.
305	ロールシャッハ法を学ぶ / 秋谷たつ子監修. -- 金剛出版, 1988.
306	ロールプレイングを通じて高める他者理解 : マインドリーディングの心理学 / 古見文一著. -- ナカニシヤ出版, 2016.
307	ワーキングメモリ : 思考と行為の心理学的基盤 / アラン・バドリー著 ; 井関龍太, 齊藤智, 川崎恵理子訳. -- 誠信書房, 2012.
308	ワークブック カウンセリングを学ぶ / 齊藤敦子著. -- 医学書院, 1995. 10.
309	ヴィゴツキー心理学 : 完全読本 : 「最近接発達の領域」と「内言」の概念を読み解く / 中村和夫著. -- 新読書社, 2004. 12.

310	一般心理学の基礎 / エス・エリ・ルビンシュテイン[著] ; 吉田章宏[ほか]訳. -- 1 - 4. -- 明治図書出版, 1982-1986. -- (海外名著選 ; 101-104).
311	上手な怒り方 / 佐藤綾子.
312	不安と祈りの心理 / 村松常雄. -- 講談社, 1980.
313	不安の人間学 / RolloMay ; 小野泰博. -- 誠信書房, 1980.
314	不安の心理学 / EugeneE.Levitt ; 西川好夫訳. -- 法政大学出版局, 1976.
315	不安の心理学 / EugeneE.Levitt ; 西川好夫訳. -- 法政大学出版局, 1969.
316	世界一わかりやすい人間まるわかり心理学講座 / ジョニー・E. ジョンストン著 ; 登内温子訳. -- 綜合法令出版, 2003. 10.
317	中国占星術の世界 / 橋本敬造著. -- 東方書店, 1993. 2. -- (東方選書 ; 22).
318	乳幼児・児童の心理臨床 / 山口義枝編著. -- 新訂. -- 放送大学教育振興会, 2011. -- (放送大学教材 ; 1528815-1-1111).
319	二つのところと一つの世界 : 心理学と脳科学の新たな視角 / 坂野登著. -- 新曜社, 2012.
320	人が学ぶということ : 認知学習論からの視点 / 今井むつみ, 野島久雄著. -- 北樹出版, 2003. 4.
321	人を伸ばす力 : 内発と自律のすすめ / エドワード・L・デシ, リチャード・フラスト著. -- 新曜社, 1999. 6.
322	人格 / 佐治守夫編. -- 東京大学出版会, 1970. -- (講座心理学 ; 10).
323	人格の理解 / 安香宏[ほか]編. -- 1, 2. -- 金子書房, 1991. 3-1992. 4. -- (臨床心理学大系 / 河合隼雄[ほか]企画委員 ; 第5巻-第6巻).
324	人格心理学 / 大山泰宏著. -- 新版. -- 放送大学教育振興会, 2009. -- (放送大学教材 ; 1113003-1-0911).
325	人格心理学 上 / G.W.Allport ; 今田恵監訳. -- 上. -- 誠信書房, 1979.
326	人格心理学 下 / G.W.Allport ; 今田恵監訳. -- 下. -- 誠信書房, 1979.
327	人物画への性格投影 / KarenMachover ; 深田尚彦訳. -- 黎明書房, 1983.
328	人生が大きく変わるアドラー心理学入門 / 岩井俊憲著. -- かんき出版, 2014.
329	人間、この共謀するもの : 人間の社会的行動 / N. コールダー[著] ; 田中淳訳. -- みすず書房, 1980. 6. -- (BBC科学シリーズ ; 3).
330	人間が死ぬとき-人々は何を見たか : 臨床例の総計的分析 / KarlisOsis ; 笠原敏雄訳. -- たま出版, 1982.
331	人間と社会のつながりをとらえる「対人関係・価値観」 / 吉田富二雄編. -- サイエンス社, 2001. 6. -- (心理測定尺度集 ; 2).
332	人間のこころ-心理学はどう答えるか- / 小口忠彦. -- 有斐閣, 1983.
333	人間のモチベーション / 松山義則著. -- 培風館, 1981. 6. -- (現代の心理学 ; 7).
334	人間の内面を探る「自己・個人内過程」 / 山本眞理子編. -- サイエンス社, 2001. 6. -- (心理測定尺度集 ; 1).
335	人間の完成 : マスロー心理学研究 / 上田吉一著. -- 誠信書房, 1988.
336	人間の形成 / GordonW.Allport ; 豊沢登訳. -- 理想社, 1979.
337	人間の形成 : 人格心理学のための基礎的考察 / GordonW.Allport ; 豊沢登訳. -- 理想社, 1982.
338	人間の心層にひそむもの / 河合隼雄. -- 大和書房, 1983.
339	人間の情報処理 新しい認知心理学へのいざない / DavidERumeihart ; 御領謙訳. -- サイエンス社, 1980.
340	人間の潜在力 / CarlRogers ; 畠瀬稔訳. -- 創元社, 1980.
341	人間の発達過程 -ライフサイクルの心理- / 小口忠彦編. -- 明治図書出版, 1983.
342	人間の記憶 -認知心理学入門- / GeoffreyRLoftus ; 大村彰道訳. -- 東京大学出版会, 1982.
343	人間は変わりうるか -催眠法を用いた実験- / 長田一臣. -- 道徳書院, 1979.
344	人間へのまなざし / 霜山徳爾. -- 5版. -- 中央公論社, 1982. -- (中公叢書).
345	人間へのまなざし / 霜山徳爾著. -- 中央公論社, 1977. 2. -- (中公叢書).
346	人間らしさ-心理学の立場- / 小口忠彦編著. -- 産業能率大学出版部, 1979.
347	人間学的心理学 / 戸川行男. -- 金子書房, 1978.
348	人間形成の心理学 : ライフサイクルを解明する / 中西信男編. -- ナカニシヤ出版, 1989. 4.
349	人間性の心理学 : モチベーションとパーソナリティ / A.H. マズロー著 ; 小口忠彦訳. -- 改訂新版. -- 産業能率大学出版部, 1987. 3.
350	人間性の最高価値 / AbrahamH. Maslow ; 上田吉一訳. -- 誠信書房, 1982.

351	人間性の最高表現：その輝きを実現した人びと / P・フェルッチ著；平松園枝，手塚郁恵訳。-- 上，下。-- 誠信書房，1999.7.
352	人間性の深層 -不安と愛の人間学- / 土沼雅子。-- 創之社，1982.
353	人間性心理学ハンドブック / 日本人間性心理学会編。-- 創元社，2012.
354	人間理解の心理学 / 依田新。-- 金子書房，1982.
355	人間発達と初期環境 / 藤永保著。-- 有斐閣。
356	人間発達論 / 住田正樹，田中理絵著。-- 放送大学教育振興会，2009。-- (放送大学大学院教材；8920508-1-0911。人間発達科学プログラム)。
357	人間科学としての心理学 / 澤田慶輔。-- サイエンス社，1978。-- (サイエンスライブラリ心理学；1)。
358	人間科学としての心理学 / 澤田慶輔編。-- サイエンス社，1978。-- (サイエンスライブラリ心理学)。
359	人間科学の方法 -研究実験における10のピットフォール- / TheodoreBarber；古崎敬監訳。-- サイエンス社，1980。-- (心理学叢書；5)。
360	人間行動の発達過程：猿・原始人・子ども / エリ・エス・ヴィゴツキー，ア・エル・ルリヤ著；大井清吉，渡辺健治監訳。-- 明治図書，1987.10。-- (ヴィゴツキー著作選集；2)。
361	人間行動学 / 南博。-- 岩波書店，1980.
362	人間行動学 / 南博。-- 岩波書店，1981.
363	人間行為の生物学 / VernonReynolds；若林保司訳。-- 医学研究社，1979.
364	人間適応の心理 適応機制 / Percival.M.Symonds；畠山忠訳。-- 風間書房，1979.
365	人間関係に活かすカウンセリング / 小山望，河村茂雄編著。-- 福村出版，2001.4.
366	人間関係論入門 / 岡堂哲雄編。-- 金子書房，2000.3。-- (ナースのための心理学)。
367	仏教と夢 / 河合隼雄著。-- 岩波書店，1994.8。-- (河合隼雄著作集 / 河合隼雄著；第9巻)。
368	他者の心は存在するか：「他者」から「私」への進化論 / 金沢創著。-- 金子書房，1999.11。-- (自己の探究)。
369	体と手がつくる知覚世界 / 東山篤規著。-- 勁草書房，2012.
370	体格と性格：体質の問題および気質の学説によせる研究 / ErnstKretschmer；相場均訳。-- 文光堂，1979.
371	体格と性格 体質の問題および気質の学説によせる研究 / ErnstKretschmer；相場均訳。-- 文光堂，1971.
372	何が性格を作るか：性格学講義 / 宮城音弥，津島佑子著。-- 朝日出版社，1979.5。-- (Lecture books)。
373	個人から社会へ「自己・対人関係・価値観」 / 吉田富二雄，宮本聡介編。-- サイエンス社，2011。-- (心理測定尺度集；5)。
374	個人と組織が成長するカウンセリング / 岡田昌毅，小玉正博編。-- サイエンス社，2012。-- (生涯発達の中のカウンセリング；3)。
375	健康と生き方を考える / 教育と医学の会編。-- 慶應義塾大学出版会，2002。-- (現代人の心の支援シリーズ / 教育と医学の会編；4。成人・老年期)。
376	催眠の科学と神話 / H.B.Gibson；林茂男訳。-- 誠信書房，1982.
377	傾いた図形の謎 / 高野陽太郎著；松原仁補稿。-- 東京大学出版会，1987.6。-- (認知科学選書 / 戸田正直 [ほか] 編集；11)。
378	元型論 -無意識の構造- / C.G.Jung；林道義。-- 紀伊國屋書店，1982.
379	光の彼方に / レイモンド・A・ムーディ・Jr.著；笠原敏雄 [ほか] 訳。-- ティービーエス・ブリタニカ，1990.
380	児童心理学：現代の発達理論と児童研究 / 藤永保編。-- 有斐閣，1979.
381	児童文学の世界 / 河合隼雄著。-- 岩波書店，1994.6。-- (河合隼雄著作集 / 河合隼雄著；第4巻)。
382	共感する心の科学 / 串崎真志著。-- 風間書房，2013.
383	具体性のヴィゴツキー / 茂呂雄二著。-- 金子書房，1999.8。-- (認識と文化 / 田島信元，無藤隆編集；6)。
384	内発的動機づけ -実験社会心理学的アプローチ- / EdwardLDeci；安藤延男訳。-- 誠信書房，1981.
385	分析心理学 / C.G.ユング著；小川捷之訳。-- みすず書房，1976.2.
386	分裂病の心理 / CarlGustavJung；安田一郎訳。-- 青土社，1979.
387	初学者のための交流分析の基礎：図解&ワークでわかる・身につく / 中村延江，田副真美，片岡ちなつ著。-- 金子書房，2012.

388	初心者のための臨床心理学研究実践マニュアル / 津川律子, 遠藤裕乃著. -- 第2版. -- 金剛出版, 2011.
389	利他行動に関する比較心理学的研究 / 関口茂久著. -- ソフィア, 1994. 2.
390	創造活動の理論 / Arthur Koestler. -- 上. -- ラテイス, 1975.
391	創造活動の理論 / Arthur Koestler. -- 下. -- ラテイス, 1978.
392	劣等感の心理 -- 金子書房, 1974. -- 仮出版者.
393	動因及び誘因の研究 / 川村幹. -- 風間書房, 1980.
394	動機と人間性 / 上田吉一著. -- 誠信書房, 1983.
395	動機と情緒 / Edward J. Murray ; 八木冕訳. -- 岩波書店, 1979. -- (現代心理学入門 ; 3).
396	動機と情緒 / 前田嘉明編. -- 東京大学出版会, 1969. 7. -- (講座心理学 ; 5).
397	動物とヒトの行動 1 / Barnett S. A. ; 伊谷純一郎訳. -- 1. -- みすず書房, 1979. -- (みすず科学ライブラリー ; 24).
398	動物とヒトの行動 2 / S. A. Barnet ; 伊谷純一郎訳. -- 2. -- みすず書房, 1978. -- (みすず科学ライブラリー ; 25).
399	勤の研究 / 黒田亮. -- 岩波書店, 1933.
400	医師の心霊研究30年 / Carl A. Wickland ; 田中武訳 ; 出版科学総合研究所編集. -- 日本心霊科学協会, 1983. -- (日本心霊科学協会叢書).
401	医療・看護系のための心理学 : 精神保健入門 / 森谷寛之[ほか]著. -- 培風館, 1991. 3.
402	危機と人間行動 / 堀ノ内敏編著. -- 福村出版, 1980.
403	危機におけるカウンセリング / Howard W. Stone ; 五島勝訳. -- 聖文舎, 1978. -- (クリエイティブ・牧会カウンセリング・シリーズ ; 2).
404	原典による心理学の歩み / 南博編著. -- 講談社, 1974.
405	反発達論 : 抑圧の人間学からの解放 / 山下恒男著. -- 現代書館, 1977. 6.
406	可能性のある未来につながるトラウマ解消のクイック・ステップ : 新しい4つのアプローチ / ビル・オハンロン著 ; 内田由可里訳. -- 金剛出版, 2013.
407	可能性の心理学 / A. H. マスロー著 ; 早坂泰次郎訳. -- 川島書店, 1971. 2.
408	司法臨床入門 : 家裁調査官のアプローチ / 廣井亮一著. -- 日本評論社, 2004. 4.
409	司法臨床入門 : 家裁調査官のアプローチ / 廣井亮一著. -- 第2版. -- 日本評論社, 2012.
410	同性愛と同性心中の研究 / 小峰茂之, 南孝夫著. -- 小峰研究所, 1985. 12.
411	吸血鬼イメージの深層心理学 : ひとつの夢の分析 / 井上嘉孝著. -- 創元社, 2013.
412	周産・新生児・乳児・幼児・児童期. -- ナカニシヤ出版, 1989. 1. -- (発達心理学 / 山内光哉編 ; 上).
413	味覚・嗅覚 / 近江政雄編集. -- 朝倉書店, 2008. -- (講座「感覚・知覚の科学」 / 内川恵二総編集 ; 4).
414	哲学カウンセリング : 理論と実践 / ピーター・B. ラービ [著] ; 加藤恒男 [ほか] 訳. -- 法政大学出版局, 2006.
415	哺育器の中の大人 : 精神分析講義 / 岸田秀, 伊丹十三著. -- 朝日出版社, 1978. 12. -- (Lecture books).
416	因子分析法 / 清水利信. -- 改訂増補15版. -- 日本文化科学社, 1976.
417	図解 心理学 / 相良守次. -- 光文社, 1970.
418	図説・心理学入門 / 西川好夫. -- 法政大学出版局, 1978.
419	図説世界を変えた50の心理学 / ジェレミー・スタンルーム著 ; 伊藤綺訳. -- 原書房, 2014. -- (シリーズ知の図書館 ; 3).
420	図説心理学入門 / 齊藤勇編. -- 第2版. -- 誠信書房, 2005.
421	図説教養心理学 / 金敷大之, 森田泰介編著 ; 中田英利子, 山本晃輔著. -- ナカニシヤ出版, 2011.
422	国際的質問紙法心理テスト:MMPI-2とMMPI-Aの研究 / 小口徹. -- いわき開成病院, 2001. 1.
423	基礎心理学 1 / 島津一夫監修. -- 1. -- 誠信書房, 1976.
424	基礎心理学 3 / 島津一夫監修. -- 3. -- 誠信書房, 1975.
425	基礎心理学シリーズ 14 / Edward L. Walker編 ; 妻倉昌太郎監修. -- 14. -- 福村出版, 1982.
426	基礎心理学シリーズ 2 / D. J. Weintraud ; 妻倉昌太郎監修. -- 2. -- 福村出版, 1982.
427	変えてみよう!記憶とのつきあいかた / 高橋雅延著. -- 岩波書店, 2011.
428	夜と霧 : ドイツ強制収容所の体験記録 / ヴィクトール・E. フランクル著 ; 霜山徳爾訳 ; 新装. -- 新版. -- みすず書房, 1971. -- (フランクル著作集 ; 1).

429	夢の臨床 / 河合隼雄編. -- 金剛出版, 1988.
430	夢の解釈学 / 久米博. -- 北斗出版, 1982.
431	夢・幻想・芸術 : 象徴作用の精神分析理論 / ハンナ・シーガル著 ; 新宮一成 [ほか] 訳. -- 金剛出版, 1994.1.
432	夢分析の実際 心の世界の探究 / 鑪幹八郎. -- 創元社, 1979.
433	天才だもの。 : わたしたちは異常な存在をどう見てきたのか / 春日武彦著. -- 青土社, 2010.
434	天才と狂気 : 人間の限界 / 霜山徳爾著. -- 学樹書院, 2000. -- (霜山徳爾著作集 / 霜山徳爾著 ; 2).
435	天才の心理学 / ErnstKretschmer ; 内村祐之訳. -- 岩波書店, 1967.
436	天才の環境 -環境科学ライブラリー- / 進藤隆夫. -- 大日本図書, 1975.
437	女性について -夫に知ってもらいたいこと- / JamesDobson ; 松代幸太郎訳. -- いのちのことば社, 1982.
438	嫉妬する人、される人 / 谷沢永一著. -- 幻冬舎, 2004.7.
439	嫉妬の構造 / 荻野恒一. -- 紀伊國屋書店, 1983.
440	子どもが登場するとき : 分析医の心理相談 / フランソワーズ・ドルト [著] ; 村上光彦訳. -- 1, 2, 3. -- みすず書房, 1981.10-1984.2.
441	子どもと教育 / 河合隼雄著. -- 岩波書店, 1995.1. -- (河合隼雄著作集 / 河合隼雄著 ; 第7巻).
442	子どもの人格発達 -認知発達とパーソナリティの心理学- / JeromeKagan ; 三宅和夫監訳. -- 川島書店, 1982.
443	子どもの宇宙 / 河合隼雄著. -- 岩波書店, 1994.1. -- (河合隼雄著作集 / 河合隼雄著 ; 第6巻).
444	子どもの心理療法と調査・研究 : プロセス・結果・臨床的有効性の探求 / N. ミッジリー [ほか] 編著. -- 創元社, 2012.
445	子どもの成長と発達 -その理論と教育- / JeromeSBruner ; 寺田晃監訳 ; 大山正博訳. -- 新曜社, 1981.
446	子どもの文章 : 書くこと考えること / 内田伸子著. -- 東京大学出版会, 1990. -- (シリーズ人間の発達 ; 1).
447	子どもの治療相談面接 / D.W. ウィニコット著 ; 橋本雅雄, 大矢泰士監訳. -- 新版. -- 岩崎学術出版社, 2011.
448	子どもの発達を支える「対人関係・適応」 / 櫻井茂男, 松井豊編. -- サイエンス社, 2007. -- (心理測定尺度集 ; 4).
449	子どもの精神分析的な心理療法の応用 / 鵜飼奈津子著. -- 誠信書房, 2012.
450	子どもは気まぐれ : ものがたる発達心理学への序章 / 氏家達夫著. -- ミネルヴァ書房, 1996.2.
451	子どもは認知やことばをどう育てるか : 健常児・障害児に共通な発達機制 / 中島誠編. -- 培風館, 1996.
452	子にとって母とは何か : サルとヒトとの比較心理学 / エミール・シュマルオア著 ; 西谷謙堂監訳. -- 4版. -- 慶応通信, 1983.2.
453	孤独なる群衆 / D. リースマン著 ; 佐々木徹郎, 鈴木幸寿, 谷田部文吉共訳. -- みすず書房, 1955.
454	孤独感の心理学 / LetitiaAnnePeplau著 ; 加藤義明監訳. -- 誠信書房, 1988.
455	学習 / SarnoffA. Medniok ; 八木晃訳. -- 原書2版. -- 岩波書店, 1980. -- (新訂現代心理学入門).
456	学習 / 本吉良治編. -- 東京大学出版会, 1969. -- (講座心理学 ; 6).
457	学習と教授の心理学 / 山内光哉編著. -- 九州大学出版会, 1978.
458	学習と発達 / 波多野誼余夫編. -- 東京大学出版会, 1996.1. -- (認知心理学 ; 5).
459	学習と記憶 -種と個体の歴史- / RainerSinz ; 坂野登訳. -- 誠信書房, 1980.
460	学習の心理学 / E.Rガスリー ; 富田達彦訳. -- 清水弘文堂, 1980.
461	学習の心理学 / RobertCBelles ; 今田寛訳. -- 培風館, 1982.
462	学習の生態学 : リスク・実験・高信頼性 / 福島真人著. -- 東京大学出版会, 2010.
463	学習心理学ハンドブック / 波多野完治監修 ; 東洋. -- 9版. -- 金子書房, 1978.
464	学習心理学総説 / 辰野千尋. -- 金子書房, 1977.
465	学習理論の生成と展開 : 動機づけと認知行動の基礎 = Generation and development of learning theory / 小牧純爾著. -- ナカニシヤ出版, 2012.
466	完全なる人間 : 魂のめざすもの / アブラハム・H・マスロー著 ; 上田吉一訳. -- 第2版. -- 誠信書房, 1998.

467	宗教と科学 / 河合隼雄著. -- 岩波書店, 1994. 10. -- (河合隼雄著作集 / 河合隼雄著 ; 第11巻).
468	実践“受容的な”ゲシュタルト・セラピー : カウンセリングを学ぶ人のために / 岡田法悦著. -- 第2版. -- ナカニシヤ出版, 2012.
469	実践のエスノグラフィ / 茂呂雄二編著. -- 金子書房, 2001. 10. -- (状況論的アプローチ ; 3).
470	実践心理データ解析 : 問題の発想・データ処理・論文の作成 / 田中敏著. -- 改訂版. -- 新曜社, 2006.
471	実践的な心理学の学びかた : 学びを通して成長する / 大橋靖史, 神信人編. -- ナカニシヤ出版, 2016.
472	家庭福祉-家族診断・処遇の論文集- / EileenYoungusband ; 松本武子訳. -- 家庭教育社, 1978.
473	家族と社会 / 岡堂哲雄, 鑪幹八郎, 馬場禮子編. -- 金子書房, 1990. 10. -- (臨床心理学大系 / 河合隼雄 [ほか] 企画委員 ; 第4巻).
474	対人援助の心理学 / 望月昭編. -- 朝倉書店, 2007. -- (朝倉心理学講座 / 海保博之監修 ; 17).
475	対人援助をめぐる実践と考察 / 吉川悟編. -- ナカニシヤ出版, 2014. -- (竜谷大学仏教文化研究叢書 ; 32).
476	対人関係と恋愛・友情の心理学 / 松井豊編. -- 朝倉書店, 2010. -- (朝倉実践心理学講座 / 海保博之監修 ; 8).
477	対人関係療法で改善する夫婦・パートナー関係 / 水島広子著. -- 創元社, 2011.
478	対象喪失 : 悲しむということ / 小此木啓吾著. -- 中央公論社, 1979. -- (中公新書 ; 557).
479	対象関係論とその臨床 / OttoKernberg ; 前田重治監訳. -- 岩崎学術出版社, 1983.
480	岩波小辞典 心理学 / 宮城音弥編. -- 3版. -- 岩波書店, 1956.
481	幸せになる勇氣 / 岸見一郎, 古賀史健著. -- ダイヤモンド社, 2016. -- (自己啓発の源流「アドラー」の教え / 岸見一郎, 古賀史健著 ; 2).
482	幸福 (しあわせ) の構造 : 持続する幸福感と幸せな社会づくり / 島井哲志著. -- 有斐閣, 2015.
483	幸福だけが人生か? : ポジティブ心理学55の科学的省察 / クリストファー・ピーターソン著 ; 宇野カオリ訳. -- 春秋社, 2016.
484	強制収容所における人間行動 / E. A. コーエン著 ; 清水幾太郎 [ほか] 訳. -- 岩波書店, 1957. 3. -- (時代の窓).
485	心で見る世界 / 島崎敏樹. -- 岩波書店, 1968. -- (岩波新書(青版) ; 370).
486	心との出会い / 相場均. -- 毎日新聞社, 1977.
487	心とは何か / 宮城音弥. -- 岩波書店, 1982.
488	心と行動の進化を探る : 人間行動進化学入門 / 五百部裕, 小田亮編 ; 五百部裕 [ほか] 著. -- 朝倉書店, 2013.
489	心にいどむ認知脳科学 : 記憶と意識の統一論 / 酒井邦嘉著. -- 岩波書店, 1997. 3. -- (岩波科学ライブラリー ; 48).
490	心について / DonaldOldingHebb著 ; 白井常訳. -- 紀伊國屋書店, 1987.
491	心に浮かぶイメージをはかる : SD法の理論と応用 / 増山英太郎著. -- 産業科学システムズ, 1996. 4.
492	心のしくみを考える : 認知心理学研究の深化と広がり / 北神慎司, 林創編. -- ナカニシヤ出版, 2015.
493	心のプリズム / 朝日新聞社科学部編. -- 朝日新聞社, 1972.
494	心のプリズム / 朝日新聞社科学部編. -- 朝日新聞社, 1972. 3.
495	心の事典 / 本間下寛編. -- ぎょうせい, 1982.
496	心の健康と適応 : パーソナリティの心理 / 大貫敬一, 佐々木正宏編著. -- 福村出版, 1992. 4.
497	心の健康をはかる「適応・臨床」 / 松井豊編. -- サイエンス社, 2001. 8. -- (心理測定尺度集 ; 3).
498	心の危機をとらえる20講 : あなたの心、乾いていませんか / 東京多摩いのちの電話編. -- 学陽書房, 1994. 7.
499	心の学習(サイコエデュケーション) : 怒りとうまくつき合うために : キレないためのコツを理解しよう! / 中村道彦編著. -- 金芳堂, 2006.
500	心の実験室 1 / 磯貝芳郎編著. -- 1. -- 福村出版, 1981.
501	心の実験室 2 / 藤田統編著. -- 2. -- 福村出版, 1982.
502	心の探求 : 自覚の階梯 / 山口泰司著. -- 文化書房博文社, 1990.

503	心の探究 -現代心理学入門- / 畠山忠編著. -- 黎明書房, 1983.
504	心の旅立ち愛の花 : もっと強く、もっとやさしく生きるために. -- 文化創作出版, 1996. 5. -- (My book).
505	心の物語と現代の課題 : 心理臨床における対象理解 / 後藤秀爾著. -- ナカニシヤ出版, 2012.
506	心の研究 -現代心理学の動向- / 本間寛. -- 一粒社, 1982.
507	心の科学は可能か / 土屋俊著. -- 東京大学出版会, 1986. 8. -- (認知科学選書 / 戸田正直 [ほか] 編集 ; 7).
508	心の計算理論 / 往住彰文著 ; 郡司隆男, 齋藤洋典補稿. -- 東京大学出版会, 1991. 3. -- (認知科学選書 / 戸田正直 [ほか] 編集 ; 19).
509	心の階層モデル -精神分析理解のための- / John, E. Gedo ; 前田重治訳. -- 誠信書房, 1982.
510	心はどこにあるのか / ダニエル・デネット著 ; 土屋俊訳. -- 草思社, 1997. 11. -- (サイエンス・マスターズ ; 7).
511	心は実験できるか : 20世紀心理学実験物語 / ローレン・スレイター著 ; 岩坂彰訳. -- 紀伊國屋書店, 2005.
512	心は脳を超える : 人間存在の不思議 / ジョン・C・エックルス, ダニエル・N・ロビンソン著 ; 大村裕, 山河宏, 雨宮一郎共訳. -- 紀伊國屋書店, 1989. 2.
513	心をめぐるパラダイム : 人工知能はいかに可能か / 西川泰夫著. -- 左右社, 2015. -- (放送大学叢書 ; 029).
514	心像表象の心理 / 北村晴朗. -- 誠信書房, 1982.
515	心理アセスメントハンドブック / 上里一郎監修. -- 西村書店, 1993. 9.
516	心理カウンセリング序説 / 大場登編著. -- 放送大学教育振興会, 2009. -- (放送大学教材 ; 1522310-1-0911).
517	心理テスト / 懸田克躬 [ほか] 著. -- みずず書房, 1966. 11. -- (異常心理学講座 / 井村恒郎 [ほか] 編 ; 2).
518	心理テストで自分の「強み」に気づく本 / 中嶋真澄著. -- 永岡書店, 2009.
519	心理テストの使い方 / 大淵憲一. -- ぎょうせい, 1983. -- (ぎょうせいヘルス・ライブラリー ; 16).
520	心理テスト法入門 -基礎知識と技術習得のために- / 伊藤隆二編著. -- 日本文化科学社, 1983.
521	心理・教育統計法特論 / 福田周, 卯月研次編著. -- 放送大学教育振興会, 2009. -- (放送大学大学院教材 ; 8920516-1-0911. { 臨床心理学プログラム ; 人間発達科学プログラム }).
522	心理学 / 今田恵. -- 岩波書店, 1975.
523	心理学 / 子安増生編著. -- 勁草書房, 2016. -- (アカデミックナビ).
524	心理学 / 山村豊, 高橋一公著. -- カレッジ版. -- 医学書院, 2017.
525	心理学 / 高木貞二編. -- 3版. -- 東京大学出版会, 1977.
526	心理学 / 鹿取廣人, 杉本敏夫, 鳥居修晃編. -- 第3版. -- 東京大学出版会, 2008.
527	心理学 5. -- 5. -- 有斐閣, 1976.
528	心理学 6 / 辻正三編. -- 6. -- 有斐閣, 1975. -- (有斐閣双書).
529	心理学 : ココロのルールをズバリ解説! 人づきあいをラクにする大人の教科書 / 堀井俊章編著. -- PHP研究所, 2005. -- (雑学3分間ビジュアル図解シリーズ).
530	心理学 : 心のはたらきを知る / 梅本堯夫 [ほか] 共著. -- 第2版. -- サイエンス社, 2014. -- (コンパクト新心理学ライブラリー ; 1).
531	心理学から学習をみなおす / 市川伸一著. -- 岩波書店, 1998. 4. -- (岩波高校生セミナー ; 2).
532	心理学とは何か / 波多野完治 [ほか] 訳. -- 白水社, 1971. 5. -- (現代心理学 / J. ピアジェ, P. フレス編 ; 波多野完治, 南博監修 ; 1).
533	心理学と認識論 / J. Piaget ; 滝沢武久訳. -- 誠信書房, 1978. -- (誠信ピアジェ選書 ; 2).
534	心理学における事実と虚構 / H. J. アイゼンク著 ; 岩脇三良訳. -- 誠信書房, 1968. 7.
535	心理学における人間 / Gordon W. Allport ; 依田新訳. -- 培風館, 1977.
536	心理学における力学説 / W. ケーラー [著] ; 相良守次訳. -- 岩波書店, 1951. 1. -- (岩波現代叢書).
537	心理学のための統計学入門 : ココロのデータ分析 / 川端一光, 荘島宏二郎著. -- 誠信書房, 2014. -- (心理学のための統計学 ; 1).
538	心理学の危機 : 歴史的意味と方法論の研究 / エリ・エス・ヴィゴツキー著 ; 柴田義松 [ほか] 訳. -- 明治図書, 1987. 9. -- (ヴィゴツキー著作選集 ; 1).

539	心理学の基礎 / 糸魚川直祐, 春木豊編. -- 有斐閣, 1989. -- (有斐閣Sシリーズ).
540	心理学の研究法入門 / 辰野千寿編. -- 日本文化科学社, 1983.
541	心理学の認識 ミラーの心理学入門 / GerogeAMiller ; 戸田壹子訳. -- 白揚社, 1980.
542	心理学への情報科学的アプローチ / G.A. ミラー著 ; 高田洋一郎訳. -- 培風館, 1972. 4.
543	心理学への招待 / 平野眞著. -- 追補版. -- 北樹出版, 1991. 2.
544	心理学を学ぶ / 長尾勲編. -- ナカニシヤ出版, 1989. 4.
545	心理学スタンダード : 学問する楽しさを知る / サトウタツヤ, 北岡明佳, 土田宣明編著. -- ミネルヴァ書房, 2014.
546	心理学・社会心理学に関する27年間の雑誌文献目録 昭和23年-昭和49年 : SHINRIGAKU SHAKAISHINRIGAKUNI KANSURUNIJUSHICHINENKANNON ZASSHI BUNKENMOKUROKU SHOWA23NEN-SHOWA49NEN / 「雑誌文献目録」編集部編. -- 日外アソシエーツ, 1982.
547	心理学入門 / 依田新. -- 社会思想社, 1980. -- (現代教養文庫 ; 179).
548	心理学入門 / 星薫, 山口勸, 青木紀久代著. -- 放送大学教育振興会, 2006. -- (放送大学教材 ; 1117319-1-0611).
549	心理学入門 : 脳とこころの視点から探る / 松本絵理子編著. -- 培風館, 2011.
550	心理学史 / 大芦治著. -- ナカニシヤ出版, 2016.
551	心理学史 : 心理学的思想の主要な潮流 / T.H. リーヒー著 ; 宇津木保訳. -- 誠信書房, 1986. 8.
552	心理学史から 1集 / 吉田正昭. -- 1集. -- サイエンス社, 1983. -- (心理学叢書 ; 14).
553	心理学基礎実験手引 / 吉岡一郎編. -- 北大路書房, 1983.
554	心理学大図鑑 / キャサリン・コーリンほか著 ; 小須田健訳. -- 三省堂, 2013.
555	心理学実験演習 4 / 依田新監修. -- 4. -- 再版. -- 金子書房, 1979.
556	心理学小辞典 / 大山正, 藤永保, 吉田正昭編. -- 有斐閣, 1978. -- (有斐閣双書 . 小辞典シリーズ).
557	心理学序説としての精神の生理学 / 福田邦三. -- 杏林書院, 1970.
558	心理学方法論 / 渡邊芳之編. -- 朝倉書店, 2007. -- (朝倉心理学講座 / 海保博之監修 ; 1).
559	心理学概論 -行動と経験の探究- / SAMednick ; 外林大作編著. -- 誠信書房, 1983.
560	心理学概論 / 大山正. -- 旺文社, 1979.
561	心理学概論 / 星薫, 森津太子著. -- 放送大学教育振興会, 2012. -- (放送大学教材 ; 1118064-1-1211).
562	心理学概論 / 相良守次. -- 岩波書店, 1982.
563	心理学概論 / 青山謙二郎 [ほか] 編. -- 第2版. -- ナカニシヤ出版, 2014.
564	心理学概論 : 学びと知のイノベーション / 小野寺孝義, 磯崎三喜年, 小川俊樹編. -- ナカニシヤ出版, 2011.
565	心理学概論 行動と経験の探究 / S.A. Mednick ; 外林大作編著. -- 誠信書房, 1981.
566	心理学的医学 / PierreJanet ; 松本雅彦訳. -- みすず書房, 1981.
567	心理学的測定法 / 田中良久. -- 2版. -- 東京大学出版会, 1982.
568	心理学研究法 / 海保博之, 大野木裕明, 岡市広成編著. -- 新訂. -- 放送大学教育振興会, 2008. -- (放送大学教材 ; 1520903-1-0811).
569	心理学研究法 / 高木貞二編. -- 岩波書店, 1979.
570	心理学研究法 1. -- 1. -- 東京大学出版会, 1975. 6.
571	心理学研究法 10. -- 10. -- 東京大学出版会, 1974. 6.
572	心理学研究法 11 / 続有恒監修. -- 11. -- 東京大学出版会, 1975.
573	心理学研究法 11. -- 11. -- 東京大学出版会, 1975. 1.
574	心理学研究法 13. -- 13. -- 東京大学出版会, 1975. 12.
575	心理学研究法 7. -- 7. -- 東京大学出版会, 1972. 11.
576	心理学研究法 8. -- 8. -- 東京大学出版会, 1973. 7.
577	心理学研究法 9 / 続有恒監修. -- 9. -- 東京大学出版会, 1975.
578	心理学研究法 9. -- 9. -- 東京大学出版会, 1975. 9.
579	心理学者のための倫理規準・事例集 / 佐藤倚男訳 ; アメリカ心理学会編. -- 誠信書房, 1982.
580	心理学者のための研究倫理 : 事例に学ぶ / 安藤寿康, 安藤典明編. -- 第2版. -- ナカニシヤ出版, 2011.
581	心理学論文の書き方 : 卒業論文や修士論文を書くために / 松井豊著. -- 改訂新版. -- 河出書房新社, 2010.
582	心理学辞典 / 外林大作 [等] 編. -- 誠信書房, 1971.
583	心理検査の実際 / 澤田丞司著. -- 改訂版. -- 新興医学出版社, 2004. 11.

584	心理検査・測定ガイドブック / 塩見邦雄編. -- ナカニシヤ出版, 1982.
585	心理検査学-心理アセスメントの基本- / 岡堂哲男編. -- 垣内出版, 1975.
586	心理検査学-心理アセスメントの基本- / 岡堂哲雄. -- 垣内出版, 1975.
587	心理測定・統計法 / 大山正, 池田央, 武藤真介編. -- 有斐閣, 1971. -- (有斐閣双書).
588	心理療法 / 河合隼雄著. -- 岩波書店, 1994. 9. -- (河合隼雄著作集 / 河合隼雄著 ; 第3巻).
589	心理療法. -- 1, 2, 3. -- 金子書房, 1989-1990. -- (臨床心理学大系 / 河合隼雄 [ほか] 企画委員 ; 第7巻-第9巻).
590	心理療法の光と影 / A. GuggenbuhlCraig ; 樋口和彦訳. -- 創元社, 1981.
591	心理療法の基礎知識 -葛藤と防衛- / George, FMahl ; 秋山俊夫訳. -- ナカニシヤ出版, 1982.
592	心理療法の統合を求めて : 精神分析・行動療法・家族療法 / ポール・ワクテル著 ; 杉原保史訳. -- 金剛出版, 2002. 1.
593	心理療法ガイドブック / ジェラルド・アマダ著 ; 亀田佐知子訳. -- 誠信書房, 2012.
594	心理緊張と社会緊張の研究 / 一井穰. -- 文理閣, 1981.
595	心理臨床のフロンティア : 若手臨床家の多様な実践と成長 / 吉岡久美子, 本山智敬編. -- 創元社, 2012.
596	心理臨床の基礎 / 小野けい子編著. -- 放送大学教育振興会, 2008. -- (放送大学教材 ; 1110900-1-0811).
597	心理臨床の海図 / 伊藤研一編著. -- 八千代出版, 1999. 3.
598	心理臨床スーパーヴィジョン : 学派を超えた統合モデル / 平木典子著. -- 金剛出版, 2012.
599	心理臨床プラクティス 第2巻. -- 第2巻. -- 星和書店, 1990.
600	心理臨床プラクティス 第2巻. -- 第2巻. -- 星和書店, 1991.
601	心理臨床プラクティス 第3巻. -- 第3巻. -- 星和書店, 1991.
602	心理臨床プラクティス 第5巻. -- 第5巻. -- 星和書店, 1991.
603	心理臨床入門-診断・治療の臨床心理学- / 本明寛. -- 川島書店, 1980.
604	心理臨床入門 : 臨床発達心理学の基礎 / 小川捷之編. -- 1, 2. -- 山王出版, 1988-1991.
605	心理臨床学の冒険 / 森谷寛之著. -- 星和書店, 1991.
606	心理臨床家の成長 : 心理臨床との出会い / 乾吉佑編. -- 金剛出版, 2013.
607	心理臨床家の手引 / 鑪幹八郎. -- 誠信書房, 1983.
608	心理診断と心理治療 / 山松質文. -- 福村出版, 1980.
609	心的現象論序説 / 吉本隆明. -- 改訂新版. -- 角川書店, 1982.
610	心的現象論序説 / 吉本隆明. -- 講談社, 1981.
611	心霊現象の心理と病理 / CarlGustavJung ; 宇野昌人訳. -- 法政大学出版局, 1982.
612	応用心理学事典 / 日本応用心理学会編. -- 丸善, 2007.
613	応用心理学講座 1. -- 1. -- 福村出版, 1988.
614	応用心理学講座 10. -- 10. -- 福村出版, 1989.
615	応用心理学講座 11. -- 11. -- 福村出版, 1989.
616	応用心理学講座 12. -- 12. -- 福村出版, 1989.
617	応用心理学講座 13. -- 13. -- 福村出版, 1989.
618	応用心理学講座 2. -- 2. -- 福村出版, 1988.
619	応用心理学講座 3. -- 3. -- 福村出版, 1988.
620	応用心理学講座 5. -- 5. -- 福村出版, 1991.
621	応用心理学講座 6. -- 6. -- 福村出版, 1992.
622	応用心理学講座 7. -- 7. -- 福村出版, 1989.
623	応用心理学講座 8. -- 8. -- 福村出版, 1988.
624	応用心理学講座. -- 福村出版, 1991.
625	思春期・青年期臨床心理学 / 伊藤美奈子編. -- 朝倉書店, 2006. -- (朝倉心理学講座 / 海保博之監修 ; 16).
626	思春期危機と家族 : 登校拒否・家庭内暴力のチーム治療 / 石川義博, 青木四郎著. -- 岩崎学術出版社, 1986. 10.
627	思考 / 中島秀之, 高野陽太郎, 伊藤正男著. -- 岩波書店, 1994. 9. -- (岩波講座認知科学 / 伊藤正男 [ほか] 編 ; 8).
628	思考 / 市川伸一編. -- 東京大学出版会, 1996. 2. -- (認知心理学 ; 4).
629	思考と言語 / ヴィゴツキー著 ; 柴田義松訳. -- 上, 下. -- 明治図書出版, 1962. 5-1962. 9. -- (海外名著選 ; 18-19).
630	思考と言語 / ヴィゴツキー著 ; 柴田義松訳. -- 新訳版. -- 新読書社, 2001.

631	思考と言語 / 東洋編. -- 東京大学出版会, 1970. -- (講座心理学 ; 8).
632	思考と言語 / 楠見孝編. -- 北大路書房, 2010. -- (現代の認知心理学 ; 3).
633	思考の心理学 : 発達心理学の6研究 / ジャン・ピアジェ著 ; 滝沢武久訳. -- みすず書房, 1968. 12.
634	思考を広げるまとめる深める技術 / 太田薫正著. -- KADOKAWA, 2014.
635	思考力の成立 : その人間関係の考察 / 野田義一著. -- 近代文芸社, 1994. 9.
636	思考心理学-動物の思考- 3 / 矢田部達郎. -- 3. -- 培風館, 1968.
637	性、死、超自我 : 精神分析における経験 / ロナルド・ブリトン著 ; 豊原利樹訳. -- 誠信書房, 2012.
638	性と性格 / OttoWeininger ; 竹内章訳. -- 村松書館, 1980.
639	性差の文化 比較論の試み / 青木やよひ. -- 金子書房, 1982.
640	性愛と自我 / フロイト[著] ; 金森誠也編訳. -- 白水社, 1971. 12.
641	性格 / 詫摩武俊, 依田明著 ; 依田新編. -- 大日本図書, 1968. -- (心理学入門講座 / 波多野完治編 ; 6).
642	性格の心理 : ビッグファイブと臨床からみたパーソナリティ / 丹野義彦著. -- サイエンス社, 2003. 4. -- (コンパクト新心理学ライブラリ ; 5).
643	性格の理解 / 安香宏責任編集. -- 金子書房, 1990. 2. -- (性格心理学新講座 ; 第4巻).
644	性格の理論 / 本明寛責任編集. -- 金子書房, 1989. -- (性格心理学新講座 ; 第1巻).
645	性格の理論 / 詫摩武俊編著. -- 誠信書房, 1970.
646	性格は変えられる : ホームズとワトスンに学ぶ心理学講座 / 小林司著. -- PHP研究所, 1994. 7. -- (PHP文庫).
647	性格学の基礎 / L.クラークス[著] ; 千谷七郎, 詫摩武元訳. -- 岩波書店, 1957. 6.
648	性格学入門 / ローラッヘル[著] ; 宮本忠雄訳. -- みすず書房, 1966. 7.
649	性格形成 / 依田明責任編集. -- 金子書房, 1989. 6. -- (性格心理学新講座 ; 第2巻).
650	性格心理学講座 1. -- 1. -- 15版. -- 金子書房, 1983.
651	患者の心理とケアの指針 / 岡堂哲雄編. -- 金子書房, 1997. 1. -- (ナースのための心理学 ; 2).
652	悲しみから人が成長するとき : PTG = Posttraumatic growth / 宅香菜子著. -- 風間書房, 2014.
653	悲劇の発生論 -精神分析の理解のために- / 北上修. -- 金剛出版, 1982. -- (精神医学文庫).
654	情動 / 伊藤正男[ほか]著. -- 岩波書店, 1994. 5. -- (岩波講座認知科学 / 伊藤正男[ほか]編 ; 6).
655	情動論の試み : 主体と世界のポリフォニー / 杉谷葉坊著. -- 人文書院, 1998. 7.
656	情報を見抜く思考法 / 伊藤惇夫著. -- ビジネス社, 2010.
657	情報処理パラダイム / R.ラックマン, J.L.ラックマン, E.C.バタースフィールド共著 ; 箱田裕司, 鈴木光太郎監訳. -- サイエンス社, 1988. 11. -- (Cognitive science & information processing ; 4. { 認知心理学と人間の情報処理 / R.ラックマン[ほか]共著 ; 箱田裕司, 鈴木光太郎監訳 } ; 1).
658	想像の現象学 / 滝浦静雄著. -- 紀伊国屋書店, 1994. 1. -- (精選復刻紀伊国屋新書).
659	想起の心理学 / FredericCBartlett ; 宇津木保訳. -- 誠信書房, 1983.
660	意味と記号の世界 -人間理解をめざす心理学- / 石原岩太郎. -- 誠信書房, 1982.
661	意志の心理学-人間行動としての犯罪・非行 / 平尾靖. -- 川島書店, 1976.
662	意志決定行為 : 比較文化的考察 / Radford, Mark. -- ヒューマンティワイ, 1991.
663	意思決定アプローチ : 分析と決断 / ジョン・S・ハモンド, ラルフ・L・キーニー, ハワード・ライファ著 ; 小林龍司訳. -- ダイアモンド社, 1999. 7.
664	意識と脳 -精神と物質の科学哲学- / 品川嘉也. -- 紀伊国屋書店, 1983.
665	意識と記憶. -- サイエンス社, 1988. 11. -- (Cognitive science & information processing ; 5. { 認知心理学と人間の情報処理 / R.ラックマン[ほか]共著 ; 箱田裕司, 鈴木光太郎監訳 } ; 2).
666	愛しすぎる女たち / ロビン・ノーウッド著 ; 落合恵子訳. -- 中央公論新社, 2000. 4. -- (中公文庫 ; ノ-1-1).
667	愛するということ / エーリッヒ・フロム[著] ; 懸田克躬訳. -- 紀伊国屋書店, 1959. 1.
668	愛と嫉妬 : 感性体験の精神病理 / 倉持弘著. -- 創元社, 1979. 6.
669	愛について / 今道友信. -- 講談社, 1981.
670	愛のなりたち / H.F.ハーロウ著 ; 浜田寿美男訳. -- ミネルヴァ書房, 1978. 11.
671	愛の深層心理 / IgnaceLepp ; 門脇佳吉訳. -- 川島書店, 1982.

672	愛の臨床心理-親と子の心の健康のために / 岡堂哲雄. -- 金沢文庫, 1982.
673	愛情の発達心理学 / 桂広介. -- 7版. -- 金子書房, 1977.
674	感情 : 人を動かしている適応プログラム / 戸田正直著 ; 高田洋一郎補稿. -- 東京大学出版会, 1992. 5. -- (認知科学選書 / 戸田正直 [ほか] 編集 ; 24).
675	感情と性格 / 波多野完治 [ほか] 訳. -- 白水社, 1971. 6. -- (現代心理学 / J. ピアジェ, P. フレス編 ; 波多野完治, 南博監修 ; 5).
676	感情と行為 : 社会学的感情論の試み / 高橋由典著. -- 新曜社, 1996. 7.
677	感情と認知 / 波多野誼余夫, 高橋恵子編著. -- 放送大学教育振興会, 2003. -- (放送大学教材 ; 1826611-1-0311).
678	感情の心理学 / 高橋恵子, 河合優年, 仲真紀子編著. -- 放送大学教育振興会, 2007. -- (放送大学教材 ; 1628615-1-0711).
679	感情の発達と障害 / 高野清純著. -- 福村出版, 1995. 2.
680	感情はいかにしてつくられるか / 大木幸介. -- 講談社, 1983.
681	感情はコントロールできる : 幸福な人柄を創る / D. ディンクメイヤー, G. D. マッケイ著 ; 柳平彬訳. -- 創元社, 1996. 11.
682	感情マネジメントと癒しの心理学 / 久保真人編. -- 朝倉書店, 2011. -- (朝倉実践心理学講座 / 海保博之監修 ; 7).
683	感情心理学 / 鈴木直人編. -- 朝倉書店, 2007. -- (朝倉心理学講座 / 海保博之監修 ; 10).
684	感情状態が認知過程に及ぼす影響 : 気分一致効果を巡って / 伊藤美加著. -- 風間書房, 2005.
685	感覚 / 苧阪良二編. -- 東京大学出版会, 1969. -- (講座心理学 ; 3).
686	感覚+知覚心理学ハンドブック / 和田陽平編. -- 誠信書房, 1969.
687	感覚と運動 / 秋田宗平 [ほか] 訳. -- 白水社, 1971. 9. -- (現代心理学 / J. ピアジェ, P. フレス編 ; 波多野完治, 南博監修 ; 2).
688	感覚療法への招待 / 福島明子編著. -- 風間書房, 2012.
689	感覚知覚心理学 / 菊地正編. -- 朝倉書店, 2008. -- (朝倉心理学講座 / 海保博之監修 ; 6).
690	戦略的思考とは何か : エール大学式「ゲーム理論」の発想法 / アビナッシュ・ディキシット, バリー・ネイルバフ著 ; 菅野隆, 嶋津祐一訳. -- TBSブリタニカ, 1991. 10.
691	手にとるように発達心理学がわかる本 / 小野寺敦子著. -- かんき出版, 2009.
692	援助する面接(カウンセリング) / Alfred Benjamin著 ; 林義子訳. -- 春秋社, 1990.
693	援助の科学 / 岡村一成, 手島茂樹編. -- 福村出版, 1994. 9. -- (こころの科学 / 大村政男監修 ; 第7巻).
694	援助関係 : 援助専門職のための基本概念 / A. W. コームズ [ほか] 著 ; 大沢博, 菅原由美子訳. -- プレン出版, 1985. 4.
695	揺れるたましいの深層 : こころとからだの臨床学 / 中島登代子, 森岡正芳, 前林清和編. -- 創元社, 2012.
696	改訂版 行動学入門-生物科学としての心理学/行動学入門...-/行動学入門 / Donald Olding Hebb ; 白井常監訳. -- 紀伊國屋書店, 1970.
697	攻撃 1 / Konrad Lorenz ; 日高敏隆訳. -- 1. -- みすず書房, 1980. -- (みすず科学ライブラリー ; 15).
698	攻撃 2 / Konrad Lorenz ; 日高敏隆訳. -- 2. -- みすず書房, 1980. -- (みすず科学ライブラリー ; 16).
699	教育と心理臨床 / 安香宏 [ほか] 編集. -- 金子書房, 1990. 6. -- (臨床心理学大系 / 河合隼雄 [ほか] 企画委員 ; 第14巻).
700	教育心理学 / 鹿毛雅治編. -- 朝倉書店, 2006. -- (朝倉心理学講座 / 海保博之監修 ; 8).
701	教育的心理療法入門 / 田中熊次郎. -- 明治図書出版, 1982.
702	教養の心理学-動機のはたらきと行動- / 林保編著. -- 朝倉書店, 1983.
703	教養心理学入門-日常生活に見られる心理現象の理解- / 清水栄長. -- 川島書店, 1981.
704	数理心理学 / 印東太郎編. -- 東京大学出版会, 1969. 6. -- (講座心理学 ; 15).
705	数理心理学序説 / Clyde H. Coombs ; 小野茂監訳. -- 新曜社, 1974.
706	文化と心理テスト / Theodora M. Abel ; 高橋雅春訳. -- サイエンス社, 1980.
707	文化と思考-認知心理学的考察- 10 / Michael Cole ; 岩井邦夫訳. -- 10. -- サイエンス社, 1982. -- (心理学叢書).
708	文化と環境 / Irwin Altman, Martin Chemers [著] ; 石井真治監訳. -- 西村書店, 1998. 6. -- (環境と人間行動シリーズ ; 4).

709	文化・社会の病理 / 小此木啓吾[ほか]著. -- みすず書房, 1992. 4. -- (異常心理学講座 / 土居健郎 [ほか] 責任編集 ; 10).
710	文化心理学 / 田島信元編. -- 朝倉書店, 2008. -- (朝倉心理学講座 / 海保博之監修 ; 11).
711	文化的営みとしての発達 : 個人、世代、コミュニティ / バーバラ・ロゴフ著 ; 當眞千賀子訳. -- 新曜社, 2006.
712	文芸学と精神分析 / PetervonMatt ; 高田淑訳. -- 人文書院, 1980.
713	新しい事例検討法PCAGIP入門 : パーソン・センタード・アプローチの視点から / 村山正治, 中田行重編著. -- 創元社, 2012.
714	新・死ぬ瞬間 / E. キューブラー・ロス著 ; 秋山剛, 早川東作訳. -- 読売新聞社, 1985. 5.
715	新版 作家の診断 -ロールシャハ・テストから創作心理の秘密をさぐる- / 片口安史. -- 新曜社, 1982.
716	新版 現代人の心理学 -科学としての人間理解- / 早坂泰次郎編. -- 川島書店, 1983.
717	新版現代人の心理学/現代人の心理学 : 科学としての人間理解 / 早坂泰次郎編著. -- 新版. -- 川島書店, 1983.
718	新版生涯発達心理学 : エリクソンによる人間の一生とその可能性 / BarbaraM. Newman著 福富護訳. -- 川島書店, 1988.
719	新編感覚・知覚心理学ハンドブック / 大山正, 今井省吾, 和気典二編 ; [pt. 1], pt. 2. -- 誠信書房, 1994.
720	新行動主義心理学-動物と人間における目的行動- / Tolman. E. C. ; 富田達彦訳. -- 清水弘文堂, 1977.
721	新視覚新論 / 大森莊蔵. -- 東京大学出版会, 1983.
722	方法としての心理学史 : 心理学を語り直す / サトウタツヤ著. -- 新曜社, 2011.
723	方法論からの心理学 / 田中一彦. -- 勁草書房, 1982.
724	日常言語の推論 / 坂原茂著. -- 東京大学出版会, 1985. 10. -- (認知科学選書 / 戸田正直 [ほか] 編集 ; 2).
725	日本の心理学 / 「日本の心理学」刊行委員会. -- 日本文化科学社, 1982.
726	日本人とアイデンティティ : 心理療法家の眼 / 河合隼雄著. -- 創元社, 1984. 8.
727	日本人の心 / 河合隼雄著. -- 岩波書店, 1994. 4. -- (河合隼雄著作集 / 河合隼雄著 ; 第8巻).
728	日本人の表現構造 / D. C. Barnlund ; 西山千. -- サイマル出版会, 1979.
729	日本心理学者事典 / 大泉溥編纂. -- クレス出版, 2003. 2.
730	日本的父性の発見 : 母性社会論をこえて / 安溪真一, 矢吹省二著. -- 有斐閣, 1989. 5.
731	日本社会とジェンダー / 河合隼雄著. -- 岩波書店, 1994. 12. -- (河合隼雄著作集 / 河合隼雄著 ; 第10巻).
732	日本陰陽道史総説 / 村山修一著. -- 塙書房, 1981. 4.
733	昔話から学ぶ人間の成長と発達 : グリム童話からディズニー作品まで / 大野木裕明 [ほか] 編. -- ナカニシヤ出版, 2015.
734	昔話の世界 / 河合隼雄著. -- 岩波書店, 1994. 3. -- (河合隼雄著作集 / 河合隼雄著 ; 第5巻).
735	星の王子さまと野菜人格 : 卓越した心理療法家のための参考書 / グレン C. エレンボーゲン編 ; 篠木満訳. -- 星和書店, 1987. 11.
736	時代精神の病理学 : 心理療法の26章 / ヴィクトール・E. フランクル著 ; 宮本忠雄訳. -- みすず書房, 1961. -- (フランクル著作集 ; 3).
737	時間を作る時間を生きる : 心理的時間入門 / 松田文子編. -- 北大路書房, 2004. 3.
738	時間制限心理療法 / JamesMann ; 上地安昭訳. -- 誠信書房, 1980.
739	暗室のなかの世界 : 感覚遮断の研究 / JackA. Vernon ; 大熊輝雄訳. -- みすず書房, 1977.
740	暴力の起源 -人はどこまで攻撃的か- / AshleyMontagu ; 尾本恵市訳. -- どうぶつ社, 1982.
741	最新 エンゼルの心理学 / JamesRowlandAngell ; 大伴茂補譯. -- 培風館, 1922.
742	最期に人が求めるものは / E. キューブラー・ロス著 ; 川口正吉訳. -- 読売新聞社, 1977. 11. -- (死ぬ瞬間 / E. キューブラー・ロス著 ; 川口正吉訳 ; 続).
743	本当に愛されてるの? / 根本裕幸, 原裕輝著. -- すばる舎, 2003. 7.
744	構想力と想像力 : 心理学的研究叙説 / 半田智久著. -- ひつじ書房, 2013.
745	機械の知人間の知 / 辻井潤一, 安西祐一郎著. -- 東京大学出版会, 1988. 10. -- (認知科学選書 / 戸田正直 [ほか] 編集 ; 20).

746	欲望の世界：ドルト女子。聖書を語る / Françoise Dolto著；寺内礼訳。-- 勁草書房, 1985。-- (精神分析に照らした福音書；1)。
747	欲望への誘い：ドルト女史の聖書分析 / Françoise Dolto著；寺内礼訳。-- 勁草書房, 1985。-- (精神分析に照らした福音書；2)。
748	歴史とアイデンティティ 近代日本の心理歴史研究 / 栗原彬。-- 新曜社, 1984。
749	歴史と動向 / 末永俊郎編。-- 東京大学出版会, 1971。-- (講座心理学；1)。
750	死とその過程について / E・キューブラー・ロス著；鈴木晶訳。-- 完全新訳改訂版。-- 読売新聞社, 1998. 4。-- (死ぬ瞬間 / E・キューブラー・ロス著；鈴木晶訳；[正])。
751	死と愛：実存分析入門 / V・E・フランク著；霜山徳爾訳。-- みすず書房, 1961。-- (フランク著作集；2)。
752	死と愛：実存分析入門 / ヴィクトール・E. フランク[著]；霜山徳爾訳。-- 新装版。-- みすず書房, 1985. 5。
753	死にゆく時 -そして残されるもの- / Edwin S. Shneidman；白井徳満訳。-- 誠信書房, 1983。
754	死に急ぐ子供たち：小児の自殺の臨床精神医学的研究 / Pfeffer, Cynthia R著；高橋祥友訳。-- 中央洋書出版部, 1990。
755	死ぬことから逃げない：洗心術入門 / 早島正雄著。-- 泰流社, 1979. 1。
756	死ぬ瞬間 / E・キューブラー・ロス著；鈴木晶訳。-- 完全新訳改訂版。-- 読売新聞社, 1998。
757	死ぬ瞬間：死にゆく人々との対話 / Kubler-Ross, Elisabeth著；川口正吉訳。-- 読売新聞社, 1971。
758	死ぬ瞬間-死にゆく人々との対話 / Elisabeth Kubler-Ross；川口正吉訳。-- 読売新聞社, 1969。
759	死ぬ瞬間:死とその過程について / エリザベス・キューブラー・ロス著；鈴木晶訳。-- 中央公論新社, 2001。-- (中公文庫；[キ-5-1]。死ぬ瞬間；[正])。
760	死ぬ瞬間の子供たち / E. キューブラー・ロス著；川口正吉訳。-- 読売新聞社, 1982. 2。
761	死ぬ瞬間の対話 / E. キューブラー・ロス著；川口正吉訳。-- 読売新聞社, 1975. 4。
762	死の世界を考える：死後の生存はあるか / Robert Kastenbaum著；宮本忠雄監訳。-- 東京書籍, 1986。
763	死の臨床 / 河野博臣著。-- 新版。-- 医学書院, 1989. 9。
764	死別の悲しみを超えて / 若林一美著。-- 岩波書店, 2000。-- (岩波現代文庫；社会；13)。
765	死後の生 / ジェフリー・アイバーソン著；片山陽子訳。-- 日本放送出版協会, 1993. 9。
766	母と子の深層 / 秋山さと子。-- 青土社, 1981。
767	母子関係：マザーコンプレックスからの解放 / 斎藤茂太著。-- 光文社, 1979. 1。-- (カッパ・ホームス)。
768	母性心理学 / 花沢成一著。-- 医学書院, 1992. 4。
769	母性意識の構造と発達 / 松村恵子著。-- 真興交易医書出版部, 1999. 2。
770	母性愛の研究 / 平井信義編；平井信義[ほか]著。-- 同文書院, 1976. 7。
771	母親モラトリアムの時代：21世紀の女性におくるCo-セルフの世界 / 蘭香代子著。-- 北大路書房, 1989. 9。
772	母親剥奪理論の功罪 -マターナル・デプリベーションの再検討- / Michael Rutter；北見芳雄訳。-- 誠信書房, 1981。
773	比喩から学ぶ心理学：心理学理論の新しい見方 / 田邊敏明著。-- 北大路書房, 2000。
774	比喩と理解 / 山梨正明著；岩田純一補稿。-- 東京大学出版会, 1988. 3。-- (認知科学選書 / 戸田正直 [ほか] 編集；17)。
775	比較行動学 1 / Irenaus Eibl-Eibesfeldt；伊谷純一郎訳。-- 1。-- みすず書房, 1978。
776	比較行動学 2 / I. Eibl-Eibesfeldt；伊谷純一郎訳。-- 2。-- みすず書房, 1979。
777	決定を支援する / 小橋康章著；市川伸一補稿。-- 東京大学出版会, 1988. 6。-- (認知科学選書 / 戸田正直 [ほか] 編集；18)。
778	治療学 / 土居健郎[ほか]著。-- みすず書房, 1989. 6。-- (異常心理学講座 / 土居健郎 [ほか] 責任編集；9)。
779	治療者向けマニュアル / ジョン・A・ハンター著；高岸幸弘訳。-- 日本評論社, 2012。-- (性的問題行動を抱える青年の認知行動療法 / ジョン・A・ハンター著；高岸幸弘訳)。

780	注意と意識 / 安西祐一郎[ほか]著. -- 岩波書店, 1994.10. -- (岩波講座認知科学 / 伊藤正男[ほか]編 ; 9).
781	注釈「甘え」の構造 / 土居健郎著. -- 弘文堂, 1993.9.
782	洗脳の世界 : だまされないためにマインドコントロールを科学する / キャスリーン・テイラー著 ; 佐藤敬訳. -- 西村書店, 2006.
783	流動する家族関係 / 河合隼雄著. -- 岩波書店, 1994.11. -- (河合隼雄著作集 / 河合隼雄著 ; 第14巻).
784	潜在記憶研究 : 意味記憶の枠組みから見た直接プライミング効果 / 原田悦子著. -- 風間書房, 1996.
785	無意識の発見 上 / Henri F. Ellenberger ; 木村敏監訳. -- 上. -- 弘文堂, 1980. -- (力動精神医学発達史).
786	無意識の発見 下 / Henri F. Ellenberger ; 木村敏監訳. -- 下. -- 弘文堂, 1980. -- (力動精神医学発達史).
787	物語と科学 / 河合隼雄著. -- 岩波書店, 1995.2. -- (河合隼雄著作集 / 河合隼雄著 ; 第12巻).
788	狼にそだてられた子 / A. ゲゼル著 ; 生月雅子訳. -- 家政教育社, 1967.5.
789	狼にそだてられた子 / A. ゲゼル著 ; 生月雅子訳. -- 第45刷. -- 家政教育社, 1999.4.
790	現代の心理学 / 今田恵著. -- 岩波書店, 1958. -- (岩波全書 ; 241).
791	現代の心理学 4. -- 4. -- 培風館, 1976.
792	現代の心理学 : 研究の動向と展開 / 秋田宗平, 島久洋, 杉田千鶴子編. -- 有斐閣, 1994.5.
793	現代人の心理と行動事典 / 多湖輝. -- 講談社, 1982.
794	現代催眠原論 : 臨床・理論・検証 / 高石昇, 大谷彰著. -- 金剛出版, 2012.
795	現代基礎心理学 12 / 八木冕監修. -- 12. -- 東京大学出版会, 1981.
796	現代心理学 - 認知理論の展開 - / Jean Piaget ; 波多野完治訳. -- 福村出版, 1981.
797	現代心理学 / P. G. ジンバルド著 ; 古畑和孝, 平井久監訳. -- 1, 2, 3. -- サイエンス社, 1983.1.
798	現代心理学 : 人間性と行動の科学 / 磯崎三喜年編著. -- ナカニシヤ出版, 2012.
799	現代心理学 : 行動から見る心の探求 / 伊藤正人編. -- 昭和堂, 2013.
800	現代心理学 I / Philip G. Zimbardo著 ; 古畑和孝監訳. -- I. -- サイエンス社, 1983.
801	現代心理学 II / Philip G. Zimbardo著 ; 古畑和孝監訳. -- II. -- サイエンス社, 1983.
802	現代心理学 III / Philip G. Zimbardo著 ; 古畑和孝監訳. -- III. -- サイエンス社, 1983.
803	現代心理学18講 / R. J. Senter ; 依田明編訳. -- 学研, 1983.
804	現代心理学「事例」事典 / 中島義明編. -- 朝倉書店, 2012.
805	現代心理学「理論」事典 / 中島義明編. -- 朝倉書店, 2001.
806	現代心理学の体系 - 批判的スケッチ - / Daniel N. Robinson ; 大久保幸郎訳. -- 誠信書房, 1983.
807	現代心理学の動向 1946~1980 / 肥田野直編集. -- 川島書店, 1981.
808	現代心理学の探究 / 青柳肇. -- 福村出版, 1983.
809	現代心理学の系譜-その人と学説と- 1巻 / 佐藤幸治編. -- 1巻. -- 岩崎学術出版社, 1975.
810	現代心理学の系譜-その人と学説と- 2巻 / 佐藤幸治編. -- 2巻. -- 岩崎学術出版社, 1975.
811	現代心理学の系譜-その人と学説と- 3巻 / 佐藤幸治編. -- 3巻. -- 岩崎学術出版社, 1975.
812	現代心理学の群像-人とその業績- / 古賀行義編著. -- 協同出版, 1974.
813	現代心理学の諸相 / 小野章夫編著. -- 誠信書房, 1980.
814	現代心理学入門 上 / Richard I. Evans ; 犬田充訳. -- 上. -- 講談社, 1983.
815	現代心理学入門 下 / Richard I. Evans ; 犬田充訳. -- 下. -- 講談社, 1983.
816	現実社会とかかわる「集団・組織・適応」 / 松井豊, 宮本聡介編. -- サイエンス社, 2011. -- (心理測定尺度集 ; 6).
817	現象学と心理学 / Thines, Georges ; 小野章夫訳. -- 誠信書房, 1982.
818	現象学的心理学の系譜 - 人間科学としての心理学 - / Amedeo Giorgi ; 早坂泰次郎訳. -- 勁草書房, 1981.
819	理解とは何か / 佐伯胖編. -- 東京大学出版会, 1985.11. -- (認知科学選書 / 戸田正直[ほか]編集 ; 4).

820	理論と方法 / 高橋恵子 [ほか] 編. -- 東京大学出版会, 2012. -- (発達科学入門 / 高橋恵子 [ほか] 編 ; 1).
821	環境心理学 / 佐古順彦, 小西啓史編. -- 朝倉書店, 2007. -- (朝倉心理学講座 / 海保博之監修 ; 12).
822	環境心理学 / 望月衛, 大山正編. -- 朝倉書店, 1979. 7. -- (現代の心理科学).
823	環境心理学 6 / Harold, MProshansky編. -- 6. -- 誠信書房, 1977.
824	環境心理学への道. -- 日本放送出版協会, 1974. 4. -- (NHKブックス).
825	生きられる時間 : 現象学的・精神病理学的研究 / E. ミンコフスキ-[著] ; 中江育生, 清水誠訳. -- 1, 2. -- みすず書房, 1972-1973.
826	生きることと死ぬこと / 河合隼雄著. -- 岩波書店, 1994. 2. -- (河合隼雄著作集 / 河合隼雄著 ; 第13巻).
827	生と死の接点 / 河合隼雄著. -- 岩波書店, 1989.
828	生涯発達心理学 / 小嶋秀夫, やまだようこ編著. -- 放送大学教育振興会, 2002. -- (放送大学教材 ; 82271-1-0211, 1822713-1-0211).
829	生涯発達心理学 : エリクソンによる人間の一生とその可能性 / バーバラ M. ニューマン, フィリップ R. ニューマン著 ; 福富護, 伊東恭子訳. -- 川島書店, 1980. 12.
830	生涯発達心理学15講 / 高橋一公, 中川佳子編著. -- 北大路書房, 2014.
831	生理学的心理学 / 今村護郎編. -- 東京大学出版会, 1970. -- (講座心理学 ; 14).
832	生理心理学 / 岩原信九郎. -- 星和書店, 1981.
833	産業・組織心理学 / 古川久敬編. -- 朝倉書店, 2006. -- (朝倉心理学講座 / 海保博之監修 ; 13).
834	留学生の異文化間心理学 : 文化受容と援助の視点から / 井上孝代著. -- 玉川大学出版部, 2001. 2.
835	異常心理の発見 / CliffordAllen ; 小林司. -- 角川書店, 1983.
836	異常心理学 -異常心理の基にあるもの- / 重松毅. -- 川島書店, 1980.
837	異常心理学 / G. C. デビソン, J. M. ニール著 ; 村瀬孝雄監訳. -- 誠信書房, 1998. 3.
838	異常心理学 / 井村恒郎 [ほか] 著. -- 1 (第1巻), 2 (第4巻). -- みすず書房, 1966. 2-1967. 6. -- (異常心理学講座 / 井村恒郎 [ほか] 編 ; 1, 4).
839	異常心理学 / 村上仁著. -- 増補改訂版. -- 岩波書店, 1979. 2. -- (岩波全書 ; 166).
840	異常心理学 / 松山義則編. -- 東京大学出版会, 1969. -- (講座心理学 ; 12).
841	異常心理学入門 / BarclayMartin ; 伊沢秀而訳. -- サイエンス社, 1980. -- (心理学叢書 ; 4).
842	疑惑と行動 : マルクスとフロイトとわたくし / エーリッヒ・フロム著 ; 阪本健二, 志貴春彦共訳. -- 創元新社, 1965. 9. -- (現代社会科学叢書).
843	痛快!心理学 : Global standard★psychology / 和田秀樹著. -- 集英社インターナショナル, 2000.
844	発達 / 川島一夫編著 ; 毛塚恵美子 [ほか] 著. -- 改訂版. -- 福村出版, 2001. -- (図でよむ心理学).
845	発達の心理学 / 藤永保. -- 岩波書店, 1982.
846	発達の諸理論 / 平井久. -- 芸林書房, 1982.
847	発達・性格心理学 : 「人間」の理解を深めるカウンセリング / 藤原喜悦著. -- 佼成出版社, 1987. 8.
848	発達心理学 / 南徹弘編. -- 朝倉書店, 2007. -- (朝倉心理学講座 / 海保博之監修 ; 3).
849	発達心理学 / 大日向達子 [ほか] 著. -- 朝倉書店, 1992. 9. -- (日本女子大学家政学シリーズ).
850	発達心理学 : 健やかで幸せな発達をめざして / 松原達哉編. -- 丸善出版, 2015.
851	発達心理学 : 周りの世界とかかわりながら人はいかに育つか / 藤村宣之編著. -- ミネルヴァ書房, 2009. -- (いちばんはじめに読む心理学の本 ; 3).
852	発達心理学 : 心の謎を探る旅 / 長谷川真里著. -- 北樹出版, 2014.
853	発達心理学の展開 / 詫摩武俊. -- 新曜社, 1982.
854	発達心理学への招待 1 / 永野重史. -- 1. -- 新曜社, 1983.
855	発達心理学への招待 2 / 永野重史. -- 2. -- 新曜社, 1983.
856	発達心理学への招待 3 / 永野重史編. -- 3. -- 新曜社, 1983.
857	発達心理学への招待 5 / 永野重史編. -- 5. -- 新曜社, 1983.
858	発達心理学への招待 6 / 永野重史編. -- 6. -- 新曜社, 1983.
859	発達心理学への招待 7 / 永野重史編. -- 7. -- 新曜社, 1983.
860	発達心理学への招待 : こころの世界を開く30の扉 / 柏木恵子, 古澤頼雄, 宮下孝広著. -- ミネルヴァ書房, 1996. 4.

861	発達心理学入門 精神発達の比較心理学 / H. Werner ; 鯨岡峻訳. -- ミネルヴァ書房, 1976.
862	発達心理学史入門 / 村田孝次著. -- 培風館, 1987.
863	発達心理学特論 / 子安増生編著. -- 新訂. -- 放送大学教育振興会, 2011. -- (放送大学大学院教材 ; 8920567-1-1111. { 人間発達科学プログラム ; 臨床心理学プログラム }).
864	発達心理学総説 / 上武正二. -- 金子書房, 1974.
865	発達心理学要説テキスト : 側面別・段階別にみるその様相 / 白佐俊憲著. -- 川島書店, 1979. 8.
866	発達の人間論 -樹から下りたサル-の運命- / 津留宏. -- 有斐閣, 1981.
867	発達科学の最前線 / 板倉昭二編著. -- ミネルヴァ書房, 2014.
868	発達科学入門 / 高橋恵子 [ほか] 編 ; 2, 3. -- 東京大学出版会, 2012.
869	発達臨床心理学 / 相田貞夫. -- 朝倉書店, 1982.
870	発達障害の心理臨床 / 鑪幹八郎 [ほか] 編集. -- 金子書房, 1990. 1. -- (臨床心理学大系 / 河合隼雄 [ほか] 企画委員 ; 第12巻).
871	白雪姫コンプレックス : 白雪姫の母の物語でもあれば、コロシヤ・マザーとコロサレヤ・チャイルドの物語でもあるもの / 佐藤紀子著. -- 金子書房, 1985. 7.
872	目に見えない人と人の繋がりをはかる : 原子価査定テスト (VAT) の手引き / ハフシ・メッド著. -- ナカニシヤ出版, 2010.
873	相互行為分析という視点 : 文化と心の社会的記述 / 西阪仰著. -- 金子書房, 1997. 4. -- (認識と文化 / 田島信元, 無藤隆編集 ; 13).
874	看護のための人間発達学 / 舟島なをみ著. -- 医学書院, 1995. 12.
875	看護の心理学入門 / 岡堂哲雄編. -- 金子書房, 1997. 1. -- (ナースのための心理学 ; 1).
876	看護現場でいきるカウンセリング / 小玉正博, 松井豊編. -- サイエンス社, 2014. -- (生涯発達の中のカウンセリング ; 4).
877	矛盾を活かす超発想 / 森政弘著. -- 講談社, 1989. 12.
878	知と感性をそだてる / 教育と医学の会編. -- 慶應義塾大学出版会, 2002. -- (現代人の心の支援シリーズ / 教育と医学の会編 ; 2. 児童期).
879	知のワークブック : 大学生と新社会人のための / 竹田茂生, 藤木清編 ; [本体], 教授資料. -- くろしお出版, 2006.
880	知ること : 認識学序説 / 渡辺慧著. -- 東京大学出版会, 1986. 6. -- (認知科学選書 / 戸田正直 [ほか] 編集 ; 8).
881	知能 / 肥田野直編. -- 東京大学出版会, 1970. -- (講座心理学 ; 9).
882	知能の心理学 / ジャン・ピアジェ [著] ; 波多野完治, 滝沢武久訳 ; 新装. -- 改訂. -- みすず書房, 1998.
883	知能の心理学 / ジャン・ピアジェ [著] ; 波多野完治, 滝沢武久訳. -- 改訂. -- みすず書房, 1989. 5.
884	知能の臨床心理学 -知的機能発達とその神経心理- / 伊藤隆二. -- 川島書店, 1983.
885	知能の誕生 -- ミネルヴァ, 1978. -- 仮出版者.
886	知能心理学ハンドブック / ベンジャミン B. ウォールマン著 ; 杉原一昭監訳. -- 第1編, 第2編, 第3編. -- 田研出版, 1992. 9-1995. 1.
887	知能神話 / 山下恒男. -- JICC出版局, 1980.
888	知覚 / Julian E. Hochberg ; 上村保子訳. -- 原書2版. -- 岩波書店, 1981. -- (新訂現代心理学入門).
889	知覚 / 大山正編. -- 東京大学出版会, 1970. -- (講座心理学 ; 4).
890	知覚と感性 / 三浦佳世編. -- 北大路書房, 2010. -- (現代の認知心理学 ; 1).
891	知覚と発見 : 科学的探究の論理 上 / Norwood Russell Hanson ; 野家啓一訳. -- 上. -- 紀伊國屋書店, 1982.
892	知覚と発見 : 科学的探究の論理 下 / Norwood Russell Hanson ; 渡辺博訳. -- 下. -- 紀伊國屋書店, 1982.
893	知覚と認知 / 久保田正人 [ほか] 訳. -- 白水社, 1971. 10. -- (現代心理学 / J. ピアジェ, P. フレス編 ; 波多野完治, 南博監修 ; 6).
894	知覚と論理 -「生れつき」とは何か- / 須賀哲夫. -- 東京大学出版会, 1980.
895	知覚と運動 / 乾敏郎編. -- 東京大学出版会, 1995. 11. -- (認知心理学 ; 1).
896	知覚の現象学 1 / M. メルロー=ポンティ [著] ; 竹内芳郎, 小木貞孝訳. -- 1. -- みすず書房, 1967. 11.
897	知覚はおわらない : アフォーダンスへの招待 / 佐々木正人著. -- 青土社, 2000. 10.
898	知覚分析 / Z. Adiotrowski ; 上芝功博訳. -- 新曜社, 1980.

899	知覚的世界の恒常性：認識心理学 1 / 秋重義治. -- 1. -- 理想社, 1974.
900	知覚的世界の恒常性：認識心理学 2 / 秋重義治. -- 2. -- 理想社, 1970.
901	知覚的世界の恒常性：認識心理学 3 / 秋重義治. -- 3. -- 理想社, 1970.
902	研究とその計画：行動科学の視点から / ジョエル・R・デビッツ, ロイス・L・デビッツ著；戸田悦子, 日下洋右訳. -- 日本看護協会出版会, 1980. 10.
903	社会心理学 / 唐沢かおり編. -- 朝倉書店, 2005. -- (朝倉心理学講座 / 海保博之監修；7).
904	社会心理学 / 水原泰介編. -- 東京大学出版会, 1971. 1. -- (講座心理学；13).
905	社会態度 / H. JEysenck；塩見邦雄. -- ナカニシヤ出版, 1981.
906	社会病理学 / 佐々木斐夫[ほか]著. -- みすず書房, 1965. 10. -- (異常心理学講座 / 井村恒郎[ほか]編；5).
907	神経回路網モデルとコネクショニズム / 甘利俊一著；黒崎政男補稿. -- 東京大学出版会, 1989. 7. -- (認知科学選書 / 戸田正直[ほか]編集；22).
908	神経症：その理論と治療 / ヴィクトール・E. フランクル著；宮本忠雄, 小田晋訳；1, 2. -- みすず書房, 1961. -- (フランクル著作集；4-5).
909	神経症と精神病. -- 1, 2, 3. -- みすず書房, 1987-1990. -- (異常心理学講座 / 土居健郎[ほか]責任編集；4-6).
910	私たちの先生は子どもたち！：子どもの「悲嘆」(Grief)をサポートする本 / リンダ・エスピー著；下稲葉かおり訳. -- 青海社, 2005. -- (シリーズここからはじまる).
911	私はなぜ私なのか：自我体験の発達心理学 / 天谷祐子著. -- ナカニシヤ出版, 2011.
912	空間と情緒 / 箱崎総一. -- 鹿島出版会, 1980.
913	精神分析たとえ話：タヴィストック・メモワール / 飛谷渉著. -- 誠信書房, 2016.
914	精神分析という語らい / 藤山直樹著. -- 岩崎学術出版社, 2011.
915	精神分析と現存在分析論 / メダルト・ボス著；笠原嘉, 三好郁男共訳. -- みすず書房, 1962. 7.
916	精神分析における関係性理論：その源流と展開 / 吾妻壮著. -- 誠信書房, 2016.
917	精神分析の理論 / CharlesBrenner；山根常男訳. -- 誠信書房, 1965.
918	精神分析セミナー 1 / 小此木啓吾編著. -- 1. -- 岩崎学術出版社, 1982.
919	精神分析セミナー 2 / 小此木啓吾編著. -- 2. -- 岩崎学術出版社, 1983.
920	精神分析・フロイト以後 -対象関係論の展開- / Harry, J. S. Guntrip；小此木啓吾訳. -- 誠信書房, 1982.
921	精神分析技法の基礎：ラカン派臨床の実際 / ブルース・フィンク[著]；樫田貴史[ほか]訳. -- 誠信書房, 2012.
922	精神医学的人間像 / ヴィクトール・E. フランクル著；宮本忠雄, 小田晋共訳. -- みすず書房, 1961. -- (フランクル著作集；6).
923	精神測定法 / J. P.Guilford；秋重義治監訳. -- 培風館, 1976.
924	精神病理学 / 神谷美恵子[ほか]著. -- 1(第7巻) - 4(第10巻). -- みすず書房, 1965. 7-1973. 5. -- (異常心理学講座 / 井村恒郎[ほか]編；7-10).
925	精神療法と精神分析 / 土居健郎著. -- 金子書房, 1961. 9.
926	精神療法学概論 / DietrichLangen；里村淳澄別=棒=. -- 誠信書房, 1980.
927	精神発達 / 藤永保編. -- 東京大学出版会, 1971. -- (講座心理学；11).
928	精神障害・心身症の心理臨床 / 福島章[ほか]編. -- 金子書房, 1990. 7. -- (臨床心理学大系 / 河合隼雄[ほか]企画委員；第11巻).
929	経験の本性 / W. ラッセル・ブレイン[著]；山鳥重訳. -- みすず書房, 1979. 12.
930	統合的心理療法の事例研究：村瀬嘉代子主要著作精読 / 新保幸洋編著；村瀬嘉代子出典著者. -- 金剛出版, 2012.
931	絵本に学ぶ臨床心理学序説 / 松瀬喜治, 松瀬留美子著. -- ナカニシヤ出版, 2013.
932	続 ものぐさ精神分析 / 岸田秀. -- 中央公論社, 1982.
933	続・元型論 / CarlGustavJung；林道義訳. -- 紀伊國屋書店, 1983.
934	続死ぬ瞬間-最後に人が求めるものは / ElisabethKubler-Ross；川口正吉訳. -- 読売新聞社, 1975.
935	緊急時の情報処理 / 池田謙一著. -- 東京大学出版会, 1986. 2. -- (認知科学選書 / 戸田正直[ほか]編集；9).
936	續勘の研究 / 黒田亮. -- 岩波書店, 1948.
937	老いの心の十二章 / 竹中星郎著. -- 左右社, 2011. -- (放送大学叢書；014).
938	老人の臨床心理学 / M. ストランド[ほか]編；下仲順子, 中里克治共訳. -- 誠信書房, 1982. 12.
939	老年心理学 / 中山茂[ほか]著. -- 診断と治療社, 1990. 4.
940	老年心理学 / 井上勝也編. -- 朝倉書店, 1980. -- (現代の心理学).

941	老年期：生き生きしたかわりあい / E.H.エリクソン, J.M.エリクソン, H.Q.キヴニツク著；朝長正徳, 朝長梨枝子訳。-- みすず書房, 1990.9.
942	聖魔女術(スパイラル・ダンス)：大いなる女神宗教の復活 / スターホーク著；鏡リュウジ, 北川達夫訳。-- 国書刊行会, 1994.10. -- (魔女たちの世紀；1).
943	聴覚・触覚・前庭感覚 / 内川恵二編集。-- 朝倉書店, 2008. -- (講座「感覚・知覚の科学」 / 内川恵二総編集；3).
944	育てる者への発達心理学：関係発達論入門 / 大倉得史著。-- ナカニシヤ出版, 2011.
945	胎生論心理学 / 浜畑紀。-- 黎明書房, 1978.
946	脳と心のモデル / 安西祐一郎[ほか]著。-- 岩波書店, 1994.6. -- (岩波講座認知科学 / 伊藤正男[ほか]編集；2).
947	脳と心理学：適応行動の生理心理学 / 二木宏明著。-- 朝倉書店, 1984.4. -- (シリーズ「脳の科学」).
948	脳と記憶：その心理学と生理学 / 二木宏明著。-- 共立出版, 1989. -- (ブレインサイエンス・シリーズ；4).
949	脳の言語 実験上のパラドックスと神経心理学の原理 / K.H.Pribram；須田勇監修；岩原信九郎。-- 誠信書房, 1979.
950	脳神経心理学 / 利島保編。-- 朝倉書店, 2006. -- (朝倉心理学講座 / 海保博之監修；4).
951	臨床のためのカウンセリング心理学 / 永田勝太郎編著；日本教育振興センター出版編集部編集。-- 佐久書房, 2002.1.
952	臨床実践としてのコミュニティ・アプローチ / 窪田由紀著。-- 金剛出版, 2009.
953	臨床実践のためのスピリチュアルセラピー / Len Sperry著；平林栄一, 飯森眞喜雄訳。-- 三輪書店, 2007.
954	臨床実践を導く認知行動療法の10の理論：「ベックの認知療法」から「ACT」・「マインドフルネス」まで / ニコラオス・カザンツィス, マーク・A・ライナック, アーサー・フリーマン編；小堀修[ほか]訳。-- 星和書店, 2012.
955	臨床心理 -ケース研究- / 臨床心理ケース研究編集委員会編。-- 誠信書房, 1980.
956	臨床心理 -ケース研究- 4 / 臨床心理ケース研究編集委員会編。-- 4. -- 誠信書房, 1982.
957	臨床心理士になるために / 日本臨床心理士資格認定協会監修。-- 第7版。-- 誠信書房, 1994.6.
958	臨床心理学 / 星野命, 詫摩武俊共編。-- 新曜社, 1972.4.
959	臨床心理学 / 桑原知子編。-- 朝倉書店, 2007. -- (朝倉心理学講座 / 海保博之監修；9).
960	臨床心理学 / 水山進吾編。-- 福村出版, 1981. -- (保育叢書；14).
961	臨床心理学 原書2版 / JulianB.Rotter；詫摩武俊訳。-- 原書2版。-- 岩波書店, 1966. -- (新訂 現代心理学入門).
962	臨床心理学の先駆者たち / 小川捷之[ほか]編集。-- 金子書房, 1990.12. -- (臨床心理学大系 / 河合隼雄[ほか]企画委員；第16巻).
963	臨床心理学の周辺 / 河合隼雄[ほか]編集。-- 金子書房, 1991.6. -- (臨床心理学大系 / 河合隼雄[ほか]企画委員；第15巻).
964	臨床心理学の歴史 / JohnM.Reisman；茨木俊夫訳。-- 誠信書房, 1983.
965	臨床心理学の科学的基礎 / 河合隼雄, 福島章, 村瀬孝雄編。-- 金子書房, 1991.12. -- (臨床心理学大系 / 河合隼雄[ほか]企画委員；第1巻).
966	臨床心理学を学ぶ / 小川捷之[ほか]編集。-- 金子書房, 1990.7. -- (臨床心理学大系 / 河合隼雄[ほか]企画委員；第13巻).
967	臨床心理行為：心理臨床家でないとできないこと / 氏原寛, 田嶋誠一編。-- 創元社, 2003.7.
968	臨床行動心理学の基礎：医と心を考える：人はなぜ心を求めるか / 久保田新[ほか]著。-- 丸善, 2003.3.
969	臨床過程と発達：精神分析的考え方・かわり方の実際 / フレッド・パイン著；斎藤久美子[ほか]共訳。-- 1, 2. -- 岩崎学術出版社, 1993.10.
970	臨死体験 / 立花隆著。-- 上, 下. -- 文藝春秋, 1994.9.
971	自分でできるマインドフルネス：安らぎへと導かれる8週間のプログラム / マーク・ウィリアムズ, ダニー・ペンマン著。-- 創元社, 2016.
972	自分でできる心理学 / 宮沢秀次, 二宮克美, 大野木裕明編。-- ナカニシヤ出版, 1991.9.
973	自分のことを傷つきやすいと感じている人へ。
974	自分の本質がわかる心理学：人間性の謎を解く深層心理テスト / 滝沢清人著。-- 青年書館, 1995.2.

975	自尊心を育てるワークブック / グレン・R・シラルディ著. -- 金剛出版, 2011.
976	自己実現の達成 / 上田吉一著. -- 大日本図書, 1994.11. -- (シリーズ人間性の心理学).
977	自己実現への再決断 -TA・ゲシュタルト療法入門- / Mary, McClureCouliding ; 深沢道子訳. -- 星和書店, 1981.
978	自己意識の心理学 / 梶田叡一. -- 東京大学出版会, 1983. -- (UP選書 ; 208).
979	自己成立の発達心理学 / 鈴木敏昭著. -- 西日本法規出版, 2004.
980	自己治療としての心理療法 -社会的機能測定表と新しい面接法- / EugeneHeimler ; 平井信義訳. -- 新曜社, 1982.
981	自我と無意識の関係 / CarlGustavJung ; 野田倬訳. -- 人文書院, 1983.
982	自我の心理/新版 自我の心理 / 北村晴朗. -- 新版. -- 誠信書房, 1979.
983	自我発達論 : 共生社会と創造的発達 / 守屋國光著. -- 風間書房, 2010.
984	自明性の時代 -懐疑とおびえの心理- / 加藤諦三. -- 三笠書房, 1980.
985	自殺のサインを読みとる / 高橋祥友 [著]. -- 改訂版. -- 講談社, 2008. -- (講談社文庫 ; [た-107-1]).
986	自殺のポストベンション : 遺された人々への心のケア / 高橋祥友, 福間詳編集. -- 医学書院, 2004.
987	自殺の心理学 / 高橋祥友著. -- 講談社, 1997. -- (講談社現代新書 ; 1348).
988	自殺をケアするということ : 「弱さ」へのまなざしからみえるもの / 木原活信, 引土絵未編著. -- ミネルヴァ書房, 2015. -- (新・Minerva福祉ライブラリー ; 24).
989	自立の心理学 / 国分康孝. -- 講談社, 1982.
990	色を心で視る / 千々岩英彰. -- 福村出版, 1985.
991	芸術は世界の力である / 青山昌文著. -- 左右社, 2014. -- (放送大学叢書 ; 027).
992	華僑の風水学 : 成功をもたらす開運法のすべて / 鮑黎明著. -- 東洋経済新報社, 1994.9.
993	虚記憶に関する神経心理学的研究 / 長谷川千洋著. -- 風間書房, 2009.
994	行動と形成と発達 / 斉藤幸一郎. -- サイエンス社, 1981. -- (ライブラリ 人間と行動 ; 4).
995	行動と脳 心理学と生理学 / 今村護郎. -- 東京大学出版会, 1979.
996	行動の生理心理学 / 岡市広成編著. -- ソフィア, 1995.5.
997	行動を起こし、持続する力 : モチベーションの心理学 / 外山美樹著. -- 新曜社, 2011.
998	行動主義と現象学 -現代心理の対立する基盤- / T.W.Wann ; 村山正治編訳. -- 岩崎学術出版社, 1980.
999	行動主義の心理学 / ワトソン・ジョンB ; 安田一郎訳. -- 河出書房新社, 1980.
1000	行動主義・新行動主義・認知主義 : 学習理論における過去および現在の視座 / アブラム・アムゼル著 ; 獅々見照訳. -- 二瓶社, 1992. -- (叢書現代の心理学 ; 1).
1001	行動学入門 -生物科学としての心理学- / DonaldOldingHebb ; 白井常訳. -- 紀伊國屋書店, 1976.
1002	行動学入門 : 生物科学としての心理学 / DonaldOldingHebb ; 白井常訳. -- 3版. -- 紀伊國屋書店, 1980.
1003	行動学入門 生物科学としての心理学 / DonaldOldingHebb ; 白井常訳. -- 紀伊國屋書店, 1980.
1004	行動工学の基礎理論 伝統的心理学への批判 / B.F.Skinner ; 玉城政光監訳. -- 佑学社, 1976.
1005	行動理論と条件づけ -心理学講義- / KennethW.Spence ; 三谷恵一訳. -- ナカニシヤ出版, 1982.
1006	行動科学とは何か / 千葉康則著. -- 日本放送出版協会, 1970.9. -- (NHKブックス ; 126).
1007	行動科学と心理学 / 三隅一成. -- 産業能率短期大学出版部, 1975.
1008	行動科学の発展と人間の将来 / Richard.EFarson ; 村山正治訳. -- 岩崎学術出版社, 1972. -- (岩崎学術双書 ; 13).
1009	行動臨床心理学 / 内山喜久雄編. -- 岩崎学術出版社, 1980.
1010	表と裏 / 土居健郎. -- 弘文堂, 1985.
1011	表情分析入門 : 表情に隠された意味をさぐる / PaulEkman著 ; 工藤力訳編. -- 誠信書房, 1987.
1012	被害者心理とその回復 : 心理的援助の最新技法 / 丹治光浩編. -- ゆまに書房, 2008. -- (シリーズこころとからだの処方箋 ; 15).
1013	西洋占星術の歴史 / S.J. Tester ; 山本啓二訳. -- 恒星社厚生閣, 1997.2.

1014	要求水準の研究 / 関計夫編著. -- 5版. -- 金子書房, 1975.
1015	要説心理統計法 / 倉智佐一, 山上暁編著. -- 改訂版. -- 北大路書房, 1994. 3.
1016	要説現代心理学 : 人間・社会・文化 / 狩野素朗, 山内隆久編. -- ナカニシヤ出版, 1991. 2.
1017	視点 / 宮崎清孝, 上野直樹著. -- 東京大学出版会, 1985. 10. -- (認知科学選書 / 戸田正直 [ほか] 編集 ; 1).
1018	視覚と聴覚 / 川入光男 [ほか] 著. -- 岩波書店, 1994. 7. -- (岩波講座認知科学 / 伊藤正男 [ほか] 編 ; 3).
1019	視覚の心理学 / 鳥居修晃. -- サイエンス社, 1982. -- (心理学叢書 ; 9).
1020	視覚の文法 : 脳が物を見る法則 / ドナルド・D. ホフマン著 ; 原淳子, 望月弘子訳. -- 紀伊國屋書店, 2003. 3.
1021	視覚系の中期・高次機能 / 塩入諭編集. -- 朝倉書店, 2007. -- (講座「感覚・知覚の科学」 / 内川恵二総編集 ; 2. 視覚 ; 2).
1022	覚醒と欲求 / 高橋宏 [ほか] 訳. -- 白水社, 1971. 7. -- (現代心理学 / J. ピアジェ, P. フレス編 ; 波多野完治, 南博監修 ; 3).
1023	観察学習の心理学 -モデリングによる行動変容- / 春木豊. -- 川島書店, 1982.
1024	言語 / 大津由紀雄編. -- 東京大学出版会, 1995. -- (認知心理学 ; 3).
1025	言語 / 橋田浩一 [ほか] 著. -- 岩波書店, 1995. 3. -- (岩波講座認知科学 / 伊藤正男 [ほか] 編 ; 7).
1026	言語とコミュニケーション / 佐藤信夫 [ほか] 訳. -- 白水社, 1971. 8. -- (現代心理学 / J. ピアジェ, P. フレス編 ; 波多野完治, 南博監修 ; 8).
1027	言語と理解 / R. ラックマン, J.L. ラックマン, E.C. バターフィールド共著 ; 箱田裕司, 鈴木光太郎監訳. -- サイエンス社, 1988. 11. -- (Cognitive science & information processing ; 6. { 認知心理学と人間の情報処理 / R. ラックマン [ほか] 共著 ; 箱田裕司, 鈴木光太郎監訳 } ; 3).
1028	言語心理学 / 針生悦子編. -- 朝倉書店, 2006. -- (朝倉心理学講座 / 海保博之監修 ; 5).
1029	計量心理学 / 武藤真介. -- 朝倉書店, 1982.
1030	計量心理学 / 武藤真介. -- 朝倉書店, 1982. -- (現代の心理科学).
1031	計量心理学 / 田中良久編. -- 東京大学出版会, 1969. -- (講座心理学 ; 2).
1032	記号と情報の行動科学 / 木下富雄, 吉田民人編. -- 福村出版, 1994. 1. -- (応用心理学講座 / 三隅二不二 [ほか] 編集 ; 4).
1033	記憶 / 梅本堯夫編. -- 東京大学出版会, 1969. -- (講座心理学 ; 7).
1034	記憶 / 高野陽太郎編. -- 東京大学出版会, 1995. 10. -- (認知心理学 ; 2).
1035	記憶と学習 / 市川伸一 [ほか] 著. -- 岩波書店, 1994. 4. -- (岩波講座認知科学 / 伊藤正男 [ほか] 編 ; 5).
1036	記憶と思考の発達心理学 / 山内光哉. -- 金子書房, 1983.
1037	記憶と知能 / J. Piaget ; 岸田秀訳. -- 再版. -- 国土社, 1977.
1038	記憶のしくみ -認知心理学的アプローチ- 1 / Roberta L. Klatzky ; 箱田裕司訳. -- 1. -- 2版. -- サイエンス社, 1982. -- (心理学叢書 ; 12).
1039	記憶のメカニズム : ニューロン・AI・哲学 / ジョージ・ジョンソン著 ; 鈴木晶訳. -- 河出書房新社, 1995. 4.
1040	記憶の心理学 / 太田信夫編著. -- 放送大学教育振興会, 2008. -- (放送大学教材 ; 1520709-1-0811).
1041	記憶力 : そのしくみとはたらき : カラー図説 / アラン・パッドリー著 ; 川幡政道訳. -- 誠信書房, 1988. 10.
1042	記憶力をよくする / L. I. Kupruanovich ; 金光不二夫訳. -- 講談社, 1982.
1043	記憶力を強めるには / Jacqueline Dineen ; 戸所宏之訳. -- 中央出版社, 1981.
1044	診断・指導に活かすPOMS事例集 / 横山和仁, 下光輝一, 野村忍編. -- 金子書房, 2002.
1045	認知とパフォーマンス / 梅本堯夫著. -- 東京大学出版会, 1987. 3. -- (認知科学選書 / 戸田正直 [ほか] 編集 ; 6).
1046	認知と感情の関連性 : 気分の効果と調整過程 / 富山尚子著. -- 風間書房, 2003.
1047	認知と言語の神経心理学 / J. Brown ; 原一雄訳. -- 新曜社, 1981.
1048	認知の発達-乳児期から青年期まで / Irving E. Sigel ; 子安増生訳. -- サイエンス社, 1983. -- (ライブラリ 教育の心理学 ; 3).
1049	認知の起源をさぐる / 渡辺茂著. -- 岩波書店, 1995. 3. -- (岩波科学ライブラリー ; 21).
1050	認知コントロール : 認知心理学の基礎研究から教育・臨床の応用をめざして / 嶋田博行, 芦高勇氣共著. -- 培風館, 2012.

1051	認知スタイル / KennethMGoldstein ; 島津一夫訳. -- 誠信書房, 1982.
1052	認知・学習心理学 / 宮谷真人, 中條和光編著. -- ミネルヴァ書房, 2012. -- (心理学研究の新世紀 ; 1).
1053	認知心理学 / UlricNeisser ; 大羽藁訳. -- 誠信書房, 1981.
1054	認知心理学 / 海保博之編. -- 朝倉書店, 2005. -- (朝倉心理学講座 / 海保博之監修 ; 2).
1055	認知心理学のすすめ / RichardEMayer ; 多鹿秀継訳. -- サイエンス社, 1983. -- (ライブラリ認知心理学).
1056	認知心理学の新展開 : 言語と記憶 / 川崎恵里子編著. -- ナカニシヤ出版, 2012.
1057	認知心理学ラボラトリー / 西本武彦編著. -- 弘文堂, 2012.
1058	認知心理学事典 / M.W.アイゼンク編 ; 野島久雄, 重野純, 半田智久訳. -- 新曜社, 1998. 5.
1059	認知心理学入門 : その基礎理論と応用 / 岡林春雄著. -- 金子書房, 1995. 4.
1060	認知心理学概論 / JohnRAnderson ; 富田達彦訳. -- 誠信書房, 1982.
1061	認知心理学概論 / 高野陽太郎, 波多野誼余夫編著. -- 放送大学教育振興会, 2006. -- (放送大学教材 ; 1117416-1-0611).
1062	認知心理学講座 3 / 東洋監修. -- 3. -- 東京大学出版会, 1982.
1063	認知心理学講座 4 / 東洋監修. -- 4. -- 東京大学出版会, 1982.
1064	認知療法・認知行動療法 : ストレスや苦手とつきあうための : 吃音とのつきあいを通して / 大野裕, 伊藤伸二著. -- 金子書房, 2011.
1065	認知発達と進化 / 友永雅己 [ほか著]. -- 岩波書店, 2001. 5. -- (認知科学の新展開 / 乾敏郎, 安西祐一郎編 ; 1).
1066	認知発達の心理学 / 滝沢武久. -- 向水社, 1982. -- (白水叢書 ; 65).
1067	認知科学 : 心の働きをさぐる / 村田厚生著. -- 朝倉書店, 1997. 4.
1068	認知科学の基礎 / 橋田浩一 [ほか] 著. -- 岩波書店, 1995. 2. -- (岩波講座認知科学 / 伊藤正男 [ほか] 編 ; 1).
1069	認知科学の方法 / 佐伯胖著. -- 東京大学出版会, 1986. 12. -- (認知科学選書 / 戸田正直 [ほか] 編集 ; 10).
1070	認知科学ハンドブック / 安西祐一郎 [ほか] 編 ; 日本認知科学会協力. -- 共立出版, 1992.
1071	認識と情報 / 有福孝岳編. -- 京都大学学術出版会, 1999. 10. -- (リレー講義録総合人間学を求めて ; 1).
1072	認識と文化 : 色と模様の民族誌 / 福井勝義著 ; 佐伯胖補稿. -- 東京大学出版会, 1991. 2. -- (認知科学選書 / 戸田正直 [ほか] 編集 ; 21).
1073	認識・感情・人格 -精神発達におけるその統一的理解- / 中村和夫. -- 三和書房, 1983.
1074	認識心理学 : 人間研究へのヒューマニスティック・アプローチ / アーサー・W・コームズ, アン・C・リチャーズ, フレッド・リチャーズ著 ; 大沢博, 今城真帆訳. -- 上, 下. -- ブレーン出版, 1991. 8.
1075	読むということ / 御領謙著. -- 東京大学出版会, 1987. 2. -- (認知科学選書 / 戸田正直 [ほか] 編集 ; 5).
1076	諸科学と心理学 / J.ピアジェ著 ; 芳賀純訳. -- 評論社, 1970.
1077	講座 現代の心理学 7 / 東洋企画. -- 7. -- 小学館, 1982.
1078	講座異常心理学 1. -- 1. -- 新曜社, 1979.
1079	講座異常心理学 2. -- 2. -- 新曜社, 1980.
1080	講座異常心理学 4. -- 4. -- 新曜社, 1980.
1081	識られざる神 / ヴィクトール・E. フランクル著 ; 佐野利勝, 木村敏共訳. -- みすず書房, 1962. -- (フランクル著作集 ; 7).
1082	質問紙調査と心理測定尺度 : 計画から実施・解析まで / 宮本聡介, 宇井美代子編. -- サイエンス社, 2014.
1083	質的心理学の展望 / サトウタツヤ著. -- 新曜社, 2013.
1084	質的心理学研究 / 無藤隆 [ほか] 編 ; 第1号(2002) - 第16号(2017). -- 新曜社, 2002.
1085	質的研究法 / G・W・オルポート著 ; 福岡安則訳. -- 弘文堂, 2017.
1086	超心理学概説 -心の科学の前線- / J.B. Rhine ; 湯浅泰雄訳. -- 宗教心理学研究所, 1982.
1087	超高齢社会を生きる : 老いに寄り添う心理学 / 長田久雄, 箱田裕司編. -- 誠信書房, 2016. -- (心理学叢書).

1088	身体図式 -自己身体意識の学説への寄与- / PaulSchilder ; 北條敬訳. -- 金剛出版, 1983.
1089	身体心理学 : 身体行動(姿勢・表情など)から心へのパラダイム / 春木豊, 山口創編著 ; 高瀬弘樹 [ほか] 共著. -- 新版. -- 川島書店, 2016.
1090	転移の心理学 / C.G.ユング著 ; 林道義, 磯上恵子共訳. -- みすず書房, 1994. 9.
1091	連想実験 / C.G.ユング [著] ; 林道義訳. -- みすず書房, 1993. 2.
1092	遊びと探索学習 -知的好奇心による行動の研究- / MaryReilly ; 山田孝訳. -- 協同医書出版, 1982.
1093	遊びの心理学 / JeanPiaget ; 大伴茂訳. -- 黎明書房, 1979.
1094	運動 / 川人光男 [ほか] 著. -- 岩波書店, 1994. 12. -- (岩波講座認知科学 / 伊藤正男 [ほか] 編 ; 4).
1095	運動と健康の心理学 / 竹中晃二編. -- 朝倉書店, 2012. -- (朝倉実践心理学講座 / 海保博之監修 ; 9).
1096	運動と言語. -- (認知科学の新展開).
1097	道徳性心理学 : 道徳教育のための心理学 / 日本道徳性心理学研究会編著. -- 北大路書房, 1992. 9.
1098	適応と不適応 / 福島章責任編集. -- 金子書房, 1989. 9. -- (性格心理学新講座 ; 第3巻).
1099	適応と欲求 / 戸川行男著. -- 金子書房, 1956.
1100	適応障害の心理臨床 / 安香宏, 小川捷之, 空井健三編. -- 金子書房, 1992. 2. -- (臨床心理学大系 / 河合隼雄 [ほか] 企画委員 ; 第10巻).
1101	遺児における親との死別体験の影響と意義 : 病氣遺児、自死遺児、そして震災遺児がたどる心的プロセス / 倉西宏著. -- 風間書房, 2012.
1102	野生の思考 / C.Levi-Strauss ; 大橋保夫訳. -- みすず書房, 1984.
1103	量の発達心理学 / JeanPiaget ; 滝沢武久訳. -- 国土社, 1981.
1104	錯覚の科学 / 菊池聡編著. -- 放送大学教育振興会, 2014. -- (放送大学教材 ; 1528939-1-1411).
1105	鏡の中の自己 / 熊倉徹雄. -- 海鳴社, 1983. -- (Monad books).
1106	鏡の背面 / KonradLorenz ; 谷口茂. -- 上. -- 思索社, 1981.
1107	鏡の背面 / KonradLorenz ; 谷口茂. -- 下. -- 思索社, 1981.
1108	障害のある人を支える / 教育と医学の会編. -- 慶應義塾大学出版会, 2002. -- (現代人の心の支援シリーズ / 教育と医学の会編 ; 5. 障害児).
1109	集中力がつく本 / 多湖輝. -- ごま書房, 1983.
1110	集団と個人 / 穠山貞登 [ほか] 訳. -- 白水社, 1972. 1. -- (現代心理学 / J.ピアジェ, P.フレス編 ; 波多野完治, 南博監修 ; 9).
1111	集団の経験 : ビオンの精神分析的集団論 / ウィルフレッド・R. ビオン著 ; 黒崎優美, 小畑千晴, 田村早紀訳. -- 金剛出版, 2016.
1112	青年・成人・老年期. -- ナカニシヤ出版, 1990. 7. -- (発達心理学 / 山内光哉編 ; 下).
1113	青年心理学方法論 / 西平直喜. -- 有斐閣, 1983.
1114	青年臨床心理学 / 関一編. -- 朝倉書店, 1983.
1115	面接のプログラム学習 / D.エバンス [ほか] 著 ; 援助技術研究会訳. -- 相川書房, 1990. 10.
1116	面接法 / 熊倉伸宏著 ; [1]. -- 新興医学出版社, 2002.
1117	音と聴こえ : 言語療法と音楽療法のための / 須藤貢明, 杵鞭広美著. -- 音楽之友社, 2005.
1118	音楽と認知 / 波多野誼余夫編. -- 東京大学出版会, 1987. 7. -- (認知科学選書 / 戸田正直 [ほか] 編集 ; 12).
1119	音韻的作動記憶に関する研究 / 齊藤智著. -- 風間書房, 1997.
1120	頭の働きを科学する : 学習・記憶・脳 / PaulChance編 ; 海保博之訳. -- マグロウヒル, 1991.
1121	風水という名の環境学 : 気の流れる大地 / 上田信著. -- 農山漁村文化協会, 2007. -- (図説・中国文化百華 ; 015).
1122	高齢者心理学 / 権藤恭之編. -- 朝倉書店, 2008. -- (朝倉心理学講座 / 海保博之監修 ; 15).
1123	魂にメスはいらない : ユング心理学講義 / 河合隼雄, 谷川俊太郎著. -- 朝日出版社, 1979. 3. -- (Lecture books).
1124	魅きつける力 : 夢 転移 言葉 / J.--B. ポンタリス [著] ; 藤谷興一訳. -- みすず書房, 1993. 1.

1125	魔女と魔術の事典 / ローズマリ・エレン・グィリー著 ; 荒木正純, 松田英監訳. -- 原書房, 1996.10.
1126	魔女狩りと悪魔学 / 上山安敏, 牟田和男編著. -- 人文書院, 1997.3.

臨床心理学科の雑誌

No.	書誌事項	発行頻度
1	Cognition : international journal of cognitive psychology. -- Vol. 1, no. 1 (1972)-. -- Mouton, 1972.	月刊
2	児童心理 = Child study. -- 1巻1号 (1947.1)-. -- 金子書房, 1947.	月刊 (増刊あり)
3	児童心理学の進歩. -- 1962年版 (1962)-1964年版 (1964) ; V. 4 (1965)-. -- 金子書房, 1962.	年刊
4	カウンセリング研究 / 日本カウンセリング学会 [編集]. -- 20巻1号 (1987.10)-. -- 日本カウンセリング学会, 1987.	季刊
5	教育心理学研究 / 日本教育心理学協会編集. -- 1巻1号 (昭28.5)-. -- 国土社, 1953.	季刊
6	人間工学 = The Japanese journal of ergonomics / 日本人間工学会 [編集]. -- Vol. 1, no. 1 (1965.1)-. -- 日本人間工学会, 1965.	隔月刊
7	Psychology today. -- Vol. 1 (May 1967)-. -- [Sussex Publishers, etc.], 1967.	隔月刊
8	臨床心理学 = Japanese journal of clinical psychology. -- 1巻0号 (Sep. 2000)- = 通巻0号 (Sep. 2000)-. -- 金剛出版, 2000.	隔月刊
9	神経心理学 : Japanese journal of neuropsychology. -- Vol. 1, no. 1 (1985. 5)-. -- 日本神経心理学会, 1985.	季刊

臨床心理学科の電子ジャーナル

No.	書誌事項	発行頻度
1	Applied cognitive psychology (Wiley)	隔月刊
2	Applied Psychology (Wiley)	季刊
3	Asian Journal of Social Psychology (Wiley)	季刊
4	British Journal of Psychology (Wiley)	季刊
5	Clinical Psychology & Psychotherapy (Wiley)	隔月刊
6	Clinical Psychology: Science and Practice (Wiley)	季刊
7	European Journal of Social Psychology (Wiley)	隔月刊
8	Forensische Psychiatrie, Psychologie, Kriminologie (Springer)	季刊
9	Japanese Psychological Research (Wiley)	季刊
10	Journal of Analytical Psychology (Wiley)	年5回刊
11	Journal of Child Psychology and Psychiatry (Wiley)	月刊
12	Journal of Clinical Psychology (Wiley)	月刊
13	Journal of Community & Applied Social Psychology (Wiley)	隔月刊
14	Journal of Community Psychology (Wiley)	年8回刊
15	Journal of Investigative Psychology and Offender Profiling (Wiley)	年3回刊
16	家族心理学研究 (日本家族心理学会、Medical Online)	年2回刊
17	音楽心理学音楽療法研究年報 (日本音楽心理学音楽療法懇話会、Medical Online)	年刊
18	応用心理学研究 (日本応用心理学会、Medical Online)	年3回刊
19	Political Psychology (Wiley)	隔月刊
20	Psychological Research (Springer)	隔月刊
21	Psychology & Marketing (Wiley)	月刊
22	Psychology in the Schools (Wiley)	年10回刊
23	Psychology of Women Quarterly (Wiley)	季刊
24	Scandinavian Journal of Psychology (Wiley)	隔月刊
25	スポーツ心理学研究 (日本スポーツ心理学会、Medical Online)	年2回刊

臨床実習先

NO.	病院名称	郵便番号	住所
1	杏林大学医学部附属病院	181-8611	東京都三鷹市新川6-20-2

実習中の感染予防及び感染症発生時、事故発生時の対応について

I. 実習中の感染予防及び感染症発生時の対応について

1. 実習中の健康管理及び感染症予防

実習中は心身に大きなストレスがかかり体調を崩しやすくなる。医療職を目指す者として、日頃から自分自身の健康管理に努めなくてはならない。

学生が感染症に罹患した場合、患者及び家族をはじめ、周囲の人々に深刻な影響を及ぼす可能性がある。したがって、以下に示すように、感染の予防と適切な治療を受けるとともに、実習への取り組みについて指導教員から指導を得る。

- 1) 感染症を未然に防ぐために、睡眠や栄養を十分にとり、手洗いやうがいを励行し、積極的に予防接種を受ける。
- 2) 朝の時点で、37℃以上の発熱や咳・鼻水などの呼吸器症状あるいは、下痢・嘔吐・腹痛などの著明な消化器症状が生じた場合には、実習施設に行く前に指導教員に報告し、指示を受ける。
- 3) 感染症が疑われる時は、速やかに医療機関を受診して必要な治療を受ける。
- 4) 受診した結果および実習に関する主治医の意見は、ただちに指導教員へ報告し、実習継続について指示を受ける。
- 5) 周囲への感染の拡大および蔓延の防止に対して必要な対策をとる。

なお、インフルエンザや麻疹などの感染症と診断された場合は、指導教員に報告の上、ただちに実習を中断し、受診結果を指導教員に報告する。医師より問題ないとの判断が得られたら、指導者の指示に従って実習を再開する。感染症発生時の連絡体制を図1に示す。

2. 感染症の防止について

1) B型肝炎・麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎に対して

厚生労働省から出された「麻疹に関する特定感染症予防指針」第三・4・4において「医療・福祉・教育に係わる学生に対して、罹患歴及び予防接種歴の確認並びに未罹患であり、かつ、麻疹の予防接種を必要回数接種していない者に対する予防接種を推奨する」とあり、麻疹対策の徹底が指摘されている。

これを受け、本学診療放射線技術学科では入学年次5月に「B型肝炎・麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎」の抗体価検査を実施しており、診療放射線技術学科もこれに準じて実施する。抗体価が陰性（－）あるいは疑陽性（±）であった学生に対し、その後ワクチンの接種状況の調査を実施する。実習に際して、実習病院・施設へ「抗体保有状況報告書」の提出が必要になるところがある。そのため、ワクチンを接種していない学生には接種が求められる。

2) 細菌性急性胃腸炎に対して

小児施設や高齢者施設の一部では、便の検査（O-157・病原性大腸菌、腸炎ビブリオ、サルモネラ）を必要とする。検査手続き等の詳細は、当該実習教員の指示に従う。

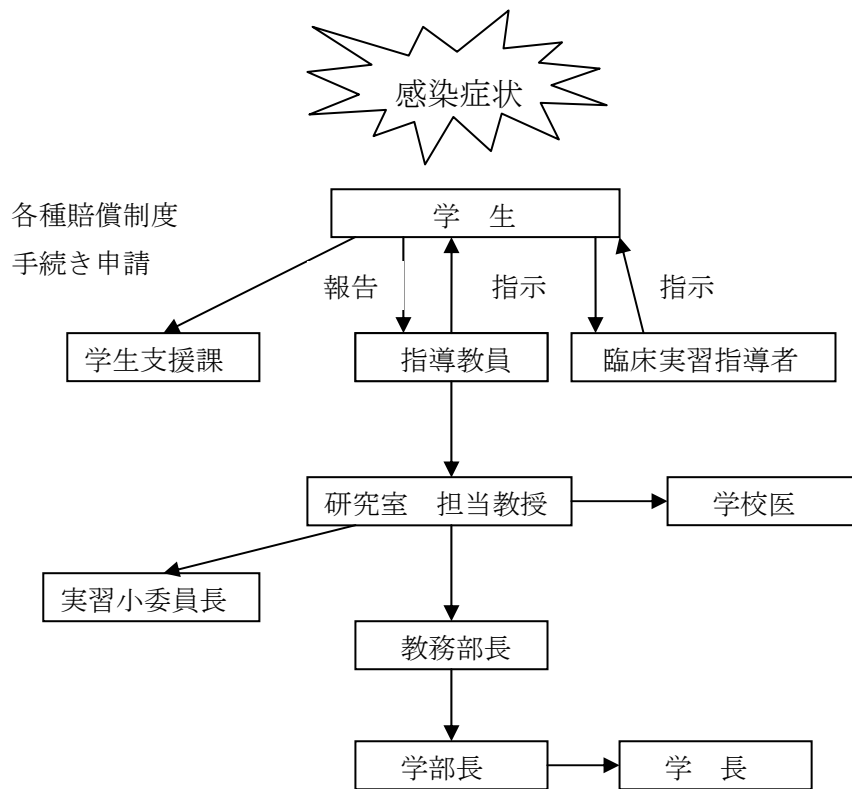


図1 感染症発生時の連絡体制

II. 実習中の事故発生時の対応について

1. 報告・連絡

事故とは、「転倒」、「転落」、「損傷」などの実習対象の身体にかかわる事故、「損傷」、「実習施設における感染」など学生の身体にかかわる事故、「医療用具・物品の破損、紛失」「患者の私物の破損・紛失」などを指す。

事故発生時、学生はただちに臨床実習指導者及び指導教員に報告する。指導教員が中心となり、臨床実習指導者と共に、当該学生に事実状況を確認し、適切な処置並びに報告・連絡を行なう。報告・連絡は下記の系統図（図2）に従い、事態が収拾するまで、適宜行なう。

2. 事故に対する傷害保険の適用

すべての学生は「学生教育研究災害傷害保険及び学生教育研究賠償責任保険」に加入することとし、実習中及び通学途中に発生した事故による治療費や賠償費などが当該保険の適用対象となる。実習中に事故が発生し、何らかの費用負担が生じた場合は、速やかに学生自身が学生支援課に連絡を取り、諸手続きを行なう。また、指導教員にも手続き中であることを速やかに報告する。

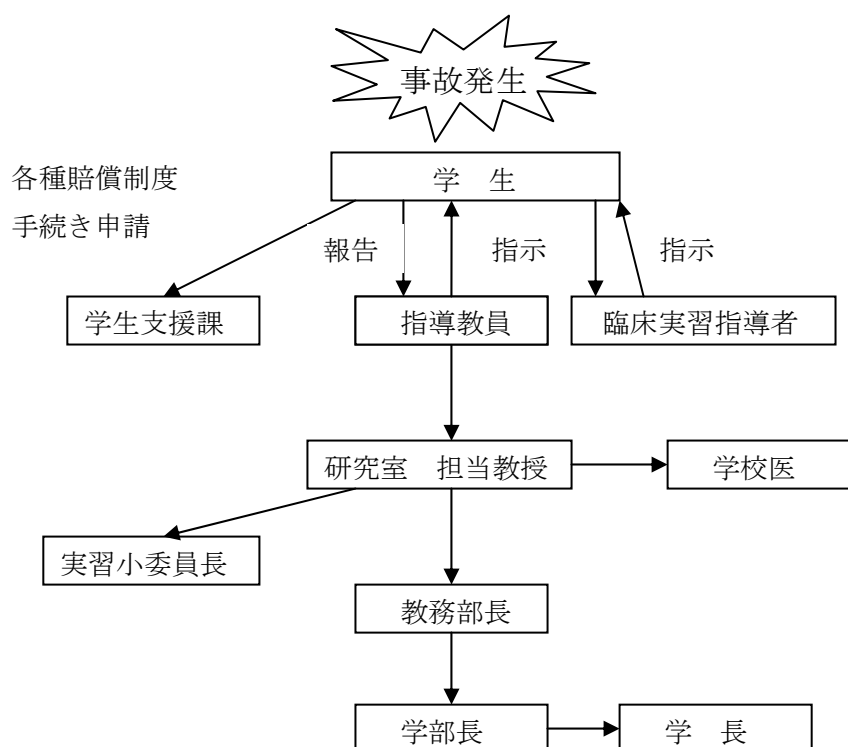


図2 事故発生時の連絡体制

学外実習の教育課程と指導体制

年次	実習教育課程					指導体制
	前期	後期	実習施設	時間数	参加単位	
1年次		心理実践基礎実習Ⅰ	大学付属病院	30時間	1グループ	教員の引率のもとで実施し、担当者による説明・指導を受ける。実施後、見学報告会を実施する。
2年次		心理実践基礎実習Ⅱ	大学付属病院および大学近郊の精神科関連病院・施設	30時間	1グループ	教員の引率のもとで実施し、担当者による説明・指導を受ける。実施後、見学報告会を実施する。
3年次		心理実践実習Ⅰ	大学付属病院および大学近郊の精神科関連病院・施設	90時間	1グループ	グループ毎に実習施設の担当者の指導のもとで、見学・体験実習を行なう。終了後、検討会を実施し、事後指導を行なう。
4年次		心理実践実習Ⅱ	大学付属病院および大学近郊の精神科関連病院・施設	60時間	個人	精神科外来において、精神科医の指示の基に陪席、予診等について理解を深める。終了後、検討会を実施し、事後指導を行なう。

臨床実習巡回指導計画

教員 A	教員 B	教員 C	教員 D	教員 E	教員 F	教員 G	教員 H
学生 ①	学生 ①	学生 ①	学生 ①	学生 ①	学生 ①	学生 ①	学生 ①
学生 ②	学生 ②	学生 ②	学生 ②	学生 ②	学生 ②	学生 ②	学生 ②
学生 ③	学生 ③	学生 ③	学生 ③	学生 ③	学生 ③	学生 ③	学生 ③
学生 ④	学生 ④	学生 ④	学生 ④	学生 ④	学生 ④	学生 ④	学生 ④
学生 ⑤	学生 ⑤	学生 ⑤	学生 ⑤	学生 ⑤	学生 ⑤	学生 ⑤	学生 ⑤
学生 ⑥	学生 ⑥	学生 ⑥	学生 ⑥	学生 ⑥	学生 ⑥	学生 ⑥	学生 ⑥
学生 ⑦	学生 ⑦	学生 ⑦	学生 ⑦	学生 ⑦	学生 ⑦	学生 ⑦	学生 ⑦
学生 ⑧	学生 ⑧	学生 ⑧	学生 ⑧	学生 ⑧	学生 ⑧	学生 ⑧	学生 ⑧
学生 ⑨	学生 ⑨	学生 ⑨	学生 ⑨	学生 ⑨	学生 ⑨	学生 ⑨	学生 ⑨
学生 ⑩	学生 ⑩	学生 ⑩	学生 ⑩	学生 ⑩	学生 ⑩	学生 ⑩	学生 ⑩

- 1年次より各教員に配属し、各教員は学生の履修状況や学習態度について把握しておく。
- 8名の教員が10名ずつの学生を担当し、心理実践基礎実習Ⅰ、心理実践基礎実習Ⅱ、心理実践実習ⅠおよびⅡの巡回指導(実習施設訪問指導)にあたる。
- 2年生の心理実践基礎実習Ⅱについても、原則としてアドバイザーの教員の指導のもとで実施するものとする。

平成29年度 保健学部支援スケジュール

前期	支 援	対象学年	月 日
4月	学部オリエンテーションキャリアガイダンス	1～4年	3/30(木)～4/5(木)
	学内資格講座ガイダンス	1～4年	4/6(木)～4/12(水)
5月	第1回就職専門模擬試験	4年	5/6(土)
	L0活セミナー	1～3年	5月下旬
	就職用証明写真撮影会	3年	5月下旬
	学内企業説明会	4年	5月下旬
6月	第2回就職専門模擬試験	4年	6/3(土)
	第1回就職ガイダンス	3～4年	6/3(土)、6/9(金)、6/10(土)
	看護就職対策講座	3年	6月上旬～下旬
7月	第3回就職専門模擬試験	4年	7/1(土)
	看護学科面接対策(三鷹)	4年	7月上旬～下旬
	就職対策講座	4年	7/4(火)～7/8(土)
	企業見学事前勉強会(ジョブスタディ)	1～3年	7月中旬
8月	多摩地区18大学合同企業説明会	4年	8/8(火)～8/10(木)
	企業見学(ジョブスタディ)	1～3年	8月～9月
	インターンシップ研修(事前・事後指導含む)	2～4年	8月～9月
後期	支 援	対象学年	月 日
9月	学内資格講座ガイダンス	1～4年	9/24(月)～9/28(金)
10月	第2回就職ガイダンス	3年	9/30(土)
	業界研究セミナー	3年	10/16(月)～12/16(金)
	SPI試験対策講座	3年	10/16(月)～12/16(金)
11月	女子学生キャリアセミナー	1～4年	11月下旬
12月	就活準備強化週間	3年	12月下旬
1月	就職用証明写真撮影会	3年	1月上旬
	SPI模擬テスト(有料)	3年	1/15(月)
2月	就活準備強化週間	3年	2月
3月	学内企業説明会	3年	3月中旬

学生の確保の見通し等を記載した書類

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生確保の見通し

ア) 定員充足の見込み

杏林大学保健学部では既存の健康福祉学科を基盤学科として、「臨床心理学科」（入学定員を 80 名、収容定員を 320 名）の新設を立案し申請する。

「臨床心理学科」は基礎医学、保健医療学、福祉学、教育学、そして心理学を科学的根拠とし、心理職の活動領域である保健医療・福祉・教育・司法矯正・産業の 5 つの領域のうち（別添資料 1）、特に保健医療領域において活躍できる心理職を養成することを目的としている。また、平成 30 年度より開始される「公認心理師」の国家試験受験を見据えた教育内容を設定している。

近年、保健医療領域では、コ・メディカルがチーム医療の担い手として無くてはならない存在となり、医療の質の向上に大きく貢献している。このような状況の中、平成 27 年 9 月 9 日に公認心理師法が議員立法により成立し、その第 1 回国家試験は平成 30 年までに実施されることとなった。医療領域の心理職には質の高いコミュニケーションを通して患者の人生観や生活観に寄り添い、患者のクオリティ・オブ・ライフ（QOL）の向上に寄与することが期待されている。したがって、チーム医療においては患者との信頼関係を構築することで、患者と医療職との円滑なコミュニケーションを支援し、かつ多職種間における協働の要となる役割が求められる。そのためには、従来の心理学や臨床心理学の知識を修得することに加え、精神医学、精神病理学、心身医学、精神薬理学といった医学的知識の基礎を修得することが必須である。そこで当該学科においては、保健医療領域においてチーム医療の一員として十分に機能できる心理職となることを目的とし、従来の心理学分野に加え自然科学、医療分野を学問的基盤とする人材を養成するものである。

杏林大学保健学部では、開設以来、保健医療領域における社会ニーズに適応した学部編成を行ってきた。現在、看護学科（看護学専攻、看護養護教育学専攻）、臨床検査技術学科、臨床工学科、診療放射線技術学科、救急救命学科、健康福祉学科、理学療法学科、作業療法学科より構成され、保健医療分野をほぼ網羅する 8 学科 2 専攻を設置している。また、これらの学科は乳幼児から高齢者までを対象に、保健衛生の面から心身の健康づくり、機能回復訓練、生活支援と幅広い学問領域を網羅しており、「臨床心理学科」申請に関わる学問的基盤があると考えられる。

この度、心理的支援に特化し、それを専門とする学問領域にあたる「臨床心理学科」を新設し、主に保健医療領域において患者に寄り添いチーム医療に貢献できる人材を養成することを熟考の末決定し、新設に至った。

以下に定員充足の見込みについて説明する。

イ) 定員充足の根拠となる客観的データの概要

①私学心理学分野への全国の志願者数・合格者数・合格倍率から見た学生確保の見通し

近年、社会全体が複雑化する中で心を病む人が増加し、心の問題への対応が急務となっている。これを反映して、私学心理学分野の大学入学志望動向は高い水準が維持されている。日本私立学校振興・共催事業団が報告している「平成 28(2016)年度私立大学・短期大学等入学志願動向」の「主な学部別志願者・入学者動向（大学）」（別添資料 2）によれば、私立大学心理学部（14 学部）の入学定員は平成 27 年度が 2,165 名、平成 28 年度が 2,195 であり、志願者数については平成 27 年度が 14,924 名、平成 28 年度は 15,051 名であり、その志願倍率はおおよそ 6.9 倍で維持されている。また、入学定員充足率も平成 27 年度が 101.57%、平成 28 年度は 100.14%と安定している。したがって、心理学分野は、依然、高いニーズがあり学生確保の見通しは明るいと判断される。

②南関東1都3県（東京、神奈川、埼玉、千葉）における心理学分野の大学志願者規模から見た学生確保の見通し

杏林大学保健学部に通学する学生の約7割が南関東出身者であることから、その根拠を南関東1都3県（東京、神奈川、埼玉、千葉）のデータを主に用いて説明したい。

文部科学省による「平成28年度学校基本調査（速報）」によれば、全国的に18歳人口が低下する中で南関東1都3県の「18歳人口（総計数）」は平成24年が308,835人、平成25年が297,512人、平成26年が305,067人、平成27年が304,670人、そして平成28年が307,864人と、過去5年間およそ約30万人台で安定して推移している（別添資料3）。また、平成28年度の高等学校・中等教育学校後期課程卒業者の大学（学部）進学率（過年度卒を含む）は52.0%で前年度より0.5ポイント上昇し、過去最高となっている（別添資料4）。したがって、南関東には約15万人の大学受験生が安定して控えていると言える。

リクルート進学総研が2007年から2016年の10年間に、南関東1都3県で「心理学科」を志願した学生数を調査したところによると（別添資料5）、2007年には26,143人であった志願者数が、2012年には4万人を超えている。その後、2015年までは緩やかに志願者数が減少していたが、直近の2016年には回復傾向がみられ、現在は38,320人である。したがって、南関東1都3県（東京、神奈川、埼玉、千葉）における心理学分野の大学志願者規模は40,000人と考えられ、志願者規模は大きく学生確保は充分にできると考えられる。

③競合する他大学心理系学部（学科）との教育面での差別化と競争優位性から見た学生確保の見通し

新設を申請する杏林大学保健学部「臨床心理学科」は、保健医療領域で活躍できる心理職を養成することを念頭に置いている。当該学部では、開設以来、保健医療領域における社会ニーズに適応した学部編成を行ってきた。現在、保健学部は、看護学科（看護学専攻、看護養護教育学専攻）、臨床検査技術学科、臨床工学科、診療放射線技術学科、救急救命学科、健康福祉学科、理学療法学科、作業療法学科より構成され、保健医療分野をほぼ網羅する8学科2専攻を設置している。また、これらの学科は乳幼児から高齢者までを対象に、保健衛生の面から心身の健康づくり、機能回復訓練、生活支援と幅広い学問領域を網羅しており、保健医療領域における「臨床心理学科」申請に関わる学問的基盤が既存することから、受験生の興味の対象となり得ると考えている。

関東地域における心理系学部（学科）を有する大学は76大学（出典：パスナビ旺文社よりデータ抽出）存在する（別添資料6）。これら心理系学部（学科）を有する大学の内、その基盤を保健医療系に置く大学は帝京平成大学健康メディカル学部（大学HPによると、平成28年度入試では受験者数が約400名）のみである。したがって、特に保健医療領域で活躍できる心理職を希望する受験生を獲得できると確信している。

④「公認心理師」の資格誕生による心理学系学部（学科）への期待から考察した学生確保の見通し

平成27年9月9日に公認心理師法が議員立法により成立し、その国家試験は平成30年から実施されることとなった。これにより、「公認心理師」が国家資格となり、4年制大学にて心理学等の科目を修め、かつ、大学院において心理学等の科目を修めてその課程を修了した者、あるいは4年制大学を卒業後、一定期間の実務経験を積めば国家資格受験資格を得ることができることになった。一方、心の問題を抱える人の増加は社会的問題となっており、今後、大学学部教育における心理学分野の興味と社会的需要は増大するものと考えられる。したがって、学生確保の見通しは明るいと考えられる。

⑤その他の要因から見た学生確保の見通し

リクルート進学総研が2007年から2016年の10年間に、南関東1都3県で「保健」「健康」「医療」を学部名に含む学部を志願した学生数を調査したところ（別添資料7）、2007年には38,833人であった志願者数が、2016年には61,648人に増えている。すなわち、医療に携わりたい学生がいかに多く存在するかがわかる。また、心理学科を目指す学生の割合を性別でみていくと（別添資料8）、女子が多いことがわかる。株式会社リクルートマー

ケティンクパートナーズが行った「大学ブランド力調査」(別添資料 9)における男女別の大学選びの重視項目をみると、女子生徒は男子生徒に比べて「校風や雰囲気が良いこと」「学生生活が楽しめること」「キャンパスがきれいであること」を重視している。さらに、「雰囲気の良さ」を何から感じるかについては、女子の 83.1%が「キャンパス」と回答している(別添資料 10)。杏林大学保健学部は 2016 年 4 月に井の頭キャンパスへ移転しており、新キャンパスで学ぶことができること、また、学生に人気の街である吉祥寺が最寄り駅であり、学問以外の学生生活の充実も見込まれることから女子学生の注目を集めることが可能であると考えられる。

更に、当該学科は、心理学科を目指す学生、そして保健医療を学びたい学生の両者から志願者を獲得することができると思込まれることから、安定的に学生の確保が可能であると考えている。

ウ 学生納付金の設定の考え方

学生納付金に関しては、保健医療領域の学部設置されている臨床心理学科が競合校となることを想定し、「帝京平成大学 健康メディカル学部 臨床心理学科」の 1,336,300 円(別添資料 11)、「川崎医療福祉大学 医療福祉学部 臨床心理学科」の 1,350,000 円(別添資料 12)を参考にし、杏林大学の校舎等教育施設の規模、経営状況等を熟慮して決定した。

②学生確保に向けた具体的な取組状況

杏林大学では、全学部の学生確保に向けた取組として、入学センターおよび各学部の入試委員会が主体となって、全教職員協働によって、受験制度の改善と学生募集広報活動の強化を図っている。

入学試験形態については、各学部の入学者受入れの方針に基づき、センター利用入試、推薦入試、一般入試を基本とし、帰国子女入試、外国人留学生入試、社会人入試、AO 入試等の受験者のニーズに配慮した適切かつ多様な形態の入学試験を実施している

学生募集については、入学者受入れの方針に基づき、大学ホームページ、受験雑誌、新聞、電車の車内広告、オープンキャンパス、高校教員への説明会、進学相談会、高校訪問等により広く告知している。

その効果は、オープンキャンパスの参加者数の増加や志願者の増加等に現れていると自己評価している。

<入試に関する説明会等の取組状況>

A. オープンキャンパス

過去 5 年間のオープンキャンパス参加者数を次に示した。毎年 4,000 名以上の参加者を得ており、高校生が大学の校風や雰囲気、入試情報を得るために訪れている。

年度別実施回数・来場者数(平成 24 年度～平成 28 年度)

	実施回数	来場者数
平成 24 年度	4 回	4,136
平成 25 年度	6 回	4,759
平成 26 年度	7 回	5,053
平成 27 年度	3 回	5,221
平成 28 年度	2 回	4,398

B. 高校教員への説明会

多摩地区を中心に高校教員へも大学情報を発信している。

年度別実施回数・参加者数(平成26年度～平成27年度)

	実施回数	参加者数
平成26年度	1回	74
平成27年度	2回	122
平成28年度	2回	94
平成29年度	2回	122

C. 進学相談会

予備校、進学塾や受験産業が開催し、受験生と直接接することができる「進学相談会」を重要なものと位置づけて、可能な限り積極的に参加している。

年度別実施回数・来場者数(平成23年度～平成27年度)

	実施回数	来場者数
平成23年度	289回	不明
平成24年度	281回	2,614
平成25年度	228回	3,043
平成26年度	226回	1,409
平成27年度	164回	2,122
平成28年度	234回	3,093

D. 高校訪問

教職員全員で関東圏を中心に高校訪問を実施してきたが、近年はその数を減らし、代わりに模擬授業等での訪問を増やしている。

高校訪問 年度別訪問校数(平成23年度～平成27年度)

	訪問校数
平成23年度	701
平成24年度	609
平成25年度	462
平成26年度	385
平成27年度	285
平成28年度	362

(2) 人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

【保健学部】

杏林大学の理念・目的は、「教育基本法および学校教育法に則り、かつ建学の精神に基づいて、崇高な人類愛と高度の科学精神を基盤とするすぐれた人材の育成を目的とし、以て広く人類の福祉に貢献することを使命とする」こととして、杏林大学学則に明記している。

これらの理念・目的の基本となる建学の精神は、「眞・善・美の探究」である。「眞・善・美の探究」を通じて、優れた人格を持ち、人のために尽くすことの出来る国際的な人材を育成することが、本学の教育理念である。「眞」は真実・真理を究めるための学問をすることであり、真実・真理に対して謙虚であるとともに、自ら進んで学び、研究することを意味している。「善」は倫理観を持ったよき人間性・人格を形成することであり、他人に対してやさしく、思いやる心を持った人格を自ら築き上げて、人のために尽くすことである。

「美」は真理に対し謙虚に学ぶ姿勢を持ち、他人を尊重し、自らの身を持するのに厳しく、美しいものを美しいと感じる感性を磨くよう努めれば、自然に美しい立派な風格のある人間に成長していくことを意味している。

杏林大学保健学部では、開設以来、保健医療領域における社会ニーズに適応した学部編成を行ってきた。現在、保健学部は、看護学科(看護学専攻、看護養護教育学専攻)、臨床検査技術学科、臨床工学科、診療放射線技術学科、救急救命学科、健康福祉学科、理学療法学科、作業療法学科より構成され、保健医療分野をほぼ網羅する8学科2専攻を設置している。それぞれの学科において、メンタルヘルス、患者とのラポールの構築、コミュニケーション等についての教育を行ってきたが、それらを含む心理的支援を専門とする学科はこれまでになかった。

近年、うつ病をはじめとする精神疾患の増加が懸念されており、労働者が50人以上いる事業所にはストレスチェックが義務付けられるなど、心の健康の保持増進や心理的支援についての社会的需要に応える必要性が出てきた。また、社会の情勢としては、平成27年9月9日に心理専門職の国家資格である「公認心理師」を定める法律が可決成立した。これは社会における心の支援の必要性が多く訴えられて成立したものである。現在検討されている「公認心理師」の養成カリキュラムにおいては、従来の心理学関連科目を修めるだけでなく、医学関連科目の必修化が議論されている。

杏林大学保健学部では、先述の通り、保健医療分野における教育を実践してきており、基礎医学教育に関しては十分な実績を備えている。新設を希望する「臨床心理学科」では、従来より求められている心理学的知識を修得することに加え、基礎医学教育を十分に行うことで、主に医療領域で活躍できる心理職を養成することを目的とする。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

我が国の自殺企図者の増加に関連する自殺問題に対して、平成18年に自殺対策基本法が成立するなど、積極的な対策が進められている。

厚生労働省「自殺対策白書」によれば、年間自殺者数は平成10年に32,863人となり、平成15年には34,427人にまで増加した(別添資料13)。平成27年には24,025人となり、ピーク時に比べて約10,000人減少してはいるものの、依然として多くの自殺企図者が存在する。自殺の原因・動機については、「健康問題」が突出して高い(別添資料14)。「健康問題」の内訳をみると、うつ病をはじめとする精神疾患が多くを占めている(別添資料15)。厚生労働省「患者調査」によると精神疾患の患者数は増加傾向にあり、近年は、うつ病の著しい増加が指摘されている(別添資料16)。このことから、うつ病をはじめとする精神疾患に対する適切な対処が必要であることがわかる。

うつ病の治療については、精神科薬物療法が主であるが必ずしも効果的であるわけではない(別添資料17)。うつ病以外にも薬物療法が効かない疾患もあり、認知行動療法が効果的であったと言える報告もある(別添資料18)。平成27年12月より、労働者数50人以上

の事業所にストレスチェックが義務付けられるなど、国民の心の健康の保持増進への取り組みが国の施策として行われている。

認知行動療法に代表される心理療法による治療効果についても多くの報告がなされており、今後更なる発展が期待されている。また心の健康の保持増進のため、予防的に心理教育を行ったり、知識の普及を図ることも心理職に求められる責務である。

このような社会状況を鑑み、杏林大学保健学部では、基礎医学、保健医療学、福祉学、教育学、そして心理学を科学的根拠として、主に保健医療領域において特に活躍できる心理職を養成することを目的とし「臨床心理学科」の新設を立案した。

国、自治体が抱える「国民（住民）の心の健康の保持増進」は今後永続的に続く課題である。したがって、適切な心理的支援を行える人材の需要は病院、自治体（公務員）、健康サービス業、一般企業においても大きいと考える。当該学科は申請中であることから直接的なデータは存在しないが、杏林大学保健学部に募集のあった病院、公務員、健康サービス業等の求人割合を**別添資料 19**に示す。

これまでに述べてきた通り「臨床心理学科」の学科体制の基盤および社会的需要は十分にあると確信している。

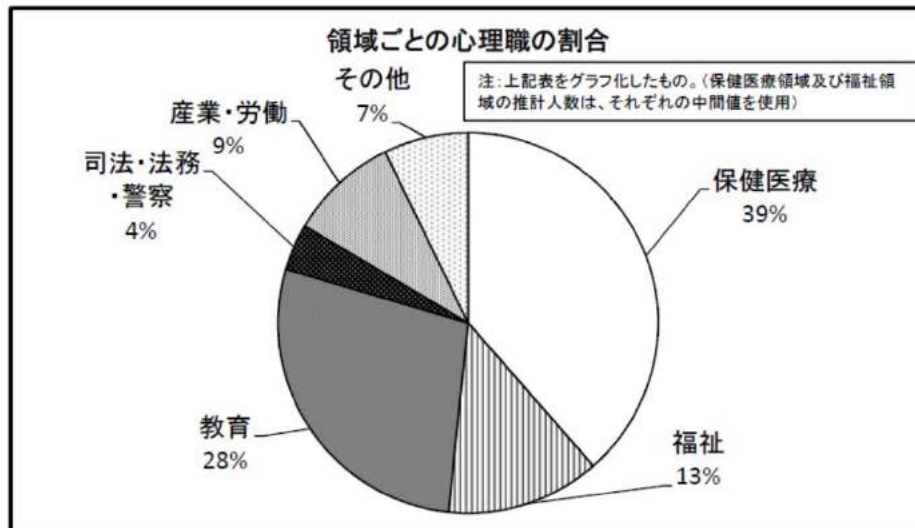
別添資料1

心理職としての現状の勤務者数と領域ごとの心理職の割合

心理職としての現状の勤務者数

領域	施設等	推計人数(※)
保健医療	精神科病院、精神科診療所、一般病院、 介護老人保健施設、保健所・保健センター、 精神保健福祉センター	22,926 ～ 24,506
福祉	老人福祉施設、障害者施設、女性福祉施設、 児童福祉施設等	5,500 ～ 10,600
教育	スクールカウンセラー(公立学校、私立学校)、 教育相談(教育センター、市町村機関等)、 学生相談(大学、短期大学等)等	17,170
司法・法務・警察	少年鑑別所、刑事施設、少年院、裁判所 (家庭裁判所調査官)、警察等	2,428
産業・労働	企業等	5,723
その他	私設心理相談室	4,420
計		58,167 ～ 64,847

(※)推計人数は非常勤職として複数の領域で勤務している心理職も含めて計算しているため、
実際の全領域の心理職者数は38,000～40,000名と推計される。



平成26年度 厚生労働科学特別研究事業 心理職の役割の明確化と育成に関する研究
(主任研究者:村瀬嘉代子)を踏まえ、厚生労働省障害保健福祉部精神・障害保健課で整理。

(出典:第1回公認心理師カリキュラム等検討会 配布資料 (厚生労働省))

別添資料2 平成28(2016)年度私立大学・短期大学等入学志願動向」の「主な学部別志願者・入学者動向(大学)」

区 分	集計学部数			入学定員(人)			志願者(人)			入学者数(人)			入学定員充足率(%)			
	学部名	27年度	28年度	増減	27年度	28年度	増減	27年度	28年度	増減	27年度	28年度	増減	27年度	28年度	増減
人文科学系																
心理学部	14	14	0	2,165	2,195	30	14,924	15,051	127	2,199	2,198	△ 1	101.57	100.14	△ 1.43	

(出典:平成28(2016)年度 私立大学・短期大学等 入学志願動向, 日本私立学校振興・共済事業団)

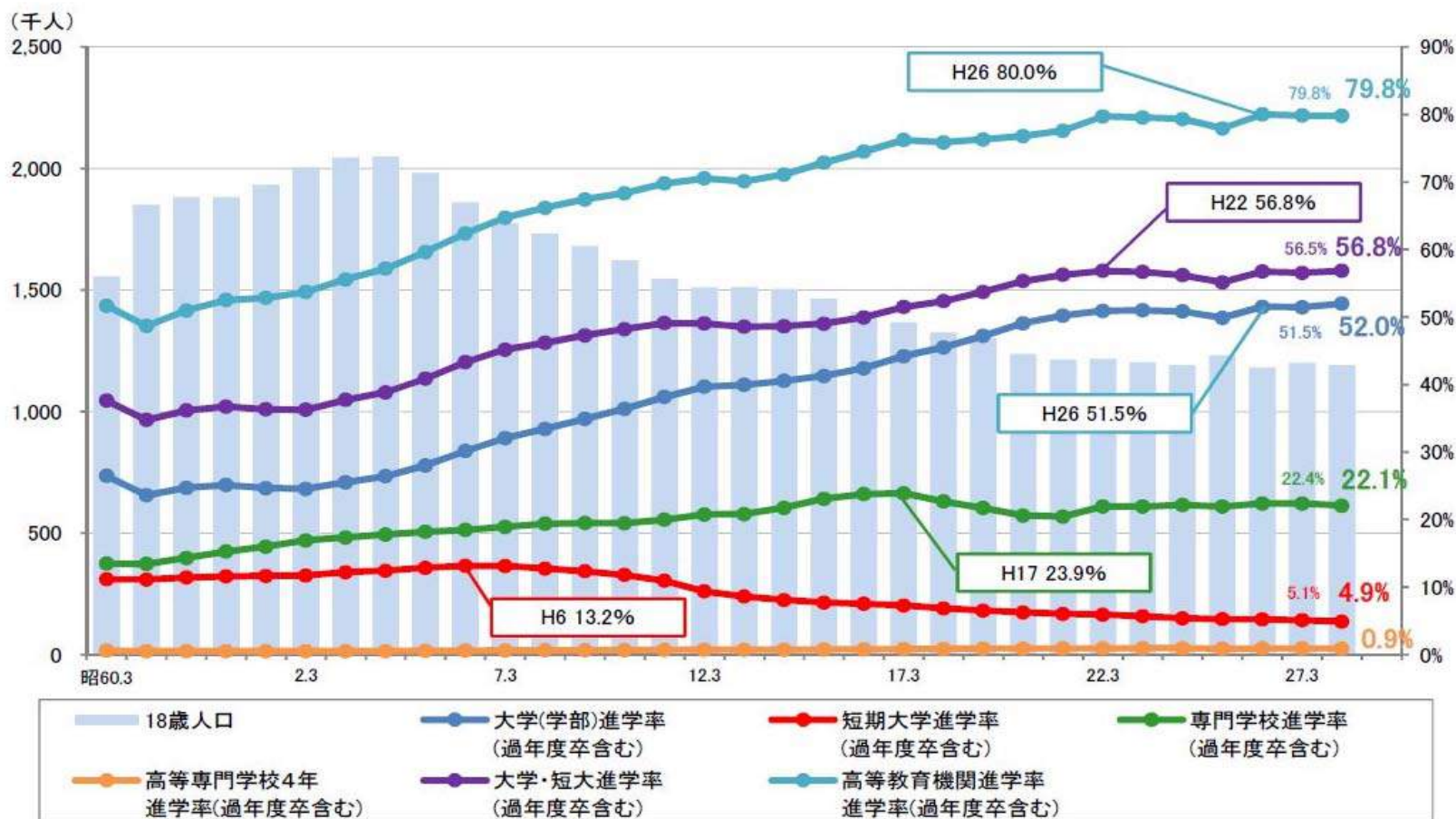
別添資料3 南関東一都三県における過去5年間の18歳人口

■ 18歳人口の推移 (南関東)

年度		H24 '12年	H25 '13年	H26 '14年	H27 '15年	H28 '16年
南関東計	人数	308,835	297,512	305,067	304,670	307,864
埼玉	人数	67,783	64,231	66,325	65,936	65,774
千葉	人数	56,030	53,963	55,569	54,860	55,647
東京	人数	106,280	102,850	104,937	104,632	105,971
神奈川	人数	78,742	76,468	78,236	79,242	80,472
全国 (万人)	人数	123.1	118.1	120.0	119.0	119.8

(出典:平成28年度学校基本調査(速報))

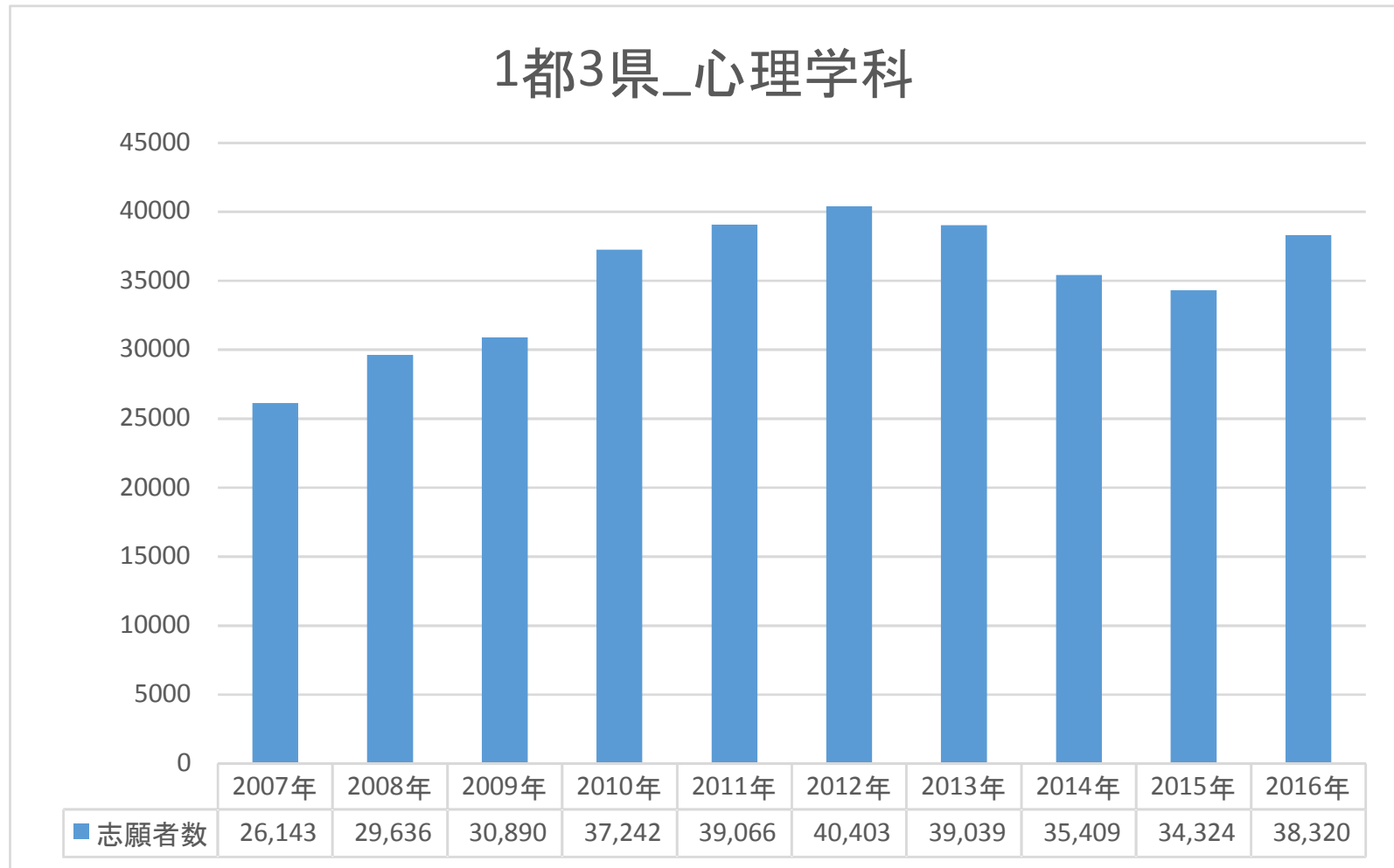
別添資料4 過年度卒業生も含めた進学率(就学率)の推移



- (注) 1 高等教育機関進学率(就学率) (過年度卒を含む) = $\frac{\text{大学・短期大学入学者, 高等専門学校4年在学者及び専門学校入学者}}{\text{18歳人口(3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者)}}$
- 2 大学(学部)進学率(就学率) (過年度卒を含む) = $\frac{\text{大学(学部)の入学者}}{\text{18歳人口(3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者)}}$

(出典:平成28年度学校基本調査(速報))

別添資料5 南関東一都三県における過去10年間の「心理学科」志願者数の推移



(データ出典: (株)リクルートマーケティングパートナーズ)

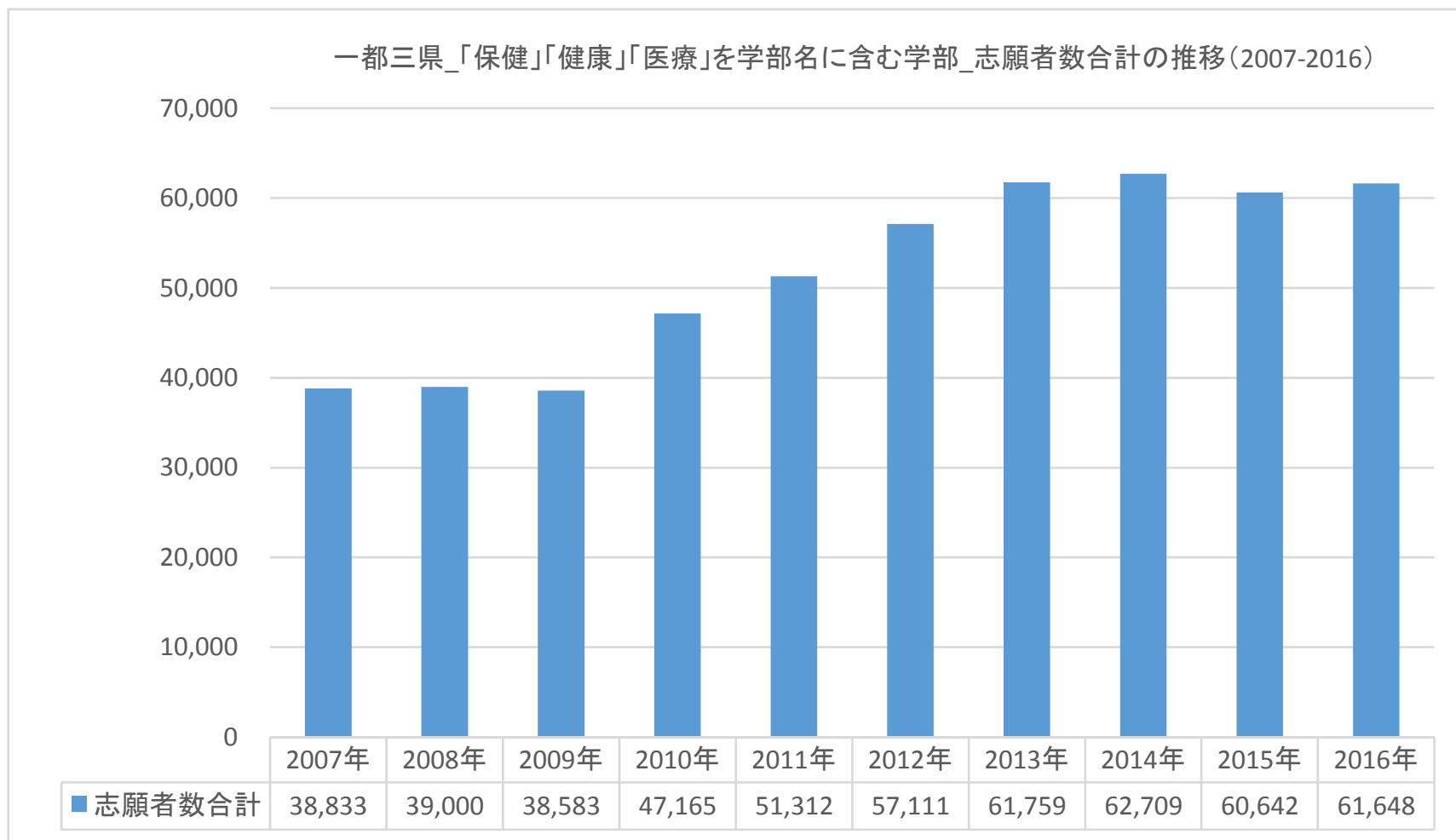
別添資料6 関東(一都六県)の心理学系学部学科一覧

No	所在都道府県	分類	大学名	学部名
1	茨城	国立	茨城大学	人文社会科学部
2	茨城	国立	筑波大学	人間学群
3	茨城	私立	茨城キリスト教大学	生活科学部
4	茨城	私立	常磐大学	人間科学部
5	茨城	私立	流通経済大学	社会学部
6	栃木	私立	作新学院大学	人間文化学部
7	栃木	私立	白鷗大学	教育学部
8	埼玉	私立	埼玉学園大学	人間学部
9	埼玉	私立	埼玉工業大学	人間社会学部
10	埼玉	私立	十文字学園女子大学	人間生活学部
11	埼玉	私立	駿河台大学	心理学部
12	埼玉	私立	聖学院大学	人間福祉学部
13	埼玉	私立	東京国際大学	人間社会学部
14	埼玉	私立	文教大学	教育学部
	埼玉	私立	文教大学	人間科学部
15	千葉	国立	千葉大学	文学部
16	千葉	私立	愛国学園大学	人間文化学部
17	千葉	私立	江戸川大学	社会学部
18	千葉	私立	開智国際大学	国際教養学部
19	千葉	私立	川村学園女子大学	文学部
20	千葉	私立	淑徳大学	総合福祉学部
21	千葉	私立	聖徳大学	心理・福祉学部
22	千葉	私立	東京情報大学	総合情報学部
23	千葉	私立	和洋女子大学	人文学群
24	東京	国立	お茶の水女子大学	文教育学部
	東京	国立	お茶の水女子大学	生活科学部
25	東京	国立	東京大学	教養学部
	東京	国立	東京大学	文学部
	東京	国立	東京大学	教育学部
26	東京	国立	首都大学	人文社会科学部
27	東京	私立	青山学院大学	教育人間科学部
28	東京	私立	跡見学園女子大学	文学部
29	東京	私立	桜美林大学	リベラルアーツ学群
30	東京	私立	大妻女子大学	人間関係学部
31	東京	私立	学習院大学	文学部
32	東京	私立	慶應義塾大学	文学部
33	東京	私立	恵泉女学園大学	人間社会学部
34	東京	私立	国際基督教大学	教養学部
35	東京	私立	駒沢大学	文学部
36	東京	私立	駒沢女子大学	人文学部
37	東京	私立	実践女子大学	人間社会学部
38	東京	私立	上智大学	総合人間科学部

別添資料6 関東(一都六県)の心理学系学部学科一覧

No	所在都道府県	分類	大学名	学部名
39	東京	私立	昭和女子大学	人間社会学部
40	東京	私立	白梅学園大学	子ども学部
41	東京	私立	白百合女子大学	人間総合学部
42	東京	私立	成城大学	社会イノベーション学部
43	東京	私立	聖心女子大学	文学部
44	東京	私立	専修大学	人間科学部
45	東京	私立	大正大学	心理社会学部
46	東京	私立	中央大学	文学部
47	東京	私立	帝京大学	文学部
48	東京	私立	帝京平成大学	健康メディカル学部
49	東京	私立	東海大学	文学部
50	東京	私立	東京家政大学	人文学部
51	東京	私立	東京女子大学	現代教養学部
52	東京	私立	東京成徳大学	応用心理学部
53	東京	私立	東京福祉大学	心理学部
54	東京	私立	東京未来大学	こども心理学部
	東京	私立	東京未来大学	モチベーション行動科学部
55	東京	私立	東洋大学	社会学部
56	東京	私立	東洋学園大学	人間科学部
57	東京	私立	日本大学	文理学部
58	東京	私立	日本女子大学	人間社会学部
59	東京	私立	文化学園大学	現代文化学部
60	東京	私立	文京学院大学	人間学部
61	東京	私立	法政大学	文学部
	東京	私立	法政大学	現代福祉学部
62	東京	私立	武蔵野大学	人間科学部
63	東京	私立	明治大学	文学部
64	東京	私立	明治学院大学	心理学部
65	東京	私立	明星大学	心理学部
66	東京	私立	目白大学	人間学部
67	東京	私立	立教大学	現代心理学部
68	東京	私立	立正大学	心理学部
69	東京	私立	ルーテル学院大学	総合人間学部
70	東京	私立	和光大学	現代人間学部
71	東京	私立	早稲田大学	文学部
	東京	私立	早稲田大学	教育学部
72	神奈川	私立	鎌倉女子大学	児童学部
73	神奈川	私立	相模女子大学	人間社会学部
74	神奈川	私立	松蔭大学	コミュニケーション文化学部
75	神奈川	私立	田園調布学園大学	人間福祉学部
76	神奈川	私立	東洋英和女学院大学	人間科学部

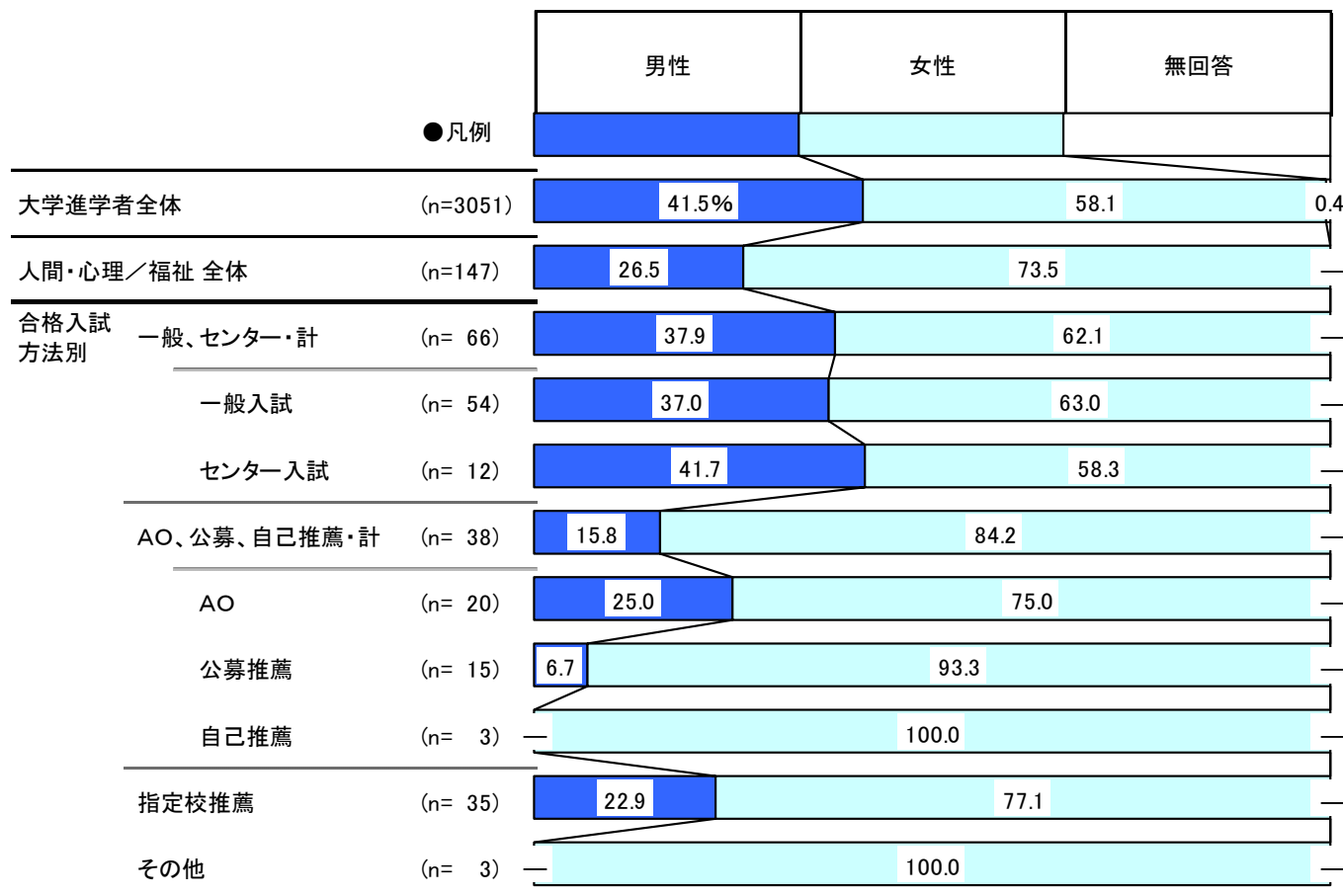
別添資料7 「保健」「健康」「医療」を学部名に含む学部の志願者数合計の推移



(データ出典:(株)リクルートマーケティングパートナーズ)

別添資料8 心理学科を目指す学生の性別割合

■性別(全体/単一回答)

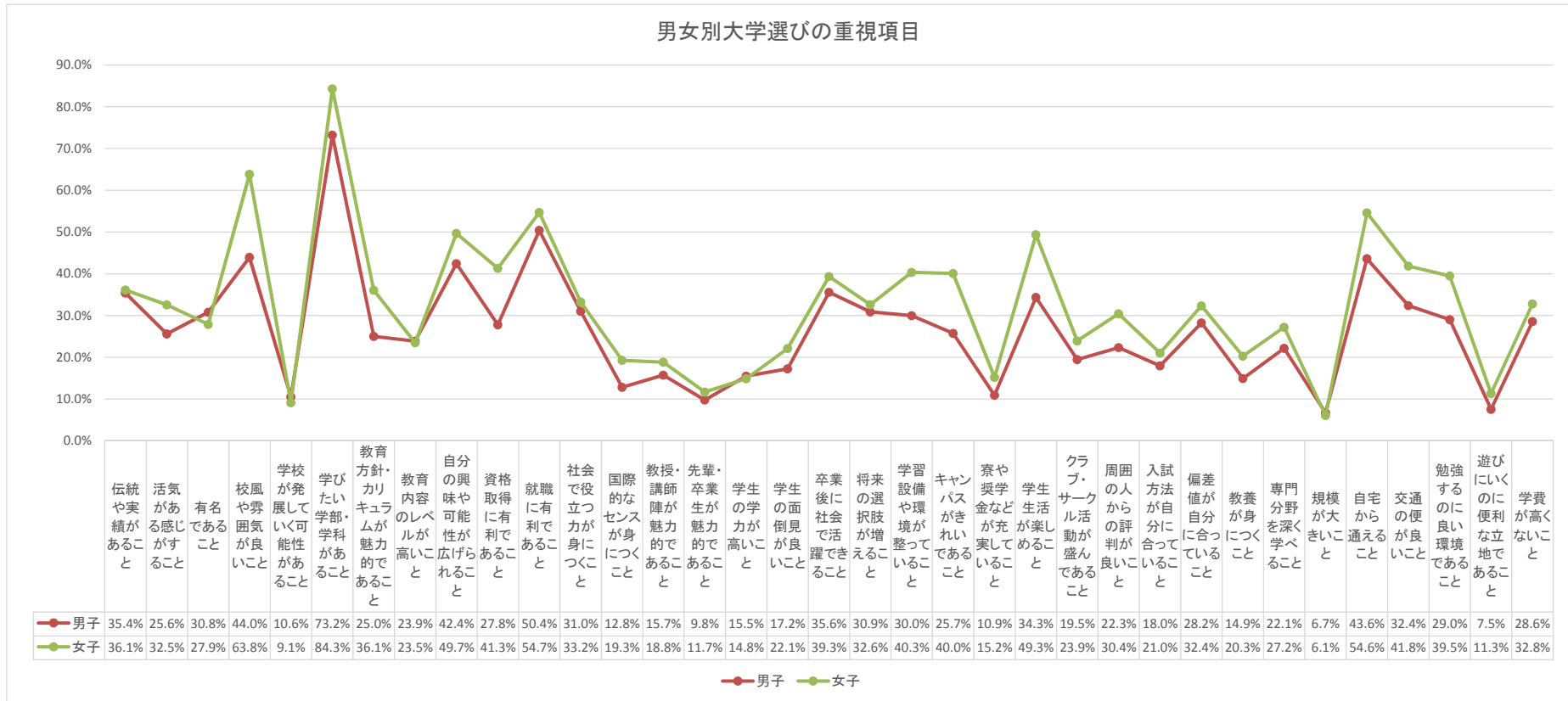


0201

進学センサス2016(大学分野別_人間・心理・福祉)

(データ出典:(株)リクルートマーケティングパートナーズ)

別添資料9 男女別大学選びの重視項目

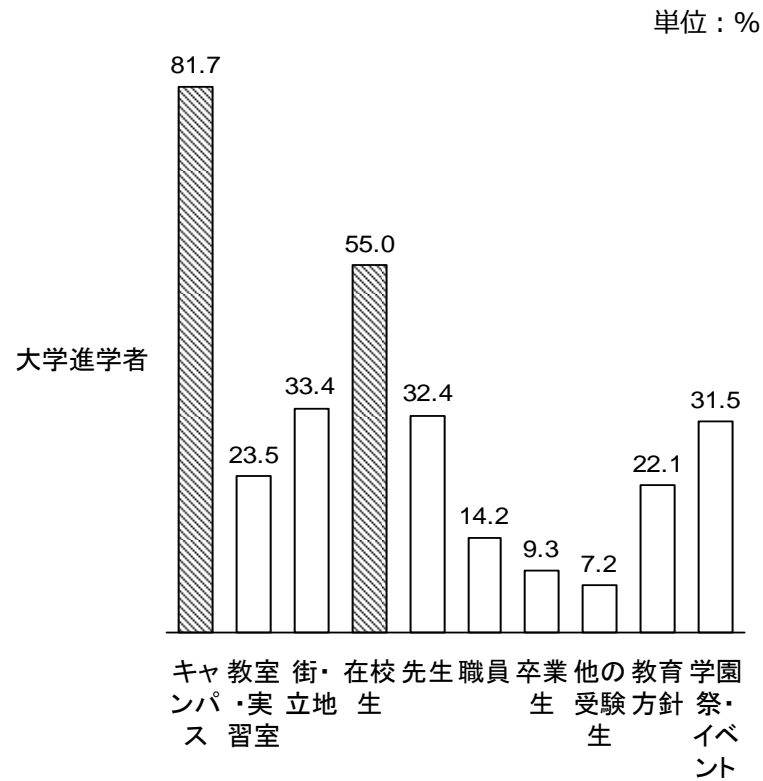


大学ブランド力調査2012-2016年合算値_男女別大学選び重視項目
 【男子】N=12,181 【女子】N=11,147

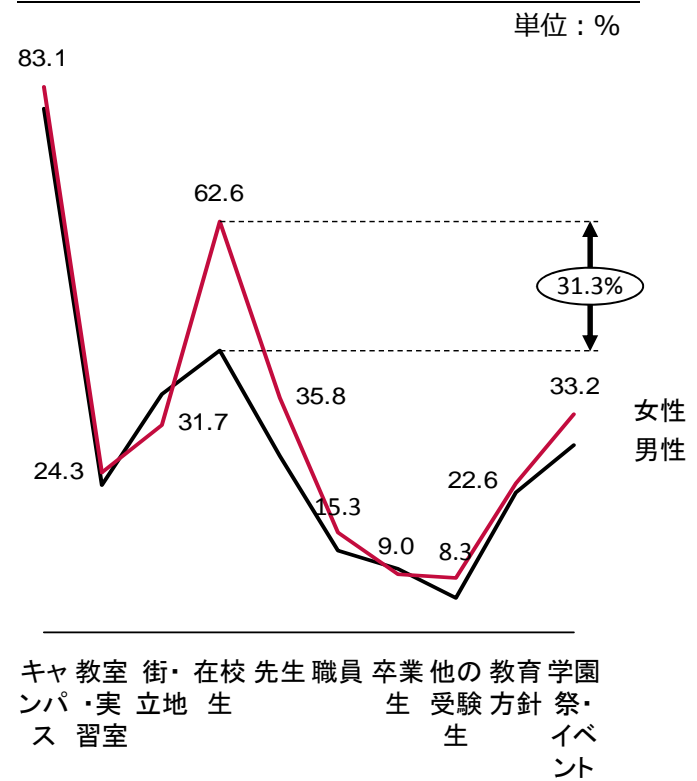
(データ出典:(株)リクルートマーケティングパートナーズ)

別添資料10 雰囲気の良いを何から感じるか？

雰囲気の良いを何から感じるか？



雰囲気の良いを何から感じるか？（男女別）



進学センサス2012

(データ出典：(株)リクルートマーケティングパートナーズ)

別添資料 1 1

1. 書類等の題名

帝京平成大学 健康メディカル学部 臨床心理学科の学納金

2. 出典

帝京平成大学

3. 引用範囲

<https://www.thu.ac.jp/exam/expenses/fee.html>

4. その他

当該 HP の健康メディカル学部の納付金情報を用いて、表を作成し、臨床心理学科の部分 オレンジ色で枠内を塗潰し、強調させた加工を施した。

別添資料 1 2

1. 書類等の題名

川崎医療福祉大学 医療福祉学部 臨床心理学科の学納金

2. 出典

帝京平成大学

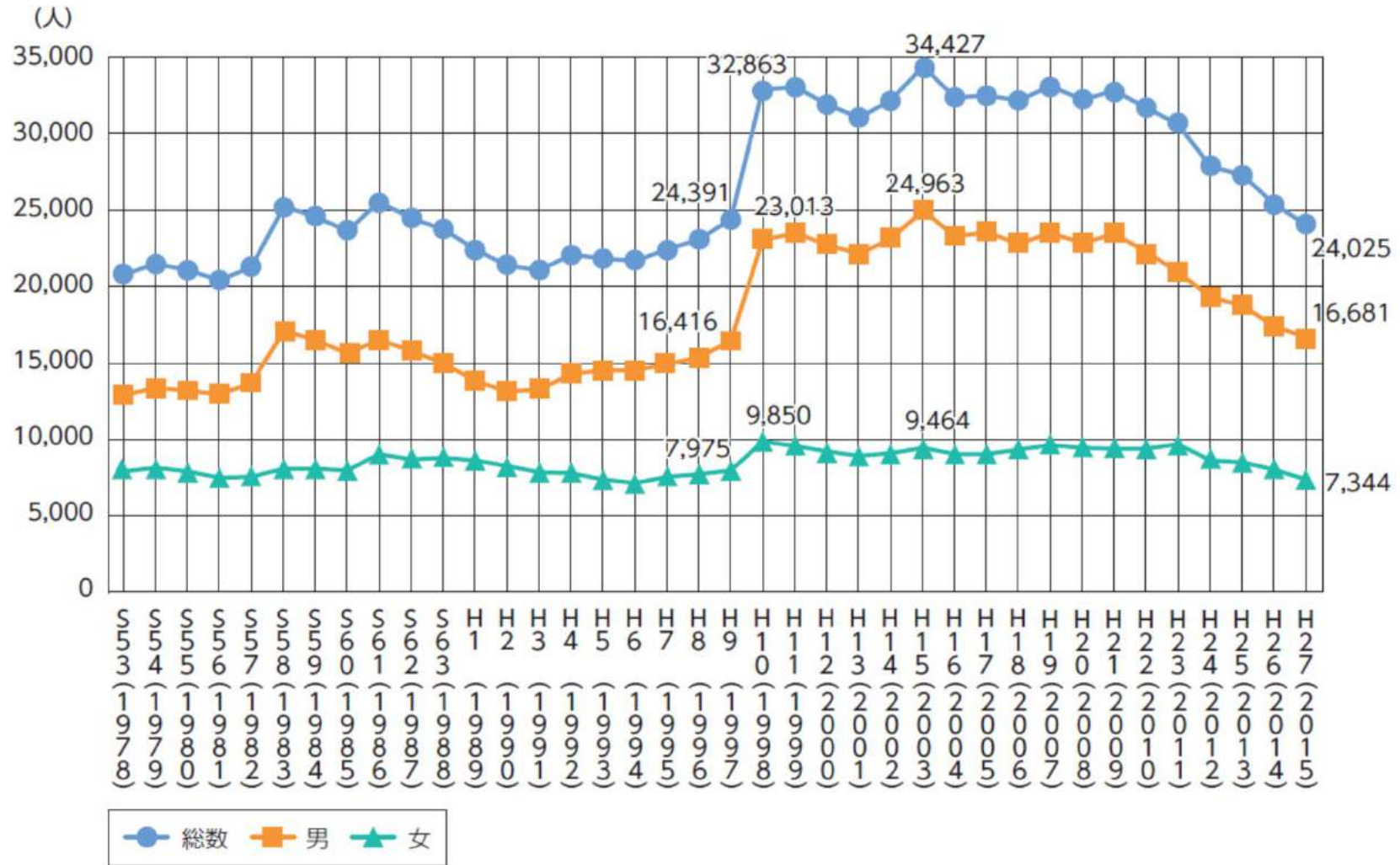
3. 引用範囲

<https://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/exam/02-13.php>

4. その他

当該 HP の医療福祉学部の納付金情報を用いて、表を作成し、臨床心理学科の部分をオレンジ色で枠内を塗潰し、強調させた加工を施した。

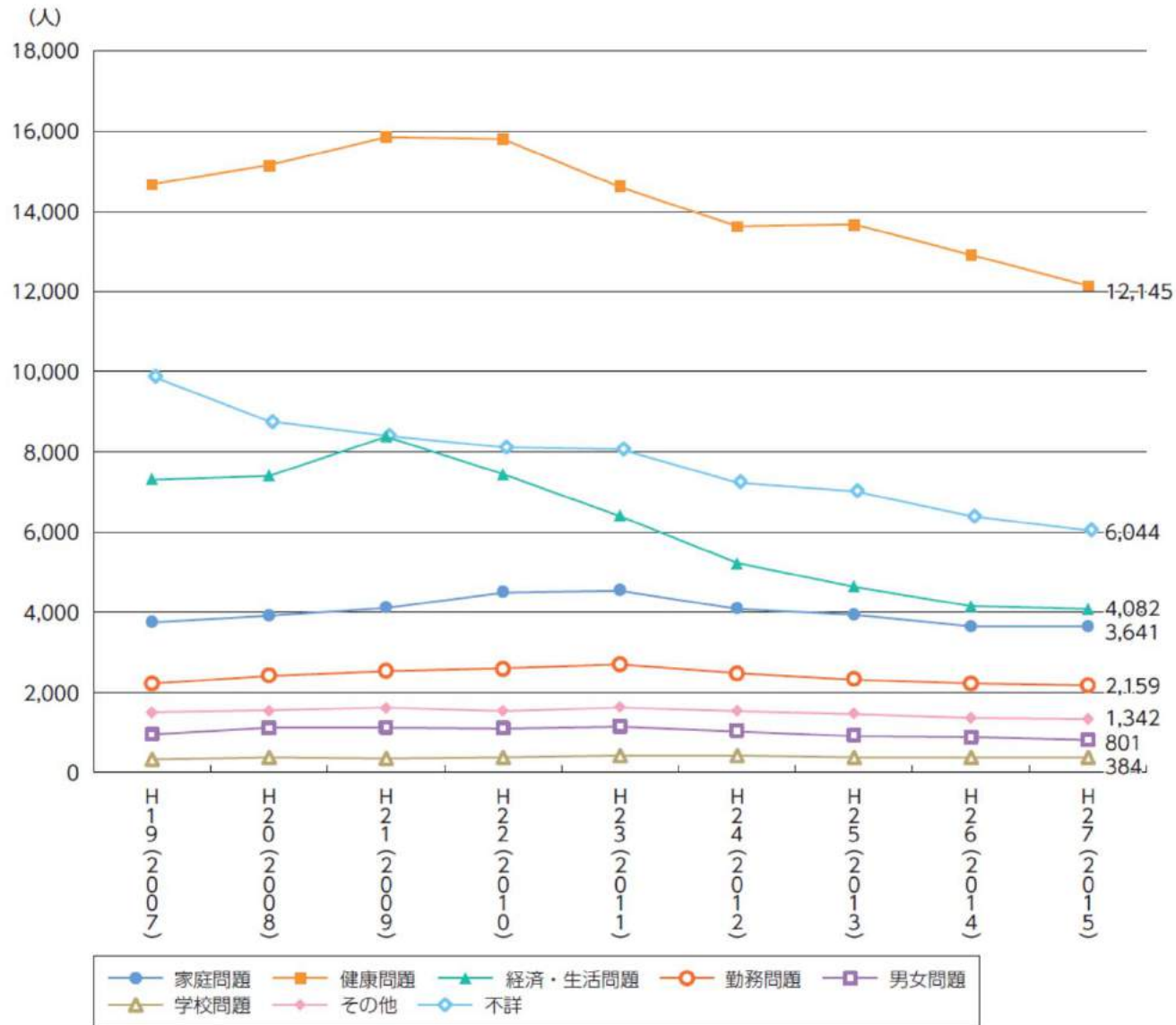
別添資料13 自殺者数の推移



資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

(データ出典：自殺対策白書)

別添資料14 平成19年以降の原因・動機別の自殺者数の推移



資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

(データ出典：自殺対策白書)

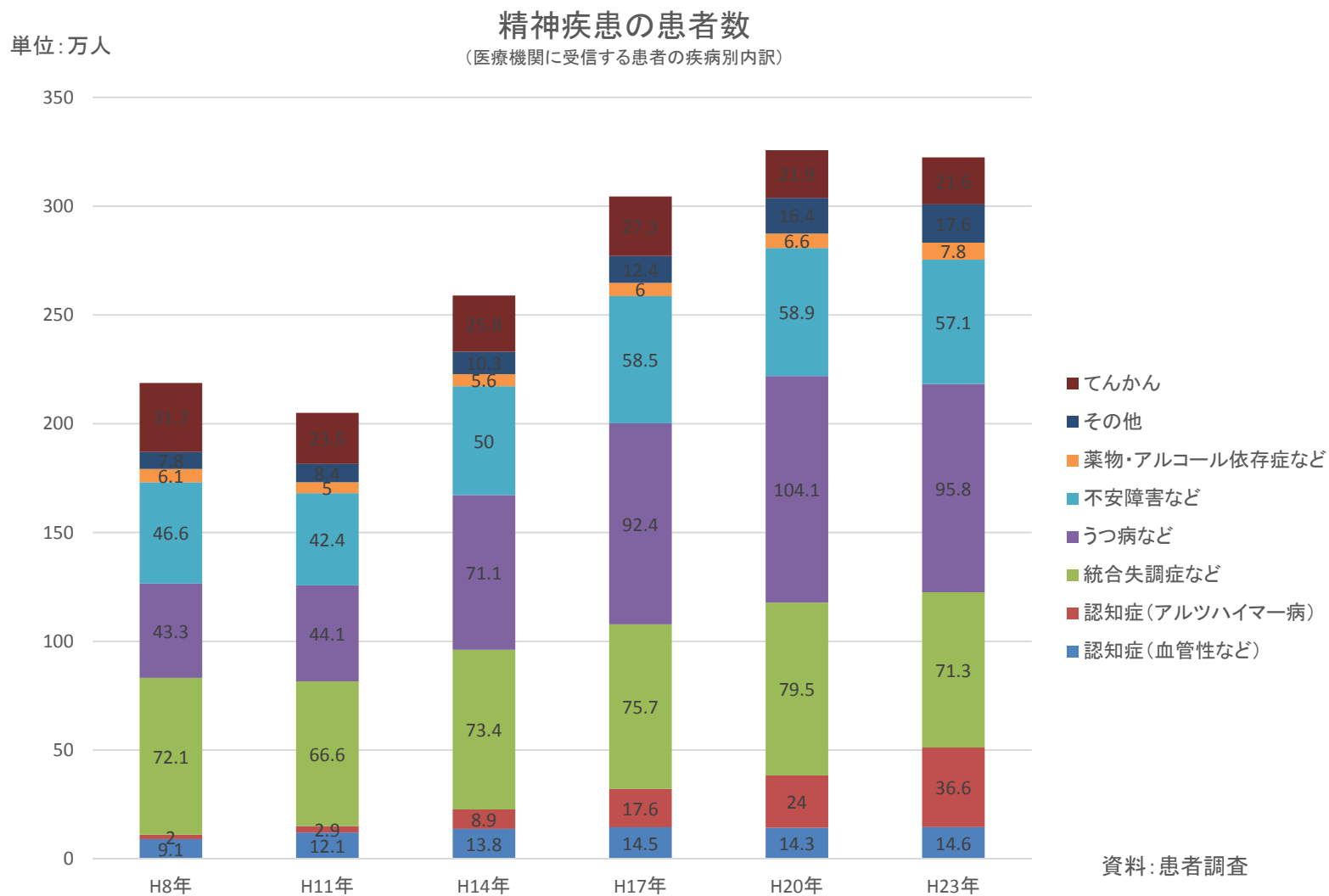
別添資料15 健康問題による自殺者数の内訳の年次推移

	健康問題 合計	病気の悩み (身体 の 病気)	病気の悩み・ 影響 (うつ病)	病気の悩み・ 影響 (統合 失調症)	病気の悩み・ 影響 (アル コール依存 症)	病気の悩み・ 影響 (薬物 乱用)	病気の悩み・ 影響 (その 他の精神疾 患)	身体障害の 悩み	その他
平成19年	14,684	5,240	6,060	1,273	295	49	1,197	309	261
平成20年	15,153	5,128	6,490	1,368	310	48	1,189	350	270
平成21年	15,867	5,226	6,949	1,394	336	63	1,280	337	282
平成22年	15,802	5,075	7,020	1,395	327	46	1,242	366	331
平成23年	14,621	4,659	6,513	1,313	295	51	1,207	293	290
平成24年	13,629	4,501	5,904	1,150	234	39	1,244	289	268
平成25年	13,680	4,463	5,832	1,265	210	60	1,321	275	254
平成26年	12,920	4,119	5,439	1,226	188	63	1,307	310	268
平成27年	12,145	3,910	5,080	1,118	206	37	1,313	262	219

資料：警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成

(データ出典：自殺対策白書)

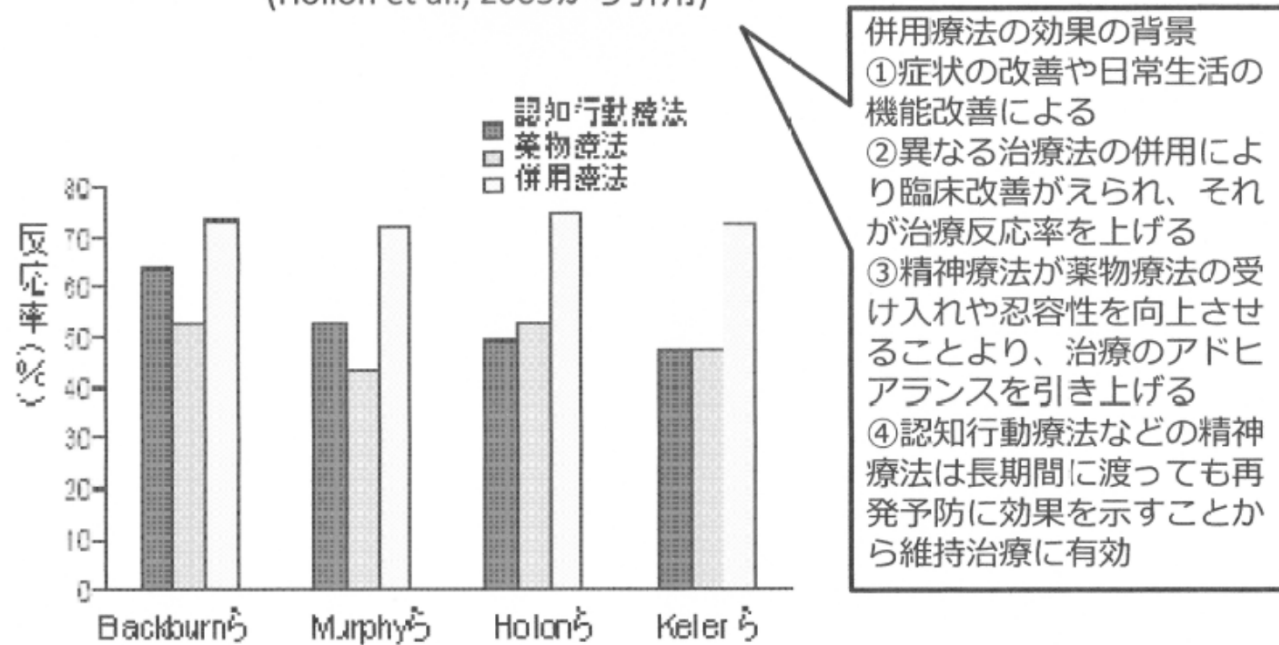
別添資料16 精神疾患の患者数(医療機関に受信する患者の疾病別内訳)



(データ出典: 精神疾患のデータ(厚生労働省))

別添資料17 成人うつ病に対する認知行動療法と薬物療法の治療反応率

成人うつ病に対する
認知行動療法と薬物療法の治療反応率
(Hollon et al., 2005から引用)



データは、Blackburn et al., 1981; Murphy et al., 1984; Hollon et al., 1992; Keller et al., 2000による。

(データ出典:厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/shingi/2009/08/dl/s0806-16b_0007.pdf

別添資料 18

1. 書類等の題名

抗うつ薬が効かない社交不安症（対人恐怖）を認知行動療法が改善
～ 世界初、臨床試験で実証～
47.6 %の患者で症状がほぼ消失するなど、大きな治療効果

2. 出典

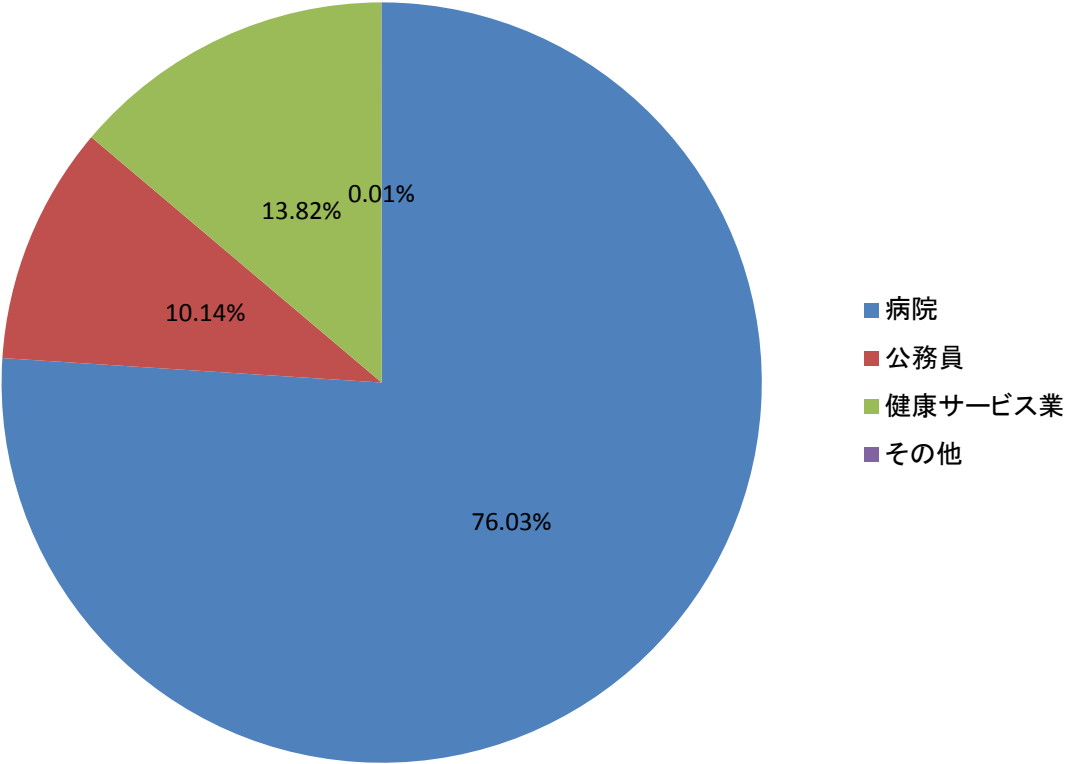
国立大学法人 千葉大学

国立大学法人 宮崎大学

3. 引用範囲

<http://www.chiba-u.ac.jp/general/publicity/press/files/2016/20160607.pdf>

別添資料19 杏林大学保健学部によせられる求人募集の業種別割合



専任教員の年齢構成・学位保有状況										
職 位	学 位	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合 計	備 考
教 授	博 士	人	人	人	3人	1人	人	人	4人	
	修 士	人	人	人	人	2人	人	人	2人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准 教 授	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講 師	博 士	人	2人	1人	人	人	人	人	3人	
	修 士	人	人	2人	人	人	人	人	2人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助 教	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合 計	博 士	人	2人	1人	3人	1人	人	人	8人	
	修 士	人	人	2人	人	2人	人	人	4人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	

(注)

- この書類は、申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。
- この書類は、専任教員についてのみ、作成すること。
- この書類は、申請又は届出に係る学部等の開設後、当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度（以下「完成年度」という。）における状況を記載すること。
- 専門職大学院の課程を修了した者に対し授与された学位については、「その他」の欄にその数を記載し、「備考」の欄に、具体的な学位名称を付記すること。

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
	学長	アトミ ユタカ 跡見 裕 <平成22年 4月>		医学博士		杏林大学学長 (平成22年4月～平成30年3月)

（注） 高等専門学校にあっては校長について記入すること。

教 員 の 氏 名 等												
(保健学部臨床心理学科)												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千 円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位 数	年間 開講 数	現 職 (就任年月)	申請に係 る大学等 の職務す るに等 する週平 均日数
	専	教授	シモジマ ユミ 下島 裕美 <平成30年4月>		博士 (心理学)		心理学概論 心理学研究法 心理学基礎実験Ⅰ 心理学基礎実験Ⅱ 認知心理学 発達心理学 教育心理学 社会心理学 基礎ゼミ 卒業研究	1前 1前 2前 2後 1後 1後 1前 2前 3後 4通	2 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 准教授 (平成19年4月)	5日
	専	教授	ナカジマ トオル 中島 亨 <平成30年4月>		博士 (医学)		疾病学 精神医学概論 精神医学各論 緩和医療学(演習を含む) 認知行動療法 心理実践基礎実習Ⅰ 心理実践基礎実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ 基礎ゼミ 卒業研究	1後 2前 2後 3前 3前 1後 2後 3後 4後 3後 4通	2 2 2 2 2 1 1 3 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学 医学部医学科 准教授 (平成19年4月)	5日
	専	教授	フルカワ ケイコ 古川 佳子 <平成30年4月>		修士 (人間科学)		心理学基礎実験Ⅰ 心理学基礎実験Ⅱ 心理検査演習 心理面接演習 発達臨床心理学 心理実践基礎実習Ⅰ 心理実践基礎実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ 臨床心理学特別講義Ⅰ 特別演習Ⅱ 基礎ゼミ 卒業研究	2前 2後 3前 3前 2後 1後 2後 3後 4後 1前 1後 3後 4通	2 2 2 2 2 1 1 3 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 准教授 (平成27年4月)	5日
	専	教授	ムラベ タミ 村部 妙美 <平成30年4月>		修士 (社会学)		心理学基礎実験Ⅰ 心理学基礎実験Ⅱ 心理検査演習 家族心理学 心理検査法 心理実践基礎実習Ⅰ 心理実践基礎実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ 基礎ゼミ 卒業研究	2前 2後 3前 3前 2後 1後 2後 3後 4後 3後 4通	2 2 2 2 2 1 1 3 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学 医学部医学科 講師 (平成27年4月)	5日
	専	教授	ヤマモト ヒロシ 山本 寛 <平成30年4月>		博士 (保健学)		人体の構造 人体の機能 病態病理学	1前 1後 1後	2 2 1	1 1 1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 准教授 (平成27年4月)	5日
	専	教授	ワキタニ ジュンコ 脇谷 順子 <平成30年4月>		博士 (児童心理 療法)		心理学基礎実験Ⅰ 心理学基礎実験Ⅱ 心理面接演習 乳幼児心理学 心理療法 医療心理学 心理実践基礎実習Ⅰ 心理実践基礎実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ 臨床心理学総合講義 基礎ゼミ 卒業研究	2前 2後 3前 2前 2後 1後 1後 2後 3後 4後 4前 3後 4通	2 2 2 2 2 2 1 1 3 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 准教授 (平成29年4月)	5日

	専	講師	ミウラ ヒロシ 三浦 大志 <平成30年4月>		博士 (心理学)	心理学統計法 心理学基礎実験Ⅰ 心理学基礎実験Ⅱ 神経心理学 知覚心理学 生理心理学 基礎ゼミ 卒業研究	1後 2前 2後 2後 1前 2前 3後 4通	2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 講師 (平成29年4月)	5日
	専	講師	シマダ マサアキ 島田 正亮 <平成30年4月>		博士 (保健学)	心理学基礎実験Ⅰ 心理学基礎実験Ⅱ 心理検査演習 心理面接演習 学校心理学 カウンセリング 心理実践職能学 心理実践基礎実習Ⅰ 心理実践基礎実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 基礎ゼミ 卒業研究	2前 2後 3前 3前 3後 2前 3前 1後 2後 3後 4後 1前 1後 3後 4通	2 2 2 2 2 2 1 1 3 2 1 1 1 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学 医学部医学科 助教 (平成22年4月)	5日
	専	講師	イシカワ サトル 石川 智 <平成30年4月>		修士 (心理学)	心理学基礎実験Ⅰ 心理学基礎実験Ⅱ 心理検査演習 心理面接演習 集団心理学 青年心理学 人格心理学 心理実践基礎実習Ⅰ 心理実践基礎実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ インターンシップ 基礎ゼミ 卒業研究	2前 2後 3前 3前 3後 3前 3前 1後 2後 3後 4後 1前 1後 4通 3後 4通	2 2 2 2 2 2 2 1 1 3 2 1 1 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学 医学部医学科 助教 (平成22年4月)	5日
	専	講師	クレバヤシ ユウスケ 紅林 佑介 <平成30年4月>		博士 (看護学)	地域と大学 看護学 精神看護学(精神科リ ハビリテーション学を 含む) 精神看護学・精神科リ ハビリテーション学演 習 心理実践基礎実習Ⅰ 心理実践基礎実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ 基礎ゼミ 卒業研究	1前 1後 2前 2後 1後 2後 3後 4後 3後 4通	2 2 2 2 1 1 3 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学保健学部 看護学科 看護養護教育学専攻 助教 (平成29年4月)	5日
	専	講師	サクライ ミオ 櫻井 未央 <平成30年4月>		修士 (教育学)	心理学基礎実験Ⅰ 心理学基礎実験Ⅱ 心理検査演習 心理面接演習 臨床心理学概論 障害者心理学 心理実践基礎実習Ⅰ 心理実践基礎実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ ボランティア活動 基礎ゼミ 卒業研究	2前 2後 3前 3前 1前 3後 1後 2後 3後 4後 1前 1後 4通 3後 4通	2 2 2 2 2 2 1 1 3 2 1 1 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 講師 (平成29年4月)	5日
	兼任	教授	イシイ カズオ 石井 和夫 <平成30年4月>		博士 (薬学)	職業適性論	2後	0.2	1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 教授 (平成29年4月)	

兼担	教授	オオミネ トモコ 大嶺 智子 ＜平成30年4月＞	博士 (医学)	職業適性論	2後	0.2	1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 教授 (平成19年4月)
兼担	教授	オカダ ヨウジ 岡田 洋二 ＜平成30年4月＞	博士 (保健学)	基礎化学	1前	1.0	1	杏林大学保健学部 診療放射線技術学科 教授 (平成25年4月)
兼担	教授	カメザキ ミチコ 亀崎 路子 ＜平成30年4月＞	博士 (看護学)	学校教育学	1後	2.0	1	杏林大学保健学部 看護学科 看護養護教育学専攻 教授 (平成24年4月)
兼担	教授	キンダイチ ヒデホ 金田一 秀穂 ＜平成30年4月＞	修士 (外国語学)	日本語学概論 ことばと社会	1前 2前	2.0 2.0	1 1	杏林大学外国語学部 教授 (平成23年4月)
兼担	教授	シモダ ノブアキ 下田 信明 ＜平成30年4月＞	博士 (保健医療学)	職業適性論	2後	0.2	1	杏林大学保健学部 作業療法学科 教授 (平成23年4月)
兼担	教授	タケダ サトエ 竹田 里江 ＜平成30年4月＞	博士 (作業療法学)	精神看護学(精神科リ ハビリテーション学を 含む) 精神看護学・精神科リ ハビリテーション学演 習 心理実践基礎実習Ⅰ 心理実践基礎実習Ⅱ 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ 臨床心理学特別講義Ⅱ 特別演習Ⅰ 基礎ゼミ 卒業研究	2前 2後 1後 2後 3後 4後 1後 1前 3後 4通	2 2 1 1 3 2 2 1 1 2 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 准教授 (平成29年4月)
兼担	教授	タナカ コウスケ 田中 浩輔 ＜平成30年4月＞	理学博士	基礎生物学	1前	1.0	1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 教授 (平成27年4月)
兼担	教授	デジマ ケンシ 出嶋 靖志 ＜平成30年4月＞	博士 (保健学)	医学概論	1前	2.0	1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 教授 (平成27年4月)
兼担	教授	テルヤ コウジ 照屋 浩司 ＜平成30年4月＞	医学博士	職業適性論	2後	0.2	1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 教授 (平成19年4月)
兼担	教授	ミヤザワ ヒロシ 宮澤 博 ＜平成30年4月＞	博士 (保健学)	地域と大学	1前	2.0	1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 教授 (平成27年4月)
兼担	教授	モリタ コウジ 森田 耕司 ＜平成30年4月＞	医学博士	職業適性論	2後	0.2	1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 教授 (平成20年4月)
兼担	教授	ヤツナミ ミツノブ 八並 光信 ＜平成30年4月＞	博士 (リハビリ テーション学)	職業適性論	2後	0.2	1	杏林大学保健学部 理学療法学科 教授 (平成21年4月)
兼担	教授	ヤマダ ケンジ 山田 賢治 ＜平成30年4月＞	医学博士	救急医療	2前	1.0	1	杏林大学保健学部 救急救命学科 教授 (平成28年4月)
兼担	教授	ヨツタ マサユキ 四倉 正之 ＜平成30年4月＞	医学博士	地域と大学	1前	2.0	1	杏林大学保健学部 臨床工学科 教授 (平成18年4月)
兼担	特任教授	チダ シンジ 千田 晋治 ＜平成30年4月＞	大学卒	救命救助法	1前	1.0	1	杏林大学保健学部 救急救命学科 特任教授 (平成29年4月)
兼担	准教授	アサノ サトシ 朝野 聡 ＜平成30年4月＞	体育学修士	地域と大学	1前	2.0	1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 准教授 (平成24年4月)

兼担	准教授	イワクマ ミチヒロ 岩隈 道洋 ＜平成30年4月＞		修士 (法学)	日本国憲法	1後	2.0	1	杏林大学 総合政策学部 総合政策学科 准教授 (平成21年4月)
兼担	准教授	オカムラ ヒロシ 岡村 裕 ＜平成30年4月＞		博士 (保健学)	社会福祉政策学	3前	2.0	1	杏林大学 総合政策学部 准教授 (平成19年4月)
兼担	准教授	オカモト ヒロテル 岡本 博照 ＜平成30年4月＞		博士 (医学)	職業適性論 公衆衛生学 高齢保健学	2後 1前 2後	0.2 2.0 2.0	1 1 1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 准教授 (平成26年4月)
兼担	准教授	カタギリ トモミ 片桐 朝美 ＜平成30年4月＞		博士 (医学)	社会福祉学 高齢者福祉学	2前 2後	2.0 2.0	1 1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 准教授 (平成26年4月)
兼担	准教授	カトウ トモヒサ 加藤 誠久 ＜平成30年4月＞		理学修士※	基礎数学	1前	1.0	1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 准教授 (平成19年4月)
兼担	准教授	ツツカ ケイコ 戸塚 恵子 ＜平成30年4月＞		博士 (医療福祉学)	児童福祉学	2後	2.0	1	杏林大学保健学部 看護学科 看護養護教育学専攻 准教授 (平成28年4月)
兼担	講師	アカミネ エリ 赤嶺 恵理 ＜平成30年4月＞		修士 (コミュニケーション福祉学)	公的扶助学	3前	2.0	1	杏林大学 外国語学部 講師 (平成26年4月)
兼担	講師	キタダ マリ 北田 真理 ＜平成30年4月＞		博士 (法学)	法学	1前	2.0	1	杏林大学 総合政策学部 講師 (平成27年4月)
兼担	講師	セキ ケンスケ 関 健介 ＜平成30年4月＞		博士 (保健学)	職業適性論 情報処理論	2後 2前	0.2 2.0	1 1	杏林大学保健学部 診療放射線技術学科 講師 (平成25年4月)
兼担	講師	ダシヤカ シヅカリアム ＜平成30年4月＞		大学卒	英語 I 英語 II 医学英語	1前 1後 2前	2.0 2.0 2.0	1 1 1	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科 講師 (平成26年4月)
兼担	助教	イノウエ アツシ 井上 敦 ＜平成30年4月＞		修士 (社会福祉学)	障害者福祉学	3前	2.0	1	杏林大学保健学部 健康福祉学科 助教 (平成24年4月)
兼担	助教	フエ ショウゴ 久米 梢子 ＜平成30年4月＞		修士 (保健学)	地域と大学	1前	2.0	1	杏林大学保健学部 救急救命学科 助教 (平成27年4月)
兼担	助教	サイトウ リエ 齋藤 利恵 ＜平成30年4月＞		博士 (保健学)	地域と大学	1前	2.0	1	杏林大学保健学部 作業療法学科 助教 (平成23年4月)
兼担	助教	ススキ トモコ 鈴木 朋子 ＜平成30年4月＞		修士 (看護学)	地域と大学	1前	2.0	1	杏林大学保健学部 看護学科 看護養護教育学専攻 助教 (平成25年4月)
兼担	助教	タダノ ケイチ 只野 喜一 ＜平成30年4月＞		修士 (医科学)	地域と大学	1前	2.0	1	杏林大学保健学部 診療放射線技術学科 助教 (平成27年4月)
兼担	助教	タニグチ アヤ 谷口 綾 ＜平成30年4月＞		修士 (看護学)	地域と大学	1前	2.0	1	杏林大学保健学部 看護学科看護学専攻 助教 (平成25年4月)
兼任	講師	オオイシ マナブ 大石 学 ＜平成30年4月＞		修士 (文学)	哲学 生命倫理学	1後 1後	2.0 2.0	1 1	杏林大学 総合政策学部 非常勤講師 (平成19年4月)
兼任	講師	ジェームス ドナルド ボルドウィン ＜平成30年4月＞		Bachelor of Arts (加国)	英会話	2前後	4.0	2	杏林大学保健学部 非常勤講師 (平成28年4月)
兼任	講師	タナカ イシキ 田中 伊式 ＜平成30年4月＞		大学卒	日本語表現法	1後	2.0	1	杏林大学保健学部 非常勤講師 (平成24年4月)

兼任	講師	ホンダ チエ 本多 千恵 〈平成30年4月〉	修士 (社会学)	社会学	1前後	4.0	2	杏林大学 総合政策学部 非常勤講師 (平成7年4月)
兼任	講師	ミヤキ ノリユキ 宮崎 則行 〈平成30年4月〉	大学卒	職業適性論	2後	0.2	1	杏林大学 キャリア サポートセンター長 (特任教授) (平成25年4月)
兼任	講師	ヨシエ ヒデカズ 吉江 秀和 〈平成30年4月〉	修士 (文学)	芸術	1前後	4.0	2	杏林大学総合政策学部 非常勤講師 (平成22年4月)
兼任	講師	ヨネムラ ミナ 米村 美奈 〈平成30年4月〉	修士 (社会福祉学)	医療福祉学	2前	2.0	1	杏林大学保健学部 非常勤講師 (平成26年4月)
兼任	講師	ワダ ノゾミ 和田 望 〈平成30年4月〉	修士 (英語教授法)	英語Ⅲ 英語Ⅳ	2前 2後	2.0 2.0	1 1	杏林大学保健学部 非常勤講師 (平成26年4月)

(注)

1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。

2 私立の大学若しくは高等専門学校¹の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認

可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。

3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日教」の欄は、専任教員のみ記載すること。